

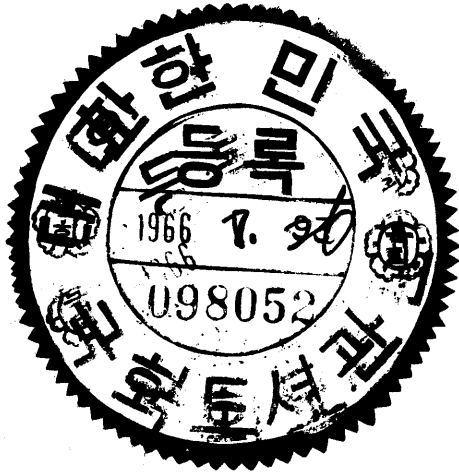
MON03198015288

338.1
2538 4

調査資料第十四輯

市街地の商圏

朝鮮總督府



序

本書は朝鮮に於ける主要市街地に就き、其貨物及金融上に有する商業勢力の實情を調査したものである。而して調査の範圍は、各地方に於て經濟上比較的重要なる地位を占むる大小の都邑九十一箇所に亘り、府郡島及商業會議所の調査に係る資料を基礎とし、それに人口市場貿易に關する最近の統計を加へ、囑託善生永助をして之を調査編纂せしめたものである。從來此種の調査を缺きたるを以て、各市街地に於ける商業取引と金融事情を知る上に尠からぬ不便を感じて居たが、本書を繙くに於ては、略ぼ朝鮮に於ける都市經濟の大勢を明かにするを得べく、執務上並に取引上多少の参考となることゝ信ずる。

大正十四年十二月

朝鮮總督府

調査資料
第十四輯

市街地の商圈

目次

總説

第一章 主要商業地

市街地の地勢

商業地の戸口

第二章 市街地の商圈

京畿道

京城・仁川・水原・開城・永登浦・平澤・安城・利川・漣川

忠清北道

清州・美江・堤川・忠州

一

九

九

一四

三

三

六七

忠清南道.....七七

公州・大田・論山・江景・鳥致院・洪州・禮山・天安・成歡

全羅北道.....九七

群山・全州・南原・金堤・裡里・井邑・苗浦

全羅南道.....一七四

木浦・光州・羅州・榮山浦・咸平・麗水・順天・濟州

慶尙北道.....一六六

大邱・金泉・慶州・安東・浦項・尙州・倭館・慶山

慶尙南道.....二一四

釜山・馬山・晉州・東萊・龜浦・金海・密陽・蔚山・鎮海・統營・河東・居昌

黃海道.....二九三

海州・載寧・黃州・兼二浦・沙里院・新幕

平安南道.....三三三

平壤・鎮南浦・安州・成川・廣梁灣

平安北道……………三三〇

新義州・義州・龍巖浦・宣川・定州・江界・車輦館

江原道……………三五三

春川・江陵・鐵原・原州・平康

咸鏡南道……………三六七

元山・咸興・西湖津・北青・永興

咸鏡北道……………四〇一

清津・羅南・鏡城・會寧・城津・雄基

第三章 市場の取引……………四一八

市場の概況……………四一八

主要市場……………四二一

市場金融……………五二七

第四章 貿易の趨勢……………五四四

貿易品價額連年對照表……………五四六

輸移出入貿易指數表……………五四九

國別外國貿易額及比率表……………五五〇

主要貿易品價額及比率表……………五五一

輸移出入金銀價額累年比較表……………五五三

輸移出入金價額累年比較表……………五五五

輸移出入銀價額累年比較表……………五五六

港別貿易額表……………五五七

港別貿易額千百分比表……………五五八

港別貨物噸量表……………五五九

船舶入港連年對照表……………五六〇

船舶入港國別六箇年對照表	五六三
船舶入港港別表	五六五
關稅收入額連年對照表	五六六
關稅收入額種類別累年表	五六九
關稅收入額港別表	五七二

圖 表

朝鮮產業地圖	
市街地の金融額對照表	
市街地の仕入商品價額及特産物の仕出高表	
釜山港に於ける主要商品圈	
群山港の移出米及仕向米表	
公州附近市場順路表	
平壤附近市場順路表	

市街地の商圈

總說

朝鮮の經濟力は未だ貧弱にして、生産に於ても消費に於ても到底内地の比にあらず、従つて貨物の需給及び資金の運轉等、商業上の活動は尙ほ充分なりと稱し難きも、併合當時と今日とを比較するときは、其進歩發展の著しきことが認められる。即ち明治四十三年の生産額は僅に三億六百餘萬圓に過ぎなかつたものが、大正十二年には實に十六億六千餘萬圓に増加し、農産物十一億六千五百餘萬圓、工業物二億六千五百餘萬圓、林産物七千三百餘萬圓、水産物八千二百餘萬圓、鑛産物一千七百餘萬圓となつて居る。

生産物價額朝鮮・内地・臺灣比較表 (大正十二年)

地方別	産業別	農産物	林産物	水産物	鑛産物	工業物	合計
朝鮮		一、二六五、九四八 <small>千円</small>	七三、四七一 <small>千円</small>	八二、八五一 <small>千円</small>	一七、三七七 <small>千円</small>	二六、二五九 <small>千円</small>	一、六〇〇、八五七 <small>千円</small>
内地		四、一三八、〇七五	四、八九四、三三三	四、五〇六、六七七	三、七四一、四三三	七、七七一、〇二四	一、三、一六三、四三二
臺灣		一九二、九三九	一〇、一八五	一、四二七、四	一一、九二二	一、三三七、三二二	四、六七五、三二
總計							一

また會社事業の趨勢を見るに、明治四十四年末には、社數百五十二、公稱資本金三千九百餘萬圓で居つたものが、大正十二年末には社數九百二十、公稱資本金五億四千八百餘萬圓に増加し、其種別を示すと、農業會社五十五、商業會社三百二十四、工業會社二百二十、鑛業會社七、運輸會社八十三、其他の會社二百三十一となつて居る。

會社數及資本額朝鮮・内地・臺灣比較表（大正十二年末）

地方別	營業別	朝鮮		内地		臺灣	
		公稱資本金	比	公稱資本金	比	公稱資本金	比
	農業	四〇〇七三	五五	一五二二二	六六六	一三三〇〇	五三
	商業	五七二七七	三五四	六、八八、五五八	一五六四六	一〇五五七六	二六三
	工業	五七七三七	二二〇	六七〇五四九二	二二八五二	二〇九五八	一七一
	鑛業	七、八五〇	七	九六九、八六七	三五〇	三三〇	二四
	運輸業	六七、九八五	八三	一、四五六、八五七	二三四九	四、三三八	四一
	其他	三七、五八九	二三二	八四、九〇一	二二七	二、三三五	一四
	合計	五四、八四一	九〇	一、五五六、七七八	三、二〇九〇	三、五六、九三二	五六六
		千圓		千圓		千圓	
		1,111,000		1,111,000		1,111,000	

更に工場工業に就いて見るに、明治四十四年末には、工場總數二百五十二、平均一日從業者數一萬四千百十人に過ぎなかつたものが、大正十二年末には工場數三千四百九十九（染織工場百五十二、機械及器具工場百七十三、化學工場一千百九十二、飲食物工場千三百七十七、雜工場五百六十四、特別工場四十一）

平均一日從業者數六萬九千四百十二人に膨脹して居る。而して工場工業の發達と相俟ちて、各種の家内工業及び副業生産品も亦増加し、朝鮮の産業は近來小規模ながらも勃興の機運に向つて來た。

工場數及職工數朝鮮・内地・臺灣比較表 (大正十二年)

業	地方別	工場數及職工數						
		染織工場	機械及器具工場	化學工場	飲食物工場	雜工場	特別工場	合計
朝鮮	工場數	一五二	一七三	一一九二	一三七七	五六四	四一	三四九九
	平均一日職工數	九、八五九	四、五九一	二三、九三八	一八三七一	九、〇六一	三、五九一	六、九四二
内地	工場數	一八〇二四	三、七四四	二、五四六	二二、一三八	一〇、九九四	三五〇	四、七七八
	平均一日職工數	一、〇〇三、〇四	一、三六〇、三九四	一、八四、九九〇	一、九二、四五八	一、五、五八〇	一、〇、五〇〇	一、九〇七、九四六
臺灣	工場數	六〇	一六	六九四	一六八四	四〇五	六八	三、〇二七
	平均一日職工數	二、〇〇一	一、四七一	八、九四六	二、三、〇〇〇	五、〇八三	七六	四、二、四七七

従つて外國貿易高の如きも、併合當時の明治四十三年に於ては、輸移出額一千九百餘萬圓、輸移入額三千九百餘萬圓、合計五千九百餘萬圓、人口一人當貿易額四圓四十九錢に過ぎなかつたものが、大正十三年に至るや、輸出入額二千二百餘萬圓、移出額三億六百餘萬圓、合計三億二千九百餘萬圓、輸入額九千七百餘萬圓、移入額二億一千百餘萬圓、合計三億九百餘萬圓、輸移出入總額六億三千八百餘萬圓、人口一人當貿易

易額三十五圓三十錢となり、殊に従來輸入超過を以て終始して居た朝鮮が、此年に入りて始めて約二千萬圓の出超を見るに至つたことは、貿易上の好現象たるのみならず、其産業の將來に有望なる曙光の現はれたものと見ることが出来やう。

貿易額朝鮮・内地・臺灣比較表 (大正十二年)

地方別	出入別		輸移		合	計	輸移出入(△)超
	入	出	輸	移			
朝鮮	二六、六六五、七三二 _円	二六、七九〇、七七 _円	五七、四五六、四五九 _円	△ 四、二四九、九五 _円			
内地	二二、六〇七、八四四	二六、七〇、五六七、二〇四	四、七九六、六四五、六二八	△ 五、四四四、八七八〇			
臺灣	一九、八五九、四八〇	一一〇、二七九、四九二	三〇、八七七、四九二	八八、四二五、三二〇			

朝鮮内に於ける常設店舗の取引額は之を窺ふの資料を有しないが、朝鮮人の經濟生活上最も密接なる普通市場の賣買高を見るに、明治四十四年には、取引總額五千六百十八萬二千餘圓、人口一人當三圓九十九錢であつたが、大正十二年には、取引總額一億一千九百四十七萬一千餘圓、人口一人當六圓六十八錢に増加して居る。これに依つて見ても、常設店舗の取引高は、生産の増大並に貿易の發展と相俟ちて著しく増加して居る。

翻つて朝鮮内に於ける消費の状態を見るに、左表の示すが如くにして、併合以來朝鮮内經濟力の進歩、國

民生活の向上に伴ひて、其消費總額も人口一人當消費額も共に大なる増進を來して居るから、將來人口の増加と相俟ちて之が消費額は益々増加し、一般商取引額の股振を見ることは必然である。只米の消費量の却つて減少せるは、粟、麥粉等の代用食が増加し、米の移出の旺盛を極めつゝある證左である。

鮮内重要品消費統計

種別	明治四十四年		大正十二年	
	消費總額	一人當消費額	消費總額	一人當消費額
米	九八七四、五九一石	〇・七〇二五	一一〇五六、五九一石	〇・六一八一
小粟	一、三九三、六二七	〇・〇九九一	一、七〇九、九三九	〇・〇九五六
大粟	三、三四六、五九五	〇・二三八〇	六、二三五、五九八	〇・三四八一
大豆	二、〇七一、〇一九	〇・一四七三	三、三三七、三五六	〇・二八七一
麥粉	六、五四二、七三	〇・〇二四九	九、四九二、九六〇	〇・五三〇八
水産物	六、六二九、二二三	〇・四七二六	四、三二九、三七八	二、四二〇七
鹽	一、四七七、三六六斤	一、〇四八四	四、三三二、六五八斤	三、三六〇四
嗜好品				
煙草	六、八六七、七八四斤	〇・四三二〇	二、九七八一、〇〇五斤	一、六六五一
酒類	一一、四一八、九九五斤	〇・八二二四	四、九二四、五九二〇	二、七五三四
砂糖	一、六〇六、二四三斤	一、二四二八	四、四二二、九八〇九斤	二、四七三一
總說				

市街地の商圏

衣料品		必需品		原料品	
綿	苧麻	紙	燐	石	金
布	布	燻業製品	寸	炭	肥
一三,九九三,二八二 <small>円</small>	三,六〇八,二二一	二,四五五,五三九	四四六,九七五	二六九,八三〇 <small>噸</small>	三,三五五,八〇三 <small>貫</small>
〇,九九五五 <small>円</small>	〇,五五六	〇,二七四八	〇,〇三二八	〇,〇一九一 <small>噸</small>	一,二九七 <small>貫</small>
四七,七七四,一〇 <small>円</small>	一四,一三三,四二	一六,八八〇,二四一	一,六九七,一七〇	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	二〇,二四七,二九一 <small>貫</small>
二,六六九,六	〇,七八九一	〇,九四三,九	〇,〇九四八	〇,〇六〇,一 <small>噸</small>	農家一戸當 七四九,一一
	〇,五八四九	〇,九四三,三	〇,〇九四八	〇,〇五二四 <small>噸</small>	
	〇,一〇八三	七,三〇三,三三三	〇,〇四〇八	九,〇七七一 <small>噸</small>	
	〇,五六三三	一六,八八〇,二四一	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	〇,〇三二八	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	九,〇七七一 <small>噸</small>	
	七九,一六六,四九九	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	一,五三三,〇〇五	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	三,六〇八,二二一	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	一三,九九三,二八二 <small>円</small>	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	〇,五五六	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	〇,一〇八三	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	〇,五六三三	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	〇,〇三二八	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	七九,一六六,四九九	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	一,五三三,〇〇五	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	三,六〇八,二二一	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	
	一三,九九三,二八二 <small>円</small>	一,〇七七,〇三八 <small>噸</small>	〇,〇四〇八	三,二〇六,〇七 <small>噸</small>	

朝鮮に於ける消費の趨勢は右の通りであるが、其目標となる人口數は、明治四十三年末現在では、一千三百三十一萬三千七十七人（内地人十七萬一千五百四十三人、朝鮮人一千三百十二萬八千七百八十八人、外國人一萬二千六百九十四人）であつたものが、大正十三年末現在では、一千七百八十八萬四千九百六十三人（内地人四十萬三千二十一人、朝鮮人一千七百四十四萬六千九百十三人、外國人三萬五千三十九人）となり、年々の平均人口増加數は約十三四萬人に達して居る。されば貿易市場として見るも朝鮮の將來は相當に有

望であるから、販路を此に求めんとする内地の商工業者は、能く朝鮮の經濟事情に通せねばならぬ。殊に食糧及び原料の不足せる我國に在りては、朝鮮に於て豊富に生産せらるゝ米、大豆、粟、大麥、小麥、生牛、牛皮、棉花、石炭、金及び砂金、汰鑛、木材、家蠶繭、柞蠶繭、人蔘、葉煙草、魚類、野菜、果實、莞草、麻、高嶺土、硅砂、酒類、朝鮮紙、織物等の如き、氣候、地質等の關係上最も多く生産ある、特産品を移入し、若くは之を原料とし、其低廉なる勞力を利用して、鮮内の製造工業を振興せしめ、其、輸出の増進を計ることは、國策としても企業としても頗る有利なる方法である。

而して生産及び取引上必要なる金融の概況を見るに、これ亦生産の増大、取引の膨脹に伴ひて、併合當時に比較すると最近に於ては著しく發達して居るが、然かも尙ほ金融の疏通充分ならず、殊に金利の高きことは驚くべきもので、それが爲めに、生産の障害となり、商業の發達を妨げ、物價を騰貴せしめ、國民生活を壓迫せることは尠少でないのである。こゝに於てか各種の方法に依りて内地資本の流入を計り、以て生産及び取引上必要なる資金の供給を潤澤ならしむることは、實に刻下の急務である。

金融機關一覽表

銀	行	金	融	機	關	一	覽	表
本店	支店出張所	組合數	資本金	積立金	銀行券	殖産債券	預	金
		農工及折	殖資金貸	其の他の	貸	出		
三	三	九、五五九	千四百	五、四〇〇	千四百	三〇、一六〇	千四百	一、八八〇
明	治	四	十	三	年	末		

大正十三年末 一九一三 一、二〇〇、〇〇〇 × 一、二〇〇、〇〇〇 一、二〇〇、〇〇〇 × 一、二〇〇、〇〇〇

備考 ×印は鮮外支店の数及びその取扱に係るものにして外書とす

また朝鮮に於ける都會地商業金融機關としての手形交換所は、明治四十三年七月京城に設けられたのが嚆矢で、現在は京城・仁川・釜山・平壤・元山・大邱・木浦・群山の八箇所に設立せられて居る。而して大正十三年中の交換高を併合當時の明治四十四年と比較すると左の如くなつて居る。

手形交換高一覽表

	明治四十四年中	百分比	大正十三年中	百分比
枚 數	二四七、九二四	一〇〇	二、〇九九、〇八九	八四三
交 換 金 額	七二、五五五、五二五 ^円	一〇〇	九三九、一一〇、八一二 ^円	一、二九四 ^円
交 換 尻	二四、四九〇、五三九 ^円	一〇〇	一八〇、八四九、〇二一 ^円	七三九 ^円

これを見るときは、朝鮮の主要都會地に於ける商業金融の活動は、近來稍面目を改めたる如きも、尙ほ内地の市街地に比較すれば遙かに貧弱にして、其商業取引の未だ大ならざることを示して居る。従つて右の主要都會地以外の地方都邑の商業勢力は、現在に於ては左まで有力なるものは多くないが、交通機關の普及と地方産業の振興に伴ひて、將來相當に發展すべき見込あるものも亦少くないから、其商圏を調査するは極めて大切なることである。

第一章 主要商業地

市街地の地勢

商圏の調査を行はんとせば、先づ生産、消費、賣買、運輸等に直接關係ある各地方の人口状態を見ねばならぬ。殊に市街地に於ける人口の多少は、一面其商業勢力の大小を推測せしむることゝもなり、亦金融、物資の需給趨勢を窺ふことも出来る。然るに朝鮮に於ては、古來農を以て國を立て、現に全人口の約八割が農業に従事して居る關係上、人口は多く地方農村に散在し、従つて大都會及び市街地少く、人口五萬人以上の都會は、京城府、大邱府、釜山府、平壤府の僅に四箇所に過ぎず、人口一萬人以上五萬人未滿の市街地二十二箇所、人口五千人以上一萬人未滿の市街地四十四箇所、人口三千人以上五千人未滿の市街地八十九箇所、以上合計百五十九箇所である。これを第一回國勢調査の行はれた大正九年十月一日現在、内地に於ける市の數八十三、人口一萬人以上の町の數二百八十二、合計三百六十五箇所に對照すると、その懸隔の甚だしきことが認められるが、併合當時と今日とを比較すると、各市街共、人口數に於ても、街衢の體裁に於ても、商取引高に於ても面目を一新して居る。

人口三千人以上の市街地を地勢別に、平野地・臨海地・沿河地・山岳地に分類し、尙ほ鐵道の便ある市街地を示すと、平野地九十四箇所、臨海地三十四箇所、沿河地二十三箇所、山岳地八箇所にして、その中に、鐵道の便ある市街地は七十四箇所ある。而して市街の所在地が、平野地にして同時に沿河地に屬する論山及び惠山鎮の如きものは、地勢上比較的相近き方へ編入して置いた。朝鮮の市街地は、概して消費的都邑にして、商工業の殷盛を極めて居る所は少數である。然しながら産業の發達、交通の進歩に伴ひ、地方都邑の經濟力も亦著しく膨脹しつゝある。市街地の主なるものに就いてその大體の分類をして見ると、李朝以來商業地として發達した都邑は、僅に開城及び安州などを數ふるのみにして、政治的關係によりて發達したる都邑には、京城・水原・清州・公州・光州・大邱・慶州・東萊・晋州・海州・平壤・義州・春川・咸興・會寧などがあり、貿易によりて發達した都邑としては、仁川・釜山・群山・木浦・馬山・鎮南浦・元山・城津・雄基等を數へ、鐵道の開通によりて急速に發展したる都邑としては、永登浦・天安・鳥致院・大田・金泉・裡里・松汀里・新幕・沙里院・新義州・鐵原などを算し、前記の貿易港以外に、舟運を利用したまたは漁業の根據地として發展した都邑としては、江景・論山・浦項・方魚津・統營・麗水・河東等があり、鎮海は要港、羅南は師團、兼二浦は製鐵所の所在地として近時遽かに發展した都邑である。

市街地地勢別 (人口三千入以上)の市街地

第二章 主要商業地

全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	平野地	臨海地	沿河地	山岳地
<p>△△△ 金泉郡 慶州郡 大邱郡</p> <p>禮泉郡 善山郡 靈山郡</p>	<p>△ 羅州郡</p> <p>△△△ 咸平郡 海州郡 長興郡 靈和郡 潭陽郡 光州郡 同陽郡 同松郡 潭光郡</p> <p>珍島郡 康津郡 兵珍島 營</p>	<p>△ 錦山郡</p> <p>△△△ 淳昌郡 南原郡 全州郡 南原郡 全南郡</p> <p>茂朱郡 同井郡 邑郡 泰井郡 仁邑郡</p>	<p>△ 大田郡</p> <p>△△ 公州郡 大田郡</p> <p>△△ 蕪安郡 蔚山郡 致安郡</p>	<p>△△△ 利川郡 安城郡 開城郡 華城郡 江華郡 水原郡</p> <p>同孔郡 同東郡 同阿郡 同德郡 同威郡 同幕郡 同十郡 同登郡 同浦郡</p> <p>高陽郡 始興郡 永登郡 往幕郡 里里里</p>	<p>△ 仁川府</p>	<p>△△△ 濟州府 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州</p> <p>濟州府 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州 同光州</p> <p>求禮郡 求禮郡 求禮郡</p>	<p>△△ 同論山郡 論山郡 江論山</p>	<p>△△△ 高陽郡 京畿府 驪州郡 驪州郡 驪州郡</p>
	三	一〇	六	四	一四			

市街地の商圏

平 安 北 道	平 安 南 道	黄 海 道	慶 尙 南 道	慶 尙 北 道
△△△ 博龍定宣 川川州川 郡郡郡郡 博楊定宣 川市州川	△△△ 江大平 東同郡壤 勝寺湖洞 里里府	△△△ 信安同瑞海 川岳郡郡州 信安新瑞海 川岳慕興州	△△△ 同昌成金成 寧陽海安寧 郡郡郡郡郡 靈昌安咸宜 山寧義海安寧 昌城萊村州	△△ 清慶永義同 道州城郡郡 郡郡郡郡郡 清慶新義開 道山寧城寧
	△△ 价中和 川郡郡中 郡軍中隔 里和	△△ 長黄淵 淵州	△△ 同昌密 原陽郡郡 郡慶昌密 和洞原陽	△△ 漆連永尙 谷城川州 郡郡郡郡 郡若玄永尙 木風川州
	△ 鎮南浦府	股栗郡長連	△△△ 同昌同泗同 原川郡郡郡 郡郡郡郡郡 熊鎮三酒兵 川海浦川榮津 川府營山府	△ 迎日郡浦項
寧江同義新 邊界郡郡州 郡郡郡郡義 寧江北下州 邊界洞州府	△ 安同大同 州郡郡郡船 郡安箕林橋 州里	△ 黄州郡兼二浦	△ 河東萊郡龜 東浦	漆安東 谷郡郡安 郡倭安 館東
楚熙雲昌 山川山城 郡郡郡郡 郡郡郡郡 楚熙北楡 山川鎮洞		谷遂 山安 郡郡 郡谷楠 山亭		

一三

九

一四

一七

一八

江 原 道 △春川郡春川 △鐵原郡鐵原 原州郡原州 江陵郡江陵 四

咸 鏡 南 道 △咸興郡咸興 △北清郡北清 △洪原郡洪原 △元山府 △北青郡新昌 △同郡新浦 △利原郡遮湖 △端川郡端川 △永興郡永興 甲山郡惠山鎮 一〇

咸 鏡 北 道 △鏡城郡羅城 △同郡鏡城 △城津郡城津 △清津郡慶興 △慶興郡雄基 △吉州郡吉州 △鍾城郡鍾城 △會寧郡會寧 八

合 計 九四 三四 三三 八一五九

備考 △印は鐵道の便ある市街地にして、その數七十四箇所あり

右の市街地に就いて見るに、各市街地とも朝鮮人は、内地人より多數在住するも、新市街地たる大田、及び軍港地たる鎮海は、内地人數が遙かに朝鮮人數よりも多い。また内地人の一名も住んで居ない市街地は、濟州島禾北里、及び同島咸德里である。外國人（主して支那人）は京城・仁川・平壤・新義州・北鎮・元山・清津等に多く居住し、その他の市街地に居住する者は極めて少數である。何れの市街地も男子の數は女子の數より幾分多いが、孔德里・江華・開城・兵營・咸平・濟州・禾北里・朝天里・咸德里・高靈・善山・舊馬山・晋州・宜寧・兵榮・東萊・鎮海・慶和洞・昌原・泗川・安岳・信川・新幕・安州・博川・楊市・鏡城・吉州・鍾城の三十都市は、女子の數が男子の數を超えて居る、一世帶當の人口數は、大抵四

人乃至五人であるが、江界の六人九分、禾北里の六人四分、新浦・遮湖・清津府・往十里の如く六人乃至六人二分に及ぶ所もある。また一世帯當人口数の少い處では端川の一人九分、羅南の三人二分、新幕の三人三分、平壤及び新義州は三人五分となつて居る。

而して内地人百名以上住んで居る市街地は二百十七箇所に達し、其市街地に居住する内地人數は三十二萬二千九百五十七人に及び、朝鮮在住の内地人總數四十萬三千十一人に對し實に八割一厘を占めて居る。右人の市街地中で、内地人の一千以上居住する所を挙げると、京城・仁川・水原・永登浦・開城・清州・公州・鳥致院・大田・江景・群山・全州・裡里・木浦・光州・麗水・大邱・浦項・金泉・釜山・馬山・晋州・方魚津・鎮海・統營・海州・兼二浦・沙里院・平壤・鎮南浦・新義州・春川・元山・咸興・清津・羅南・城津・會寧の三十八箇所に及んで居る。

商業地の戸口

朝鮮に於ける主要市街地の地勢別分布の状態は前述の通りであるが、これ等の地方はいづれも商業取引の比較的盛んな都邑である。更に府・島・面を單位とせる主要商業地の戸口數を示すと即ち左表の如くなつて居る。

主要商業地戸口一覽表 (大正十三年末)

種類別	内地人		朝鮮人		支那人		其他の外國人		合計	
	世帶數	人口	世帶數	人口	世帶數	人口	世帶數	人口	世帶數	人口
京 城 府	一九,二九三	七七,五七七	四六,〇三三	二五,九六〇	六九七	三,四九三	一三八	四三五	六六,一五一	二九,七四六
仁 川 府	二,八八四	一,一四〇	七四一〇	二九,二六〇	七二五	一,七三三	一五	三二	一,一〇四	四,二四五
水原郡水原面	三六四	一,三八七	一,八〇三	八,六四一	一六	四一	—	—	二,一八三	一,〇〇七〇
開城郡松都面	二六五	一,三五五	八,四九〇	四二,七五八	四三	二三六	一三	三九	八,九二一	四三,一八八
始興郡永登浦面	三〇一	一,一八四	一,〇四四	五,〇五七	一四	五二	—	—	一,三四〇	六,一九三
振威郡丙南面	一〇〇	三九八	一,四四八	七,一五〇	四〇	一〇二	—	—	一,五八八	七,六五〇
安城郡邑内面	六二	二二五	一,六九二	八,七六三	一六	八〇	—	—	一,七七二	九,〇五九
利川郡邑内面	七九	二七一	一,二六三	六,一九四	八	三七	—	—	一,三五〇	六,五〇二
漣川郡邑内面	七九	二三三	一,三三四	六,一三五	一〇	一一	—	—	一,四〇三	六,三七九
清州郡清州面	六九四	三,三四六	一,四三三	六,七八五	四一	一三二	七	一六	二,一五五	一〇,〇七九
同 郡芙蓉面	四四	二二三	八三二	四,二九九	二	一〇	—	—	八七八	四,四三二
堤川郡堤川面	六五	二二五	一,〇一八	九,四〇六	一〇	四五	—	—	一,八九三	九,六六六
忠州郡忠州面	二六四	九七七	三,〇三八	一五,〇七三	一八	六〇	—	—	三,三三〇	一六,〇六〇
公州郡公州面	五七一	一,七九元	一,八五五	七,三四三	四一	一五二	四	一一	二,四七一	九,二四四
大田郡大田面	一,二七六	四,八七七	六二八	二,八六六	二〇	一三二	—	—	一,八四四	七,八二五

第一章 主要商業地

市街地の商圏

全		道北				全		道南		清	
羅州郡羅州面	一四五	扶安郡乾先面	三三八	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	同郡成歡面	八九	同郡江景面	三六五
木浦府	一四四五		二二〇	金堤郡金堤面	二五三	全州郡全州面	九八五	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
光州郡光州面	一〇五一		一一八九	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
羅州郡羅州面	一四五		一八五五	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五
	六三八		一五八〇	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
	一〇四四		七三六八	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
	四九三二		三三〇六	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五
	五		一六二七五	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
	一三		七、六三三	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
			二八	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五
			四九	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
			一九一	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
			一〇四	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五
			一四	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
			四二	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
			四四〇五	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五
			二〇九六	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	天安郡天安面	二三四	論山郡論山面	一六一
			二〇九六	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	禮山郡禮山面	一〇九	燕岐郡鳥致院面	三三五
			五五八三	益山郡益山面	七七七	南原郡南原面	一三七	洪城郡洪州面	二二六	同郡江景面	三六五

第一章 主要商業地

慶		道北				慶		道南			羅						
東萊郡東萊面	一八二	漆谷郡倭館面	九八	尙州郡尙州面	三四五	慶州郡慶州面	一六七	濟州島濟州面	一三四	順天郡順天面	二〇三	麗水郡麗水面	四三三	咸平郡咸平面	六六	同郡榮山面	一八一
六八九	二,九三〇	三九一	一,八五八	一,二二七	五三三	六七四	二二五	四四八	七四七	七三一	二,三八七	一,七三三	二,七五	二,八三七	七五	一,六六五	
二,九三〇	二,四三二〇	九二八三	七,六九〇	四,〇六四	二,〇五九	三,一八	二,七〇六	四,〇四八	二,四八	二,三三三	二,三三〇	二,三三〇	九八〇	九八〇	七,七三四	六	
四	二五	一〇	五	二六	一〇	二二	二九	一〇	二五	四一	二一	二一	四	一八	三〇	六	
一	一	一	二	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三一六	一五,〇二四	一九六七	一六七五	四四三五	二二八六	三,二九四	二,二六〇	七,六〇一	二,六〇六	二,七五四	二,七五四	二,七五四	一,九〇七	一,九〇七	一,八五二	八五九	
一五,〇二四	一,八八二	八,二九〇	八,二九〇	二,二九〇	一,〇,二六六	一,五,二九五	一,二,二六六	四,一五二	一,三,二一七	一,三,二一七	一,三,二一七	一,三,二一七	一,〇,一三三	一,〇,一三三	一,〇,一三三	一,〇,一三三	

市郷地の商圏

一六

安平		道海黄			道南			尚	
安州郡安州面	八	平壤府	六五七一	瑞興郡禾回面	一九七	鳳山郡沙里院面	三八〇	同郡龜浦面	一〇六
	三八三	鎮南浦府	二一六七一	同郡兼二浦面	七二四	同郡兼二浦面	二五八五	金海郡金海面	一六七
	三、〇二〇		一九二二八	鳳山郡沙里院面	一一七九	海州郡海州面	一九三一	密陽郡密陽面	二六九
	一六八二二		八〇、一六八	同郡兼二浦面	二、九七九	載寧郡載寧面	九一	蔚山郡蔚山面	一七三
	一〇		二三九	黃州郡黃州面	一、五五〇	海州郡海州面	五七八	昌原郡鎮海面	一、二四六
	四九		七四	載寧郡載寧面	二六六	統營郡統營面	六五六	統營郡統營面	六五六
	一		四〇	黃州郡黃州面	一五五〇	河東郡河東面	一一六	河東郡河東面	一一六
	一		二二〇、〇六八	同郡兼二浦面	一、六八七	居昌郡居昌面	七	居昌郡居昌面	七
	三一八		一六六七	鳳山郡沙里院面	二、九七九	海州郡海州面	五七八	蔚山郡蔚山面	一七三
	一七一、八四		二八六三	瑞興郡禾回面	一、四七九	載寧郡載寧面	九一	密陽郡密陽面	二六九
			二〇六、六八	鳳山郡沙里院面	一、四五〇	海州郡海州面	五七八	蔚山郡蔚山面	一七三
			一〇、二六、四	同郡兼二浦面	一、四五〇	載寧郡載寧面	九一	昌原郡鎮海面	一、二四六
			二二六、六八	鳳山郡沙里院面	一、四五〇	黃州郡黃州面	一、五五〇	統營郡統營面	六五六
			一〇、二六、四	瑞興郡禾回面	一、四五〇	載寧郡載寧面	九一	河東郡河東面	一一六
			二二六、六八	鳳山郡沙里院面	一、四五〇	海州郡海州面	五七八	居昌郡居昌面	七
			一〇、二六、四	同郡兼二浦面	一、四五〇	載寧郡載寧面	九一	蔚山郡蔚山面	一七三
			二二六、六八	鳳山郡沙里院面	一、四五〇	黃州郡黃州面	一、五五〇	密陽郡密陽面	二六九
			一〇、二六、四	瑞興郡禾回面	一、四五〇	載寧郡載寧面	九一	蔚山郡蔚山面	一七三

第一章 主要商業地

鏡 咸		道 原 江				道 北 安 平				道 南						
同郡西湖面	咸興郡咸興面	元山府	平康郡平康面	原州郡原州面	鐵原郡鐵原面	江陵郡江陵面	春川郡春川面	鐵山郡站 面	江界郡江界面	定州郡定州面	宣川郡宣川面	龍川郡龍川面	義州郡義州面	新義州府	龍岡郡金谷面	成川郡成川面
五八	二,一六六	一,九一五	一五三	八一	二八〇	一五五	四四五	三二	一三五	二六四	一三三	一七〇	一五〇	一六三	六〇	四九
一九三	四,七三三	八,〇二二	五〇七	二四七	八九	五五九	一,三三四	八〇	四五	九三	四〇九	四三二	五六	五,二七	二三〇	一三一
一,三〇九	四,四二二	四,九二八	一,七三六	一,三九七	二,〇一八	一,六八〇	一,一六一	一,五四九	一,三〇〇	一,二五一	二,二四五	一,七九一	一,九五七	二,六八一	一,四三三	一,一〇九
八〇八六	二,三五四八	二,三二二五	八,七五三	六,七四三	九,九七一	八,六〇六	五,七〇五	八,二〇一	八,〇九二	六,二一六	九,七五九	八,四七六	九,九六二	二,二二六	六,四九九	六,一〇〇
四	五〇	一六六	一五	一八	二二	七	二二	一一	四七	四五	三二	二二	四一	一,八〇〇	三三	三
四	一九四	七五七	六四	三七	四四	二〇	四六	三四	九三	二五	二四	四五七	二九九	三,九五五	四六	七
一	六	一〇	一	三	一	一	四	一	二	一	七	一	八	一	一	一
一九	三三	三四	一	四	一	一	二二	一	九	一	一五	一	八	一	一	一
一,三七一	五,六三四	四,〇〇九	一,九〇四	一,四九九	二,三三〇	一,八四二	一,七二三	一,五九一	二,四〇四	一,五六〇	二,四〇六	二,〇八四	二,二五六	六,一一三	一,四八五	一,二六一
八,二八三	二,八〇三七	三,一〇一七	九,三三四	七,〇三二	一〇,八三五	九,一八五	七,〇九七	八,三二六	八,六一九	七,一五三	一〇,三〇七	九,三六五	一〇,七二五	二,三三五九	六,七六五	六,三九九

市街地の商圏

道南	道北	鏡	成	清	慶
北青郡北青面	會寧郡會寧面	同郡梧村面	鏡城郡羅南面	清津府	慶興郡雄基面
一八九	七四四	八七	一四〇一	一九四七	三〇六
五三三	二四四	二六五	五〇八四	六六五四	一,一〇一
二,八八九	二,二四四	二,三三七	一,〇三五	二,八六六	二,〇一七
一三,七〇八	九,九四二	一四,七二二	四,三〇四	一四,一八四	一一,九八八
六七	五〇	二六	四九	一五六	八四
八四	二五一	八七	一八四	六四三	二三八
一	二	一	一	一〇	一
一	二	一	三	四八	一
三,一四五	二,九四〇	二,三五〇	二,四八六	四,九七九	二,四〇七
一四,三二五	二,六二八	一五,〇六四	九,五七五	二,二五二九	二,三四二八

第二章 市街地の商圈

此に商圈と稱するは、商業及び金融上に於ける勢力範圍を意味するのである。然らば朝鮮に於ける市街地の商圈は、果して如何なる状態になつて居るであらうか。本章は則ち之を明かにする爲め、大正十四年八月二十八日附を以て、主要市街地九十一箇所に就き、府尹、郡守、島司、及び商業會議所書記長宛、左記項目の調査方を照會し、同年十二月末日迄に到着したる回答を採録したものである。

都會地に於ける商權範圍に關する件

一、銀行、金融組合、金貸業者の貸出地域、及び預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類、並に最近一箇年間の總仕入數量及び價額

(ロ) 特産品の主要仕向先、種類、並に其最近一箇年間の總數量及び價額

三、地元行商者の行商地域、及び外來行商者の地方別

而して調査の精粗長短は各地方に依りて一様でないが、略ぼ之に據りて朝鮮に於ける主要市街地の商圈の

一斑は知ることが出来やう。若し夫れ將來斯かる調査が繰り返され、又は更に調査市街地を増加さるゝに於ては、商圏推移の大勢を自ら知るを得て、産業及び財務行政上、並に商工業及び金融業等の經營上、極めて有益なる資料となることと思ふ。

商業會議所の回答に係るもの（一）京城、仁川、群山、木浦、大邱、釜山、平壤、鎮南浦、元山
府の回答に係るもの（二）馬山、新義州、清津

水原、開城、永登浦、平澤、安城、利川、漣川、清州、美江、堤川、忠州、公州、大田、論山、江景、烏致院、洪州、禮山、天安、成歡、全州、南原、金堤、裡里、井邑、茁浦、光州、羅州、榮山浦、咸平、麗水、順天、濟州、金泉、慶州、安東、浦項、尙州、倭館、慶山、晉州、東萊、龜浦、金海、密陽、蔚山、鎮海、統營、河東、居昌、海州、載寧、黃州、兼二浦、沙里院、新幕、安州、成川、廣梁灣、義州、龍岩浦、宣川、定州、江界、車轆館、春川、江陵、鐵原、原州、平康、咸興、西湖津、北青、永興、羅南、鏡城、會寧、城津、雄基

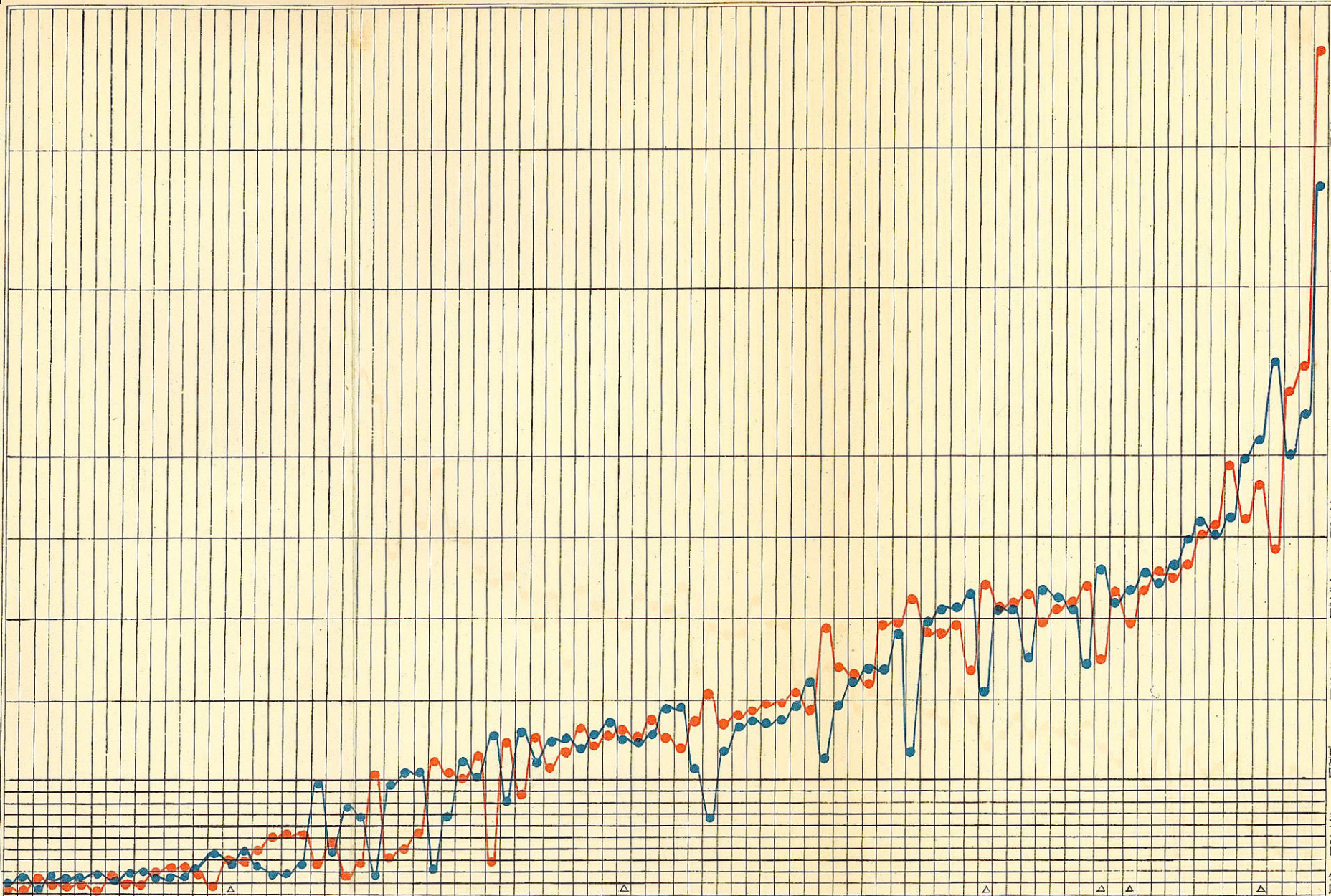
郡島の回答に係るもの

四億圓
三億圓
二億圓
一億圓
五千萬圓
一千萬圓
五百萬圓
百萬圓
五十萬圓
零圓

四億圓
三億圓
二億圓
一億圓
五千萬圓
一千萬圓
五百萬圓
百萬圓
五十萬圓
零圓

市街地の金融額対照表

●印は
○印は
△印は
十三年末現在



鐵	新	西	成	茨	車	澁	倭	黄	龍	慶	廣	原	慶	堤	永	成	平	兼	永	成	安	宣	密	雄	金	論	安	濟	南	定	河	洪	載	岳	江	安	羅	東	興	浦	順	水	義	蔚	利	沙	江	忠	江	榮	羅	興	北	麗	禮	泰	尙	天	鐵	井	平	公	金	會	光	清	開	成	城	海	全	大	金	晉	大	島	仁	裡	新	馬	居	純	清	元	鎮	京	群	水	平	釜
城	湖	津	平	江	館	川	館	州	浦	山	瀨	州	州	川	浦	歡	康	浦	興	川	城	川	陽	基	海	山	州	州	原	州	東	州	寧	浦	景	東	南	黎	浦	項	天	順	州	山	川	院	界	州	陵	浦	州	海	青	水	山	川	州	安	原	邑	澤	州	堤	寧	州	州	城	興	津	州	田	泉	州	邱	院	川	里	州	山	品	營	津	山	浦	城	山	浦	環	山	

京 畿 道

京 城 府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

京城市内各銀行、金融組合等の貸出を概觀するに、其の多くは商業資金の貸出にして、試みに市内組合銀行に於ける本年六月末帳尻用途別貸出に就て見るに、工業資金四百二十五萬九千餘圓、農業資金一千四百九十萬餘圓に對して、四千五百六十六萬二千餘圓の商業資金を占むるに徴しても、其の貸出が商業方面に大部分運用さるゝを窺ふに足る、従つて當地商業の中心地とも稱し得べき内地人側に在りては本町通り、朝鮮人側に在りては鍾路通りを以て之が主要貸出地域と見て大過なく、又預金者の利用範圍は定期及當座預金に於ては、内鮮人を通じて商工業者大部分を占め鍾路通り、黄金町通り、本町通り、南大門通り等の商業地域に多く、小額預金に於ては多くは之等商工業者にあらざる一般俸給生活者其の他によりて占有さるゝものと思料さる。

大正十三年十二月末帳尻

市内組合銀行預金貸出高

預金總高

七千六百七萬七千四百五十二圓

貸出金總高

一億五百五十八萬四千四百十六圓

二、(イ)

内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)仕入先、主要商品の種類、並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

當地に於て取引さるゝ一般商品の仕入先を大觀するに、移入品に在りては其の八割迄を大阪とし、神戸、下關之に亞き、輸入品に在りては支那を以て最多とす。

而して移入品中主要なるものは、生金巾及生シーチング、絹織物、ジーンズ、綾金巾及雲齊布、砂糖、綿織物、紙類、セメント、機械類、鐵類、陶磁器、小麥粉、毛織物、燐寸、清酒、ビール等にして、輸入品中主要なるものは、米及粳、粟、鹽、支那麻布、柞蠶絲等にして、大正十三年中之等輸入高は總計二千五十四萬三千二十九圓を計上し、輸入高に於て八百五十萬九百六圓、移入高に

於て一千二百四萬二千二百二十三圓を示せり。

右は單に京城稅關輸入高のみにして、此の外仁川稅關經由の輸入品あり、推定其の七割までを京城に搬入するものと見て大過なし。大正十三年中仁川に於ける輸入高は移入高四千七百四十一萬三千八百八十七圓、輸入高一千八百六十八萬一千八百三十二圓、合計六千六百九萬五千七百十九圓を示せり。

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類、並に其最近一箇年間の總數量及價額

當地に於ける特産品として擧ぐるに足るべきものは、高麗燒、螺鈿漆器、朝鮮紙、莞草製品、天日草編物等なるも其の産高極めて少なく、従つて之が輸出高の如きも計數判明せず、仕向地は朝鮮紙の支那方面へ輸出さるゝ外は、總て内地大阪、東京方面に移出さる。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

外來行商人は朝鮮人向商品に在りては、其の大部分を開城商人とし、内地人向商品に在りては、僅に賣藥をば富山、大和、其他の地方商人によりて行商さるゝに過ぎず、又地元行商人に在りては、廣く鮮内各主要都市に亘りて各種商品を行商し、自己の商圏擴張に努めつゝあり。

參 考 表

京城府内に於ける金融狀況一覽表

銀行 (大正十四年五月末現在)

銀行名	種別	本店所在地	府内に於ける營業所	公稱資本		拂込済		諸積立金	諸預金	諸貸出金	
				金	千円	金	千円				
朝鮮殖産銀行	銀行	京城	一	八〇,〇〇〇	千円	五〇,〇〇〇	千円	一一,五八五	八二,〇九二	千円	九〇,七二五
朝鮮商業銀行	銀行	同	一	三〇,〇〇〇		一五,〇〇〇		二,八五三	一八,二〇〇		六七,六三三
漢城銀行	銀行	同	五	六,〇〇〇		三,七五〇		三,八〇〇	九,四四二		九,八四七
朝鮮商業銀行	銀行	同	六	七,二二五		三,八七五		八一九	九,五六八		一一,二七一
韓一銀行	銀行	同	五	二,〇〇〇		一,六二五		六二〇	五,八三二		五,〇二二
海東銀行	銀行	同	一	二,〇〇〇		五〇〇		五	五三七		七七一
第一銀行	銀行	東京	一	五〇,〇〇〇		五〇,〇〇〇		四四,八〇〇	九,四五七		四,六一七
安田銀行	銀行	同	一	一五〇,〇〇〇		九二,七五〇		五〇,六五一	三,七二〇		一九,四七
十八銀行	銀行	長崎	三	一五〇,〇〇〇		八六五		二,二二五	三,七九一		二,三三三
山口銀行	銀行	大阪	一	五〇,〇〇〇		二七,五〇〇		八,四〇〇	一,八六八		一,五三三
合計			二五	三九二,二二五		二五三,六二五		二二二,二二八	一四三,四九七		一九五,五六〇

金融組合 (大正十四年五月末現在)

組合數	組合員數	拂込濟出資金	諸準備金	借入金	諸預金	貸付金	純益金	損金
七	一、八九三	三五、二二四 ^円	八九、四八〇 ^円	六三、二〇〇 ^円	一〇、九八、八四八 ^円	一、三三、二七八 ^円	四八、七六五 ^円	一、六、九八四 ^円

貸金業者 (大正十四年四月末現在)

營業者數 貸出金額

内地人	朝鮮人	支那人	合計	法人	内地人	朝鮮人	外國人	合計	法人
一三六	二四三	三	三八一	二七	二、三、七、四〇〇 ^円	二、四、五、八、七〇〇 ^円	一、四、〇、〇〇〇 ^円	四、七、〇、〇〇〇 ^円	五、三、七、四、四七五 ^円

京城に於ける大正十三年中の重要商品輸移入額

品名	數量	價額	主要仕出地
米	二八六、八〇〇 ^斤	一九、〇一三 ^円	支那
粟	三三、六、六六〇	一、九二、六〇二 ^円	同
黍	二五、二八、七〇〇	一、五二、二八一 ^円	同
小豆	三、四一、七五〇	二、九三、六四三 ^円	同
綠豆	二、四九〇、八〇〇	二、一〇、八八八 ^円	同
胡麻子	一、八八、二四九	二、二一、六三五 ^円	同
酒	一五七、四八九 ^利	一、三九、八八一 ^円	神戸、大阪、下關、門司
清酒	一五五、九九五 ^升	一、八〇、三三八 ^円	神戸、大阪、下關

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

革	類	八九、七四五	一斤	米國、支那、英國
賣	藥	一		東京、大阪、下關、神戸
綿	フランネル	一三八、四一九	方碼	大阪、下關、支那
生	金巾及生シーチング	一、四三、五五一		大阪、神戸
白	木綿	一、〇七、七三二		大阪、下關
小	倉織	三四三、二八七		大阪、名古屋
ポ	ブリ	一九〇、二一八		大阪
綿	木綿	四九、八六六		大阪、神戸
ジ	ー	四一五、三九一		大阪
綾	金巾及雲齊布	八五〇、五一一		大阪、東京、英國、米國
支	那麻布	四七六、八七五		支那
毛	製羅紗及セルヂス	六一九、二二〇		神戸、大阪、東京、英國、支那
毛	織製羅紗及セルヂス	一三九、五〇五		大阪、神戸、英國、支那、米國
及	ラスタルス類	一四六、四一七		英國、大阪、横濱
モ	スリ	四五七、八一六		大阪
緞	子及織子	三九二、八六五		大阪、支那
縮	緬	五一、六五七		大阪

羽	二	一〇六、三四三	二六、二七〇	大阪、神戸
銘	仙	一三四、三三〇	一三八、九〇二	大阪、東京
府	紗	七四、二〇五	一六一、二〇三	支那
官	紗	一〇八、四四五	二四一、〇二六	同
寧	紬	二五九、七〇〇	五八七、八〇六	同
衣服及同製品		—	一四三、三五六	大阪、東京、名古屋、米國
紙類		四〇〇、九二〇	三五、四二八	英國、米國、支那、佛國
鐵製	品	—	二五、三二九	支那、獨逸
鐵製	品	—	五一、四三四	米國、獨逸
自動車及同部分品		—	一〇五、三六七	米國
木材		—	三六三、二九八	支那
豆	糟	二一七、二〇〇	一〇六、三七九	同
砂	糖	四二八、五九三	七〇、八六五	下關、門司、神戸
其他		—	八、八七九、八七〇	
合計		—	一〇、五四三、〇二九	

京城に於ける大正十三年中の重要商品輸出移額

市街地の商圏

三〇

品目	數量	價額	主要仕向
精米	六八七石	一一,〇三五	支那
葉煙草	五六七,六八斤	三五〇,三七七	支那、香港
其他の煙草	—	一〇,三七一	支那
牛皮	一〇七,三五四	四八,八二二	同
綿織物	一三〇,八四〇 <small>方碼</small>	五九,〇八三	大阪、博多、東京、支那
衣類及同附屬品	—	二九八,四二五	東京、大阪、下關、神戸
朝鮮紙	二二,一九四斤	二六,三八	支那
諸器械及船車類	—	二五,五八〇	同
木材	—	九,九四一	同
其他	—	三九,九三三	同
合計	—	一,一三九,二四五	—

京城府内各驛發着主要商品一覽表 (大正十二年)

品目	發着			送			到着		
	驛名	噸	價	驛名	噸	價	驛名	噸	價
米	京城驛	二八五三	—	京城驛	四七九	三六,一九一	京城驛	—	—
	龍山驛	一七四〇	—	龍山驛	—	—	龍山驛	—	—
	清涼里驛	四六	—	清涼里驛	—	—	清涼里驛	—	—
及	往十里	—	—	往十里	—	—	往十里	—	—
	計	—	—	計	—	—	計	—	—
	京城驛	—	—	京城驛	—	—	京城驛	—	—
粗	龍山驛	—	—	龍山驛	—	—	龍山驛	—	—
	清涼里驛	—	—	清涼里驛	—	—	清涼里驛	—	—
	往十里	—	—	往十里	—	—	往十里	—	—
計	—	—	計	—	—	計	—	—	
計	—	—	計	—	—	計	—	—	

麥	三五	二五一	一	一	五八六	四,九三五	九,三四五	三〇	一四,三三〇
大豆	三〇二	一四	一	一	三七	一,一五四	一〇	六一	一,三七二
粟	五,一七五	一九六	一三	二九	五,五二二	一九,三八〇	四二〇	一	一九,八三三
雜穀	一九三七	四三七	二七	二	二,六八九	一〇,四八四	一四三	七五〇	一一,四六七
麥粉	三九六	四,四四五	一	一	四,六四一	二,二六一	九一	一	二,三三三
鮮魚	二〇七	一〇八	二	一	三七	二,三三七	一五九	三	二,四九一
鹽乾魚	六三〇	七七一	五九	三	一,四三三	四,三四六	三三	一八	四,五〇四
鹽糖	一九	二九九	六	九	三四三	三四三四	八七四	一二	四,六八〇
砂糖	二二	九	四	一	二五	三七四一	一一一	一	三八五一
野菜	七七	八一	六	六	一,〇〇四	七,〇〇一	三四四	三七〇	八,一三〇
果物	一,〇八七	七三	二二	三七	一,四二八	七,三三一	一六一	一〇七	七,六九一
和酒	三六二	二五	九	一	三九六	二,九五九	一五七	一	三,一一六
麥酒	六九三	二九	一	一	七二	二,六七	四	一	二,六七五
水	一	一,四三〇	一	一	一,四三〇	一	一	一	一
葉煙草	三,三三三	一	一	三,三三三	四,八八七	六二	六二	二三	四,九六一
刻卷煙草	七,三七〇	一	一	七,三七〇	六三六	一	一	一	六三六
藥品藥材	一〇,五三三	三〇一	一	一,三五六	一,九五六	一三四	二八	三	二,三二一

市街地の商圏

綿	布	二二七	—	六〇	二二	二二八九	五、二五五	三八	—	五、二九八
紙	類	一二三	一五	—	二二	一、二五八	六、六八四	五六	—	六、七四〇
陶	磁器	一一六	九二	三〇	—	二三八	九九七	七七	五七	一一九五
金	屬類	一九四	一五四〇	三〇	七	三、五二八	八、三九一	四、一七六	三四二	六、七二
金	屬類	一七三九	二、一六三	二六四	二二	四、三七九	四、五九一	一、七四六	八四	六、四六
家	具類	一、七四四	三四三	三〇	三三	二、二四〇	一、八七	三〇〇	三二	二、一八〇
繩	具類	四五六	四七一	四	一五	九四六	七〇	五八九	三九	一、三五八
肥	料	四、二三五	九三	七	一〇	五、二七四	二、二八九	六八〇	一九	三、〇二
生	牛	一〇五	四〇	一五	—	一六〇	二四二	五五	二、一九九	一、四九六
牛	皮	八〇三	三二	三三七	二	一、〇六四	六二二	二	一五九	七、七九
石	油	三九八	四八	—	—	四四六	一、八九一	一九一	—	二、〇八五
薪	—	—	—	—	—	—	三、八五四	一、四三一	—	二、三三三
木	炭	一三二	一七八	—	二	—	一、七四四	二、八九	—	一、〇八八
石	炭	三、一九四	二、〇六九	—	一九〇	五、四三三	四、〇二七	六、〇四七	四七三	五、三三七
骸	炭	三六	一、二二五	八	—	一、二七〇	八三	一、八七三	—	一、〇六
煉	炭	—	四四	八	—	五一	九、八八三	二、〇三五	二一七	—
杭	木	一八	四一六	一三	—	五六六	一四五	一、三〇二	一四九	三六

木	材	一,三九八	五,七四二	一,五四	四一	七,三三四	二,三,三九二	二,七,四七五	二,六,九三	五,八五	五,四,一四五
石	材	四七九	八	二	九五	五,八四	二,一,二五	二,〇一	三,〇九	八四	二,七〇九
煉	瓦	二三	一	一九	一	三三	一,一四一〇	三	五,〇七三	一,五六	一,六,六四二
瓦		六	二七四	一	一	二八〇	一,三六	一,二八六	一	二二	一,四四四
石	灰	一九二	二六四	三	二	四七〇	二,三,八六	二,五五	二六	五	二,六七二
セ	メント	九八二	四九二	二	一	一,四七六	九,〇六〇	四,二七一	四,三六	四,一九	一,四,一八六
砂	利	一	二八	七六	一	二〇六	二,八七	四,八八	一	一	三,三二五
石	粉	五八	四	一	一	六二	三,一六七	一,五三	一一二	一	三,四三二

仁 川 府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

仁川所在各金融機關の總貸出高（頼母子を含ます）は大約三億圓、預金一億二千萬圓と稱せらる、而して大正十三年末現在貸出及預金高左の如し。

1 銀行業者扱

（單位圓）

貸出金用途	京畿道（主として仁川府内）	其他鮮内	内地	支那	滿洲	合	計
商業	資	金	一六,三七六,六五	五八六,〇六三	一一,五三〇,九〇	一八六,七四七	一八,三〇二,五二五

市街地の商圈

三四

工業資金	三三二,〇三	一〇,〇〇〇		三四一,〇三
農業資金	二七,九三	—	—	二七,九三
官廳團體其他	一四〇,八七	—	—	一四〇,八七
合 計	一七,二一,五二六	六〇,〇六三	二,二五三,〇九〇	一八,六,七四七
				一九〇,五七,四一六

商業資金及工業資金	一、〇八九,三二三 ^円	其 他	一一,六〇〇 ^円
合 計	一、一〇一,九二三		

(貸出地域は京畿道主として仁川府内)

3 金 錢 貸 付 業 及 其 他

内地人當業者に於て約八十萬圓其の八割は商業資金にして、京畿道を主とし忠清南道これに次ぐ、鮮人當業者に於て約三十萬圓と稱せらる。

4 預 金 者 利 用 範 圍

(銀行、金融組合、仁川無盡會社、朝鮮信託會社)

利 用 者 業 別	京畿道(仁川府内)	其 他 鮮 内 府 内	地 支 那 滿 洲 合 計
商 業 者	四,五〇,二六八	五,一八,五〇〇	一八,五〇〇
			六,二〇〇
			五,〇四,五八八

工業業者	七〇,四三一					七〇,四三一
水產業者	二二,三〇〇					二二,三〇〇
農業者	二二,七二四	四,七二〇				二六,四四四
官吏及自由業者	二,四五五,五四	四,七一〇				三,一九四,〇五二
其他	九六,九二五六	五,〇〇〇	八三,一二三	二〇,一八〇八		一二,五九,一七七
合計	六,八二,八八六	五七,五三六〇	一,三二七,七四三	九,九三,二四三		九,七〇八,三三一

二、仁川貿易主要貨物各國商人別扱狀勢

大正十三年中仁川港貿易額國別 (單位千圓)

總計 輸移出 六〇、一五二 輸移入 六六、〇九九 合計 一二六、二五一

內 譯

國別	輸移出額	輸移入額	合計	國別	輸移出額	輸移入額	合計
內地	五五,五〇四	四七,四七	一〇二,九二	英吉利	二	三,三八三	三,三八五
支那	四,三七三	九,〇七三	一三,四四六	佛蘭西		四八	四八
香港	二五一	一〇八	三五九	獨逸		三七五	三七五
英領印度		一七四	一七四	北米合衆國	二三	五,〇〇九	五,〇三一
蘭領印度		六二	六二	其他		四五〇	四五〇

合 計 六〇、二五二 六六、〇九九 一三六、二五一

今之れを中繼品額と仁川在住商人扱に區別せんか大約左の如し

仁川商人扱

輸移出額中九割 輸移入額中三割弱

而して國別貿易額を其の主要品に就き各國人別に示せば左の如し

内地對貿易 移入品中鮮人向絹布は昨年八月より實施せられたる贅澤品關稅關係に依り、支那製品の入荷絶え、在鮮支那人間に内地直移入の傾向ありと雖も其の數未だ計上するに足らず、綿絲布雜貨等支那人及朝鮮人間に漸く直入の狀勢にあるも其の量僅少なり、殊に移出品にありては全部内地人扱とす。

對支那貿易 輸出品にありては其の額四百三十七萬餘圓中水産物、其他食料品、麻布、朝鮮紙等約八十萬圓を當地在住支那商人の手に依り輸出せらるも其他は殆んど内地人扱とす、而して海産物、紅蔘、白蔘、莖蔘、朝鮮紙、葉煙草、藥材等二百六十萬圓が支那人向にして、殘額百七十七萬圓は在支那人の需要に供せらる、又輸入品にありては其額九百七萬餘圓中大宗たる支那麻布を首め晒金巾、滿洲粟、落花生、乾柿、棗、鹽、綿絲、絹織物、大椒、支那靴等八百五十萬圓迄を在鮮支那人（仁川商人大部分）の占有に係り、邦人扱は粟の一部、葉煙草、肥料、牛脂、硬化油、コークス、石炭、麥稈真田等六十萬

圓に足らず、殊に鹽の五十萬圓を差引き（内地人扱たる）たる外は鮮内分布も又彼等の手に依る。

對香港貿易 輸出は葉煙草のみにして京城より仕出し、輸入は支那麻布及胡椒にして在鮮支那人扱とす。

對英領印度貿易 胡椒、茶、木材等在鮮支那人及英國人に依りて輸入せり。

對米貿易 輸入額五百萬圓中石油を首め油類其の過半額を占め、米國人に依りて扱かはれ、乾果、タバコ、煙草、珈琲、織物等在鮮支那人扱多し「コンデンスミルク」鐵類、木材、小麥粉等主として邦商扱にして、機械類、毛織物、機械類、印刷料紙等米英在鮮商人に依りて扱はる。

對英貿易 輸入額三百三十八萬餘圓中晒金巾及晒シート、ジーンズ、綾金巾其他織物類が其の大部分を占め、在鮮支那人の扱に係る毛織物、綿縫絲等は在鮮英商の扱にして、鐵、木材、毛織物の一部、印刷料紙等邦人の扱とす。

對佛貿易 輸入の主なるものは洋酒にして邦人及英商の扱とす。

對獨貿易 輸入品爆發藥、染料、織物類、リノリユーム、機械類、文房具等にして、當地在住獨商の扱ひに係る。

一、仁川港主要商品集散概況

朝鮮産米 近年鮮米の聲價大いに昂り殊に當地は精米の優良品製産地として普く内外に知られ、當業者の堅實なる商業振と海陸交通機關の便と相俟つて集散量増大の趨勢にあり、本年中搬入高は粳、玄米合計百七十五萬石此額實に五千萬圓を計上せり、内鮮人に依りて扱はれ京畿四割、忠南二割、平北一割六分、黃海一割三分、其他一割一分の割合に廻着し當地消費量は玄米換算にて四萬五千石乃至五萬石とす、積出は全部在鮮内地人の手に依り、白米六割五分、玄米三割、其他五分の割合にして仕向地は大坂七割六分、名古屋・神戸の各六分、東京・横濱・尾の道・關門地方、其他合計一割を算し支那（大連・青島・芝罘等在留日本人の食料とす）二分の割合とす。

外國米 朝鮮米の減收と相場高調に因り代用食糧品として輸入益々増加の傾向あり、全部内地人に依りて扱はれ九萬七千石二百四十萬圓を算す、神戸經由八割、大阪及關門の各一割宛にして仕向先は京畿三割、忠清南北四割、黃海道二割、其他一割とす。

大豆 朝鮮産大豆は近年減收續きの爲廻着激減、本年中三十六萬石、七百三十萬圓を計上するに過ぎず、内鮮人に依りて扱はれ京畿六割、黃海三割、其他一割にして移出は全部内地人の手に依り大坂三割、鹿児島一割二分、尾の道一割五分、京濱八分、名古屋一割、其他二割五分の割合とし、大連及青島方面にも一千四百三十石、二萬六千圓を算せり。

小豆及落花生 朝鮮産品は主として鮮人に依りて扱はれ三千石（五萬二千餘圓）の廻着あり、仕出地は京畿及黃海の兩道にして、移出は一千二百石を算し大阪・神戸・横濱・下關地方に仕向らる、北海道産は内地人に依りて扱はれ約一千石を算し、下關及神戸を經由移入す、大連及芝罘より輸入するものは約二千六百石を算し在鮮支那人に於て扱ふ。

落花生 本品は大連より五割、芝罘及上海より二割五分宛の輸入あり七十萬斤、七萬四千餘圓を算せり、全部汽船便にして在支那人の扱ひに係る、仕出地は京仁及京釜沿線及黃海道地方に及ぶ。

滿洲粟 其の大部分が支那商の手に係り内地人扱は一割餘に過ぎず、仕出地は主として長春・四平街・海城・遼陽・奉天等にして該地方よりの移入は全部鐵道便とす、之れは産地對運賃關係に因るものにして大連及芝罘より船便に依り輸入したるものは約一割五分に過ぎず、其他京城より廻着を見たるもの三千六百餘石を合し搬入計三萬二千石、五十二萬餘圓を計上したり、仕向先は京畿・黃海・忠南の各沿岸二萬一千石、京城・開城・鐵原地方六千石、其他京釜線地方とす。

小麥粉 四十一萬一千五百餘袋の搬入あり内支那人扱六千五百餘袋にして其他は全部内地人の扱ひに係る、仕向地別に示せば京城及龍山二割、門司二割、神戸一割八分、下關一割五分、米國一割三分、其他一割四分の割合とす、前年迄は龍山豐國製粉會社製品の搬入相當ありしが工場罹災後は移入粉再び増

加の状態にあり、搬出は京仁間の十三萬八千袋を首め京釜沿線大田迄の十九萬七千八百餘袋、京畿・黄海沿岸地方に六萬五千餘袋等にして其他を各地に搬出分布せり。

砂糖 六萬二千餘袋、百六十一萬餘圓の搬入あり、平壤より四割、下關二割、門司二割五分、其他五分の割合とす、内支那及香港より百俵足らずの輸入を支那人に於て扱はる、外は全部内地人の手に依れり、搬出は京仁四割、京釜沿線一割五分、京義・京元の各一割、黄海・京畿沿岸の二割、其他五分の割合とす。

鹽 原鹽と官鹽合計搬入數は八千五百餘萬斤、八十五萬圓にして官鹽（朱安）二千四百萬斤、戎克鹽（裨島及石島）四千七百八十餘萬斤、青島鹽八百六十萬斤、關東州鹽（大連）五十萬斤、臺灣鹽四百五十萬斤等とす、而して戎克鹽は在支那人及内地人の手に係り其他鹽は全部内地人に依りて搬入す、仕向地を大別すれば京釜線（大邱迄）四割、京元線二割八分、京畿・黄海沿岸二割、其他一割二分の割合とし内地人八割、鮮人一割五分、支那人五分の割合を以て扱はる。

海産物 鮮魚は京畿・黄海沿岸より搬入するもの九割を占め、其他忠南及全北沿岸、内地（九州）より搬入するもの約一割とし約四十萬圓を算す、而して其の七割は内地人の扱に係り、三割を朝鮮人扱とす、搬出先は京元間約八割五分、其他内地及支那等約一割五分とす。鹽魚の搬入は鯧、鮭、鱒等六百六十萬斤（約八萬圓）は北海道産にして神戸及下關經由にして移入す、北米産鯨も亦神戸より二萬一千餘

斤（三萬一千圓）を移入せり、之等は皆内地人の手に係り黄海・京畿の沿岸より搬入するものは約二十六萬圓と稱せられ、其の八割迄は鮮人扱とす、搬出先は京釜線大邱迄其八割を占め、其他京義・京元沿線一割、支那及内地に一割を輸出せり、内地及支那向中一割二分迄は内地人扱にして、在留日本人の食料とし、支那人扱は全部支那人向とす。乾魚は明太魚を主とし元山及其の附近より約七割、近海沿岸より二割、其他一割の割合を以て搬入し、此の額六萬六千餘圓を算す、全部鮮人扱にして京城六割、京釜線二割、忠北線地方一割、其他支那及鮮内各地に一割を搬出せり。

水産製品（煎子、海參、石花菜、乾鱈、貝柱、眞海羅、袋海羅）煎子中玉筋魚は黃海道産にして十六萬斤四萬餘圓を搬入し、内地人扱にして下關・神戸・静岡地方に移出す、煎鱈亦黃海道に産し内地人の扱にして十八萬斤、七萬二千餘圓を算し外に慶北浦項及釜山等よりの廻着品四萬五千斤、一萬九千圓を算す、仕向先は京城四割、京釜沿線一割五分、京義・京元各一割、内地一割五分、其他一割とす。貝柱は黃海道沿岸地方より搬入し約四百個六萬圓を算す、其の八割迄は支那人の扱にして芝罘・安東・大連・天津・青島地方に仕向らる。乾鱈及竹鱈は京畿沿岸地方より二千九百個、十三萬餘圓を算し、鮮人の手に依りて搬入し、支那人に依りて芝罘・石島（山東省）等に輸出するもの其の七割を占め、其の他は内地人に依りて長崎及神戸に仕向けたり。海參十七萬斤、此額三十萬圓に達す、黃海道沿岸地方より

搬入するもの八割、釜山・黒湖・麗水等より二割の移入あり内地人に依りて扱はる、本年輸出数は三十萬七千餘斤、二十二萬五千圓に上れり。仕向先は芝罘大連・青島・天津・安東・上海・奉天等其八割五分を算し支那人に依りて扱はる。其他は長崎及神戸に一割これは内地人扱にて、其他は京城へ仕向け支那人扱とす、乾鰾、五千個、十三萬圓を算す、仁川近海諸島より搬入し、内地人扱にして長崎五割、下關及神戸の各二割、支那五分、京仁間及其他五分の割合とす。袋海蘿一千二百個、七萬五千圓を算す、黃海道沿岸地方より搬入し東京五割、大阪三割、其他内地に一割、當地消費一割の割合とし内地人の扱に係る。魚肚、鱸の「ふき」を乾燥せるもの二萬餘圓に上る、黃海道沿岸地方より搬入し朝鮮人の扱に係る、仕向は支那商の扱にして芝罘七割五分、大連三分、青島一割二分、其他一割の割合とす。

酒 内地酒の移入高四千五百八十石五十二萬圓の内仁川商人扱一千八百石二十萬圓、仕出地は神戸六割大阪三割其他一割の割合とし、朝鮮産酒八百石の搬入あり、仕出地は京城四割平壤四割五分其他一割五分とす、本品は當地に七千石の醸造あり七十萬圓を算す、以上搬入及醸造石數合計は九千六百石約一百萬圓（仁川商人扱のみ）を突破す、仕向地は京城三千八百石、元山・咸興を中心とする北鮮地方三千石、京釜線大邱迄千六百石、其他鮮内千餘石、支那（大連青島其他在住日本人用）四百石、内地（樺太・關西地方）七百石等とす。

醬油 仁川釀造高一萬一千餘石、内地よりの移入一千二百石、京城より百五十石の搬入あり、此の額實に一百萬圓に達す、仕向地は京畿道三割、京釜線大邱迄三割五分、其他鮮内二割四分、支那・滿洲及内地一割一分の割合とす。

綿絲(單燃絲) 輸移入數六十六萬八千斤六十九萬五千圓中當地商人の手に依り扱はれたるもの二十七萬二千餘斤二十八萬圓にして大阪五割神戸及關門支那の各二割五分宛とし英米計五分の割合とす、京城其他鮮内より五萬斤五萬餘圓の搬入ありたり搬入數を各國人別に示せば内地人八割支那人二割とす、搬出は京城五割京義線三割其他沿線一割京畿黃海沿岸一割の割合とし在支那人四割内地人六割の割合とす。

綿布 當地輸移入數は生金巾及シーチング二千八百二十二萬五千方碼八百八十二萬五千圓、晒金巾及晒シーチング七百三十一萬七千方碼三百三萬三千圓中、當地在住商人扱は前者に於て三割八分、後者に於て六割七分の割合を示し、京城其他鮮内より搬入せるものを合せば六百三十八萬餘圓を算す、各仕出地別及扱人別左の如し。

品名	大	阪	其他	内地	鮮	内	支	那	内地	人	支	那人
生金巾及生シーチング	九	割	三	分	五	分	二	分	九	割	一	割

品名	大阪	英國	其他	内地人	支那人
晒金巾及晒シーチング	四割	五割五分	五分	四割	六割

今之れを仕向先別に示せば（生晒合計）左の如し

京城五割、京釜線二割五分、京義線一割、京畿・黄海沿岸一割、其他五分而して内地人扱六割、支那人扱四割の比率なるも、支那人扱中約一割二三分方は内地人より買求め轉送したるものなり。

鐵類（篠、竿筒、板、電鍍板）當地に輸入するものは一萬六千噸、二百十七萬一千餘圓を計上し、内八割迄は京城營業者の扱に係り、當地商人の手に依るものは其の二割に足らず、而して京城より到着を見るものは二千噸にして價額三十萬圓を算し全部内地人扱とす。

以 當地に搬入する以は一箇年二百八十萬枚にして、京畿道産四割五分、全南産五割、忠南北産五分の割合とし、其の八割五分を當地にて消費し、京釜線大田迄に八分、支那・滿洲仕向七分とし、其の八割迄は内地人の扱とし、朝鮮人扱は二割に過ぎず、滿洲及支那に仕向らるゝものは在支那人に依りて扱はる。

三、地方行商者の行商地域及外來行商者の地方別

行商者の狀況不詳

開城郡松都面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

銀行の貸出地域は開城・長湍・坡州・金川・平山・延白の六郡にして、金融組合は開城金融組合と松都金融組合なるが、開城金融組合は開城郡及び長湍郡の内津西面を貸出地域とし、松都金融組合は松都面のみを貸出地域とす、金貸業者は開城・長湍・坡州・延白四箇郡を貸出地域とす、預金者の是等機關を利用する範圍としては別に特記すべき事項なきも、銀行に於ては信用貸と擔保貸付の二種ありて、預金者にも此等に準し貸付するものにして別に利用する範圍に制限なし。

金融組合に於ては組合員の信用貸は二百圓乃至五百圓にして、擔保貸付は該物件時價に對し五割乃至七割迄貸付し、組合員以外のものには預金あるも貸付せず。

金貸業者は普通擔保物に依り貸付するの外特記すべき事項なし。

最近一箇年間の總金額 (大正十三年度末現在)

預	金	額
一八、四三六、三二四・三八		^円
貸	付	額
五、九〇八、〇三〇・〇二		

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内 地 人	卸 小 賣 別	仕 入 先	商 品 の 種 類	數	量	價 額
同	小 賣 商	同 京 都、大 阪	織 物	同	一〇〇 <small>後</small>	三〇、〇〇〇 <small>円</small>
同	同	同	同	同	六八五 <small>足</small>	二、五〇〇
同	同	大 阪	化 粧 品	同	同	二、〇〇〇
同	同	同	メリヤス製品	同	同	六、〇〇〇
同	同	同	文 具	同	同	九、〇〇〇
同	同	同	帽 子 類	同	同	九〇〇
朝 鮮 人	卸 賣 商	大 阪、支 那、安 東 縣	織 物	同	一、〇〇〇 <small>後</small>	三五〇、〇〇〇
同	小 賣 商	同	同	同	一、〇〇〇	三六〇、〇〇〇
同	同	同	化 粧 品	同	同	一五、〇〇〇
同	同	同	メリヤス製品	同	同	五〇、〇〇〇
同	同	同	文 具	同	同	三五、〇〇〇
同	同	同	帽 子 類	同	同	六、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種 類	一箇年生産數量	價 額	仕 向 地
人 蔘	一五二、六〇九 <small>斤</small>	一、八三二、三〇八	朝鮮、内地、支那及歐洲方面

白	茶	一二八六六	九、〇三二	京城、仁川及黃海道方面		
白	茶	種	子	一七六	二九、九一〇	鮮内、内地
茶	果	一六、九八七	一六、九八七	鮮内、内地及支那方面		
松	高	織	二六五、四〇〇	二四二、二五〇	朝鮮、内地、支那及歐洲方面	
防水	布	製品	二二三、〇〇〇	一九、一七〇	京城、仁川及黃海道方面	

三、地元行商者の行商地域及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 黃海道兎山・屢川・文區・汗浦・南川・金川・沙里院・興水院・新溪・新幕・

延白・谷山・金郊

京畿道長湍・坡州・漣川・九化・高浪浦

江原道鐵原・伊川・平康

忠清南道天安・禮山・青陽・江景

外來行商者の地方別 京畿道坡州・慶尙南道釜山

水原郡水原面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

1 貸出地域

漢城銀行支店

水原・振威・龍仁・始興・安城・利川の各郡

殖産銀行支店

重なる貸出地域は上記地域の通り

華城金融組合

水原・日荆・儀旺・半月・梅松・峰潭・安龍・台章の各面及龍仁郡器興面・

水枝(面)なり

水原金融組合

水原面

貸金業者

水原郡内龍仁・其他隣郡

2 預金者の金融機關を利用する範圍

預金者の住所は概ね上記の項各號の地方にして、利用する範圍は信用貸、貸越等特別の利便を得、

之が利用金の使途は殖産興業的事業即ち農工商の改善發達の資金に流通し居れり。

3 最近一箇年間の總金額 (大正十三年度末現在調)

漢城銀行支店

貸出高

七一四、〇〇〇^円

預金高

七三五、〇〇〇^円

殖産銀行支店

同

八〇〇、〇〇〇

同

八三〇、〇〇〇

華城金融組合

同

七九、〇〇〇

同

一七〇、四〇〇

水原金融組合 同 五二二,〇〇〇 同 六一六,〇〇〇
 貸金業者 同 一〇〇,〇〇〇 同 二〇〇,〇〇〇

二、(イ) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の仕入數量及價額

商人別	營業別	仕入先	主要商品の種類	最近一箇年間の仕入數量	價額	備考
内地人	卸	内地、京城、仁川	綿布	一〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一、商人別欄の外國人は支那人なり
同	小	京城、仁川	同	六,〇〇〇	六〇,〇〇〇	
朝鮮人	卸	内地、京城、仁川、平壤	同	一〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二、問屋なし
同	小	京城、仁川	同	七〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇	三、價額は圓を單位とす
小計				一八六,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	四、最近一箇年間は大正十三年末現在
内地人	卸	内地、京城、仁川	砂糖	七,〇〇〇	二六四,五〇〇	
同	小	京城、仁川	同	五〇〇	二七五〇	
朝鮮人	小	同	同	五〇〇	二七五〇	
小計				一八,〇〇〇	一八八,〇〇〇	
内地人	卸	滿洲及内地	麥粉	三,五〇〇	一七,五〇〇	
朝鮮人	小	京城、仁川	同	二,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
外國人	小	滿洲、京城、仁川	同	二,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
小計				七,五〇〇	三七,五〇〇	

市街地の商賈

同	同	内	小	朝	内	小	朝	内	朝	内	小	朝	内	小	朝	内	朝	内	
卸	小	小	計	人	人	計	人	人	人	人	計	人	人	小	人	人	人	人	
内地、仁川、京城石油	同	内地、京城、群山硫安		同	滿		同	同	同	同		同	同	同	同	同	同	同	
	過				洲					川、京城原鹽					仁川、京城外地米			滿洲、京城滿洲粟	
七、〇〇〇 <small>〇箱</small>	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇 <small>噸</small>	一八八、〇〇〇	八、〇〇〇	一八〇、〇〇〇 <small>噸</small>	四八七、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二七二、〇〇〇 <small>噸</small>	一、五〇〇	五〇〇	一〇、〇〇〇 <small>噸</small>	二八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一八、〇〇〇 <small>噸</small>	一八、〇〇〇 <small>噸</small>	一六四、〇〇〇
六三、三〇〇	一一、〇〇〇	七〇、〇〇〇	四七〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	九七四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	五四四、〇〇〇	二七、〇〇〇	九、〇〇〇	一八、〇〇〇	四四九、〇〇〇	一八、〇〇〇	二八五、〇〇〇	二八五、〇〇〇	一六四、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産業なきに付該當事項なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は郡内廣州・始興・安城・振威・驪州・利川・各郡にして、外來行商者の地方別は上記行商地域以外の京城・仁川・開城・忠南天安・公州・燕岐(鳥致院)・論山(江景)・禮山・洪城・牙山各郡、及忠北清州・鎭川・槐山各郡、並に慶北聞慶・尙州・金泉各郡とす

始興郡永登浦面

一、銀行、金融組合、金貸業者の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總

金額

金融機關 永登浦金融組合

貸出地域 始興郡永登浦面、北、東、西、新東各面、金浦郡陽東面

預金者の是等機關を利用する範圍

主に貯蓄を目的と爲し僅かに農村資金調達之に次ぐ、尙外に一部企業者に於ては(主として京城紡績株

式會社永登浦工場) 同組合附設倉庫を利用して資金の融通斡旋方を爲すことあり

最近一箇年間の總金額

二六〇、六六六^円

(イ) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内、鮮、外人商の (小賣)仕入先	主要商品の 種類	最近一箇年間の 總仕入數量	同上價額	内、鮮、外人商の (小賣)仕入先	主要商品の 種類	最近一箇年間の 總仕入數量	同上價額
京	城白米	二、〇〇〇石	七〇、〇〇〇 ^円	京	城正宗	八〇石	一、一〇〇 ^円
同	木綿	二、〇〇〇疋	三〇、〇〇〇	龍	山石灰	一五、〇〇〇 ^貫	五、二五〇
大	阪綿絲	五、二〇〇 ^玉	三六、八〇〇	江	原道木炭	三〇、〇〇〇	一八、〇〇〇
京	城麥粉	五〇 ^石	九〇〇	同	薪	二二、〇〇〇 ^噸	一、〇〇〇
同	砂糖	二五、〇〇〇 ^斤	三七八〇〇	龍	山石炭	八四、〇〇〇 ^噸	一三八、六〇〇
仁	川食鹽	一、三、八、七、七〇	四〇、四六三				

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品の主要 仕向地	同上種類の 最近一箇年間の 總數量	同上價額	特産品の主要 仕向地	同上種類の 最近一箇年間の 總數量	同上價額
全鮮	粗布	四、一五〇 ^疋	京城、平壤、釜山	眞鍮器	九、九〇〇 ^個
同	瓦	一、〇八〇、〇〇〇 ^個	滿洲	石鹼	一七、四〇〇 ^貫
同	煉瓦	一、四、七、四三、〇〇〇	全鮮滿洲軍需用	洋靴	五、三六一〇 ^足
					三、七、七、一〇〇

市街地の商圏

五六

全鮮及滿洲素焼物	一〇,〇〇〇 ^円	一,五〇〇 ^円	全鮮滿洲軍需用背	九,〇〇〇 ^円	二七,〇〇〇 ^円
同 陶磁器	二,二七三〇〇	二四五,九七〇	同 靴	一一〇	二,七五〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 京畿道内・忠清南北道・江原道・黃海道
 外來行商者の地方別 慶尙南北道・忠清南北道・黃海道

振威郡丙南面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

種 別	貸 出 地 域	預金者の是等機關 を利用する範圍	預 金 額
平澤商業銀行支店	振威、天安、牙山、水原各郡の一部	八,六九〇,九八二・二八〇 ^円	二,六二八,三七六・〇〇〇 ^円
平澤金融組合	振威郡丙南、西、芙蓉、松炭、古徳面	二六九,二四五,八九〇	六七一,六四三・九〇
金 貸 業 者	—	—	—

前項の最近一箇年間の總金額

貸 出 總 金 額	八,九六〇,二二八・一七〇 ^円
預 金 總 金 額	九,三〇〇,〇〇〇・三九〇

二、(イ) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及

價額

内 鮮 外 人 商 別	卸、小賣、問屋	仕 入 先	主要商品の種類	最近一箇年間の總仕入數量及價額	
				總仕入數量	價 額
内 地	小 賣	大阪、京城、仁川	雜 貨	—	100,000円
朝 鮮	人 卸	釜山、元山、平壤	明 太 魚 布	七〇畧 一、五〇〇反	四、五〇〇
同 計	小 賣	京 城、仁 川	麻 布 類	四、六〇〇疋	五五、二〇〇
					一五九七〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

玄 米 大 阪 二〇〇、〇〇〇畧 一、八〇〇、〇〇〇円

三、地元行商者の行商地域及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 牙山・天安・振威郡の各市

外來行商者 牙山・天安・安城・水原郡の一部

安城郡邑内面

主なる種類	重	要	仕	向	地	最近一箇年間		同	價	額
						總仕入數量	總數量及價額			
同					滿洲粟	三,一〇〇	六三,〇〇〇	同		
元山	海産物	五〇,〇〇〇	實	同	海産物	三〇,〇〇〇	九,〇〇〇			
京城、仁川	石油	二四〇	箱	同	石油	一〇〇	八〇〇			
同	鐵物(釜)	三,〇〇〇	箇	同	鐵物(釜)	一,〇〇〇	二,五〇〇			
忠清南道	苧布	一四〇〇〇	尺	同	苧布	五〇,〇〇〇	二六,五〇〇			
京城、仁川	布	一六,六三五	一八三,九三〇	同	布	六,五〇〇	七四,七五〇			
同	絹	一,七〇〇	一八,〇〇〇	同	絹	五〇〇	五,二五〇			
江原道	麻布	一,〇〇〇	五,〇〇〇	同	麻布	四〇〇	二,〇〇〇			
京城、仁川	磁器	三六,〇〇〇	七二,〇〇〇	同	磁器	二二,〇〇〇	四,四〇〇			
同	ゴム靴	三,五〇〇	二八〇〇	同	ゴム靴	二,〇〇〇	一,六〇〇			
支那	菓子	二〇,〇〇〇	六,〇〇〇	本	菓子	一五,〇〇〇	四,五〇〇			
外國人				京城、仁川	布	一,五〇〇	三,〇〇〇			
				同	木	五〇〇	七,五〇〇			
				同	絹	五〇〇	七,五〇〇			
				同	雜貨	五〇〇	五,〇〇〇			

(口) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

鑰

器

京畿一圓、忠清南北道、黄海、平安道

一四,〇〇〇

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

六〇

煙

管

成鏡、平安、黃海、忠清南北道

七、〇〇〇圓

五、一五八圓

朝

鮮

靴

竹山、長湖院、平澤、忠清北道

一、五〇〇足

一、五〇〇

地元行商者の行商地域

利川・龍仁・鎮川・長湖院・水原・天安・原州・陰城・驪州・平澤・笠場・

仁川・元山

外來行商者の地方別

鎮川・天安・陰城・忠州・清州・禮山・龍仁・廣州・驪州・利川・原州・平

澤・水原・江陵・仁川・元山

利川郡邑内面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額當邑内に於ける金融機關は朝鮮商業銀行利川支店、利川金融組合有産階級の設立に係る利川産業社は三千圓以上の資金を有する貸金業者約十五名にして、貸出地域は利川及驪州地方なり。而して預金者の是等機關を利用する範圍は商業及其他産業資金に融通せられつゝあり、最近一箇年間の取扱に係る總貸出及預金額は左の通り。

貸出額

二、八六八、〇〇〇^円

預金額

二、四四一、〇〇〇

二、(イ)

内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち) 仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
内鮮外人商の仕入先主要商品の種類其他各項左の通り。

商問	別	仕入先	主要商品の種類	一箇年間の總仕入數量	同上價額	備
同	屋	仁川、水原、元山	鹽	五、〇〇〇 ^俵	一四、〇〇〇 ^円	鮮人
同		同	明太魚	五、〇〇〇 ^俵	四、〇〇〇	同
同		同	海苔	五、〇〇〇 ^俵	七五〇	同
同		同	昆布類	一、五〇〇 ^捆	一、二〇〇	同
卸	屋	京城、水原	金市布帛類	七、五〇〇 ^反	六、〇〇〇	同
同		同	滿洲粟	三、〇〇〇 ^袋	五、一〇〇	同
同		同	大豆粕	三、〇〇〇 ^枚	九、〇〇〇	同
同		同	其他金肥	一五、〇〇〇 ^貫	一〇、五〇〇	同
小	賣	同	滿洲粟	二、〇〇〇 ^袋	三五、〇〇〇	同
同		水原、京城	海産物	未詳	九五〇七	市場に依る販賣價額にして數量未詳
同		同	織物	二〇、〇〇〇 ^反	二二、〇〇〇	鮮人及支那人

市街地の商團

小	賣	同	鐵	物	未詳	二四、八四六 ^円	市場に依る販賣價額にして數量未詳
同	同	同	シヤツ類		一〇〇 ^打	二、四〇〇	内地人及鮮人
同	同	同	シヤボン類		五〇〇	一、〇〇〇	
同	同	同	靴下類		一、〇〇〇	三、〇〇〇	
同	同	同				同	

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

當該事項なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は驪州及本郡長湖院等地にして、外來行商者は重に京城・水原等のものなり。

漣川郡郡内面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

1 殖産銀行漣川代理店

貸出地域	現在貸出金額	人員數	貸出地域	現在貸出金額	人員數
郡内面	二九、五八一・三二〇 ^円	一八	中面	一、四四五・二七〇 ^円	二
郡南面	一、五〇〇・〇〇〇	一	北面	六、四四三・四〇〇	四

西南	面	五、九〇九・四二〇	六	旺	面	二、七四〇・三六〇	一
嶺	斤	六〇〇・〇〇〇	一	計		四八、二一九・七六〇	三三

客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總金額 六、二二〇〇圓

預金者は是等の機關を利用せず

2 金 融 組 合

貸出地域	現在貸出金額	人員數	貸出地域	現在貸出金額	人員數
郡内	面 四二、八一三・〇〇〇	一九〇	東	面 六、七八八・〇〇〇	四四
郡南	面 一〇、五九〇・〇〇〇	七六	北	面 六、四一七・〇〇〇	三二
官仁	面 一九、八七八・〇〇〇	一三六	西南	面 一〇、七〇五・〇〇〇	五二
中	面 九、五三二・〇〇〇	七〇	計	一〇六、七二三・〇〇〇	六〇一

客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總金額 七七、八一三^円

預金者の本機關を利用する範圍

面別	現在預入金額	人員數	面別	現在預入金額	人員數
郡内	面 三四、〇五二・五五〇	六七一	中	面 九五〇・一〇〇	八一
官仁	面 二、二〇七・〇二〇	一五三	東	面 一六二・二三〇	四九
郡南	面 一、〇〇七・一八〇	七三	北	面 三二八・六六〇	四二

市街地の商圏

六四

西 南 面 六二九・二七〇 三九 其 他 五四・七一〇 一七

計 三九、三八一・七二〇 一、一二五

客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總金額 二九三、八二二・八三〇

3 金 貨 業 者

貸出地域	現在貸出金額	人員數	貸出地域	現在貸出金額	人員數
郡 内 面	一五、五〇〇・〇〇〇	二〇〇	官 仁 面	七、五〇〇・〇〇〇	九〇
郡 南 面	八、〇〇〇・〇〇〇	一五〇	嶺 斤 面	五、五〇〇・〇〇〇	六五
中 面	五、五〇〇・〇〇〇	八五	計	四二、〇〇〇・〇〇〇	五八〇

客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總金額 四〇、〇〇〇

(1) 内 鮮 外 人 商 (卸、小 賣、問 屋 に 分 ち) の 仕 入 先、主 要 商 品 の 種 類 並 に 最 近 一 箇 年 間 の 總 仕 入 數 量 及 價 額

1 朝 鮮 人 の 分 (小 賣)

仕入先地名	主要商品の種類	客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總仕入數量	同上價額
京 城	白 米	五〇〇石	一八、五〇〇
同	小 米	一、二〇〇袋	二〇、四〇〇
同	鹽	二、四〇〇駄	四、八〇〇

同 同

計

石 油
織 物

一、〇〇〇箱
二、四〇〇疋

八、〇〇〇
三六、〇〇〇
八七、七〇〇

2 内地人の分（小賣）

仕入先地名

主要物品の種類

客年九月一日より本年八月末日迄一箇年間の總仕入數量

同上 價額

京 城

石 油

六〇噸

四八〇円

同

醬 油

六五噸

一、三〇〇

同

味 噌

六〇

九六〇

同

酒

八〇

三、六〇〇

同

砂 糖

九〇

八、五〇〇

計

外國人、及卸、問屋は該事項なし

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品は本面に於てはなし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

第二章 市街地の商圈

市街地の商圏

地元行商者の行商地域

鐵原・京城・元山・全谷

外來行商者の地方別

京城・元山・全谷・鐵原・江華・長湍・高陽

忠 清 北 道

清州郡 清州 面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

銀行金融組合 金貸業者等の貸出地域は清州郡内にして、是等機關の預金者は清州郡・陰城郡・鎮川郡等なり。

昨年一箇年間の總貸出、預金額は左の如し。

貸 出 總 額	一五、九七一、七二二・九六〇 ^甲
預 金 總 額	七、八九八、四九五・九三〇

二、(イ) 内鮮外人商(卸小賣問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
内鮮外人商にして卸及問屋は無し、小賣商の主要商品の種類仕入先並に昨年一箇年間の總仕入數量及價額左記の如し。

但し地元産出の米麥等は正確なる統計を得ず。

種名	仕入先	大正十三年中仕入高		備考
		數量	價額	
清酒	大阪	100石	22,000	内地人商店
麥酒	京城、釜山	1,500石	27,750	同
醬油	大田	300貫	15,000	同
味噌	大田	400石	3,000	同
砂糖	下關、釜山	950俵	19,300	内鮮商店
小麥粉	平壤、下關	15,000袋	75,000	内鮮支商店
紙類	大阪	500石	30,000	内鮮商店
木綿織物	内地、京城	30,000反	90,000	内地人商
白木綿	同	15,000捆	30,000	同
廣木	京城、仁川	600捆	150,000	鮮支商店
玉洋木	同	270	98,000	同
唐木	同	270	39,500	同
メリヤス類	内地、京城	500打	58,000	内鮮商店
石油	神戸	8,000箱	71,100	同

石炭撫順 一八〇〇^噸 三七八〇〇 内地商店

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品仕向地種類並に昨一箇年間の總數量及價額左の如し。

種別	仕向地	數量	價額	備考
杞柳	内地大邱	五〇〇〇 ^貫	五五〇〇〇 ^円	白柳として輸移出
味噌	近郡	三三〇〇 ^石	一九五〇	
醬油	同	一〇〇 ^石	八六〇〇	
清酒	同	二五〇 ^石	三〇〇〇〇	
パテシレーズ工業製品	横濱	一五、〇〇〇 ^打	一九五、〇〇〇	
杞柳製品	仁川京城	三、〇〇〇 ^調	八、二〇〇	柳行李バスケットに製作す

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域は忠北各郡に及び、内地人商人は郡廳所在地を主たる取引地とせるも、鮮支人は市場廻りと稱し小部落と雖市場開設の部落を行商す。

外來行商者は烏致院を主とし、時期賣出等のため京城・仁川・統營・釜山等より來るも、殆んど一箇年中數回に過ぎず。

清州郡芙蓉面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出區域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額。

金融組合（其の他はなし）貸出區域は芙蓉、賢都、龍興、文義、南二の五箇面なり、貸出方法は非組合員は數千圓の預金ありと雖貸付せず、亦組合員に對しては預金無くとも貸付す、貸付方法に二種あり、擔保貸、信用貸之れなり、信用貸は一人に付き二〇〇圓、擔保貸は一人に對し五〇〇圓を限度とす。

前項の最近一箇年間の總金額は大正十三年度總貸出額一〇三、二二一圓なり

二、(イ) 内 鮮外人商の仕入先主要商品の種類並最近一箇年間の總仕入數量及價額

商業種類	仕入先名	商品の種類	最近一箇年間		備考		
			總仕入數量	同上價額			
小	賣	京城仁川大田群山	廣	木	二六〇 ^正	三、六四〇 ^円	
同		同	唐	木	一一〇	一、八〇〇	
同		京城仁川	玉	洋木	九九	一、七八二	
同		大田仁川	洋	羅紗	一八〇	一、八〇〇	

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

(ロ)

計

特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

龍山滿洲 仁川 群山 仁川京城 鳥致院 大邱、京城、鳥致院 永同 京城 平壤 京城 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

メリケン粉 石油 荳 文布 麟寸 五股綿糸 麻布 染料 靴足 手巾 南木 洋打連 紅唐木

四〇〇 一、〇〇〇 五〇 二二三 二四四 九〇 二五〇 一八 二一〇 八六 三七五 六〇 二四

二五、五八〇 一、六〇〇 八、八〇〇 四、五〇 二、二七八 一、二四〇 六三〇 五〇〇 四、五〇 二、三〇 二、五〇 四、五〇 五、七〇 一、二〇

市街地の商圈

商業種類	仕向地名	種類	最近一箇年間		備考
			總數量	價額	
卸 賣	京城、清州、大田	蓮 根	1,000 <small>貫</small>	1,000 <small>円</small>	
同	京城、大田、公州 釜山、仁川、大邱	杞 柳 細 工	3,600 <small>個</small>	九,七〇〇	一箇月生産高を標準として一箇年間の總數量を求めたるもの
小 賣	鳥致院、燕岐 本面内	叭	二,260 <small>枚</small>	三,六七〇	本面内に使用せられるもの約三分の一にして之れ迄含有せり

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 清州・鳥致院・新灘・大平市

外來行商者の地方別 忠清北道(清州)・忠清南道(燕岐・鳥致院)・公州・大田・津灘・江景) 全羅南

道(羅州) 全羅北道(全州) 京畿道(京城)

堤川郡堤川面

- 一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍
- (1) 銀行なし

(2) 金融組合

貸出地域 堤川面・松鶴面・白雲面・鳳陽面・錦城面 最近一箇年間總貸出金額一〇三、六〇〇圓

(3) 金貨業者

貸出地域 金融組合と同じ。最近一箇年間總貸出金額二一九、〇〇〇圓

二、(1) 内鮮外人商(卸小賣問屋に分ち)の仕入先主要商品種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

人種別	卸、小賣、問屋別	仕入先	主要商品の種類別	最近一箇年間の總仕入數量	同上價格
朝鮮人	小賣	京城	廣唐木	一千捆	三〇〇、〇〇〇 ^円
支那人	同	同	同	一千捆	三〇〇、〇〇〇
朝鮮人	同	江京城	布屬	二百疋	七〇、〇〇〇
支那人	同	同	同	二百疋	七〇、〇〇〇
朝鮮人	同	同	魚類	同	一〇五、〇〇〇
支那人	同	本郡丹陽	紙物	七百塊	一八、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

大谷 三千石 四五、〇〇〇圓

紙類 七百塊 一八、〇〇〇圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 丹陽・寧越・原州・忠州

外來行商者の地方別 京城・開城・忠州・江陵

忠州郡忠州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍
前項の最近一箇年間の總金額

(1) 殖銀忠州支店

貸出地域 忠州・槐山・陰城・堤川・長湖院・寧越・丹陽

預金者 忠州・堤川・寧越・長湖院

最近一箇年の貸付金 五八七、七九九圓

同 預金 四、五七一、四六二圓

(2) 忠州金融組合

貸出地域 忠州・金加・東良・滄味

預金者 忠州・金加・東良・湍味・山尺

最近一箇年貸付金

八六、四一七圓

預金

四四五、八一五圓

(3) 金貸業者の貸出地域

忠州郡一圓

最近一箇年の貸付金

一一一、〇〇〇圓

二、(イ) 内 鮮外人商(卸、小賣、問屋に分)の仕入先主要商品の種類並最近一箇年内の總仕入數量及價額

仕入先は重に京城方面にして、主なる商品は内鮮人向の衣服用反物、日用雜貨、食料品、染料とす。

最近一箇年内の總數量及價額左の如し。

種 類	衣 服 物	日 用 雜 貨	食 料 品	染 料 類
數 量	一、九〇〇 _反	三、五〇二 _貫	二、三〇〇 _石	二四、五〇〇 _圓
價 額	二八、〇〇〇 _圓	三八、〇〇〇 _圓	一三、〇〇〇 _圓	二、六〇二 _圓

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

第二章 市街地の商圏

特産品の種類は、黄色煙草、生絲にして、主要仕向地は煙草は京城、生絲は豊橋とす。

最近一箇年の數量及價額

種 類	數 量	價 額
煙 草	六〇四、三四八 <small>貫</small>	一六二、六八二 <small>圓</small>
生 絲	三三〇	三、〇〇〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は、京城・清州・堤川・丹陽等にして、外來行商者の行商地方別は京城・清州・大田・大邱等とす。

忠清南道

公州郡公州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍等を各團體別に區分するに凡そ左の如し。

團體名	貸出地域	預金者の利用範圍	最近一箇年總金額		備考
			貸出	預金	
殖産銀行 公州支店	公州、洪城、唐津、瑞山、青陽、禮山の六部	公州郡一圓	一四八七、四八七 <small>圓</small>	一四、〇〇五、一八九 <small>圓</small>	
公州金融組合	公州面一圓	公州面一圓	一八六、八二五	一三五、二五一	市街地金融組合なり
錦城金融組合	公州郡の内州外、長岐、儀堂、正安、牛城、木洞、灘川、鷄龍の八箇面	同	一二七、一〇七	三九三、四六六	
計			一、八〇一、四〇九	一四、五三三、九〇六	

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

小賣商人のみにして、卸、問屋なし、外人商は支那人之れに従事す、最近一ケ年間に於ける總仕入數量等を仕入先及主要商品の種類別に記載するに左の如し。

商品種類	仕入先	數量	價額	備考
内地織物	京城、仁川、釜山	—	五〇、〇〇〇 <small>円</small>	内地人
支那織物	支那	—	一〇〇、〇〇〇	支那人
朝鮮織物	京城、仁川	—	三〇、〇〇〇	朝鮮人
雜貨	京城、仁川、釜山	—	五〇、〇〇〇	主として内地人
粟	京城、仁川、江景	—	二〇、〇〇〇	朝鮮人及内地人
計			二五〇、〇〇〇	

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品名	仕向地	數量	價額
蠶繭	大邱	—	一八、〇四四 <small>円</small>
杞柳	朝鮮滿洲主要都市及大阪市	—	一五、〇〇〇
計			二一八、〇六三

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は忠清南道内にして、外來行商者は仁川・釜山方面より若干の入商あるも主として京城なり、而して行商品は地元及外來を問はず織物なり。

大田郡大田面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍前項の最近一箇年間預金額

(1) 貸出地域及一箇年間の金額

貸金業者の種類	貸出地域	一箇年間貸出總金額
株式會社殖産銀行大田支店	大田、沃川、錦山、永同、茂朱、報恩	一、六七八、七〇〇 _円
同 漢城銀行大田支店	大田、沃川、報恩、公州、清州、永同、錦山	七三五、〇〇〇
大田金融組合	大田面内	一、三二六、二二四
懷徳金融組合	大田郡一圓	一三九、四〇〇
忠南無盡株式會社	大田、論山、天安	三九四、一〇〇
大正起業株式會社大田支店	大田、錦山、永同、沃川	一九七、一〇〇
個 人	同	二二三、〇〇〇
合 計		一四、五九三、五二四

(ロ) 預金者の是等機關の利用範圍及金額

預金箇所	機關利用範圍	一箇年間に於ける金額
株式會社殖産銀行大田支店	大田、永同、沃川、錦山	一〇、九四八、〇〇〇 <small>円</small>
同 漢城銀行大田支店	同	五四三、〇〇〇
大田金融組合	大田、面内	一、一六二、六八〇
懷德金融組合	大田郡内	一二〇、〇〇〇
合計		一二、七七三、六八〇

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年の總仕入數量及價額

種別	主要商品の種類	一箇年間の總仕入數量	同上價額	仕入先
内地人	粟	小賣 二〇、五〇〇 <small>袋</small>	二八〇、〇〇〇 <small>円</small>	海城、錦州、遼陽、四平街、昌圖
	綿	同 五、二〇〇 <small>反</small>	六〇、〇〇〇	大阪
	砂糖	同 八〇〇 <small>貫</small>	一六〇、〇〇〇	大阪、神戸、平壤
	麥粉	同 九、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	大阪、神戸、平壤
	木材	同 一七、五〇〇 <small>才</small>	三五〇、〇〇〇	義州
	海産物	同 不明	二〇〇、〇〇〇	釜山、統營、群山、仁川、木浦
	紙類	同 同	三〇〇、〇〇〇	大阪、神戸
	雜貨	同 同	三〇〇、〇〇〇	同

(ロ) 特産品の主要向地、種類並其最近一箇年間總數量及價額

種別	支那人		朝鮮人				數量	價額
	支那	那	雜貨	ゴム	粟	海藻		
醸造品	支那苧布	同	同	同	同	同	小賣一五、〇〇〇、〇〇〇圓	元山
皮革	同	同	同	同	同	同	五〇、〇〇〇	元山、仁川
果物	同	同	同	同	同	同	一〇、〇〇〇圓	京城、四平街
野菜	同	同	同	同	同	同	一七五、〇〇〇	京城、龍山
	同	同	同	同	同	同	三〇〇、〇〇〇	京城、仁川、大邱、釜山
	同	同	同	同	同	同	三〇〇、〇〇〇	京城、仁川
	同	同	同	同	同	同	二〇〇、〇〇〇	京城、仁川、滿洲
	同	同	同	同	同	同	九〇、〇〇〇	同
	同	同	同	同	同	同	一〇〇、〇〇〇圓	同
	同	同	同	同	同	同	四〇、〇〇〇圓	同
	同	同	同	同	同	同	二〇、〇〇〇圓	同
	同	同	同	同	同	同	一五、〇〇〇圓	同

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 清州・永同・燕岐・論山・公州錦山・全州・裡里・沃川・報恩・江景・京城・

元山・木浦・群山・釜山等

外來者行商地域 燕岐・錦山・報恩・沃川・永同・清州等

論山郡論山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

本面には殖産銀行支店一、金融組合二の外約六名の專業金貸業者あり、貸出地域は本面を主とし郡内、恩津・可也谷・九子谷・光石・夫赤・魯城・上月の各面の外城東・彩雲・連山各面の一部、及公州郡、並扶餘郡の接續地兩三箇面に及び、預金者中商人及地主等は銀行、金融組合に當座口を有し、拂出に小切手を用ふる者多く、又送金に當り銀行爲替を利用しつゝあるも一般預金者に於ては利用する者稀少なり。

前項の最近一箇年間の總金額は左の如し。

貸出 金總額 九十九萬九千七百八十三圓

預金 總額 三十一萬四千八百九十八圓

二、(イ) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人商人に在りては雜穀類、殊に粟、外米、金物類、食料雜貨、小間物等の類を商ふ者多く、仕入

先は粟は満洲・京城、外米は釜山・群山、金物類は群山・釜山・京城、食料雜貨、小間物は京城・東京・京阪を主とす。朝鮮人店舗は極めて少く五六の水産物商、仕立屋商、米穀商あるのみ。水産物は全羅南北朝道沿海地方より、米穀類は地元内地人より仕入れ販賣する者多し。外人商人は何れも支那商人にして、鮮人向被服材料小間物を販賣し、主として仁川方面より仕入れつゝあり、内鮮外人何れも小賣商にして問屋、卸商等無し。

最近一箇年總仕入價額左の如し。

商品種類	内地人		朝鮮人		支那人		合計	
	卸	小賣	卸	小賣	卸	小賣	卸	小賣
海産物	—	一八五〇	—	一三、〇〇〇	—	—	—	一四、四五〇
綿布	—	一六五〇〇	—	一九三〇〇	—	一四六、八〇〇	—	一八二、六〇〇
金物	—	七四、八〇〇	—	一八、一〇〇	—	—	—	九三、〇〇〇
雜貨	—	一五七、九〇〇	—	一三、五〇〇	—	一八五〇〇	—	二九九、九〇〇

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量價額

本面の特産物としては附近に米の産ある外別になし、論山平野、江景平野を含む論山郡の年米産額は約十四萬石にして、内隣接各郡産米を合せ約十一萬石（論山よりは約四萬石、江景よりは約七萬石）は内地大阪・東京・神

戸・高知・群山に移出又は搬出せられ、其の價額四百萬圓を算す。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者地方別

論山面地元行商者は郡内は勿論、全北の益山、及連接郡たる本道扶餘・大田の一部を區域とし、外來行商者は太田・公州・扶餘の各郡及全北裡里等より來るもの多く、汽車の便に依り京城釜山等より雜貨、洋服類を商ひ來ることあり。

論山郡江景面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

本面には殖産銀行支店、韓一銀行支店各一、金融組合二の外、約十餘名の金貸業者あり、貸出地域は江景面を主とし、城東・彩雲・九子谷・各面の外、全北の益山郡及扶餘郡の一部に互り逐年擴張しつつあり、預金者の金融機關利用の狀況に就ては大體論山に同じく只其の數多きのみなり。

前項の最近一箇年間の總金額は左の如し。

貸出金總額 二百五十萬圓

預金總額 八十萬圓

二、(イ) 本面亦内鮮外人共、卸商、問屋等を營む者少く、鮮人に於て水産物客主約十箇所、米雜穀商中内

地人小賣及卸賣兼業のもの五、六人あるのみにして、其の仕入先は殆んど論山に相似たり、小賣商は内地人側は金物類、小間物食料、雜貨類の商店多く、仕入先は京城・大阪・東京・神戸等を主とす、鮮人側は水産物を主とし、其の他小間物紙類を商ふ者尠からず、水産物仕入は群山・木浦等の黄海沿岸地方とし、全州・元山・京城之に次ぐ、外人商人は支那人にして、其の商品の種類及仕入先等は殆ど論山面に等し。

最近一箇年間の總仕入價額左の如し。

商品種類	内地人		朝鮮人		支那人		合計	
	卸	小賣問屋	卸	小賣問屋	卸	小賣問屋	卸	小賣問屋
海産物	150,000 円	50,000 円	100,000 円	150,000 円	50,000 円	10,000 円	100,000 円	210,000 円
綿布	150,000 円	100,000 円	110,000 円	120,000 円	100,000 円	120,000 円	220,000 円	340,000 円
金物	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	— 円	— 円	100,000 円	200,000 円
雜貨	300,000 円	300,000 円	200,000 円	300,000 円	100,000 円	300,000 円	400,000 円	1,100,000 円

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

論山面の本項参照

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別
論山面の本項に等しきを以て略す。

燕岐郡鳥致院面

一、銀行、金融組合、金貨業者等貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍並に最近一箇年間の總金額

區分	貸出地域	預金者	最近一箇年の總金額	
			貸出	預金
朝鮮殖産銀行	全義、牙山、仙掌、成歡、天安、 並川、美江、禮山、清安、鳥致	制限なきも京城其 他内地等よりの預 金も取扱ふ	一三四五〇、〇〇〇 _円	一五、九六五、〇〇〇 _円
鳥致院支店	院主なり			
燕岐金融組合	燕岐東面、西面、南面、錦南面	朝鮮全道及内地	七九四九〇	二四三、〇八三
鳥致院金融組合	燕岐郡鳥致院面	同	一三七、五一八	八七、〇九〇
朝永土社	燕岐、大田、天安、禮山、牙山、 公州、唐津、論山、清州、槐山、 沃川、京城	なし	八八、四四三	なし

價額

(一) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及

第二章 市街地の商圏	麥粉			粟			大豆			麥			米			種類 區分	
	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣		仕入先
																内地人	
																	朝鮮人
																仕入先	
																	數量
																仕入先	
																	數量
																仕入先	
																	數量

市街地の商圏

麻布		金巾		豆粕		明太魚		砂糖		麥酒		
小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣	問屋	
				京城、仁川		鎮南 浦洲				下關、大阪、 京城、釜山		大田、仁川、 京城、龍山
				二,三〇〇圓		八,〇〇〇				五〇〇		二,九二三 <small>箱</small>
				三,三〇〇 <small>圓</small>		七,二〇〇 <small>圓</small>				二,二〇〇 <small>個</small>		五,七,七三 <small>圓</small>
				三,三〇〇 <small>圓</small>		一〇,〇〇〇				一三〇,〇〇〇		八,五〇〇
永同	金泉、仁川	釜山	京城、仁川				元山、大田、 天安					
六,〇〇〇	六,〇〇〇	一五,〇〇〇 <small>圓</small>					一〇,〇〇〇 <small>個</small>					
一八,〇〇〇	一八,〇〇〇	二五,〇〇〇 <small>圓</small>					二,二六八 一八四,二八〇 <small>圓</small>					
	仁川、京城	京城、仁川										
八,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,三〇〇 <small>圓</small>										
二八,〇〇〇	三五,〇〇〇	三〇,〇〇〇 <small>圓</small>										

第二章 市街地の商圏	木 材		セ ト メ			石 灰		石 油		絹 布		
	卸賣 問屋	小賣	卸賣 問屋	小賣	卸賣	問屋	小賣	卸賣 問屋	小賣	卸賣 問屋	小賣	卸賣 問屋
滿洲			新義州		大阪	同	平壤		仁大田、草梁、川			
		三八〇〇	四、〇〇〇 <small>尺結</small>	二七〇〇〇	三〇〇〇〇 <small>俵</small>	二二〇〇	二五〇〇 <small>俵</small>		九〇〇〇 <small>箱</small>			
		三八、〇〇〇	三六、〇〇〇 <small>円</small>	五九、〇〇〇	六三、〇〇〇 <small>円</small>	三、九六〇	四、二五〇 <small>円</small>		五九、四〇〇 <small>円</small>			
										釜山	京城、仁川	
											四七 <small>反</small>	
									四、五〇〇 <small>箱</small>		八、四三五 <small>円</small>	
									三、一五〇 <small>円</small>			
八九										京城、仁川		
											五三 <small>疋</small>	
									四、五〇〇 <small>箱</small>			
									三、一五〇 <small>円</small>		九三七 <small>円</small>	

石炭	小賣	二二	二,〇〇〇						
問屋									

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地仁川種類以總數量七七六、〇〇〇枚、價額一五五、二〇〇圓

三、地元行商者の行商地域、外來行商者の地方別

主として行商する地域は京城・仁川・大邱・金泉・天安・論山・清州・公州・忠州

主として外來行商者も前同斷

洪城郡洪州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

(1) 湖西銀行洪城支店に於て利用する範圍

洪城郡一圓(長谷・廣川・結城・銀河面を除く)禮山郡挿橋面一部、同郡徳山面一部

最近一箇年間の總金額

預 金 高 一百六十二萬六千五百八圓十六錢也

貸出高

九十二萬八千六百三十圓九十一錢也

(2) 洪州金融組合に於て利用する範圍

洪城郡洪州面・洪東面・龜項・洪北面・金馬面・高道面・禮山郡・德山面一部

最近一箇年間の總金額

預金高

十四萬九千九百七十四圓一錢也

貸出高

十一萬八千六百十六圓也

二、(1) 内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量

及價額

主要商品名	卸、小賣、問屋別	仕入先	最近一箇年間の總仕入數量	同上額價
布帛類	小賣	禮山、廣川	六五〇 <small>円</small>	八、四三三 <small>円</small>
絹布類	同	同	四三〇	六、四七〇
金物類	同	釜山、群山、仁川	未詳	二、〇〇〇
食料品	同	仁川	同	二、〇〇〇
火藥銃砲附屬品	同	同	同	四、〇〇〇
煙草	同	京城	同	五、〇〇〇

石	同	仁	川	同	一七、〇〇〇
油	同	群	山	七〇 <small>匁</small>	四、〇〇〇
酒	同				

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額、特産物なし。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 洪城郡一圓、青陽郡・禮山郡・瑞山郡・保寧郡
 外來行商者の地方別 禮山郡・天安郡・青陽郡・保寧郡・瑞山郡・唐津郡・牙山郡

禮山郡禮山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

金貸業者別	貸出地域	最近一箇年間の貸出總金額	同上預金者數	同上預金總數
湖西銀行	禮山、牙山、唐津、青陽各郡	五七、〇七三、〇〇 <small>円</small>	二、二八一 <small>人</small>	三、四七、七四九 <small>円</small>
金融組合	禮山、大述、新陽、光明、大興、 廳峰、吾可、新岩面	一六四、九六〇	一三、六三九	四九、一、二〇三
申鉉尙	禮山郡一圓	一五、〇〇〇	一	一
計		五八八、七、二六一	一五、九二〇	三、九一八、九五二

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋の分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要仕入商品の種類	最近一箇年間の總仕入數量	價額	仕入先
石油	一六、五〇〇 <small>箱</small>	一四八、五〇〇 <small>円</small>	仁川
金巾類	三〇、五〇〇 <small>疋</small>	四五七、五〇〇	同
麻織物	二〇、三〇〇	八一、二〇〇	同
胡椒	六、五〇〇 <small>俵</small>	一三、〇〇〇	同
粟	一七、一〇〇 <small>俵</small>	二五六、五〇〇	仁川、京城
計		九五六、九〇〇	

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品の種類	最近一箇年間の仕向總數量	價額	主要仕向地
粗	三五、〇〇〇 <small>石</small>	三五、〇〇〇 <small>円</small>	仁川
玄米	七、九〇〇	一五八、〇〇〇	同
大豆	二、一〇〇	二一、〇〇〇	同
荏	四八五	四、八五〇	同
牛皮	三七、五六九 <small>斤</small>	一八、七八五	同
計		二二七、六三五	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 忠清南道一圓、忠清北道一部

外來行商者の地方別 忠清南北道・京畿道・慶尙南北道・全羅南北道

天安郡 天安面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額。

(イ) 銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域 天安郡一圓、牙山郡の一部

(ロ) 預金者の是等機關を利用する範圍

湖西銀行天安支店、及天安金融組合にして、約八割は天安郡、約二割は牙山郡なり。

(ハ) 前項の最近一箇年間の總金額 六百七十八萬七千一百八十六圓五十錢

二、(イ) 内鮮外人商（卸、小賣、問屋に分ち）の仕入先主要商品の種類、並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内鮮外人商の仕入先 滿洲・京城・仁川・元山方面

主要商品の種類 粟、水産物、織物類、鹽類等なり最近一箇年間の總仕入數量及價額

(1) 粟	五、〇〇〇俵	二四、〇〇〇圓
(2) 織物	一、八〇〇個	四五〇、〇〇〇圓
(3) 水産物	三、四〇〇個	一一九、〇〇〇圓
(4) 鹽類	七、〇〇〇叭	一四、〇〇〇圓

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産物該當なし。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 鎮川・平澤・牙山方面

外來行商者同 上

天安郡成歡面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍並に總金額

(イ) 銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域 天安郡一部、牙山郡一部

(ロ) 預金者の是等機關を利用する範圍 本面内に於ける利用機關は金融組合のみにして、利用者約八

割は天安郡、約二割は牙山郡なり。

前項の最近一箇年間の總金額

三十二萬五千六百圓

二、(1) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に仕入數量及價額

内鮮外人商の仕入先 滿洲・仁川・元山方面

主要商品の種類 織物、石油

最近一箇年間の總仕入數量及價額

(1) 織物

六百個

一萬六千六百圓

(2) 石油

五百六十箱

四千八百三十六圓

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品

成歡 甘爪

最近一箇年間の總數量及價額 五萬個

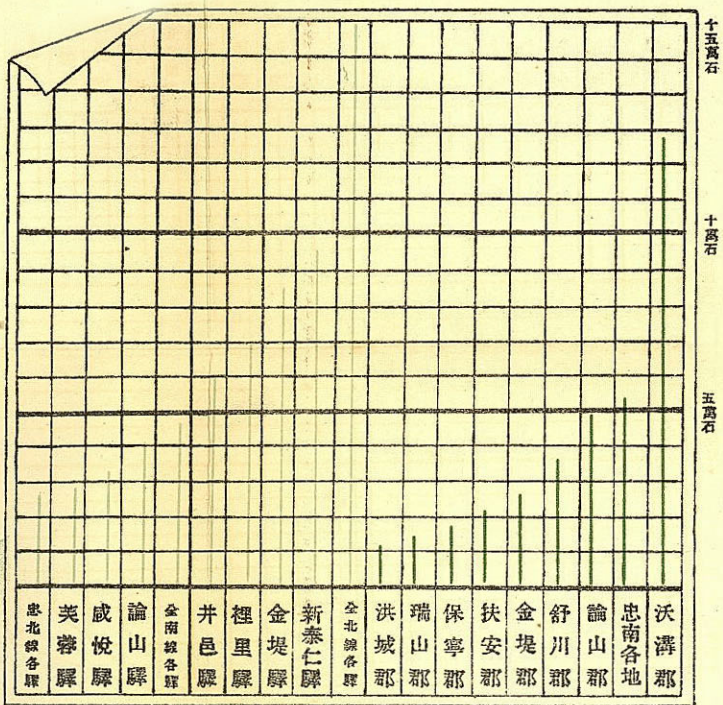
二萬五千圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

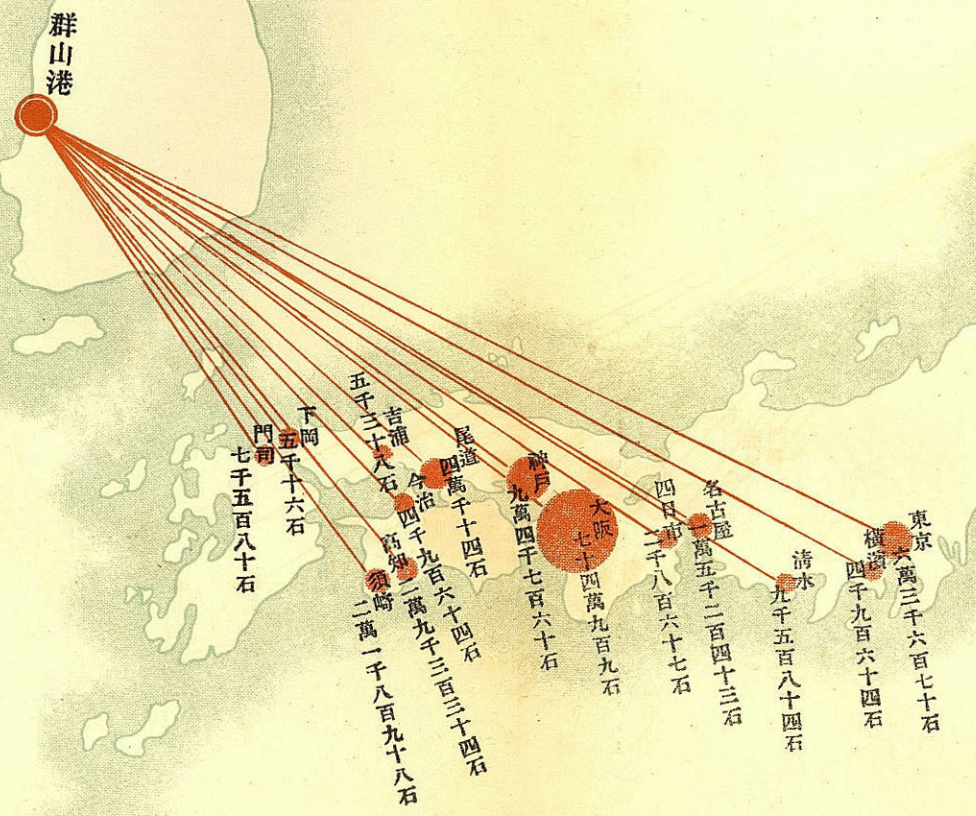
地元行商者の行商地域 郡内、及牙山・平澤方面

外來行商者の地方別 郡内、及京城方面

群山港仕向米の主要仕出地（大正十三年中）



群山港の移出米（大正十三年中）



船舶に依り輸入
鐵道に依り輸入

全羅南道

群山府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍並に右の最近一箇年間の總金額

1 銀行、金融組合、貸金業者の貸出地域は群山府、全羅北道沃溝郡一圓、忠清南道保寧・舒川の兩郡にして、今其の大正十三年中に於ける貸出總高を科目別に示せば左表の通とす。

金融業者別	定期貸付金	當座貸越	荷爲替	割引手形	證書貸付	手形貸付	年賦の貸付	其他の貸付	合計
朝鮮銀行群山支店	17,300,000	20,341,913	4,046,670	15,704,273	1	15,704,273	1	16,544,600	64,697,127
朝鮮殖産銀行群山支店	9,300	6,101,755	2,368,821	2,767,255	1	8,239,832	300	19,933,334	30,643,000
十八銀行群山支店	1	13,967,741	2,185,065	3,752,754	18,444	3,065,666	1	3,996,666	24,029,671
朝鮮商業銀行群山支店	1	2,422,263	3,180,643	807,976	1	3,491,887	1	9,863,366	15,876,567
韓一銀行群山支店	1	159,556	12,502	203,621	10,220	1,330,655	1	2,392,844	2,696,444
群山米穀信託株式會社	1	1	10,117,000	200,000	1	1	1	10,317,000	10,317,000

定期預金	預金	七〇七、六四四	四五五、一五二	四三八、四九三	三四七、六七四	六四、五〇〇	一七、九五五	二、一三、九七七
	拂戻	六六九、九一九	二七七、二三三	三六六、三九三	三三七、四六六	三八、二二二	九六、三四三	一、六三、五七三
當座預金	預金	七四、一八三、九六六	一八、七九一、二四八	三三、三九、二二	一三、六六七、二八九	八、三三、〇八一	一、七四九、七四七	一六、八九、一六三
	拂戻	七四、一七、〇一九	一八、八四三、三六五	三三、四三三、二三三	一三、六三七、〇三九	八、二五七、〇六六	一、七四七、四三七	一三、〇七七、五九九
特別當座預金	預金	六〇七、五九九	八〇四、六四七	一、六二、二七七	七六三、五二九	八三九、五五五	—	四、四九四、四三三
	拂戻	六四八、三三九	七四四、七三八	一、四八、五二一	八七、二五九	八九九、六九九	—	四、四五八、五六六
貯蓄預金	預金	—	—	—	—	—	一、九五、四〇〇	一、二九五、四〇〇
	拂戻	—	—	—	—	—	一、三六、三四〇	一、三六、三四〇
其の他の預金	預金	四九七、四〇〇	八三九、七三二	九八、二七〇	八五、二二八	二六、八五〇	—	二、六三三、二八八
	拂戻	五七、九三五	八二九、八六〇	九九九、九六七	一一二、七七八	二二、三七七	—	二、六三三、二八八
合計	預金	七六、〇七三、七六六	三三、二六五、九三〇	二五、一〇八、〇〇〇	一五、四六七、七二〇	九、四〇六、九六六	三、一六三、〇八二	一五、〇、四八五、四三三
	拂戻	七六、〇三三、八六六	三三、〇八九、二二二	二五、〇七三、〇三三	一五、四三六、七三三	九、四〇七、二三四	三、〇七三、二一九	一五、〇、〇七三、八六六

二、(イ) 内鮮外人別問屋業者及卸小賣商の仕入先、主要商品並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

當地に於ける右問屋業者及卸小賣商の仕入先商品の種類並大正十三年中の總仕入數量は左表の通とす。而して右仕入數量の割合は内地人商其約八割強を占め、其他は外鮮人商の手に依り仕入れられたるものと思料するも、右は正確なる數字の調査頗る困難に付之を區分掲記するを得ず。尙外人商

市街地の商圏

一〇〇

は主として當地人卸商より仕入れつゝあり。

大正十三年中總仕入高

内鮮外人別 問屋及卸 主要商品 仕入先

商小賣商別 種類

數 量價 額 數 量價 額

内 鮮 人		問 屋 業		米	
全羅北道扶安郡	同	沃溝郡	同	全羅北道扶安郡	同
一七,五四〇	九〇,三三六	二,九七七	二,九四八	五七八,八二〇	二,九七七,四五八
同	同	金堤郡	同	同	同
同	同	井邑郡	同	同	同
同	同	益山郡	同	同	同
同	同	全州郡	同	同	同
同	同	忠清南道舒川郡	同	同	同
同	同	扶餘郡	同	同	同
同	同	公州郡	同	同	同
同	同	保寧郡	同	同	同
同	同	洪城郡	同	同	同
同	同	論山郡	同	同	同
同	同	其他各郡	同	同	同
同	同	全羅南道靈光郡	同	同	同

市街地の商關

内地人 問屋業 麥類	船便による 外 臺灣米							内地人 問屋業								
	計															
	臺灣米		外國米		臺灣米		臺灣米									
省	松	全	仁	裡	黄	永	平	粟(内地産)	粟(内地産)		長	高	基	下	門	
	汀	北									神	長	高	基	下	門
	線	里	線	川	里	登	同	壤			戸	崎	雄	隆	關	司
									五〇,〇〇〇	四三,九,五〇〇	一八,九二五,三〇〇	九四〇,五〇〇	七二〇,〇〇〇	二,七三九,〇〇〇	一一三,〇〇〇	二六〇,〇一〇〇
										四,〇〇〇	一,九五三,八八六	一〇九,九〇〇	七〇,五六〇	二九九,八八〇	一一八,五〇〇	二八九,〇〇八
	二〇	一三	二六	三三	三五	一三	七	二六								
	三三〇	二〇八	四一六	五二八	五六〇	二〇八	一三	四二六								

													鐵道便による麥類計			
内 鮮 人 問 屋 業																
大																
豆																
鐵	大	沃	連	裡	忠	新	黃	成	大	井	金	豆	木	黃	沙	
原	田	川	山	里	線	仁	登	悅	邱	邑	堤	溪	浦	州	院	
						北	泰								里	
七	三九	五九	二〇	二五	三八	一七六	二四一	一〇一	四六	二二五	一〇一	三八三	七	一三	一六九	
二二六	七〇二	一〇六二	三六〇	四〇五〇	六〇八四	三二六八	五二三八	一八一八	八二八	三八七〇	一八一八	六二二八	一一二	二〇八	二七〇四	
															三三六	

市街地の商圏

鐵道便による大豆計

内 鮮 人															
問 屋 業															
雜 穀 類															
滿 洲 線	裡 山	元 蓉	芙 蓉	沃 川	平 壤	仁 川	物 開	忠 線	沙 院	鎮 南	京 城	鳥 致	全 北	新 幕	大 田
二六七	三九	一九	二〇	一三	九一	二六	七	八五	四	二六	三五八	二六	三〇六	七二	一、五六八
八〇一〇	一、一七〇	五七〇	六〇〇	三九〇	二、七三〇	七八〇	二二〇	二、五五〇	一、三八〇	七八〇	一〇、七四〇	七八〇	九、一八〇	二、一六〇	二八、三四

鐵道便による雜貨計

第二章 市街地の商圏

南	江	井	美	咸	榮	羅	松	長	金	黄	永同外五ヶ所	咸	安	釜	金
鮮	景	邑	蓉	悅	山	浦	州	里	城	堤	登	悅	東	山	泉
52	65	128	373	384	395	401	263	395	155	274	1677	65	127	13	13
5356	6695	13184	38419	23484	40685	41303	27089	40685	15965	28233	50310	1950	3810	390	390

市街地の商圏

内
鮮
人
問
屋
業
の
商
圏

鐵
道
便
に
よ
る
商
圏

滿洲線	豆	大	古	鳥	金	全	地	新	裡	論	仁	木	伊	沃
裡			幕	致		北		泰						
洲			院	院	泉	線	境	仁	里	山	川	浦	院	川
線			溪	田										
四三五〇														
二一八														
三五六七														
二一八														
三三六四														
一〇三														
五四五九														
一三三九														
一三三九														
一三三九														
一三三九														
一一〇五一														
四〇一七														
一四三二七														
一二七七一														
一〇三														
一〇三														
一三九七八														
九三七三														
八〇三四														

鐵道便による粟の計

内 鮮 人							内 鮮 人								
問 屋 業							問 屋 業								
海							粟								
藻															
釜	裡	木	全	江	舊	長	江	大	井	金	咸	豆	全	龍	京
北							南								
山	里	浦	線	景	山	城	景	邱	邑	堤	悅	溪	線	山	城
5	1	10	1	2	2	1	4	5	30	92	1	1	1	2	92
225	44	860	43	88	86	44	600	750	4500	13800	150	150	150	300	13800
						4796									
						79400									

市街地の商圏

小麥粉		清涼飲料			麥酒			砂糖							
東	下	門	神	大	下	門	神	大	下	門	神	大			
京	關	司	戶	阪	關	司	戶	阪	關	司	戶	阪			
八六,二五〇	九六,一〇四一	一〇,一三,三七	二四五,九八七	四一,二五〇斤	四,二八〇	一,二八六	二二,九八八	二〇,一四利	三三〇,五〇	二六,八七六	五八,八〇〇	八二,六五五利	五九,七六〇二	九,〇八〇	二〇,八三八斤
九三,五〇	一〇,一六〇一	一一三,一三七	二七,三二五	四,六九〇円	一,七六六	八二〇	一一,二四〇	一〇,一〇九	一四,六八三	一一,八九五	二七,〇八〇	三七,七〇九円	一三〇,三五一	二六,五一七	一,九四〇

第二章 市街地の商圏

		内地人																		
		卸																		
		商																		
		生金巾及 シチンীগ			硫アン肥料			打綿		襦寸		石油		食鹽		苛性曹達				
		下	門	神	大	下	門	神	大	大	神	大	下	門	臺	下	門	神	大	
		關司戸阪			關司戸阪			阪		戸阪		關司灣		關司戸阪						
		11,000	7,200	31,100	85,600	25,500	6,000	1,833,600	276,100	5,000	38,796	602	7,430	9,960	1,363,500	53,810	58,440	25,810	224,160	
		3,510	13,096	9,406	25,039	3,000	750	209,697	33,531	3,730	205,010	3,013	3,815	5,375	27,250	7,250	8,400	3,635	29,907	
		(((((((((((((((((((

船便計(移入重要品)

第二章 市街地の商圈

	鮮魚										石鹽粉			石油			
	文	井	慶	裡	江	馬	大	釜	天	仁	裡	江	鎮	仁	釜	草	
	川	邑	東	里	景	山	邱	山	安	川	里	景	浦	川	山	梁	
	八二	一	六	六四	七	四八	一〇	二九	五〇,七九〇	五〇,七九〇	五〇,七九〇 <small>斤</small>	一一,一八	七八	四,四九八	八三二	一〇,五〇四	
	二七,四二七	三九	一〇,三三	二,六七〇	一,七〇〇	一六,二五三	三,三八六	四三,六七九	九,四三三	九,四三三	九,一四一	八,九四四	六二四	三,五九八四	六,六五六	八四,〇三一	

五,三六,〇〇九

鹽
乾
魚

慶	新	文	省	松	美	全	木	論	舊	釜	元	大	江	裡	元	新
				汀		北			馬							
東	浦	川	線	里	蓉	線	浦	山	山	山	山	邱	景	里	山	浦

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二	三	三	二	一	一	一	一九	二	三	七	七	七	二	八	五	三
---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

六七七	七四四九	一二,一八九	六七六	三三六	三三八	三三九	六四三三	六七七	一〇,一六	二四,三七九	一八,一四三	五,七三五	五〇,七九	一〇,八三五	一六,九三	一〇,一六
-----	------	--------	-----	-----	-----	-----	------	-----	-------	--------	--------	-------	-------	--------	-------	-------

内地人卸商																
綿				砂		セメント			麥							
絲			糖		粉											
京	省	全	大	釜	仁	京	省	船	京	全	龍	裡	勝	京	龍	鎮
		南						橋					湖			南
城	線	線	邱	山	川	城	線	里	城	州	山	里	里	城	山	浦
四五	八三	一七	一	一	三	三	六九	五	二	三〇	一一	六	二三〇 ^噸	三	四五	二四
一九四,四〇〇	三五九,四七二	五六,九二八	一,五八四	一,五八四	四,七五二	四,七五二	一〇九,二九六	一,六九三	六七七	九〇〇	三三〇	一八〇	七一,四〇〇	五〇九	七六一九	三六,一三〇

第二章 市、街地の商圏

絲		網		茶			燒			清					
類							酎			酒					
下	門	神	大	大	京	門	神	大	下	門	神	大	其 の 他 各 地	神	大
關	司	戶	阪	阪	都	司	戶	阪	關	司	戶	阪	其 の 他 各 地	戶	防

同	同	同	數量不明	100 <small>噸</small>	36	75	50	4,355 <small>斤</small>	9,615	4,350	10,175	1,775 <small>利</small>	1,125	94,121	2,378 <small>石</small>
2,920	4,256	8,730	80,020	300	34	150	80	2,769	3,954	1,733	4,008	719	1,250	10,664	24,225

一一九

| | | | | | | | | | | | | | | |

(| | | | | | | | | | | | | | | |

市街地の商圏

窓硝子	石炭若	印刷料紙大	紙類					絹織物大	ゴム靴	稿及緋木綿					
下門			其	名	下	門	神	大	門	神	大	其	下	大	
			の古							其他各地					
關司	松阪	阪	他	屋	關	司	戸	阪	阪	司	戸	阪	關	阪	
101,450	135,600	183,400 九斤	同	同	同	同	同	數量不明	2,500 方疋	1,180	458,540	89,300	9,549 足	1750	55679 方疋
147,747	177,816	37,559	10	六七	1,161	1,192	1,246	89,471	5,379	7,110	300,981	62,534	4,865	311	22,166

木材及板			機械類						鐵鍋及釜			農工具				
門	神	大	其他各	横濱	東京	門司	神戶	大	下	門	大	其他各	下	門	神	大
司	戶	阪	港	濱	京	司	戶	阪	關	司	阪	港	關	司	戶	阪
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五,三九〇	二,二四〇	九,九〇三	二,九二五	八,〇〇〇	一,九三一	一,四三五	二,五五三	八六,九〇二	二九二	四,五五	五,三三二	八六〇	三六七	三三〇	一五,二一〇	八六,四一九

數量不明

諸雜貨			傘類				肥料				其ノ他各港					
東	名	下	門	神	大	名	下	門	大	下	門	神	大	其ノ他各港	名	下
京	屋	關	司	戶	阪	屋	關	司	阪	關	司	戶	阪	港	屋	關
同	同	同	同	同	同	同	同	同	數量不明	六,二〇〇	四七六,〇〇〇	八,六六二,〇〇〇	三三,一九〇〇斤	同	同	數量不明
一六,八五八	五七,六六七	七九,四〇七	六六,三〇二	一三二,四三八	一三〇,九九八四	一五〇	四五五	一〇一	二六,三〇〇	二五〇	一,五三八	四九,〇〇五	一三,三五四	五,三三八	四九	一三,一六三

市街地の商圈

船便による(重要品)計

綿											絹織物		其他各港	横濱		
省	裡	全	論	美	地	連	裡	新	箭	大	龍	神	大	其	横	
線	里	南	山	蓉	境	山	里	泰	灘	邱	山	戸	阪	他	濱	
												同	同	同	數量不明	
												二四三二七九	二〇〇〇	八〇〇〇	八九二八二	三六
二二	三三	六〇	九三	七七	六八	一一	一一	一一	七七	二三	二二五四					
三,七〇〇	一〇,一三三	一九,八〇〇	三〇,六九九	二五,一四一	六,三〇〇	三,四〇〇	三,五〇〇	三,〇〇〇	三〇,八〇〇	四,一〇〇	五〇,〇六四					

														木		
														材		
全	大	省	四	咸	金	釜	長	井	新	安	全	南	元	忠	永	京
南			街						義		北			清		
線	田	線	里	興	堤	山	城	邑	州	東	線	川	山	道	同	城

一四	一八	五三	五一	二九八	一八	九	九六	二九	二〇〇〇	一一八七	三五	一	二〇	一	二	七
四九〇	六二	三一八〇	三二一〇	一七八八〇	六二	五九七	三二六四	九五七	二四四三二	七三一九	一一九〇	三五	一一〇〇	三四	七〇	一〇一一

内
鮮
人
小
賣
商

木

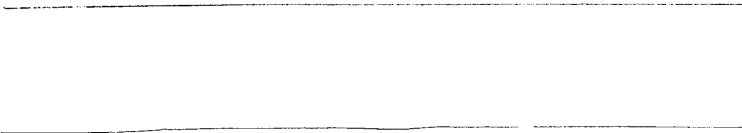
炭

文	新	清	鐵	金	東	南	箭	新	裡	連	新	永	全	月	高	草
	興				豆			泰					北	井		
川	里	渥	原	郊	川	川	灘	仁	里	山	幕	同	線	里	山	梁

| | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |

三三	一九	一三	一三	二六	四八	七六一	一〇一	二四	二	一六三	一三五	三九	六五	二二	三	一六
													噸			
一七三八	一〇二六	九〇一	七〇一	一四〇四	二五九一	四一〇九四	五五〇八	一二九六	一〇八	八八〇二	七二九〇	二二〇六	三五一〇	四二〇	一〇五	九六〇



豆

肥

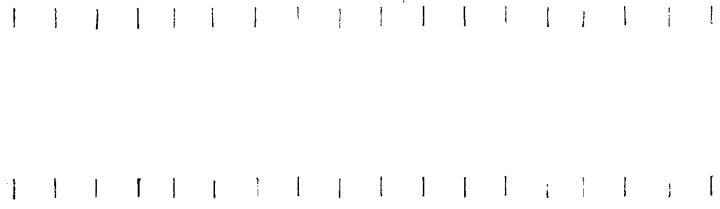
骸

粕

料

炭

全	龍	裡	安	仁	全	咸	井	新	裡	開	往	京	龍	平	仁	龍	兼
北					北			泰			十						二
線	山	里	東	川	線	悅	邑	仁	里	城	里	城	山	壤	川	山	浦



二七	一一	六	二二六〇	順五	二二	二	三	三	四	二二	二四	五二	七七	一六	一五	四七	八四
九、五二四	八九五	四八八	一〇、一五六四		一、二八八	一〇四	一五六	一五六	二六	一、二八八	一、二四八	二、七〇四	四、〇〇四	九六〇	九〇〇	二、八六〇	五、〇四〇

薪		四街里	四五一	七三六八
新興里		山	二七〇	四四〇一
釜山			一七	

重要品汽車便による(到着品)計
 船便汽車便別合計
 一三、六五二、九八五
 二八、〇七六、五〇二

前表問屋業者、及卸、小賣商別仕入總高を左記の通分記す。

問屋業	鐵道便	二五、二八三、八一四圓	合計	四一、二六七、五一一圓
	船便	一五、九八三、六九七圓		
卸商	鐵道便	二、二三七、六二六圓	合計	七、四七三、六三七圓
	船便	五、二三六、〇〇九圓		
小賣商	鐵道便	五五五、〇六二圓	合計	二、九八八、三四一圓
	船便	二、四三三、二七九圓		
		總仕入價額	五一、七二九、四八七圓	

尙内、鮮、外人卸小賣商の手により仕入れたるものにして、價額の調査困難なる爲め前表に掲ぐることを得ざるもの左の通あり。而して其の見積價額は四、二五五、〇〇〇圓とす。

品目 仕出地別 噸量 (鐵道便)
 紙類 全北線一五、省線一四、京城三五、釜山一四、慶山一、仁川三、忠北線一、龍山一、連

山一、

金物類

兼二浦五三三、釜山二四、京城四〇、裡里二、省線一七、全北線一一、松汀里三一、黃登二、木浦四、龍山三〇、鎮南浦六一、論山一、月井里二〇、全南線一

金屬器類

全北線四九、京城二〇、仁川九、平壤一三、論山九、黃登八、裡里七、省線五五、大田一二、兼二浦二、龍山一一、芙蓉二、全南線一、井邑三、月井里一

土管

味噌及醬油

大田一二一、裡里四〇、全北線二
大田三〇、江景六三、永登浦一〇、仁川一二、木浦一一、京城四、省線八、釜山一、裡里五、全南線三、鳥致院一

陶磁器

和酒

釜山四六、咸悅一、省線三〇、裡里三、論山一、江景一、平壤一一、全北鐵線一五、長城一、京城六、論山一一、鎮南浦一、豆溪一、車輦館二、南鮮一、省線三、馬山一、新義州一、新泰仁二、羅州一〇、木浦四、仁川一、裡里六、大田二、全南線二、金堤一、釜山一

刻卷 苘

藥品及藥材

裡里二八二、京城四、仁川一
全北線一三、京城三六、龍山一三、省線一三、仁川四、大邱一〇、江景一、全南線二、

永登浦一、大田一

家具類

全北線一五、京城五八、大田一〇、四街里一、新興里三、金堤一六、鎮南浦一、黃登二、論山九、裡里九、新泰仁五、井邑九、連山三、仁川四、榮山浦一、豆溪三、省線六、永同一、平壤二、龍山三、木浦四、金泉二、洛東六一六、大邱四、瑞興一、咸悅三、松汀里二、元山一一、滿洲線七、沙里院一、江景一、忠北線一、馬山一、全南線二

食品

全北線三、京城四九、龍山一三、釜山五六、省線二〇、永同四、元山五、裡里二、往十里六、新幕五、連山八、井邑一、長城一、論山三、沃川一、大田二、金堤四〇、安東一、豆溪一、松汀里一、深川一

牛皮

全南線二五、木浦二、全北線八、裡里三、論山七

黑鉛

平壤七

生牛

南川二〇、榮山浦一五、水原一、元山二〇、松汀里一五

石灰

勝湖里一三八、物開二

煉炭

裡里一一、寺洞七四、兼二浦四〇、京城一

砂利

龍山一、大田二六

杭 木 龍山一八

諸 雜 貨

全北線一二六、南鮮四八、省線一四八、鳥致院一一、大田八七、大邱六八、釜山一四八
 仁川二七四、平壤六九、新義州五、豆溪八、連山六、論山二五、江景三一、咸悅七、裡里
 二四八、金堤六六、新泰仁七八、井邑二三四、松汀里一二、羅州六六、榮山浦二六、古
 幕院五七、木浦四七、沃川一、四街里一二、鎮南浦二二、鐵原一、京城二九六、龍山一
 三九、黃登二三、長城一〇、釜山鎮三一、水原一、新興里二、金泉一三、草梁一〇、黃
 潤三、新幕一〇、開城六、鶴橋一、忠北一二、舊馬山二、佳水院一、芙蓉一四、岐陽一
 地境四、咸興九、永同一、元山八、南市二、安東四、新義州三、芙江一、軍浦場三〇、
 月井里三八、嶺陽一、永登浦三、杻峴二、新安州一、三郷一、新浦七、滿洲線一〇、長城一

ク、特産品の主要仕向地種類並に其の大正十三年中に於ける總數量は左表の通とす。

品 目	船便による仕向高			品 目	船便による仕向高		
	出向先	數量	價額		出向先	數量	價額
大 阪	六六,一八三	三,一〇七,〇〇一	四	四 日 市	二,五〇〇	八四,五〇〇	
神 戸	八二,三三一	二,九三二,一五七	一	下 關	五二四	一九,二一〇	
名 古 屋	一一,三五〇	三,八三三,八一	一	清 水	五,五六八	一八八,一九八	

玄米

尾ノ道	一五、八〇七	五三三、九〇五
東京	六二、〇四一	一九九七、二四
高知	二二、二八二	七五三、一三一
吉浦	五〇〇	一六、九〇〇
須崎	一六、〇五四	五四二、六二五
門司	一、八五〇	六〇、一九三
今治	一、九二〇	六四、八九六
柳井	二〇	六七六
宇品	一、九三四	六五、三六九
横濱	三、五八七	一七、六六四
小松島	二八〇	九四、六四
京都	六六	二、三三一
芝浦	二、〇〇〇	六七、六〇〇
丸龜	四〇〇	一三、五二〇
船便により仕向けたる玄米計 八九二、二八八		
大阪	五九、二〇六	二、二七五、三七一
神戸	一〇、六三六	三九、九八四〇
二、九九五、六四六		

白米

名古屋	三、〇三三	一一、八九六
下關	三、九七一	一四八、七四
門司	五、〇九一	二〇、二〇七九
尾ノ道	二、六四六	八六三、七一〇
青島	一五〇	五、七〇六
東京	二、二九六	八六、一〇二
高知	六、一四五	一三三、五一〇
清水	三、六一四	一三七、三三二
今治	二、七〇〇	一〇、二六〇〇
須崎	五、一〇〇	一九三、八〇〇
京都	二八三	一〇、七五四
横濱	九〇〇	三四、八六五
吉浦	四、〇八四	一五五、一九二
佐須奈	二八	一、〇六四
吳	三〇〇	一一、四〇〇
長崎	一、三八〇	五、二四〇
四日市	一〇〇	三、八〇〇
船便により仕向けたる白米計 一三、六三五		
五、〇三〇、一八五		

碎

米

大 阪	一〇,三三八	二二,二八七
名 古 屋	四,一四	六,〇八四
神 戸	五,四九	一,二七六
下 關	八〇	一,〇六四
門 司	五,六	八,八〇
今 治	四〇	九,六〇
須 崎	一,六〇	三,八四〇
東 京	七〇	一,〇八五
高 知	一,〇一	四,八四八
四 日 市	二,三〇	五,五二〇
船便より仕向けたる碎米計	二二,二八九	二四,八八九

其他の米

大 阪	九〇〇	一,一六〇
名 古 屋	八七	一,二七〇
尾ノ道	四〇	三〇〇
門 司	九	七〇
船便により仕向けたる其他の米計	一,〇三六	一,三三二
大 阪	六,六五	六,二四七

大

豆

大 阪	六,六五	六,二四七
神 戸	八,〇八六	一四,三五六
高 知	二,七四二	四,九三五
須 崎	二,一九六	三,九二九
柳 井	九,三六	一五,八二九
尾ノ道	二〇	三,四〇
吉 浦	九,六七	一七,三五八
高 松	五〇〇	九,四八〇
船便により仕向けたる大豆計	二〇〇	三,八〇〇
大 阪	九,七〇	二七,八五二
神 戸	五,七四〇	一,一七六
下 關	九,八〇〇	一,〇一六
船便により仕向けたる荏胡麻計	二五,二四〇	二,八三

荏胡麻

粟

大 阪	一五,二五二	七,六八〇
船便により仕向けたる粟計	一五,二五二	七,六八〇
大 阪	一,六七六	二,六一〇

糠

神戸	四、八五八	七、三九六
名古屋	八二〇	一、三〇一
東京	一六、三二〇	二七、六三七
其他各港	六〇二	八七〇
船便により仕向けたる糠計	三九、三八六	六三、三二一

豆粕

大阪	五〇六	二、六四〇
神戸	四九	二三五
下關	一、六六八	九〇五〇
船便により仕向けたる豆粕計	二、二二九	一、一九二五

牛皮

大阪	七〇、四三〇	四、二五九〇
船便により仕向けたる牛皮計	七〇、四三〇	四、二五九〇

絹織物

大阪	七六六	二五〇
神戸	六九九	二二三
其他各地	一六、二二八	六六、七二
船便により仕向けたる絹織物計	一七、五九三	七、四四五

数量不明

大阪	七八、七七四	二、九九〇
神戸	同	同

其他雜品

門司	同	四、七三〇
下關	同	四〇、九九
東京	同	九〇
横濱	同	二、五〇〇
其他各地	同	一一〇、一五一
船便により仕向けたる雜品計	同	二四九、一三四

水産物

下關	二〇、五〇〇	一八、六〇〇
支那	一、二五〇	三六〇
大阪	五〇、二〇〇	四〇、一六〇
京城	二、一〇〇	九六〇〇
釜山	一、五〇〇	一、二〇〇
木浦	一、六〇〇	一、二八〇
船便により仕向けたる水産物及水産加工品計	八七、〇五〇	七、二二〇〇

加工品

船便合計	三、五、九五七	八、六三三
------	---------	-------

品目	鐵道便による仕向高	
	出向先數量	價額
連山	1,311,054 ^斤	1,311,054 ^円
江景	274,256	274,256
黄登	482,535	482,535
裡里	3,291,745	3,291,745
金堤	2,800,331	2,800,331
新泰仁	1,442,436	1,442,436
井邑	2,475,166	2,475,166
松汀里	451,041	451,041
木浦	797,403	797,403
全南線	387,697	387,697
全北線	1,444,219	1,444,219
省線	677	677
論山	408,033	408,033
大田	71,106	71,106
長城	304,740	304,740

品目	鐵道便による仕向高	
	出向先數量	價額
咸悅	269,187 ^斤	269,187 ^円
羅州	253,955	253,955
京城	1,337,470	1,337,470
芙蓉	277,651	277,651
黄澗	169,931	169,931
永同	338,616	338,616
地境	338,616	338,616
四街里	253,955	253,955
祭山浦	948,809	948,809
釜山	507,900	507,900
英江	169,931	169,931
忠北線	304,740	304,740
大邱	507,900	507,900
滿洲線	2,031,600	2,031,600
仕向けたる	171,455,595	171,455,595
鐵道便により	171,455,595	171,455,595

外國米

鐵道便により仕向けたる

麥類

汽車便により仕向けたる麥類計

汽車便により仕向けたる大豆計

大豆

論山	全北線	裡里	井邑	全北線	木浦	黃登	金堤	新泰仁	全北線
二六 ^五	七	二〇	三三	三三	五九	二三四	一七〇三	九六九	七六一
四一六 ^四	一一二	三六〇	五九四	五九四	一、〇六七	七、〇一〇	五一、〇九〇	二九、〇七〇	二二、八三〇

雜穀

汽車便により仕向けたる雜穀計六、六二^一

井邑	裡里	論山	全南線	馬山	江景	咸悅	長城	金谷	芙蓉	京城	四街里	新泰仁
一一七四	九四九	四六	二〇	七	一六九	二八六	一一一	三九	二六	七	二〇	二七
三六、二三〇	二八、四七〇	一、三八〇	六〇〇	二二〇	五、〇七〇	八、五八〇	三、三三〇	一一、二七〇	七八〇	二二〇	六〇〇	一七、五五〇

粟

市街地の商圏

汽車便により仕向けたる粟計

一、〇〇三

一五〇、五四〇

全南線	松汀里	沃川	豆溪	平康	芙蓉	新興里	四街里	新灘津	連山	長城邑	咸悅	江景	論山	裡里	
二	六	一〇	七七	一〇	二二	四	八	八	五九	二一〇	一〇八	一〇九	六六	三九	一八
三〇〇	九〇〇	一、五〇〇	一、一五五〇	一、五〇〇	一、八〇〇	六〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	八八五〇	一六、五〇〇	一六、二〇〇	一六、三五〇	九、九〇〇	五、八五〇	二、七〇〇

平康	大邱	安東	平澤	元山	南市	全南線	地境	芙蓉	新義州	鎮南浦	新安州	仁川	金堤	全北線	新泰仁	裡里	龍山
三九	六四八	七八	一三	三四五	七八	一三	一三	一五	五二	一三三	八九	五五四	九	五三	七六	一三二	六五
四、〇一七	六六、七四四	八、〇三四	一、三三九	三、五三五	八、〇三四	一、三三九	一、三三九	一、五四五	五、三五六	一三、八九六	九、一六七	五七、〇六二	九二七	五、四五九	七、八二八	一三、六九六	六、六九五

一三八

噸

四

繩

叭

第二章 市街地の商圏

密陽	龜浦	宣川	汗浦	慶山	黃海線	中和	黃登	倭館	滿洲線	新幕	豆溪	慶東	新義州	郭山	肅川	金泉	釜山
六五	七五	六五	二六	一五六	一五四	三五	二六	二六	一三	一五〇	一	九一	一四三	一〇四	九一	四三	二四一
六六九 五	七八八	六六九	二六七八	一六〇六八	一五八六二	三六〇五	二六七八	二六七八	一三三九	一五四五〇	一〇三	九三七三	一四七五	一〇七二	九三七三	四三五六八	二四九六

車輦館	嶺美	沙里院	馬場	瑞興	舊馬山	清道	勿禁	慶北線	咸興	鐵原	井邑	定州	萬城	平壤	黃州	南川	若木
一三	一三	一三	一三	一三	三九	二六	一三	三九	二六	三七	九	五二	三九	三九	二四	一四一	一三
一三三九	一三三九	一三三九	一三三九	一三三九	四〇一七	二六七八	一三三九	四〇一七	二六七八	三八一一	九二七	五三五六	四〇一七	四〇一七	二四七二	一四、五三	一三三九

綿		汽車便により仕向けたる綿計		汽車便により仕向けたる繩臥計	
咸悦	二	二、一六三		井邑	四
忠北線	五	五、三五六		木浦	四七
草梁	三	一、三三九		地境	七
漁波	三	一、三三九		全北線	三
古邑	三	一、三三九		鳥致院	五
永興	三	一、三三九		金堤	一
				新泰仁	一
				汽車便により仕向けたる綿計	一三
				里	八〇
				繩臥計	五、二〇〇

木

材

金堤	三六	二、三四〇
新泰仁	一七	一、二〇五
江景	三	一九五
全北線	六〇	三、九〇〇
京城	七	四、五五
黃登	三七	二、四〇五
論山	八	五二〇
釜山	五	三二五
松汀	二	一三〇
地境	二	一三〇
釜山	一五	九七五
大邱	四	二六〇
全南線	三五	二、二七五
芙蓉	一	六五
咸悦	三	一九五
井邑	一八	一、二七〇
大田	一	六五
長城	三	一九五

石

炭

松汀里	全北線	南鮮	長城	井邑	新泰仁	金堤	裡里
七	九	一〇八	一〇	四	二三	三九	一六二三 <small>順</small>
一三三	一七一	二〇五一	一九〇	七六	二二八	七四一	三〇、六四七

汽車便により仕向けたる木炭計

木

炭

芙蓉	裡里	新泰仁	新義州	平澤	四街里	馬山
一	二六	二六 <small>順</small>	一	一八	一	三
五四	一四〇四	一四〇四	六五	一一七〇	六五	一九五

汽車便により仕向けたる木材計

骸

炭

連山	豆溪	大田	新泰仁	井邑	佳水院	黄登
三三	八	一一 <small>順</small>	二	一	二	一
七二八	一七八	二二七六	一四〇	七〇	一三〇	六五

汽車便により仕向けたる石炭計二八八六

論山	鶯梁津	豆溪	芙蓉	大田	羅州	黄登	咸悅
二	五〇	二	一	一一	三	四	〇
三八	九五〇	三八	一九	二三八	五七	七	一九〇

石油

論山	咸悦	裡里	芙蓉	金堤	新泰仁	松汀里	井邑	全北線	長城	榮山浦	黄登	江景	四街里	全南線	木浦
一九	二五	二九八	二七	八七	六八	一	一七九	四二	二〇	一	二〇	二	四	三六	二
四、〇四	五、四〇〇	六四、三六八	三、六七二	一八、七九二	一四、六八八	二六	三八、六六四	八八、七七六	二、二六〇	二六	二五、九二〇	四三二	八六四	七七、七六	四三二

汽車便により仕向けたる石油計 一、三三二

二八七、七二

原鹽

連山	裡里	井邑	全南線	全北線	新興里	芙蓉	金堤	松汀里	永同	鳥致院	大田	榮山浦	黄登	四街里	長城	咸悦	新灘津
五一	六五	四〇九	一、〇八〇	四、一七六	二六	二七九	四六九	六〇	三〇	六〇	九〇	三〇	二七四	一五〇	五七一	二五五	三〇
一、三〇〇	一五、六二五	一〇、二二五	二七、〇〇〇	一〇四、四〇〇	六五〇	六、九七五	二、七二五	一、五〇〇	七五〇	一、五〇〇	二、二五〇	七五〇	六八、五〇〇	三、七五〇	二、三〇〇	六、三三五	七五〇

第二章 市街地の商圏

木浦	新泰仁	江景	龍山	地境	長城	大田	全北線	榮山浦	松汀里	金堤	裡里	汽車便により仕向けたる原鹽計	豆溪	芙蓉	新泰仁	黃澗
一六	八	四	九五	一	九	三〇	二一〇	五	三一	二二	一七二	九、七一	三〇	一	四四三	三〇
五、四一八	二、七〇八	一、三五四	三、二六七	三三九	三、〇四七	一〇、一五八	七、一〇六	一、六九三	一〇、四九七	七、四九九	五、八二三元	一、七九二、七五	七五〇	二五	一、〇七五	七五〇

鮮魚

新義州	鎮南浦	仁川	价川輕便	井邑	金泉	京城	黃登	論山	連山	全南線	咸悅	平壤	馬山	釜山	鳥致院	大邱
六八七	二	一	三	一	二	四	一六	三	五	四	九	三	二	一	五	一八
二、三二、二七七	六七七	三三八	一、〇一六	三三八	六七七	一、三五四	五、四一八	六七七	一、六九三	一、三五四	三、〇四七	一、〇六	六六七	三三九	一、六九三	六、〇九五

鹽乾魚

倭	大	芙	永	榮	龍	水	大	京	鳥	井	新	松	裡	金	全	金
館	邱	江	同	山	山	原	田	城	致	邑	泰	汀	里	堤	北	泉
一	二七	三	四	八	一	一	七	四六	三	二	八	一〇	二六	二二	五五	二八 ^噸
一,五〇〇	四〇,五〇〇	四,五〇〇	六,〇〇〇	二二,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一〇,五〇〇	六九,〇〇〇	四五,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	一五,〇〇〇	三九,〇〇〇	一六,五〇〇	八二,五〇〇	一九,二〇〇

麥

粉

咸	全	全	井	新	裡	金	黃	論	長	論	忠	舊	黃	全	平
悅	北	南	邑	泰	里	堤	登	山	城	山	北	馬	澗	南	壤
二	二九一	五七	六七	六〇	一六四	七五	二五	一六	一	二	一	三	一	六	八
二,四〇〇	五八,二〇〇	一一,四〇〇	一三,四〇〇	二二,〇〇〇	三三,八〇〇	一五,〇〇〇	五,〇〇〇	三,二〇〇	一,五〇〇	三,〇〇〇	一,五〇〇	四,五〇〇	一,五〇〇	九,〇〇〇	二二,〇〇〇

汽車便により仕向けたる鹽乾魚計三三三

五四,五〇〇

汽車便により仕向けたる麥粉計

江景	長城	大田	金泉	沃川	豆溪	芙蓉	松汀里	羅州	四街里	黄登	裡里	金堤	江景	新泰仁	井邑
一五	二〇	三八	二	二	八	六	四	二	一	八六五	七九九	三〇〇	一四	一四二	二九
三〇〇〇	四〇〇〇	七六〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	一六〇〇	一三〇〇	八〇〇	四〇〇	二〇〇	一七三〇〇〇	四三、九四五	二二、一〇〇	七七〇	七八一〇	七〇九五

肥料

汽車便により仕向けたる肥料計

全北線	地境	芙蓉	論山	長城	大田	全南線	咸悅	四街里	松汀里	羅州	新泰仁	地境	新泰仁	井邑	
一六	二四	三	四二	一五	二二	四	一七一	三	二	一	一	二六	二七	三六	
一〇、三三〇	一三、四〇〇	一六五	二、三三〇	八五	六六〇	二三〇	九、四〇五	一六五	二一〇	五五	二一〇、七二五	二二、三三	二二、二四	九三〇	一、〇八〇

豆粕

汽車便により仕向けたる豆粕計

セメント																
金堤	裡山	論山	江景	全南線	裡里	四街里	咸悦	松汀里	金堤	連山	釜山鎮	論山	全北線	長城	黄登	
三	四	二	一	一	二	一	七	一	一	四	二	六	六	三	七	
一〇,三〇〇	一五,一八〇	六,九三〇	五,一〇〇	三〇	三〇	三六〇	三〇	二二〇	三〇	五四〇	二一〇	七八〇	一八〇	一八〇	三九〇	二二〇

綿糸										砂糖					
汽車便により仕向けたる綿糸計										汽車便により仕向けたる砂糖計					
忠北線	新泰仁	江景	大江田	京城	井邑	全北線	裡里	長城	黄登	井邑	江景	全北線	南鮮	松汀里	新泰仁
二	一	一	三	一	一	九	四	四	四	一〇	二	一	八	一	二
三三,六〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	四,八〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一四,四〇〇	一四,四〇〇	一〇七,五八〇	一三,一〇〇	一三,一〇〇	三三,三〇〇	七,二六〇	五〇,一六〇	二六,四〇〇	八,九二〇

第二章 市街地の商圏

松汀里	長城	新興里	元山	井邑	新泰仁	黃登	金堤	裡里	咸悅	江景	連山	豆溪	金泉	大田	鳥致院	京城
三八	四一	一四	一	九〇	七七	一九	八五	一〇二	一七	一三二	二二	一〇	四四	八七	四六	七六
七七,五二〇	八三,六四〇	二八,五六〇	二,〇四〇	一八三,六〇〇	一五六,九八〇	三八,七六〇	一七三,四〇〇	二〇八,〇八〇	三四,六八〇	四七三,二八〇	二四,四八〇	二〇,四〇〇	八九,七六〇	一七七,四八〇	九三,八四〇	一五五,〇四〇

綿

布

仁川	忠北線	四街里	舊馬山	大邱	論山	慶東	沃川	芙蓉	永同	釜山	全北線	全南線	木浦	鶴橋	榮山浦	羅州
六	二四	四	五	八	七六	二	七	四	三〇	二	二八五	一二二	七四	一九	五〇	三二
一一,二四〇	四八,九六〇	八,一六〇	一〇,一〇〇	一六,三三〇	一五九,一二〇	四〇,八〇	一四,二八〇	八,一六〇	六,二二〇	四〇,八〇	五八一,四〇〇	三三八,四八〇	一五〇,九六〇	三八,七六〇	一〇二,〇〇〇	六三,二四〇

市街地の商圏

新泰仁	金堤	裡里	江景	論山	大田	天安	京城	盆巾里	天安	慶北線	平澤	美江	黄澗	京南線	平壤
六	一三	五九	一	二	七九	一	一	一	一	八	二	一	四	五	一三
一四三	三〇八一	一三九八三	二三七	四七四	一八七三	二三七	一三七	二〇四〇	二〇四〇	一六三三〇	四〇八〇	二〇四〇	八二六〇	一〇,一〇〇	二四,四八〇

汽車便にて仕向けたる織布計

一,七六六

三六〇,二六四〇

麥酒

金堤	裡里	黄登	咸悅	釜山	沃川	忠北線	羅州	永同	京南線	新灘津	金泉	全北線	南鮮	中鐵線	長城	井邑
二九	三三	九	二	二	二	三	一	六	一	一	二	一	一	九	一	一九
六,五二五	七,一〇〇	一〇,一五	四,五〇	七,〇二五	四,七四	七,一	一三七	一,四三	一三七	一三七	四,七四	二七,二五五	一三七	二,二三三	一三七	四,五〇三

汽車便により仕向けたる麥酒計

三三五

七,〇二五

牛			燐													
皮			寸													
安東	大田	京城	木浦	京城	金泉	鳥致院	大田	榮山浦	松汀里	全南線	論山	江景	長城	全北線	井邑	新泰仁
二四	二	二	四	一	一三	四一	二四	二八	〇	〇	二	六	二	二六	三三	二九
七〇〇	一〇〇	一〇〇	九六三〇〇	二三五	二、九五	九、三五	五、四〇〇	六、三〇〇	二、二五〇	二、二五〇	四、七五	一、三五〇	二、四七五	二、八三五〇	七、二〇〇	六、五二九

海		石													薪	
藻		粉													新	
江景	木浦	咸悅	松汀里	全北線	金堤	長城	裡里	新泰仁	論山	黃登	新泰仁	平壤	新泰仁	新泰仁	新泰仁	
一	四	二	三	二	三七	九	三八	六五	一〇	四	一四	二〇	二〇	二		
四四	一七六	三七二	五五八	二〇四六	六、八八二	一、六七四	七、〇六〇	二、〇九〇	一、八六〇	七四四	三〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇〇		

汽車便にて仕向けたる海藻計
 汽車便にて仕向けたる石粉計
 汽車便にて仕向けたる牛皮計

仕向總額 四四、一一一、二二二圓

尙仕向價額の調査困難なる爲め、前表に合掲することを得ざるもの左の通りあり。而して其見積價額は五、五五六、〇〇〇圓に達す。

品目 仕向地別 噸量 (鐵道便)

石材 大邱八八、大田一、沃川三、全北線一、裡里三、永同四、京城二、豆溪四、鳥致院三、

全南線四、舊馬山三〇、慶山九

紙類 裡里一三、金堤七、井邑一〇、南鮮線四、全北線一八七、長城三、木浦一、京城四、大

田四、論山一、黃登一、江景三、金泉一

金物類 天安二四、大田一五一、永同三五、論山五四、黃登五二、裡里一一四、金堤六〇、新泰

仁三三、井邑九三、長城三、松汀里四一、羅州三二、榮山浦二〇、木浦一六、中鐵線二

一、全北線三八六、江景一三、地境四九、鳥致院四五、京南線六、咸悅六、芙蓉四、連

山二、四街里二、釜山鎮一、金泉四、沃川七、全南線一五四、忠北線八五、京城一、新

灘津二、成歡一、平澤二、黃澗三

金屬品類 大田一二、江景二八、黃登三七、裡里五五、新泰仁三一、井邑四三、中鐵線二、全北線

一七三、論山一二、松汀里七、咸悅二、木浦三、羅州二、地境一、金堤二二、京城二、長城二、榮山浦四、鳥致院三、天安一、豆溪一、鶴橋二、全南線二三、沃川五、金泉八、黃登二、裡里一〇、井邑七、木浦二九、全北線二一、新泰仁六、論山二、金堤一、江景

九、全南線一六、鶴橋二、羅州四

陶磁器、裡里五九、新泰仁八、長城一、全北線三三、論山一、金堤一〇、井邑五、黃登二、大田

三、江景一

和酒、京城七三、鳥致院九、安東三三、裡里六二、金堤二〇、新泰仁一九、井邑一三、木浦三

一、南鮮線三七、全北線一二八、榮山浦二、鐵原一、大田一三、松汀里八、羅州六、沃

川一、水原一、黃澗二、芙江二、平澤一、論山五、芙蓉六、四街里二、黃登一、長城二、

龍山八、江景四、新興里二、瀛洲線一、鶴橋一

刻卷、地境一六、全北線二、裡里一八

藥材及藥品、裡里二一、金堤九、新泰仁六、井邑二一、長城三、南鮮線一〇、全北線四三、江景一、

松汀里二、大田一、京城一、鳥致院一

家具類、京城六、裡里二五、新泰仁四、井邑七、全北線二一、龍山一、金堤一一、木浦六、省線

五、釜山二、大田六、開城一、大邱二、平澤三、平壤二、釜山鎮二、永同一、長城三、
 松汀里一、全南線三、咸悅一、地境一、忠北線二、沃川一、江景一
 食料品 裡里二四、新泰仁九、井邑五、全北線三六、金堤一〇、全南線四、木浦四、鐵原二、四

街里一、安東三、論山一、江景四、長城一

煉瓦 裡里二六、全北三、金堤一、地境二、長城二、全南線三二八

生牛 安東縣四

石灰 長城一、全北線一、四街里一、新泰仁一、井邑八、全南線一

煉炭 金堤三

砂利 裡里三〇

諸雜貨 京城六八、大田一五三、沃川五、大邱五六、舊馬山五、連山五、論山四五、江景七三、

咸悅三〇、黃登五六、裡里三五八、芙蓉九三、金堤一二三、新泰仁一四〇、井邑一九六、

四街里二〇、新興里一二、長城七三、松汀里五四、羅州五六、木浦二一五、全南線二〇

六、全北線四八五、省線四八、中鐵線四、平壤二六、鶴橋五、豆溪九、美江一〇、龍山

四六、仁川七六、榮山浦二〇、勝胡里一七、金泉一二、開城四、鎮南浦三、京南二一、

天安一四、釜山一四、釜山鎮二、水原五、佳水院二、鳥致院一三、忠北線一七、沙里院
四、南市六、新義州四、安東三、慶東一、勿禁一、三郷一、地境一一、草梁一、黃澗一、
新革二、永同三、新灘津三、平澤九、元山三、定州一、宣川一、岐陽一、慶北線九、滿
洲線一、馬山一、鐵原一、黃海線一

備考 前掲各表仕入總高五一、七二九、四八七圓、仕向總高四四、一一一、二三二圓に、各表の末尾に記載せる價額の算出因
難に屬する仕入見積價額四、二五五、〇〇〇圓、同仕向見積額五、五五六、〇〇〇圓と、當港沿岸貿易額移入九、六二
四、五五八圓、該移出額一、三六三、三一八圓を合するときは、當港に於ける大正十三年中の商取引總高は一、二七、六
二七、四六八圓に達せり。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

イ、地元行商者の行商地域は左記の通りとす

全羅北道一圓、忠清南道一圓、忠清北道の一部(沃川、芙江、永同、深川、清州、其の他忠北線數箇所)全
羅南道の一部(木浦、羅州、榮山浦、長城、靈光、四街里、林谷、松汀里、新興里、其の他全南線數
箇所)

ロ、外來行商者の地方別

東京、大阪、名古屋、京都、神戸、門司、下關、橫濱、若松、福岡、京城、釜山、大連、其の主なる

ものとす。

全州郡全州面

一、銀行、金融組合、金貸業者の貸出地域及預金者の之等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

イ、銀行

1 貸出地域 全州一圓

2 預金者の之等機關を利用する範圍

預金者は主として商業工業並に農業者にして、之等機關を利用する者も亦同業者を主とす。

3 最近一箇年間の貸出金總額 (大正十三年度)

一六、三〇一、四七二圓

最近一箇年間の預金總額 (同)

六、九五四、五三六圓

ロ、金融組合

1 貸出地域 全州郡全州面、草浦面、龍進面、所陽面、上關面、九耳面、亂勿面、伊東面、伊西面
雨林面

2 預金者の之等機關を利用する範圍

預金者は商業工業並に農業者にして、之等機關を利用する範圍も亦同業者を主とす

3 最近一箇年間の貸出總額 (大正十三年度)

七六四、六一八圓

最近一箇年間の預金總額 (同)

二、〇四七、八二七圓

ハ、金貸業者

1 貸出地域 全州郡一圓

2 是等機關を利用する範圍

農業商業者其の他

3 最近一箇年間貸出金總額 (大正十三年度)

一〇八、五〇〇圓

(イ) 内 鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

1 内地人卸商 問屋なし

イ、種類 類 鮮人向雜貨

ロ、仕入先 平壤、京城、群山、釜山、大阪

ハ、最近一箇年間の總仕入數量

ニ、同上價額 一五〇、〇〇〇圓

2 外 國 人 (支那人のみにして他はなし)

イ、主要商品の種類 反物

ロ、仕入先 平壤、京城、仁川、群山

ハ、最近一箇年間の總仕入數量 五〇、〇〇〇反

ニ、同上價額 五〇、〇〇〇圓

3 内 地 人

主要商品の種類 酒、反物、ゴム靴、食料品雜貨、木材

酒

仕入先 群山、灘方面

最近一箇年間の總仕入數量 三六〇石

同上價額 三六、〇〇〇圓

反物

仕入先 東京、大阪

最近一箇年間の總仕入數量 二〇、〇〇〇反

同上價額 七〇、〇〇〇圓

ゴム靴

仕入先 神戸、京城

最近一箇年間の總仕入數量 五〇、〇〇〇足

同上價額 五〇、〇〇〇圓

食料品雜貨

仕入先 大阪、釜山、群山

最近一箇年間の總仕入數量

同上價額 三〇、〇〇〇圓

材 木

仕入先 新義州

最近一箇年間の總仕入數量 六七、五〇〇才

同上價額 一三五、〇〇〇圓

4 朝鮮人

主要商品種類 反物、ゴム靴、食料雜貨、外米、粟

反 物

仕入先 群山、京城

最近一箇年間の總仕入數量 八〇、〇〇〇反

同上價額 八〇、〇〇〇圓

ゴム靴

仕入先 京城

最近一箇年間の總仕入數量 三〇、〇〇〇足

同上價額 三〇、〇〇〇圓

食料品雜貨

仕入先 群山、京城

最近一箇年間の總仕入數量不明

同上價額 二〇、〇〇〇圓

外 米

仕入先 群山

一箇年間の總仕入數量 六〇〇〇袋

同上價額 一〇、二〇〇圓（一袋一七圓）

粟

仕入先 支那四平街、群山

最近一箇年間の總仕入數量 六〇〇〇袋

同上價額 八四、〇〇〇圓（一袋一四圓）

5 外國人の營業者無し

(口) 特産品の主要仕向地種類並に其の最近一箇年間の總數量及價額

種類 毛絲、朝鮮紙、扇子、團扇、朝鮮雨傘

毛 絲

主要仕向地 豊橋、金澤、京都

最近一箇年間の總數量 二五八貫

同上價額 一九、九八〇圓

朝鮮紙

主要仕向地 京城、群山、木浦、北鮮地方

最近一箇年間の總數量 四、八〇九塊

同上價額 九六、一七六圓

扇 子

主要仕向地 鮮内各地

最近一箇年間の總數量 三四、〇〇〇本

同上價額 一七、〇〇〇圓

團 扇

主要仕向地 鮮内各地

最近一箇年間の總數量 四二、五〇〇本

同上價額 六、三七五圓

朝鮮雨傘

主要仕向地 南鮮各地

最近一箇年間の總數量 四九、七〇〇本

同上價額 一一七、三三五圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者 無し

外來行商者 富山縣（藥種行商）

南原郡南原面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の

總金額

1 貸出地

殖産銀行南原支店 南原郡、淳昌郡の一圓、任實郡、谷城郡、求禮郡、長水郡、咸陽郡の一部

南原金融組合 南原郡二白、朱川、黒松、周生、大山、王峙、山東の八箇面

2 預金者の利用する範圍

銀行貸出地に同じ

金融組合貸出地に同じ

3 最近一箇年間の總金額

殖産銀行

貸出 一三八、〇八〇圓

預金 一、三一五、八六六圓

南原金融組合

貸出 一一四、三六〇圓

預金 二六六、〇三六圓

二、(イ)内鮮外人商(卸、小賣、問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

本郡は交通不便の關係上商品の大部分は管内に於ける消費經濟に屬する日用諸雜貨の取引にして且小賣

商なり、隨て卸賣及問屋業として特記すべきものなし。而して前記日用諸雜貨は主として南原邑内に於ける内鮮人及支那人の經營する小賣商店より供給を受け、薪炭、家畜、穀類、海産物等の如きものは郡内に散在する四箇所の市場に於て取引をなしつゝあり、此慣習は全鮮を通じ同一なり。主たる日用諸雜貨の仕入先は京城、仁川、釜山、大邱、群山、全州にして、海産物は河東、麗水、順天より仕入し、湖南線方面より入るものなし。最近一箇年間の主要商品の總仕入數量及價額見込は左の如し。

品名	數量	價額	品名	數量	價額
食用鹽	八〇八、〇〇〇 <small>斤</small>	五六、五六 <small>円</small>	ビール	(四打入) 二〇〇 <small>箱</small>	四一、〇〇 <small>円</small>
金	四、五五〇 <small>両</small>	四一五、五〇〇	サニイター	(四打入) 二〇〇 <small>箱</small>	二、〇〇〇
吳服反物	一六、五〇〇 <small>反</small>	一六五、〇〇〇	内地人向醬油	一、四〇〇 <small>俵</small>	九八〇〇
鮮人向絹織物	八、〇〇〇 <small>反</small>	八〇、〇〇〇	砂糖	一、〇〇〇 <small>俵</small>	二七、〇〇〇
清酒	八〇〇 <small>樽</small>	五二、〇〇〇	錫詰類	二〇、〇〇〇 <small>樽</small>	八、〇〇〇
内地人向吳服反物	二、四〇〇 <small>反</small>	二四、〇〇〇	麻布	三、〇〇〇 <small>反</small>	一一、〇〇〇
鮮人向雜貨	三、〇四八 <small>箱</small>	三〇、四八〇	生魚	一三九、〇〇〇 <small>貫</small>	一三九、〇〇〇
支那雜貨	五〇〇 <small>箱</small>	五、〇〇〇	鹽チ	二〇八、五〇〇	四一七、〇〇〇
燐寸	二〇打入、二二四	一三、四六四	鹽魚	一一六、二五〇	五八二、二五〇
明太	四八六、〇〇〇 <small>斤</small>	九七、二〇〇	乾魚	七四、〇〇〇	三七、〇〇〇

市街地の商圏

イ	リ	コ	九〇〇〇 <small>買</small>	二七〇〇〇 <small>円</small>	石	油	一六四
海	草	類	一七二五〇	八六五	巻	煙	三五〇〇 <small>箱</small>
					草	一、〇〇〇	三四三〇〇 <small>円</small>

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

品名	數量	價額	仕向地	品名	數量	價額	仕向地
米	八〇〇〇 <small>石</small>	二四〇〇,〇〇〇 <small>円</small>	全州	蠶繭	六三九 <small>石</small>	五二,二〇〇 <small>円</small>	大邱
織物	三六,〇〇〇 <small>反</small>	八七五〇〇	同	棉	六六,〇〇〇 <small>斤</small>	一九一,七〇〇	同
生絲	三九九 <small>貫</small>	一七,九五五	迎日郡	清酒	七〇 <small>石</small>	一〇,五〇〇	谷城、求禮、淳昌
朝鮮紙	九三六 <small>塊</small>	二,七七二	全州	扇子	七五,〇〇〇 <small>本</small>	四,五〇〇	京城、開城
挽物	二,三〇〇 <small>顆</small>	二,三〇〇	京城、全州	團扇	五三五,三〇〇	一六,〇五九	京城、開城
朝鮮式食膳	四,〇五八	四,〇五八	同	牛皮	二〇,〇〇〇 <small>斤</small>	八,〇〇〇	全州
眞鍮器	三,五〇〇	七,〇〇〇	同	鐵鑄物	二,五〇〇 <small>個</small>	一四,〇〇〇	谷城
果物	六,〇〇〇 <small>貫</small>	六,〇〇〇	全州	麩子	二〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	河東、光陽、順天、麗水
乾麵	三,〇〇〇	三,九〇〇	谷城、求禮	莞蓆	三,五〇〇 <small>枚</small>	二八,〇〇〇	谷城
牛	五,〇〇〇 <small>頭</small>	五〇,〇〇〇	谷城、求禮、咸陽、淳昌	豚	五〇〇 <small>頭</small>	二,五〇〇	谷城、求禮、淳昌、任實、長水

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域 淳昌、任實、長水、求禮、咸陽、谷城、河東、順天、光陽、全州、金堤各郡

外來行商の地方別 光陽、長水、求禮、河東、全州各郡

金堤郡金堤面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域、及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

A 銀行 金堤郡一圓 井邑扶安郡の一部 九、一三九、八五六圓

B 金融組合 金堤郡金堤、竹山、月村、白 一九三、四〇〇圓

C 一般貸金業者 山、龍池、孔德、白鷗の各面 一五〇、〇〇〇圓

(二)内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

卸小賣の分 罐砂^メリケ^ン粉 三、二〇〇袋

罐詰 洋和紙 二、四五〇俵

小 賣 陶 器 數量不明

同 木 炭 九、〇〇〇俵

同 洋品雜貨^メ帽子^リヤ^ス 八〇〇打

靴類 二、〇〇〇打

六、四〇〇圓 二、一〇〇圓 三六、〇〇〇圓 八九、五〇〇圓

一六、〇〇〇圓 六一、二五〇圓 二二、七五〇圓

一五、〇〇〇圓 釜山、群山、名古屋、佐賀、岐阜

一〇、三五〇圓 新幕、任實

大阪、京都、京城、仁川、釜山、群山

同 吳服太物 三、〇〇〇反 一、〇〇〇圓 大阪、京都、久留米、博多

同 布木其他 七〇〇卷 一五〇、〇〇〇圓 仁川、群山、京城

同 木材 四〇〇、〇〇〇才 六〇、〇〇〇圓 安東、新義州、群山、裡里、釜山

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

専 茶 二、八〇〇箱(一箱に付四打入) 二、〇〇〇圓 京都、名古屋、福岡、廣島、下關、大阪

雀の罐詰 一、〇〇〇箱(同) 二〇、〇〇〇圓 大阪、名古屋、釜山、廣島、東京、京城

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 扶安、古阜、新泰仁、裡里、全州

外來行商者の地方別 扶安、裡里、沃溝、井邑

益山郡益山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍並に最近一箇年の取扱たる總金額

金融機關名	區	域	貸出金額	預金額
裡里金融組合	益山面一圓		九七五、三五七 _円	一、四八四、三一九 _円
益山金融組合	五山、北一、八峰、春浦の四箇面		一一一、六六三	四九、九四二

殖産銀行裡里支店	益山郡一圓、及全州、金堤、沃溝郡の一部	一九、三五二、〇七四	一四、三七一、一一七
三南銀行裡里支店	同	一、七一〇、四九八	二、六四七、三九七
全北商事株式會社	同	二八九、三一七	一
内外土地株式會社	同	六八、〇〇〇	一
東洋拓殖株式會社裡里支店	全羅北道一圓	六〇八、四九三	一二五、七八三
合計		二三、一一五、四〇二	一八、六七八、五五八

(二) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

A 卸 賣

種類	數量	價額	仕入先
食糧		七一二、五〇〇 <small>円</small>	
外米	一五、〇〇〇 <small>袋</small>	二六二、五〇〇	神戸、群山
粟	三〇、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	滿洲
大豆	九九、〇〇〇 <small>枚</small>	二四七、五〇〇	大連、安東縣
アンモニヤ	五四、〇〇〇 <small>噸</small>	三七八、〇〇〇	内地、其他
計		二、〇五〇、五〇〇	

備考 特に外米並に粟の移輸入多かりしは昨年の早害影響に因る

B 小 賣

市街地の商圏

種類	数量	金額	仕入先
反物類	—	九五、〇〇〇 <small>円</small>	内地
金巾類	四、〇〇〇 <small>疋</small>	四〇、〇〇〇	大阪、支那
麻布類	五、〇〇〇	一五、〇〇〇	支那
食糧品	—	五六五、〇〇〇	内地、群山
材木類	—	七六、〇〇〇	平安北道

C 問屋なし

(ロ) 特産品の主要仕向地種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 益山、金堤、全州、沃溝の各郡

外來行商者の地方別 東京、大阪、奈良、山梨の各府縣、及支那

井邑郡 井邑面

一、銀行、金融組合、貸金業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

一、井邑殖産銀行支店

イ、貸出地域 井邑郡一圓、高敞郡一圓、扶安郡、及全南長城郡

ロ、預金者の是等機關を利用する範圍亦同じ

前項の最近一箇年間の總金額

貸出金 五百二十八萬六千三百八十三圓
預金 八百三十萬三千三百六十二圓

二、井邑金融組合

イ、貸出地域 雨順、內藏、北面、笠岩面、及淳昌郡双置、福興面

ロ、預金者の是等機關を利用する範圍亦同じ

前項の最近一箇年間の總金額

貸出金 二十萬圓
預金 二十一萬圓

三、楚城金融組合

イ、貸出地域 井邑市内

ロ、預金者の是等機關を利用する範圍亦同じ

前項の最近一箇年間の總金額

貸出金 二百十六萬圓
預金 八十五萬圓

(二) 内鮮外人商 (卸、小賣、問屋に分ち) の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
内鮮外人商の仕入先は京城・釜山・元山・大阪・或は東京・支那の山東省、及奉天省等の地方にし

て、内地人は和洋雜貨、鮮人及外國人は綢緞、布木、海產物なり。此等の價額は卸賣約三萬圓、小賣約二萬圓なり。

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

本郡の主産たる苧麻三千百貫、此の價額約一萬四千四百圓位の現品を、忠清南道韓山方面に移出す。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

1 地元行商者の行商地域 邑内、及蓮池里、上坪里、科橋里

2 外來行商者地方別 金堤、全州、益山、韓山、大田方面、及金泉、大邱方面なり。

備考 第二項に對する内鮮外國人商品の數量は種々仕入有るも、其の品種別數量を各別に調査し難きを以て省略す。尙ほ仕入

高は井邑市内主要商店八九箇所分最近一箇年間の各種取扱價額總計を示したるものにして、其卸賣額に關しては井邑市

内、及泰仁、新泰仁地方に賣出したるものなり。

扶安郡乾先面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

二(イ)内鮮外國人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

品目	單位	數量	價額	仕入先	備考	銀行、金融組合業者 貸出地域		備考
						預(最近一箇年)高	貸出(最近一箇年)高	
外 國	米 石	二、〇〇〇	五六、〇〇〇 ^円	群 山				
滿 洲	粟 石	一、〇〇〇	二七、〇〇〇	同				
小 麥	粉 袋	二、三九〇	九、七七二	同				(卸・小賣分)
砂	糖 俵	五〇〇	一〇、三九八	同				
清	酒 樽	一九三	七、五七五	同				
醬	油 樽	一九一	二、九七〇	同				
麥	酒 箱	一六七	三、三四〇	同				
打	綿 個	五五	二、九二一	同				
計								
出	入	二八八、八六五	八七、四〇〇					
入	出	一九六、〇八六	六九、八四七					(大正十三年)
出	入	六八、五九〇	一〇、八〇〇	農 業、商 業				二割(漁) 三割(商)
入	出	四、五七四	九、〇〇〇	漁 業、商 業				一割(漁) 三割(農)
出	入	二、二〇二	六八、六二五	商 業、農 業				約八割(商)二割(農)
入	出	一九二、〇七二	五、六九四	商 業、農 業				
出	入	六八、五九〇	八〇、七八五	商 業、農 業				
入	出	四、五七四	七、九〇六	漁 業				
出	入	一	一〇、八〇〇	農 業、商 業				
入	出	一	九、〇〇〇	農 業、商 業				

市街地の商圏

(ロ)特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種	類	單位	數	量	價	額	仕向地	備考
生金巾	生シーチング	個	八五		一七、五〇〇		同	同
晒金巾	生晒シーチング	個	四〇		八、四〇〇		同	同
綾金巾	及雲齋布	個	六五		四、八七五		同	同
紙	類	個	一七五		六、八六五		同	同
鐵條	及竿束	束	七三		三六六		同	同
鐵釘	桶	桶	七六		九一二		同	同
石灰	袋	袋	三八〇		六〇八		同	同
燐寸	箱	箱	四七〇		四、六四一		同	同
肥料	料	個	二、八六〇		一一、七四〇		同	同
石油	箱	箱	五、〇〇〇		四二、五〇〇		同	同
ゴム靴	足	足	三四、二五〇		一一、一二五		同	同
總計			二三〇、五〇八					(大正十三年度)
玄米	石	石	一、〇〇〇		三九、〇〇〇		群山	
精米	石	石	二〇〇		八、六〇〇		同	
粗粃	石	石	六〇、〇〇〇		九〇、〇〇〇		同	

荏	子	石	五〇〇	八、五〇〇	木浦
棉	花	斤	二五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	同
牛	皮	斤	一〇、〇〇〇	四、〇〇〇	群山、木浦
水	産	物	二〇〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	淳昌、潭陽、井邑
果	物	貫	二、〇〇〇	八、〇〇〇	長城、全州各部
總計	物	貫	二、〇〇〇	八、〇〇〇	井邑、扶安、高敞
			一、三一八、一〇〇		全州各部

(大正十三年度)

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者 井邑、群山、木浦、潭陽、全州、長城、高敞、扶安邑

外來行商者 井邑、木浦、群山、潭陽、全州、高敞、扶安、長城、金堤、蝸島、泗川、珍島、莞島、

海南、海州、元山、麗水、釜山

全羅南道

木浦府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關の利用する範圍

1 當地金融業として四銀行（朝鮮銀行支店、殖産銀行支店、十八銀行支店、湖南銀行支店）及東洋拓殖株式會社支店、木浦金融組合、木浦倉庫金融株式會社、木浦無盡株式會社、木浦信託株式會社、朝鮮實業會社支店、並に個人金融業者は内鮮人三十一名にして、貸付地域は全南一圓なるも、一道に支店一二を有する銀行にありて、其の地に近き銀行より貸出を實行し居れり。而して商業資金としては殆ど府内又は府の附近なるも、産業方面の資金としては南沿岸地方たる康津、長興、莞島、珍島、海南、靈岩、靈光、務安郡とす。

2 預金者は殆ど府内又は府附近に居住する者に限定さる。

3 前項の最近一箇年間の總金額（大正十三年中）

前項	四銀行	金融業	貸出	預金	高
	九一、四二一、三二五 _円			一一一、五四五、四二九 _円	

當港特産品の取引は殆ど内地人にして、鮮人の手に依り移出するもの極めて僅かなりとす。

三、地元行商地域、及外來行商者の地方別

當港に於ける行商人としては、筆、其他櫛等の鮮人行商人あるも、其の地域詳かならず。

外來行商としては最近種々なる商品を携帶入込者あるも住所等不明なるものあり、其主なるものは群山の萬年筆、石油、焔爐、賣藥商、露國人及トルコ人の洋服生地行商、支那人の六神丸行商等なり。

光州郡光州面

一、銀行、金融組合、金貸業者、貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總

金額

種別	資金貸出地域				預金			貸出
	公	同業者	内地人	朝鮮人	外國人	外國人	外國人	
殖産銀行支店 全南一圓	三三、二四五 <small>円</small>	三六、一二三 <small>円</small>	五三、九〇四 <small>円</small>	一四〇、八八九 <small>円</small>	七六、九〇七 <small>円</small>	六五	四、三四四、二七五 <small>円</small>	
湖南銀行 同	一九人	一〇人	二、二二四	一、五五五	六五	六五	六、〇四四、八七一	
			五七、九五五	六、二二四、一〇一				
			六四七	一九八九				

市街地の商圏

種	類	仕向地	一箇年の數量	價額
米	滿	群山、木浦	五、六〇〇石	二二、八〇〇円
蠶	大邱		三、四〇〇	二三八、〇〇〇
棉	花	木浦	四六六、一四五斤	一四四、〇六〇
清	酒	湖南地方	一、二二九石	一二三、〇〇〇
茶		仁川、京城	一五、〇〇〇斤	二二、〇〇〇
刷	子	鮮内	一四、四〇〇個	一〇、八〇〇
炭	酸	水道内	五、五〇〇打	三、八八〇
竹	細工	京城、群山、仁川、道内	—	三、〇〇〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 潭陽・和順・長城・順天・郡内

來行商者の地方別 京城・大阪・甲府・釜山・大邱・露西亞・支那

羅州郡羅州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

貸出地域 羅州郡一圓

預金者 同

前項の最近一箇年間總金高

貸付金 三、二二一、八四三圓

預金 四、二八八、六六七圓

(イ)内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

小賣の部

品名	數量	價額	仕入先
絹織物	九、七六〇反	二三、〇〇〇圓	京都、大阪
毛織物	五、二〇〇	九、一〇〇	大阪
綿絲布	六、九七〇	一一、〇〇〇	同
紙、文房具	五九、五〇〇圓	一四、九六〇	大阪、釜山
枳	六五、〇〇〇石	九五〇、〇〇〇	和順、長城
外米	二、五〇〇	五〇、〇〇〇	木浦
白米	八、〇〇〇	三二、〇〇〇	郡内各地方
石油	一、〇〇八箱	八、一〇〇	木浦
ゴム靴	一八、七九〇足	一八、七九〇	京城、木浦

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に最近一箇年間の總數量及價額

品名	數量	價額	仕向地
朝鮮紙	九八二、六〇〇 <small>枚</small>	六、三七〇	長城、淳昌
金物	八、一〇〇 <small>個</small>	二、三〇〇	大阪、釜山
食料品	四三、六九〇	五三、九八〇	釜山、木浦
衣服物	一、二六〇 <small>反</small>	一二、三二〇	同
肥料	九一六、三〇〇 <small>貫</small>	一四、二五〇	安東、大阪
海産物	二二三、〇〇〇 <small>個</small>	八、八二〇	木浦
其他	一七九、八七〇	二、八二九、五〇〇	東京、大阪、釜山

品名	數量	價額	仕向地
竹製品	二二一、六九〇 <small>個</small>	六八、六八八 <small>円</small>	京城、西鮮各地方
机椅子	二、〇〇〇 <small>枚</small>	八、〇〇〇	湖南地方
叭	六〇〇、〇〇〇 <small>枚</small>	一三三、〇〇〇	群山、大邱、釜山
繭	一、八二三 <small>斤</small>	一二三、六〇〇	大邱、京城
棉花	四三九、九三一 <small>斤</small>	一〇七、六一六	木浦
漆器	一、〇六〇 <small>個</small>	二、八六二	京城、湖南地方

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 郡内各市場、及光州

外來行商者の地方別 群山・釜山・木浦・大田・務安・扶安・茂長・海南・京城

羅州郡榮山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

貸出地域 羅州郡一圓・靈岩・咸平・長城・務安・長興の各郡

預金者 羅州郡一圓、及靈岩郡の一部

前項の最近一箇年間の總金高

貸付金 三、二〇一、三三七圓

預金高 四、二二三、三九〇圓

(イ)内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に一箇年間の總仕入數量及價額

小賣の部

品名	數量	價額	仕入先
粟	二四、四〇〇 <small>石</small>	三二七、四〇一 <small>円</small>	滿洲、遼陽、安東方面
海産物	一六三、八九〇 <small>圓</small>	一、一三六、三六〇	元山、仁川、釜山、木浦

品名	数量	金額	仕向地
肥料	五四一、六八四 <small>實</small>	二〇三、〇六四	滿洲各地、大阪、神戸、木浦
農具(金物)	一二七、八四二	一一七、八四二	大阪、京城、木浦
綿絲布	三五〇 <small>圓</small>	一〇四、七六〇	大阪、仁川、木浦、群山
食料品	一、二七〇	一、五二四	大阪、神戸、群山
米穀	二七、七三三 <small>石</small>	八〇九、三一九	靈岩、及郡内
石油	三、一〇〇 <small>圓</small>	二四、八〇〇	木浦
建築材料	一九、七九八 <small>圓</small>	六三、三二一	新義州、安東、木浦
其他		二三六、三二三	内鮮各地

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に最近一箇年間の總數量及價額

品名	数量	金額	仕向地
吹	二、二五六、〇〇〇 <small>枚</small>	四九六、三二〇 <small>円</small>	全鮮各地
棉花	一、〇〇一、二五三 <small>斤</small>	二三九、二四〇	木浦
蘭蕙	八、〇〇〇 <small>枚</small>	六、四〇〇	内地、及京城

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 郡内各市場

外來行商者の地方別 群山・釜山・木浦・大田・郡内各地・京城

咸平郡咸平面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍及最近一箇年間の總金額

貸出地域		預金者の利用範圍及大正十三年中の總金額	
銀行	金融組合	農産用	借入
	金貸業者	工産用	借入
		畜産用	借入
		林産用	借入
		日用雜貨	借入
		其他	計
		咸平、大洞、新光、孫	八一七〇
		佛、嚴多、鶴橋の各面	一〇〇
		郡一圓	一三、〇〇四
			九三〇
			五〇〇
			六二四八
			一〇三、九五二

二(イ)内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の仕入先總數量及價額

商品種類	内鮮外人商の別	卸、小、問屋の別	仕入先	大正十三年中	
				數量	價額
外	米	内地人	大阪	七〇〇	二一、〇〇〇 <small>円</small>
粟	同	卸賣	支那、滿洲	三、一三五	四九、四一四
布帛(綿布を除く)	朝鮮人	小賣	京城、光州、木浦	二、〇〇〇	一五、〇〇〇
同	支那人	同	支那各地	四、〇〇〇	五〇、〇〇〇
酒類	内地人	同	木浦、光州	一〇〇	一五、〇〇〇
煙草	同	同	木浦	卷煙草 一九、五九四 刻煙草 五八〇 <small>袋</small>	三三、六四八 七九〇

市街地の商圏

石	油	同	朝鮮人	同	同	二、五〇〇 <small>噸</small>	一八八
同	朝鮮人	同	朝鮮人	同	同	三五〇	一〇、二五〇
同	朝鮮人	同	朝鮮人	同	同	一、四三五	一三〇、一〇二
同	朝鮮人	同	朝鮮人	同	同	一六、四三五	五〇、〇〇〇
同	朝鮮人	同	朝鮮人	同	同	一九六、五三七	
計	計	計	計	計	計		

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其の最近一箇年間の總數量及價額

種類	主要仕向地	大正十三年中		摘要
		數量	價額	
米	木浦、木浦經由大阪、神戸地方	六、〇〇〇 <small>石</small>	二一六、〇〇〇 <small>円</small>	
棉花	同	八〇〇、〇〇〇 <small>斤</small>	一六〇、〇〇〇	
繭	京城、大邱、群山	四七〇 <small>石</small>	二六、三六〇	
棉布	本郡各市場、光州、羅州附近 各郡、全北、忠南北	一〇、〇〇〇 <small>反</small>	二〇、〇〇〇	上品
計			四二二、三六〇	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商區域 光州・木浦・濟洲島及附近各島嶼・其他隣接各郡間

外來行商者の地方別 京城・釜山・木浦を始め、隣接府郡たる羅州・靈光・務安等よりは毎市日に本

郡各市場へ出市し、尙ほ本面は鐵道沿線なるが故に各都市より年中行商者の入來頻繁なり。

麗水郡麗水面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

金融機關名	貸出高	預金高	貸出地域	預金者の是等機關を利用する範圍
銀行	三、六七七、六三三 ^円	四、六五九、八五九 ^円	麗水、順天、光陽、南海	麗水郡一圓
金融組合	四〇四、七九四	五一三、九七八	麗水郡一圓	同
金貸業者	二五五、七八五	—	同	同

(二)内鮮外商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の諸仕入數量及價額

小賣の部

内地人	朝鮮人	鮮人	外人	國人
種類數量	種類數量	種類數量	種類數量	種類數量
同上價額	同上價額	同上價額	同上價額	同上價額
仕入先	仕入先	仕入先	仕入先	仕入先
織物類 五七、五 ^反	織物類 二七、三 ^反	平壤、京城、寶城	織物類 二五、二 ^反	上海、京城、大阪
二五、三 ^円	九、二 ^円	釜山、元山	二二、三 ^円	釜山
食料品 —	明太魚 二五、七 ^反	釜山、元山	食料品 —	八、七 ^五
一五、三 ^{五〇}	二五、七 ^{五〇}	一六、五 ^〇	—	—

酒類	八六〇	釜山、馬山、木浦	大麻	二五、三〇〇	順天、求禮、光陽	酒類	三	平、平八	木浦、釜山
雜貨	一〇〇、七三	釜山、大阪	雜貨	四、一〇五	京城、平壤、大阪、釜山	雜貨	一	七、七三	京城、釜山
藥材	一〇、五七	東京、大阪	藥材	四、七五〇	京城、開城	藥材	一	一	一
石油	三、五〇〇	釜山	ゴム靴	四、〇〇〇	京城	ゴム靴	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	京城
銅鐵及其他	七、七〇〇	大阪、釜山	銅鐵及金屬類	二、五三〇	釜山、京城				
金屬類	一	釜山	家具類	五、三五六	統營、京城				
船具類	一	釜山	木材	三、五〇〇	釜山、高興、莞島				
煙草	五、元九	大邱	木材	一	河東、順天				
木材	一〇〇、〇〇〇	釜山	其他	八五、〇〇〇	釜山、河東				
其他	一、二九五、〇〇〇	各地	計	五五、九四		計		三二五、四〇〇	

備考 卸賣商及問屋は當地にはなし

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其の最近一箇年間の總數量及價額

種類	數量	同上價額	仕向地
實 棉	二、二四八、〇二三	七二四、一五〇	木浦

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 麗水各面・釜山・順天・高興・光陽・南海・統營・河東

外來行商者地方別、麗水郡各面・順天・光陽・高興・求禮・河東・南海・釜山・木浦・大阪・

下關・京城・平壤・寶城・統營・其の他各地

順天郡順天面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

右地域は銀行は順天郡一圓、及麗水・光陽・求禮・高興・寶城、金融組合は順天・海龍・西・田・月燈・別良・道沙・上沙面、金貸業者等は順天郡一圓にして、銀行に於ては預金者に對し貸出の利便を圖る途あるも、金融組合に於ては組合員にあらざれば假令預金者と雖も斯ることなし。

前項の最近一箇年間の貸出總金額（大正十三年末現在）

銀行 百九十三萬八百五十五圓

金融組合 三十四萬四千八百八十圓

金貸業者 十八萬圓

二、内鮮外人商（卸・小賣・問屋に分ち）の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額（卸・問屋は至極少數なるを以て小賣の部に編入す）

小 賣 の 部

商店名	数	價	額	仕入地	商店名	数	價	額	仕入地
水産物罐詰	六五〇 <small>罐</small>	二六〇 <small>円</small>	二六〇	釜山	帽子	二二〇 <small>個</small>	三、四五〇 <small>円</small>	三、四五〇	釜山
扇子	五〇〇 <small>柄</small>	七五〇	七五〇	密陽、羅州	飲料	二、五〇〇 <small>箱</small>	四、五〇〇	四、五〇〇	同
團扇	一、五〇〇	一五〇	一五〇	同	布帛品	八、五〇〇 <small>疋</small>	九、八〇〇	九、八〇〇	釜山、仁川 其他各地
其他竹製品	七五〇	三七五	三七五	同	苧布	七五〇	五、二五〇	五、二五〇	同
稻扱器	七〇〇 <small>臺</small>	一四〇〇〇	一四〇〇〇	釜山	内地産絹織物	二五〇	二、五〇〇	二、五〇〇	釜山、仁川
金屬製品	一七五〇 <small>個</small>	一七五〇〇	一七五〇〇	同	支那産絹織物	一、二〇〇	二四、〇〇〇	二四、〇〇〇	同
内地地棉	一、五〇〇 <small>反</small>	一五〇〇	一五〇〇	釜山	染料塗料	—	二、五〇〇	二、五〇〇	釜山
大豆粕	二〇、〇〇〇 <small>枚</small>	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	釜山、木浦	石油	五、五〇〇 <small>箱</small>	五、五〇〇	五、五〇〇	同
セメント	一、二五〇 <small>斤</small>	六、二五〇	六、二五〇	釜山	製造煙草	—	五、八〇〇	五、八〇〇	麗水
硝子製品	三〇 <small>個</small>	八四〇	八四〇	同	材木	—	八、二〇〇	八、二〇〇	釜山、麗水
漆器	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	同	石鹼	四、〇〇〇 <small>個</small>	八〇〇	八〇〇	釜山
陶磁器	一、九八〇 <small>個</small>	一五〇〇	一五〇〇	釜山、統營	砂糖	一、五〇〇 <small>斤</small>	七、五〇〇	七、五〇〇	釜山、京城
日本紙	二、〇〇〇 <small>帖</small>	四、二〇〇	四、二〇〇	釜山	茶	八五〇	一、二五〇	一、二五〇	釜山
洋紙	三、五〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	同	昆布	二、〇〇〇 <small>貫</small>	六、〇〇〇	六、〇〇〇	同
					寒天	一、五〇〇 <small>斤</small>	四、五〇〇	四、五〇〇	同

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要特産品

種類	數量	價額	仕向地	種類	數量	價額	仕向地
燐寸	二八〇〇	同	同	清酒	一二〇〇石	二〇、四〇〇	釜山、光州
藥材	三五〇〇〇	釜山、京	同	麵類及穀粉	五、五〇〇斤	五、五〇〇	釜山
小麥粉	三五〇〇〇斤	同	同	雜草	一五〇	五、二五〇	同
醬油	一、一五〇貫	同	同	林檎	一、三〇〇	二、六五〇	同
味噌	一、一五〇貫	同	同	梨	二、三〇〇	五、七〇〇	同
燒酒	七石	同	同	乾果	二、五〇〇	一、五〇〇	同
洋酒	三	同	同	明太魚	二、五〇〇斤	六、二五〇	同
柑橘類	六、五〇〇	同	同	其他各種雜貨	同	三〇〇、〇〇〇	釜山、大阪
麵類	七〇〇〇斤	一〇、五〇〇	麗水、河東	麻布	二、二〇〇疋	二四、〇〇〇	釜山、木浦
玄米	九、四八二石	三、六、五二〇	釜山、木浦	生牛	六〇〇頭	三、六〇〇	釜山
粗米	二、五〇〇斤	三、七、五〇〇	麗水、木浦	朝鮮木綿	八〇〇疋	一、六〇〇	釜山、木浦
牛皮	一、三〇〇斤	六、五〇〇	大阪	木炭	一、五〇〇貫	三、〇〇〇	釜山、麗水
蘭	八、五〇〇石	三、八、〇〇〇	和歌山	棉花	四、一〇、九二〇斤	一〇、九、一九九	木浦

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 麗水・筏橋・光陽・河東・求禮・谷城

外來行商者の地方別 麗水・光陽・筏橋・河東・求禮・谷城

濟州島濟州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

銀行及金貸業者にありては濟州島一圓に亘り貸出を爲し、金融組合に於ては同管内たる濟州・新右・舊右・新左・舊左・楸子面に亘り貸出を爲す。

銀行預金は殆く民衆に徹底せざるもの、如く極く小數の商業家及會社の一部に過ぎざる感あるも、金融組合は預金利率の稍々高率なると同組合職員の活動と各種の方法に依り積極的宣傳に努力しつゝある爲め、一般民衆に金融組合の設立趣旨利用の方法等普遍的に徹底せられたる結果、各階級を通じ一般に利用しつゝある現狀にして、貸付及預金の一箇年間に於ける總高を各別に擧ぐれば左の如し。

種別	貸出額	預金高
銀行	二〇三、六三八 ^円	一九八、一五八 ^円
金融組合	九〇九、四四九	三五〇、〇五四

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

米穀、食鹽、煙草 木浦・麗水

材木、布木 釜山

布木、雜貨 大阪

總個數 十五萬五千個

總價額 六十五萬八千圓

(ロ) 特產品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

鮑、帽子、(鮮式冠物上頭用) 若巾、涼太櫛、豚毛 〓 京城・平壤・釜山・木浦

總數量 八十五萬二千個

總價格 五十五萬一千圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地方行商 島 内 一 圓

外來行商 全羅南道各郡

慶尙北道

大邱府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

朝鮮銀行支店は特産物たる米、豆、繭絲等に對する資金貸出をなす關係上、又殖産銀行支店は勸業資金の貸出をなす關係上、其貸出地域は大邱府内に止まらず、慶尙北道一圓に亘り資金を放出して金融の圓滑を圖り、爾餘市中五銀行も、大邱地方が農産品生産地たる關係上地方にも資金の貸出を營み、又金貸業者の貸出地域も大體銀行業者の夫れに準じ居れり。只た府内金融組合二箇所は都市的の業務を營む關係上、市中にのみ限れること勿論なり。

預金者は、地方より市中銀行に預入るゝもの多からず一部富豪のみに限られ居れり。是れ、一般の取引者は、便宜所在の銀行、金融組合、又は郵便局所等に預入るゝを以て便となすが爲なり。

如上貸出は慶北一圓に亘りて放出するが故に其額多く、預金は市中より吸収するが故に其額多からず、

大邱組合銀行の貸出と預金額との間には之が爲めに相當の開きを示し、預金より貸出額は超過せるを常とす。

大正十三年末大邱組合銀行貸出殘高 一五、二〇二、二八〇^円

同 外に殖銀勸業貸出高 四、九六三、八三四

同 上 預金殘高 七、一一七、八二四

大正十四年三月末^{大邱府内}金融組合貸付殘高 四二〇、四四一

同 上 預金殘高 五五二、一五六

大正十三年大邱府内金貸業者貸出高 七三一、六四五

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額 卸商及問屋の仕入先は大阪を主とし、神戸・東京・下關・門司・名古屋・廣島・福岡等にて、支那商品は滿洲地方より仰ぎつゝあるもの多し。小賣商は鮮内各地及府内より直接仕入れ居れり。

自大正十三年七月
至大正十四年四月 商品仕入價額 (輸移入貿易額に依る)

粟	九九七、五五一 ^円	豆	五〇、二七七 ^円
米	九六、三六三	其他穀類及種子	七二、四一七

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

一九八

木材	一六五、五五七	砂	九六、五七三
清酒	四三、二九九	麥酒	七四、九五九
煙草	四〇、三一七	賣藥	三九、八二七
線綿打綿	七〇、二二〇	綿絲	四六一、四一九
綿布	二、一五〇、四〇八	絹織物	三八三、五九八
毛織物	一七八、八五八	印刷料紙	三〇、九〇八
紙類	一六四、一二二	陶磁器	八〇、九一二
鐵類	八七、六八七	機械類	一九二、〇八五
洋傘	一七、九七九	豆糟	五七、四四五
其他肥料	一一、一一〇	其他	四、〇八一、〇九〇
計	九、六四三、九八一		

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品中米の仕向地は大坂・京都・神戸・横川・兵庫・岡山・廣島・門司・下關・八幡・名古屋等を主なる地方とし、又鮮内にては釜山・草梁・京城・群山・蔚山・仁川・平壤等へ搬出するもの多きを占む。次に蘆は長野縣、愛知縣へ移出するもの大部分を占め、年々移出區域を擴大し居れり。生絲は殆んど横濱に向けられ、神戸向は極めて尠し。

自大正十三年七月
至大正十四年六月 商品仕出價額 (輸移出貿易額に依る)

米	二、四四七、三四一 ^円	大豆	四八、九二八 ^円
朝鮮紙	一九、九三六	牛皮	五五、九六〇
繭	一、三九〇、七三三	生絲	六、一九〇、五一六
耕木綿	一二、七六五	布帛	一六三、七三〇
衣類及附屬品	八〇、二八〇	木材	一一、六四六
肥料	二九、六二九	其他	八〇四、二八八
計	一一、二五六、七五二		

以上(イ)(ロ)共に貿易額の數字を擧げたるに止まれり。但し鮮内出廻品の總數量價額等に就ては的確なる統計を掲げ難し。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は普通道内に止まり、慶南・忠南北・全北等に赴くものあれとも多からず。外來行商の入込むものは大阪方面を主とし、附近各道、及支那人等なり。往時は交通の便開けず行商の來往旺んなりしも、今日に於ては彼我共に年々姿を消しつゝ、あるが如し。

金泉郡金泉面

- 1 銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍
- 2 貸出地域は主として金泉郡一圓・善山・其の他星州・居昌・永同・尙州等も少額の貸出あり。
- 3 預金者の是等機關を利用する範圍は右各地の商人等主として利用し、其の外は農家一般に亘り利用の範圍頗る廣汎に亘れり。

3 前項一箇年間の總金額

貸出總金額 一三、六一九、〇一六圓

預金總金額 一四、〇五四、三〇二圓

(イ) 内 鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人		仕入先	
石	油	二二七、六八三 <small>円</small>	釜山
鹽		二〇九、〇八八 <small>貫</small>	仁川、鎮南浦
綿	絲	一、二五五	同 大 阪
砂	糖	四五、〇九〇	同 下 關

木	材	六、六一八 ^噸	二三〇、〇〇〇 ^円	仕入先	新義州
燐寸	七、〇六二 ^石	七一、二二五		同	神戸
陶磁器	一四〇	五六、七〇〇		同	長崎、愛知
麥酒類	六、一五六 ^貫	四九、二四八		同	東京
石炭	二、五八五 ^噸	五一、七〇〇		同	撫順
綿布	七六、九五〇 ^貫	六七五、〇〇〇 ^円		先入先	京城
綿絲	一、二五五	八八、〇〇〇		同	京城
乾魚	一、九九一 ^噸	七九六、四〇〇		同	元山、浦項
鹽魚	二、八四五	七六八、一五〇		同	浦項
支那人	七六、九五〇 ^貫	六七五、〇〇〇 ^円		仕入先	京城

備考 當地方に於ては卸、小賣、問屋は別に區別無く全部兼ねて營み居れり

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其の最近一箇年間の總數量及價額

特産品なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

なし

慶州郡慶州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

1 銀行及金貸業者は慶州郡一圓なるが、金融組合は慶州面、内東面、外東面、内南面、西面、山内面、
及見谷、川北面各一部にして三面四方に及ぶ。

2 預金者の是等機關を利用する範圍 一萬圓以上を三、四人にて利用するものと、其他にも多少利用
するあるも、預金範圍にては充分利用し難く、抵當物に由らざれば是等機關を利用するもの少なし。

3 前項の最近一箇年間の總金額に二十萬圓なり

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及

價額 内鮮外人の仕入先は大邱、釜山、滿洲、大阪、山東、支那、及内地各府縣にして、品物は多
く絹綿、麻布、農具、日用品(織物、陶磁器、木竹製品、其
他消耗品の數量は記入し難し)化粧品なり、最近一箇年間の總仕入金額は
約九萬圓に達す。

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地は、内地各府縣、支那、朝鮮全道にして、一箇年間の仕出高は六十二萬六千五百四十七圓に達す。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者は永川、浦項、蔚山郡、大邱

外來行商者は永川、浦項、盈德、青松、蔚山郡、大邱府、釜山府、内地各府縣

安東郡 安東面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

大邱銀行安東支店

貸出地域 安東、奉化、醴泉、榮州、義城、青松、英陽

安東金融組合

貸出地域 安東郡(豊山、豊北、豊西、豊南、禮安、陶山、綠、轉七箇面を除く)

右銀行及金融組合の外に金貸業者なし。

大邱銀行安東支店、金額の多少に關係なく擔保物に依り貸付しつゝあり。

安東金融組合、組合員に限り貸付金額一口二百圓迄とし、特別の場合には五百圓迄とす。
大正十三年間の總金額

貸出高

大邱銀行安東支店 一、五七八、七一一圓

安東金融組合 二一五、七七八圓

計 一、七九四、四八九圓

預金者の預金高

大邱銀行安東支店 一、六六七、三七〇圓

安東金融組合 六〇八、一〇三圓

計 二、七五四、七三圓

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に大正十三年間の總仕入數量及價額

内鮮外人別	商業別	商品の種類	仕入先	仕入總數量	價額
内地人	卸賣	煙草	專賣局	八一 <small>箱</small>	四〇、五五〇 <small>円</small>
同	同	石油	釜山	二、四二〇	二一、六五九

同	小賣	雜貨及反物	釜山、大邱	—	七〇、六〇〇
朝鮮人	同	同	同	—	五八、〇〇〇
支那人	同	同	同	—	六二、〇〇〇
計					二五二、八〇九

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に大正十三年間の總數量及價額

特産品	主要仕向地	總數量	價額
麻布	大邱、平壤	九、九〇四	四九、五二〇円

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

特記すべき事項なし

迎日郡浦項面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

迎日郡一圓、慶州郡一圓

前項の最近一箇年間の總金額 二三六〇、八〇六圓

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

品名	仕入先	價額	備考
綿布	上海、大邱	五〇、〇〇〇	數量不明
綿布	京城、上海	一九、〇〇〇	同
麻布	上海	一五、〇〇〇	同
編組物	大邱、京都	九、〇〇〇	同
製紙	大阪、京都	五、七〇〇	半紙、美濃紙、塵紙
製紙加工品	釜山	一、九〇〇	數量不明
網類	伊勢、下關	一五〇、〇〇〇	同
船舶	下關	四九、〇〇〇	同
酒及醬油	大邱、下關、釜山	六二、〇〇〇	同
麵子	同	六、二〇〇	同
穀粉	同	三三、〇〇〇	同
乾麵類	釜山	八、〇〇〇	同
窯業製	同	一八、〇〇〇	同
金屬製	同	四六、〇〇〇	同
木製	同	三三、〇〇〇	同
竹製	慶南	八〇〇	同

同	全	一、八〇〇	同
藁	慶南、忠南	三、〇〇〇	同
農具	下關、釜山	一、〇〇〇	同
菓子	釜山	一七、五〇〇	同
罐詰及瓶詰類	釜山、大邱	一二、〇〇〇	同
製革	大邱	二、七〇〇	同
皮革製品	大邱、釜山、下關	四、一〇〇	同
肥料	同	一五、六〇〇	同

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

品名	數量	價額
鯖	一、一六二、五〇〇 <small>貫</small>	四六、五〇〇 <small>円</small>
鱈	五八五、二〇〇	二九、二六〇
和布	五〇、四九〇	一〇〇、九六〇
鱈	二〇、〇〇〇	二九、二六〇
鱈	二、八〇〇	一、四〇〇
鮑	六〇〇	一、〇〇〇
鱈	八、七六一	二九四、八五二

市街地の商圏

石	花	菜	一八、四〇〇	九二〇
鯛			一〇、〇八〇	一〇、〇八〇
鱒			二八八	六〇〇
大	刀	魚	一六〇、〇〇〇	四、八〇〇
目	張	魚	一一六、〇〇〇	五、八〇〇
鱈			三、〇二〇	一、五一〇
鰻			一、八〇〇	一八〇
鰈			五八五、二〇〇	二九、二六〇
雑		魚	三一三、七〇〇	二九、二〇〇
鱈			五、六〇〇	五、六〇〇

仕向地 下關・門司・大阪・京都・島根・長崎

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地 迎日郡一圓・慶州郡一圓

外來行商者の地方別 釜山・大邱・京城方面

備考 前項二項共總て卸賣にして小賣は不明なり

尙州郡尙州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

1 銀行、金融組合、金貸業者の貸出地域 尙州郡・醴泉郡・義城郡・榮州郡

2 預金者の是等機關を利用する範圍 銀行預金にありては一時預り貯蓄の外定期預金の方法に依り資本金の融通を計る。

3 前項の最近一箇年間に於ける總金額

貸出 四、八〇七、一九九圓

預金 六、九一〇、四四四圓

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内鮮外人別	卸小賣 問屋別	仕入先	主要商品の種類	同上最近一箇年間總仕入高	
				數量	金額
内地人	小賣	東京、大阪、京城、釜山	帽子	一、〇〇〇圓	二、五〇〇圓
同	同	下關、大阪、神戸	肥料(アンモニヤ)	二二、五〇〇圓	二二、五〇〇圓
同	同	安東	縣 (大豆粕)	一五〇、一八〇圓	四二、九二〇圓
同	同	大坂	同 (過磷酸)	一〇、〇〇〇圓	二、四〇〇圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 尙州・玉山・洛東・咸昌・金泉・醴泉・聞慶の市場

外來行商者の地方別 慶州・醴泉・聞慶等地方

漆谷郡倭館面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

- 1 大邱銀行倭館支店に於ては普通一人に付一、〇〇〇圓乃至一〇、〇〇〇圓迄
- 2 倭館金融組合に於ては二〇〇圓乃至五〇〇圓迄
- 3 貸金業者に於ては一、〇〇〇圓迄
- 4 貸出地域は本郡倭館面倭館洞
- 5 預金者の是等機關を利用する範圍
商業又は農業資金とす
- 6 前項の最近一箇年の總金額 一二〇、〇〇〇圓

(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

1 内鮮外人商小賣仕入先左の如し

支那上海・大阪・東京・京城・大邱・釜山等地

2 主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額左の如し

種類	數量	價額	種類	數量	價額
綿布	二五〇反	三、〇五〇円	絹布	三〇〇反	三、八〇〇円
麻布	八〇〇反	五、九九〇	酒	四三石	七、六二〇
鐵製品	一、〇〇〇疋	四、〇〇〇	明太魚	三〇〇、〇〇〇尾	一五、〇〇〇
食鹽	一、五〇〇匁	四、八〇〇	肥料(アンモニア)	二、〇〇〇匁	一五、〇〇〇
	三、〇〇〇匁			一、〇〇〇匁	五、九〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

該當事項無し

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域 星州・金泉・大邱

外來行商者の地方別 星州・金泉・大邱・釜山・京城・安東・尙州

慶山郡慶山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍

慶山郡内、最近一箇年間の總金額、十六萬五千圓

二、(イ)内鮮外人商(卸賣・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

小賣商店 仕入先 大邱、及釜山

主要商品

絹	一、五〇〇貫	五萬二千圓
綿	三、二〇〇貫	八萬六千五百圓
布	七、五〇〇貫	七千五百圓
鐵	五、〇〇〇貫	九萬五千圓
雜貨品	五、〇〇〇貫	

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 慈仁・河陽・安心・大邱市

外來行商者の地方別 大邱・慈仁・河陽・安心

慶尚南道

釜山府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

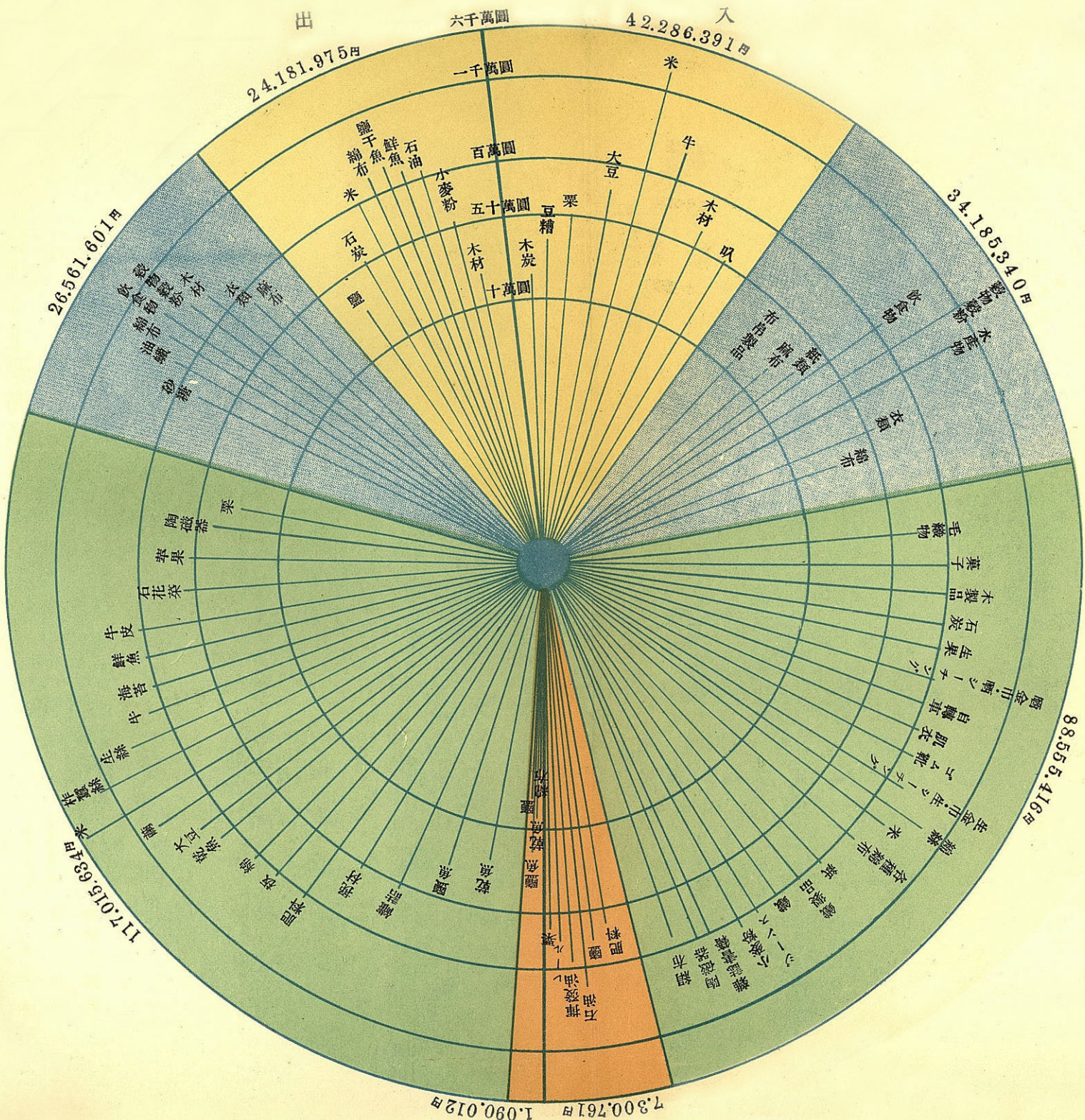
當地銀行業は本店二、支店七、金融組合三、信託業七、無盡業一、金錢貸付業五〇あり。
 之等機關を利用する地域は釜山府一圓、東萊、龜浦、梁山、密陽、三浪津、馬山、光陽、蔚山、方魚津の各面にして、之等機關の一箇年の預金及貸出高を示せば左の如し。

種別	預金		貸出	
	總高	殘高	總高	殘高
銀行業	三五八四三、二八 _四	一六三七五、八四 _四	二五〇六一、五二八 _四	一一五九三、七七 _四
金融組合	一一四八五、二四七	一一五〇、五八五	五、七二二、五九六	六〇一、三八九
信託業	—	—	五三二、八五一	二二一、八五一
無盡業	—	—	五〇〇〇〇	一〇〇〇〇

釜山港に於ける主要商品圏

(大正十三年中)

- 鐵道運送
- 沿岸貿易
- 移出入貿易
- 輸出入貿易



金錢貸付業

計

三六九,〇八二・六五

一,〇〇〇,〇〇〇

五〇〇,〇〇〇

尙銀行、金融組合の預金貸出高の種類別、大正十三年末帳尻を示せば左の如し。

預金の部

勘定科目

銀行

金融組合

摘要

公金預金

四三,〇五三_円

官公署

定期預金

八〇七,八九七

一一般

當座預金

三,三八九,〇五八

七,三七二

商工業者

特別當座預金

三,〇〇一,〇〇八

五九七,〇〇八

一一般

諸預金

一,三八八,五八三

二,四三,〇六七

一一般

計

一,二二七,五九九

一,二五〇,五八八

貸出の部

勘定科目

銀行

金融組合

摘要

勸業貸

六,六七〇,八六_円

一

農工業

證書貸

二,三〇二,五八二

五五〇,三七_円

商工業

手形貸

九,九二六,九二五

一

商業

第二章 市街地の商圏

二二五

市街地の商圏

二二六

當座貸越	一、四七九、二八二
割引手形	四、一七七、三九四
荷爲替手形	三、〇〇二、六八八
合計	一七、五五九、七四一

四六、〇五一
五三、〇九一
一
一、二五九、三七九

商工業
一般
商業

之等の貸出金を擔保別にすれば

不動産擔保	一一、三九五、三五六
有價證券擔保	二、四二九、九三〇
商品擔保	五、二五六、七六八
信用貸	八、四七七、六八五
計	二七、五五九、七三九

更に之を資金別にすれば

商業資金	二〇、一三〇、六三四
農業資金	三、七〇一、〇八五
工業資金	一、一九四、七三〇
其他の資金	二、五三三、二九〇

計

二七、五五九、七三九

之を商品別にすれば

米 穀

四、三九三、五六六^甲

雜 穀

二八九、六二三

綿 絲 布

二六六、二四五

海 産 物

二三一、八一四

其 他 商 品

七五、五二〇

計

五、二五六、七六八

以上は銀行業者の取扱にして、其他信託業、無盡業、金貸業者の取扱は調査困難なれども、概して信託業は商業者に融通し、無盡業、及金貸業は商工業者、其他一般に融通し居るの状態なり。

二、取引に關する件

大正十三年中に於ける釜山港の貿易貨物は、輸移出數量七十萬八千餘噸、價額一億一千八百十五萬餘圓、輸移入六十三萬二千餘噸、價額九千五百八十五萬餘圓、合計數量百三十四萬餘噸、價額二億一千三百九十六萬餘圓にして、之を對外國と對内地とに區分すれば、輸出數量九千五百餘噸、價額百九萬餘圓、輸入數

量十一萬五千餘噸、價額七百三十萬餘圓、移出數量七十萬噸、價額一億一千七百一萬餘圓、移入數量五十二萬六千餘噸、價額八千八百五十五萬餘圓を算し、尙對外國貨物貿易と對內地貨物貿易との比は四と九十六とに相當し、貿易の權衡に於ては輸移出超過額二百九萬餘圓を算せり。之等貿易貨物は更に船舶に依り沿岸各地へ二十三萬七千餘噸、鐵路にて二十一萬八千餘噸を搬出し、沿岸各地より三十萬八千餘噸、鐵路より三十八萬餘噸の搬入を見、結局搬入貨物百三十四萬餘噸に對し、搬出貨物百十四萬三千餘噸にして、釜山自體に於て十九萬八十餘噸を消費されるの狀況にあり。

前述に依り觀れば三月迄の關稅減免、八月より實施の贅澤品關稅増率の影響等は、種々なる形となりて現はれ、實現以來日淺く、爲に其利用未だ充分ならざりしと雖も、多年の懸案たりし朝鮮對上海航路も愈々六月六日第一航を開始し、更に歲末出穀期に至りては當港對裏日本北海道航路競争的に開始せらるゝ等、對外内共に取引上新商圏を開始し得た事は、甚だ喜ぶ可き現象なりしも、今之を對外國貿易より觀る時は輸出は上海航路の實現、銀相場の好調等に因り、海産物の引合増加に依り、支那動亂の惡影響も多く目立たずして、稍々好況を呈し、輸入は前年の關稅制度改正に伴ふ内地産品より受くる壓迫、且つ鮮内事業界の不振に基く機械類の入減等にて不況に了り、又移出に於ては農産物の出荷増大、及復興用木材の移出等に基因して著しく増進し、移入にありては年初の移入稅免除の刺戟に基く綿布類の入

荷増進、近年の現象たる代用食糧の需要擡頭等に加へて、朝鮮紡績會社の燒失は増減二様の影響を與へ、鮮内事業界の不振はセメント、及機械類の移入減過の原因を爲す等、種々の消長を現出し、結局移出同様著しく増大し、尙ほ前年の關稅制度改正に伴ふ指定港の新設に基く當港の仲繼的地位に對する影響としては、牢固たる當港多年の商圈を脅威するの顯著なる事實は未だ認め得ざりき。今左に輸出入に付き概要を述べば

外國貿易

大正十三年中當港の對外國貿易額は上記の通り輸出一百九萬餘圓、輸入七百三十萬餘圓、合計八百三十九萬餘圓にして、前年に比し輸出は稍増加せしも、輸入に於て不況を示せる爲め、結局合計二十萬餘圓の減退を示し、之れを主なる國別に觀れば、輸出にありては暹羅、米國、佛國等稍不振を呈せるも、支那を首め一般に増進し、輸入にありては米國、西班牙、土耳其、獨逸等は好況を呈せしも、英國、支那、英領印度、英領海峽植民地等は著しく減退せり。左に之を示せば

貿易額國別比較表

國別	輸出	輸入	合計	千分比例
支那	六八〇、七三三 ^四	二、七四七、二五五 ^四	三、四二七、九八八 ^四	四〇九

市街地の商圏

二二〇

香港	三,五七六	一,二四〇	三,二八一六	四
英領印度	九,九六四	一九〇,七七〇	一九二,七三四	三三
英領海峽殖民地	一三九,四三七	七,七六六	一四七,二〇三	一八
蘭領印度	四五,四二八	七七八,八七〇	八四,二九八	九八
佛領印度	一七,二七一	三五,四〇〇	五二,六七〇	六
露領亞細亞	六六,五三〇	七六〇	六七,二九〇	八
比律賓諸島	三,一〇三	二四	三,二二七	一
暹羅	三,五一五	一	三,五二三	一
英吉利	一〇〇,九九	四二六,一一一	四三六,二一〇	五一
佛蘭西	五二〇	一,三四三	一,八七三	一
獨逸	六四,四一八	九〇,三八五	九六,八〇三	一一
白耳義	三二	六,〇三五	六,〇〇七	一
瑞西	八八	九,九五〇	一〇,〇三八	一
瑞典	九	一	一	一
西班牙	二	一〇四,一一八	一〇四,一一〇	一一
土耳其	一六	二六,八九〇	二六,九〇六	三
北美合衆國	七二,七五四	二,八六五,七九九	二,九三八,五五三	三五〇
濠洲	三,四〇三	七,五七七	一〇,九八〇	二

其他諸國	七〇一六	四六八	七四八四
合 計	一、〇九〇、〇一一	七、三〇〇、七六一	八、三九〇、七三三
			一、〇〇〇

輸 出 貨 物 貿 易

露國の政變に依り通商杜絶して以來、近年當港輸出貿易の大半は對支那にして、貨物は海産物之が大部分を占むるの狀態にあり。然るに之等の海産物は從來直接船便無かりし關係と、之等を取扱ふ支那商人が主に長崎を根據とするが爲め等にて、當港より積出さるゝものと雖も多くは一旦長崎を経由し、一部は神戸及關門等にて仲繼せらるゝが常態にて、長崎を経由するものゝ如きは従前當港にて輸出免許を與へられたるものをも、同地支那商人は一度自店に引取り、更に加工乾燥等手入の上、支那へ積出するもの多かりしが、前年の關稅制度改正後は、外國貨物としての拘束を嫌ふが故に同地を経由するものにて、當港の輸出手續を爲すものは殆ど皆無にとなり、之等支那向海産物は統計上移出を減少すべき趨勢に置かれたり。併しながら本年は當港を首め一般に多年熱望せし上海航路の實現を見るに至り、本航路を利用して輸出せらるゝもの増加の傾向を辿り、其額は未だ微々たりしと雖も當港輸出貿易に新正面を開き得たるが、只本航路は就航船一隻にして一航海に約二十日間を要するが上に、上海に於て浦東側に繋留するの不便あり、且つ開始後日淺き爲等にて利用の度薄かりしは遺憾なりき。

而して由來對支貿易は、銀相場の變動及日貨排斥の影響等にて消長あるを常とするも、本年は日貨排斥下火となり、銀相場も一年を通じて比較的好調を持続し、蘇浙、及奉直戦争より受けたる悪影響も目立たず、對支輸出は概して稍好況裡に越年せり。左に品種別を示せば

輸出貨物數量及價額

品名	數量	價額	仕向地	取扱者
精米	四〇石	一,七二〇 ^円	青島	内地人
鹽	三二,四九九 ^{百斤}	六,二六三〇	露領沿海州	同
鮮魚	一〇〇,七八五 ^斤	七,四五九	内二千斤を上海へ他は鐵路滿洲へ	同
乾魚	一五九,六〇九	六三,六一	安東、奉天、長春、上海、青島	同
乾鱈	九〇,〇〇〇	二五,七九三	南洋、米國、上海、香港、青島、福州、厦門	同
其他乾魚	七,一一一	二,四四五	滿洲、上海、青島	同
鹽魚	二,〇一一三五四	一四三,五六五	安東、奉天、長春、青島、上海	同
明太魚卵	四六六〇	一,四七〇	安東、奉天、長春、青島	同
淡菜	四,八九二	三,一七九	上海、北部支那	同
乾蝦	一三,一五五	一三,〇五六	上海、青島、安東、奉天、長春	同
鱈鱈	二,二七〇	二,九五〇	同上	同

第二章 市街地の商圏

海參	海苔	其他	清酒	乾罐	蟹罐	鯖罐	其他罐詰	牛皮	生金布及生シーチング	黑鉛	其他鐵物同製品	陶磁器	朝鮮紙	海藻	其他雜品	小包郵便	通計
二四,二二三	一,八三〇	—	一,二八九升 一,七三六打	—	二四	三八	—	二,四三三 二四,二四〇 <small>方罫</small> 五,一四 <small>百斤</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	九八六,一三六
三九,七〇四	二,八三〇	五〇八	二,二四六 二,四〇九	—	一三三	六一〇	—	四八,二五二 一五,九五二 二,三七六	—	—	二,三六四	—	—	—	—	—	三九八,〇〇二
同 上	同 上	同 上	安東、奉天、間島 安東、奉天、長春、上海、青島	同 上	同 上	安東、奉天、長春、上海、青島	同 上	大連、奉天 米國、獨逸、英國 青島	—	—	奉天、安東、長春、比律賓、南洋	—	—	—	—	—	英領海峽殖民地、支那、米國、蘭印、香港、佛印、其他
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

再輸出品	10,387,826
合計	1,070,011

輸入貨物貿易

當港輸入貿易の大勢は、主として石油、揮發油、鐵道建築用材料、機械類、鹽、粟、石炭、木材等數種の貨物の消長に支配せらるゝを普通とするが、既記の如く前年の關稅制度改正以來、外國產品は概して内地產品に比し不利の位置に置かれ、且つ爲替相場の採算困難なりしに加へて、私設鐵道の新設を首め、鮮内事業界の不振、奉直戰爭の影響等に因る石炭の輸入不況、青島鹽の輸入杜絶等諸種の原因に由りて、概して輸入捗々しからざりしが爲め、粟の如く代用食糧としての需要増加し、又絹織物の如く贅澤稅賦課の見越に基き、揮發油、石油等の如く需要漸増其他の關係に因り、稍好況を呈したるものありしも、結局總額に於ては減退の止むなきに至れり。

併しながら上海航路の實現は、同方面よりする晒金巾、支那麻布、木製品等の貨物に對し、從來の長崎又は關門經由輸移入の經路を漸次變更して、直通便に依らしむるの傾向を生じ、更に同方面の比較的安價なる物資は時の経過と取引關係の進捗等に連れて、必ずや輸入促進せらる可きは言を俟たずと思惟されるれとも、本年は未だ開始後間もなく、而も動亂の影響等にて之を認む可きもの尠かりき。今輸入主要品に就

れば左表の如し。

輸入貨物數量及價額表

品名	數量	價額	仕出地	取引商人
麩子	四五、七三〇斤	二、五六一	遼陽、大連	内地人
粟	六〇、二五一 <small>百斤</small>	三、九〇七・九	四平街、昌圖、奉天、海城	同
高粱	一、五五三	七、一六三	鐵嶺、開原、大連、	同
黍	四、七三七	三〇、二七一	奉天、大連	同
大豆	六、三八三	四三、三五九	安東、奉天、大連	同
小豆	一三、四〇二	一〇六、三〇九	同上	同
蠶豆	四三一	三、二三九	上海、青島	同
其他豆類	一、八〇〇	一、二六八・四	安東、奉天、大連	同
小麥粉	一、二七八・五 <small>一八斤</small>	一〇四、六六六	米國、上海	同
胡麻子	四三、九一〇	七、二二四	安東、奉天、大連	同
乾果	一〇一、九八七	四〇、六四	安東、上海	同
コンデンスミルク	一四七、八六七	八、二八四	米國、英國	同
鹽	二、八〇〇	二、八〇〇	米國	同
天日鹽	五八二、〇三二 <small>百斤</small>	五二、二九七	大連、西班牙、土耳其	同

市街地の商圏

鳥卵	一二,二八九	四,四二〇	青島	同
革類	一八〇,七〇〇	九六,七二一	米國	同
揮發油	九八三,八五〇 <small>瓦</small>	九二七,三七七	蘭印、米國、英印、英國	同
石油	三,九五六,七五二	一,四六四,二七一	米國、蘭印	同
機械油	四七五,〇六四 <small>斤</small>	三九,六一三	蘭印、米國、英國	同
パラフィンワックス	一,〇六一,八六一	二五三,三六三	米國、蘭印英、印英國	同
柞蠶絲	一,二〇〇	一六,八〇〇	安東	同
生金巾及生シーチング	三八,九四八 <small>方總</small>	一〇,五三六	上海	内地人八割 支那人二割
晒金巾及晒シーチング	二四六,三三四	八九,〇三五	英國、上海、米國	同
寒那冷紗	三一,六〇六	六,四〇五	英國	内地人
支那麻布	五六七,二四六	三二,五八三	上海、芝	支那人
毛織物	三七,一八五	五,一七七	英國、米國、上海、奉天、香港	内地人
絹子及繻子	一五,九四一	六,二八六	安東、奉天	支那人
官紗	三九,八六五	三,二九一	上海	同
寧綉	一一,四三九	五九,三三五	同 上	同
其他絹織物	八二,六二六	一九,五七二	同 上	同
印刷料紙	一七,八七四 <small>斤</small>	二六,六二六	上海、安東、奉天、英國、米國	同
		三,三七〇	米國、英國	内地人

第二章 市街地の商圏

石	二〇、一九〇 <small>噸</small>	二八四、五六五	大連、秦皇島、佛印	同
窓硝子	二五、二五九 <small>方呎</small>	二、四五	白耳義	同
電鍍板	三七、三五一 <small>斤</small>	五九、九一三	英國	同
葉鐵及葉網	九一、八一五	一二、二五六	英國、米國	同
同其他の鐵	一一三、四五二	二、四八二	英國	同
鉛	一、四六〇、九六七	二〇六、九六七	通遠、安東	同
洋鐵釘	四、四四三	七〇三	米國	同
其他釘類	二七七、七二〇	三五、三九九	同	同
レール	八六三八、五五五	四七一、三六五	同	同
其他鐵道用材	四四八、三九一	三五、八四三	同	同
機械類	—	七八、六三三	英國、米國	同
原木	五、九五六 <small>立方尺</small>	八、三〇三	長春、安東	同
稅材	一〇一、九七三	一三六、二九四	吉林、安東、米國	同
板	八九、五六〇 <small>坪</small>	一三八、六九七	長春、吉林、安東	同
鐵道枕木	三四七八 <small>本</small>	一四八、一五八	米國	同
其他木材	—	一三、四三二	長春、安東、吉林	同
木炭	三四〇 <small>百斤</small>	一〇、〇七四	安東、草河口、通遠	同
人造肥料	六四〇	六、四〇〇	米國	同

豆	槽	六六,三九六	三,五五八	大連、安東	同
菜	子槽	一一,四八〇	六,四〇〇	上海	同
其他	肥料	一八二	五五四	安東、大連	同
雜品		三,七九四	—		同
小包	郵便	—	四八,三七	米國、支那、英國、蘭印、英印	同
通計		—	七,二七〇,七四二		
再輸入	品	—	三〇,〇一九		
全計		—	七,三〇〇,七六一		

内地貿易

本年の當港對内地貿易は、既記の通り移出數量七十萬噸、價額一億一千七百餘圓、移入數量五十二萬六千餘噸、價額八千八百五十五萬餘圓、合計數量百二十一萬六千餘噸、價額二億五百五十七萬餘圓にして、前年に比すれば移出共好況を示し、合計四千六百八十七萬餘圓を増進せり。而して之を仕向地及仕出地別に就き觀るに、移出に於ては大阪の二千三百餘萬圓を首位に、下關、神戸之に亞ぎ、東京、横濱、名古屋等の順序にして、移入に在ては大阪の三千五百餘萬圓を筆頭に、神戸、下關等之に亞ぎ、東京、門司、名古屋等の順位を示し、下關の移出入、神戸の移出、横濱の移入等に於て減少せる外、他は概して増進の

趨勢を呈せり。左に之を表示すれば

仕向地及仕出地別釜山港移出入貿易額表

仕向地及仕出地	移		合 計
	出	入	
大 阪	一三,二八二,〇五〇 ^円	三五,五八五,四三九 ^円	五八,八六七,四八九 ^円
神 戸	一〇,五七二,二一〇	一〇,二三九,三二六	二〇,七一一,五三六
名 古 屋	一,八五八,九九三	一,四九九,六八二	三,三三八,六八二
四 日 市	六五,九〇七	二八,二五六	九四,一六三
横 濱	五,九五七,九〇六	四三五,二〇九	六,三九三,一一五
東 京	六,二二,一九五	四,九四一,九〇八	一一,一五三,一〇三
敦 賀	二一〇,四二七	一,二四五	二一一,五七二
下 關	一一,五六二,七八七	六,五八八,七七六	一八,一五一,五六三
門 司	一,三五九,九六一	二,一九六,八四七	三,五五六,八〇八
博 多	一,六八二,七四五	一,三二八,九五九	三,〇一〇,七〇四
長 崎	一,〇七九,五六六	七二,三〇〇	一,七九一,七六六
其 他	四九,五五二,〇八五	二二,七九七,二四〇	七二,三四九,三三五
小 包 郵 便	三,六一九,八〇二	三,三四九,六三二	六,九六九,四三四
合 計	一一七,〇一五,六三四	八八,五五五,四二六	二〇五,五七二,〇五〇

備考 小包郵便は移出の全額、移入は織物類を除きたるもの

移出貨物貿易

朝鮮經濟界は内地經濟界の趨勢に順應して行政財政整理に依る事業の繰延、並に民間諸企業緊縮等の影響を受け、金融界亦硬塞の状態にして人氣銷沈不振の域を脱せざりしも、春來米界の活況に次て、後半絲界の好轉に財界漸く回復の徵象を表はし、旱害に依る農産物の減收は價額の擡頭に依りて緩和せられ、一般取引は年末近くに伴ひ益活氣を呈すると共に、當港多年の宿望たる裏日本北海道航路開始に伴ふ商圏の擴大に依り、移出貿易の伸暢特に目醒ましく、價額正に一億圓を突破し、出超三千萬圓近くを計上して實に空前の盛況を告げたり。而して移出貿易額増減の顯著なるものを舉れば、先づ農産物の大宗たる米は減收に拘らず、内地米況の沸騰に取引旺盛を極め、次て棉花の作柄良好なりし爲繰綿の出荷好況を呈し、家繭生絲の増産は、輸出生絲の好轉に一段の刺戟を受けて増増し、奉直開戦は牛、牛皮の移出に間接的好影響を及ぼし、木材類も依然復興用材として需用衰へず相當見るべきものありき。其外仲繼貨物に屬する滿洲仕出の柞蠶絲等増進せし一方、漁業界の不況に伴ひ鮮魚、乾魚等減退し、就中乾鰻は沿岸一帶不漁の爲意外の不振を呈し、其他金額の低落に依る金鑛、生産不況の製紙用バルブ等、孰れも出減を免れざりしが、大様叙上の如く増價貨物の多數なりしこと明かなり。之を數量に於て觀れば概して價額に於けるより

も増加率低き上に、大豆、海苔等の如く價額に増加して、數量に減退せしものも尠き、之は要するに物價騰貴の影響と見受けらるゝは勿論、中には海蘿の如き數量の増進に拘らず、價額に減少せしものなきにあらざるも、此等は比較的稀なる例なり。

轉じ本年中貿易額一千萬圓以上のものは、玄米、精米、柞蠶絲の三點にして、百萬圓以上のものは大豆、鮮魚、乾鰯、海苔、線綿、家繭生絲、牛、木材、海藻、肥料、小包郵便物の十三點なり。之を左表に示せば

移出貨物數量及價額

品名	數量	價額	主なる仕向地別	撥入
玄米	一、二七、三三石	三六、九五、〇〇四	大阪、神戸、下關、名古屋	内地人
精米	三、八二、六一六	一四、八九、九三六	下關、博多、門司、東京、大阪、名古屋	同
粗米	一七二	三、五三九	神戸、敦賀	同
碎米	一四、七五九	三、九六、六五	大阪、博多	同
其他	五八九	一、二、三六	大阪	同
小麥	二、七六二	四九、六六六	神戸、下關、門司	同
大豆	一六八、七八三	三、一六、八二二	大阪、神戸、下關、博多	同
小豆	九、三四	二〇〇、〇五	神戸、博多、大阪	同

人	紅	牛	毛	牛	其 他	鰻 罐	鯖 罐	蟹 罐	鮑 罐	蒲	寒	粟	林	其 他	推	砂	其 他
麥	麥	皮	皮	肉	詰	詰	詰	詰	詰	銚	天		檜	菜	茸	糖	物
四四、六六	九	二、二四、二八四	六七〇八三	七九六、六二 斤	八、一六四	一七、二三三	四九五、五 打	二八四	六三、八三二	三六、二七七	二、三五〇、七九九		三、七三九、六五六	八四〇〇六一	三、五三三	二八、七二九	
一六四、九七六	四七	一、三三、三二	八五、七八〇	三二、六八一	一三三、四九四	三七、四九二	三三七、九五 一	一〇、二	二四九、四八一	二二、三三四	三三、三三六	五五六、八七八	六二、五九一	八、一六六	八、四三八	一五二、四六六	
大阪、東京、神戸、下關	大阪	大阪、東京、横濱、下關	大阪、東京、横濱	下關、大阪、東京	大阪、下關、門司、神戸	大阪、神戸、下關	長崎、下關、神戸、大阪	長崎、下關	下關、大阪、門司、東京	大阪、神戸	下關、大阪、東京、神戸、門司		下關、大阪、神戸、東京	大阪、下關、長崎	大阪、門司	名古屋、大阪、下關	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

線	綿	四二,七四	二六,一七五七八	大阪、神戸	同
家蠶	繭	二二,八二,八二四	七,三一,五三八	豊橋、岡谷、諏訪、甲府、長崎、岐阜	同
柞蠶	繭	二七七	四五〇	豊橋、岡谷	同
生蠶	繭	四〇,九四三	七,二六,九三四	横濱、神戸	同
柞蠶	繭	一二,二六,二二六	一一,四五八,六二六	福井、岐阜、京都、豊橋、大阪	同
柞蠶	繭	九五,四六六	一一,九〇二	同上	同
柞蠶	繭	九四,九八〇	一四〇,七五	久留米、下關	同
柞蠶	繭	一一,七三,三九	三三,六七八	下關、東京、大阪、久留米	同
黒鉛	鉛	一一,五,四三三	二九八,一二三	敦賀、神戸、門司、下關、東京	同
石炭	炭	三二,二六七	三四,六五四	敦賀、下關	同
其他	鐵物及同製品	—	三六,二二八一	神戸、大阪、東京	同
陶磁器	磁器	—	四八五,七八九	神戸、門司、東京	同
金	鍍	一四,一二六〇	四,〇八五	東京、博多	同
其他	鍍物	—	一六,五四一五	神戸、下關、大阪、門司	同
鐵	鍍	六四,六〇六	四,三八六	大阪、下關、門司、八幡	同
鉛	鍍	一一,二二,三三九	一九四,九八七	大阪、神戸	同
牛	頭	三九,六七四	二,九七四,〇八六	下關	同
製紙用	パルプ	二〇〇	三五	岡崎、天満、加左川	同

其他	豆	糖	骨	牛	魚	乾	其	其	銀	海	石	木	其	板	挽	原	鱗
雜					槽	魚	他	他	杏		花		他				寸
品	粕		粉	骨	料	料	料	藻	草	蘿	菜	炭	材		材	木	木
	八三二二	一八一〇元	五〇八	一八,〇〇二	三〇,五三三	九七五九 <small>百斤</small>	六六四四一	七五四,九五四	七二〇,三二二	六七八,五〇四	一,八九三,〇九一 <small>斤</small>	八三,九二九 <small>百斤</small>	—	一,二四〇,七三一 <small>坪</small>	五四六,九三二	四八,二〇六 <small>〇方尺</small>	一,六四五 <small>千束</small>
	五,七九七,三三九	四四,一三三	三,五一五	六六,四二六	一九三,七九九	七七,六六八	三三二,三〇四	一四二,二一〇	一七四,五二八	二五三,二〇六	六七六,五四五	二四三,一三七	五二,四〇五	一,五八七,九〇五	五八〇,九二五	五七,二九一	二,三五五
	大阪、東京、神戸、門司、下關	大阪、神戸、東京、名古屋	鹿兒島	鹿兒島、大阪、長崎	下關、神戸、四日市	下關、神戸	下關、博多、神戸	大阪、東京、下關、博多	大阪、下關、横濱	大阪、博多、東京、下關	大阪、名古屋、神戸	東京、大阪、下關	下關、東京	同 上	東京、大阪、下關、博多	東京、下關、大阪	神戸
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

第二章 市街地の商圏

小包郵便

三、六、九、八〇一

全計

一七、〇二五、六三四

移入貨物貿易

朝鮮經濟界は内地財界の不況を移して一般に不振を免れざりしが、米界の活躍と綿絲布の暴騰に因る阪地商品界の好轉に隨伴して、入荷頗る順調を辿るの折柄、米價の昂騰と、綿花の豊作に依る出廻りの増進は、鮮人生活程度の向上、地方の増大と相俟て益々移入を促進するに至り、前年に比し二千餘萬圓を激増し、八千餘萬圓を計上するに至れり。而して移入貿易額増減の顯著なるものを舉れば、先づ移入品の大宗たる綿織物は年初移入税の刺戟と、年末思惑筋の大量移入に依りて、著しく増加し、就中金巾類、ジーンズ、天竺布等激増を來し、綿織絲は朝鮮紡績會社の焼失と、鮮内機業の發達に伴ふ原絲の需要増大とに依り、外米及臺灣米は市價の昂騰に因る鮮米の移出増進に伴れて、小麥粉等と共に廉價食糧としての入増著しく、其他小麥、菓子、生果、葉煙草、硫安縫絲、毛織物、肌衣、護謨靴、書籍、及雜誌製品、自轉車及同部分品等孰れも好況を呈せしが、一方釜山鎮に於ける紡織工場の焼失後、原綿の需要激減に伴ふ繰綿の減退を主とし、平壤糖の南鮮進出に依る砂糖、鮮内事業界の不振に伴ふセメント、及機械類等、孰れも不況を見ると共に、石炭、銅、原木、其他の肥料、小包郵便物等多少の減退を呈せり。

次に木年中貿易額五百萬圓以上を計上せるは、綿織物、綿織絲の二點、二百萬圓以上を算せるは米及
 粃、護謨靴、機械類、小包郵便物の四點、百萬圓を超えるものに至りては小麥粉、菓子、生果、肌衣、和
 紙、書籍及雜誌、石炭、陶磁器、鐵類、鐵製品、自轉車及同部分品、木材、木製品の十三點に及び、詳細
 左表の如し。

移入貨物數量及價額

品名	數量	價額	主なる仕出地	扱人
植物	—	二九八、二四〇	果樹苗は埼玉縣安行、兵庫縣川邊、山林 苗は長野、滋賀、福岡、桑苗は愛知、熊本	内地人
馬	一二八頭	三五、九二〇	下關、大阪、博多、門司	同
米及	三五八、三七三 <small>百斤</small>	三、八七六、六一一	神戸、下關、長崎、大阪、門司	同 鮮人 九割
小麥	八三、九六五	六六、二七〇	神戸、下關、博多、門司	内地人
小豆	四四、七九	五〇、五七九	下關、長崎、神戸	同
蠶豆	七五、三五	七七、五七六	長崎、下關、門司	同
其他豆類	七八、五八	八八、二二九	下關、長崎、神戸、門司	同
小麥粉	一一、二六三、二六五 <small>斤</small>	一、二二七、四五二	下關、門司、神戸、東京、大阪、横濱	同
片栗粉	六二、〇九三	八二、七八四	下關、門司、大阪、神戸	同
其他穀粉及澱粉	—	一三五、六七一	名古屋、大阪、下關	同

鯉節及鯖節	三二,七八一	一九九,〇〇六	下關、大阪、土佐、鹿兒島、靜岡	同
昆布	二五,二六一六	七五,八八九	大阪、下關、門司	同
海苔	七,八五八	三,四〇〇	大阪、東京、下關	同
各種雜詰壘詰	—	二五八,二八五	大阪、東京、門司、下關	同
清涼飲料	二二,三六四八 <small>利</small>	一一,〇九六	大阪、神戸、下關	同
葉煙草	八九,一三八 <small>斤</small>	五〇,一三〇	橫濱、門司、下關	同
鹽	二〇,〇三三二	二四五,一四三	下關、臺灣	同
革類	三三,四九八	五九五,八七四	大阪、東京、博多、名古屋	同
機械用帶及管	三四,三七	五九,七二〇	大阪、東京、神戸	同
其他革製品	—	三八九,八三七	大阪、東京、名古屋	同
菜子油	三八九,九五八	一一七,九二三	博多、大阪、神戸	同
揮發油	一三六,二一〇 <small>瓦</small>	一五七,一七五	下關	同
石油	一三,四三三	八七,六三三	下關、門司	同
機械油	一,四九一,八八 <small>斤</small>	二四一,二八〇	下關、神戸、門司、東京、大阪	同
石鹼	七五八,〇三七	五〇三,七三二	大阪、東京、神戸、下關	同
香水及香油	—	二二九,九四八	同	同
曹達灰及炭酸曹達	一一,五〇,六二	六〇,六〇二	大阪、神戸、下關、門司	同
硫酸アムモニウム	五〇,〇八〇 <small>百斤</small>	五四一,九六九	神戸、大阪、下關	同

市街地の商圏

炭	灰	六六七・〇六五	五九・〇二	下關、門司、大阪、博多	同
賣	藥	—	三四一・八二四	大阪、東京、下關	同
セリ	イナマイト及	五三・三八〇	五二・八〇〇	大阪、下關	同
安	全 燐 寸	九八・六六〇	五六七・〇三四	神戸、大阪、博多	同
染	料	二四〇・七〇五	一六五・八七三	大阪、神戸、門司	同
ペ	ー	一四二・五〇六	一九八・〇二	大阪、下關、神戸	同
線	綿	二二九	六二・七三	大阪	同
打	綿	一四二・〇八	七・五三	大阪、下關、博多	同
單	絲	二九六・六三七六	八三一・五二九	大阪、名古屋、神戸、下關	同
燃	絲	二〇五・九七一七	二、九四〇・七四	同	同
綿	縫	五〇・二二〇	二二・八〇・四六	大阪、下關、神戸、名古屋、博多	同
綿	網	三九・八二五	七・三三・〇〇一	同	同
麻	繩	一一九・七〇一	三九五・八八三	大阪、東京、下關、博多	同
麻	繩	二四七・九五二	四六・四〇九	大阪、下關、神戸	同
藁	繩	七七三・三七一	四三・〇〇一	下關、大阪、神戸	同
棕	繩	一一五・六八〇	五七・二二六	大阪、下關	同
其	繩	二二四・四一五	六五・六五六	大阪、下關、名古屋	同
綿	繩	五二七・三四〇	二三四・九八三	大阪、長崎、名古屋、下關	同

綿	縮	二四二,三八八	九四,九四九	大阪、長崎、下關	同
生金巾及生シーチング		一二,三九七,六三八	三八,三〇,六五	大阪、神戸、下關、門司	同
晒金巾及晒シーチング		三,九一〇,七三二	一,二七八,九六六	大阪、下關、名古屋	同
天竺	布	五二,四一八	一七七,三五四	大阪	同
白木	綿	四〇,一九六,七〇	八八三,三六五	大阪、下關、名古屋、門司、神戸	同
綿帆	布	七〇,六三七	六四,一九二	大阪、下關	同
小倉	織	八七,九一三	四八,九九二	大阪、名古屋	同
綿モスリ	綿	二八五,六五六	九〇,六一〇	大阪、下關	同
色金巾及緋木綿	綿	四四,一九〇	一四三,三四六	大阪、名古屋、下關	同
色木	綿	七二,七七四	二二,一八七	大阪、門司、下關	同
編及緋木綿	綿	七七〇,四三〇	三二〇,八二四	大阪、名古屋、下關、神戸、門司	同
ジ・イン	ス	三,一三五,六八五	一,二四九,七三八	大阪、神戸	同
綾金巾及雲齋布		一四,四七,七七	五,六八,七六四	大阪、門司、下關	同
其他綿織物		一,三三七,四一七	五〇七,七五一	大阪、名古屋、神戸、下關	同
毛織物		六,一八六,五五	八四五,〇九二	大阪、東京、名古屋	同
絹織物		六三,五,六八	八九,二,七九八	福井、大阪、名古屋	同
綿浴布		—	一七七,〇三四	大阪、名古屋、神戸	同
蚊帳		—	二,一六八,五八	大阪、門司、下關	同

市街地の商圏

漁網及漁網地	五四七、八六〇 ^斤	七五四、〇七七	下關、大阪、名古屋	同
ホース及機械用	一〇七、九六四	一七一、〇六一	大阪、東京、神戸	同
和服	—	三九九、六九二	大阪、下關、東京、神戸、門司	同
洋服	—	七八二、三六二	大阪、東京、下關、博多	同
肌衣	—	一、九五三、八二二	大阪、東京、名古屋、神戸	同
靴足袋	—	四四五、八六四	大阪、東京、下關	同
日本足袋	—	四二〇、六八九	同	同
鞆子	—	八二七、四二八	大阪、東京、名古屋	同
ゴム靴	—	二、七四〇、八四三	神戸、大阪、東京、門司、廣島	同
其他靴類	—	三五六、〇五四	神戸、大阪	同
下駄	—	一五九、六七五	大阪、名古屋、東京	同
印刷料紙	一、三四九、〇〇四	三七三、五九四	大阪、下關、門司、神戸、東京	同
其他洋紙	九一〇、三四四	二八四、五二四	大阪、下關、神戸	同
和紙	一八六一、五八九	一、〇七六、二二八	伊豫、鳥取、周防、肥前、筑後	同
帳簿及手帳	—	四五四、九七三	大阪、東京、下關、名古屋、長崎	同
書籍及雜誌	—	一、二三六、八一九	東京、大阪、神戸、名古屋	同
扇及團扇	—	七一、八三七	大阪、名古屋	同
古新聞紙	—	五六、〇六八	大阪、博多、下關	同

鮮人 一割
内地人

石	炭	一〇五,〇二〇 ^噸	一,四五,二五五	若松、博多、長崎	同
コ	ークス	八七二	三八〇二八	若松、下關、博多	同
セ	メント	一六五,〇〇八 ^{百斤}	三八九,三六〇	下關、門司	同
石	灰	三九,〇九七	四八,五四九	山口、大分	同
石	粉	三八,七四二	三八,五四	山口、大分、大阪	同
陶磁器及其他粘土製品		一	一,一五六,五九〇	名古屋、唐津、大阪、博多	同
硝	窓子	一〇,二八〇八 ^{方呎}	一三二,五七一	門司、下關、神戸	同
鐵	條及竿	二,一八四,五三一 ^斤	二五六,八五五	大阪、神戸、門司、下關	同
鐵	板	四六三,二六一	五六,五九一	大阪、神戸、東京	同
電	鐵板	二,九九一,九七九	五八〇,八二二	大阪、神戸、東京、下關	同
葉	鐵及葉鋼	四〇〇,四三三	九八,三三二	大阪、神戸	同
鐵	線	九五,八四九	一八,一三一	大阪、神戸、門司	同
電	鐘線	五四一,二九八	九九,五九〇	大阪、神戸、東京	同
鐵	線索及燃合線	七九,二五七	五八,五四一	大阪、下關、門司	同
鐵	筒及管	一,四九七,八〇一	二,三七,六九一	大阪、東京、神戸、橫濱、門司	同
鐵	屑及故鐵	九五,二五〇	六〇,六八二	大阪、門司、下關、神戸	同
其	他鐵	八九五,四六二	六九,三二〇	大阪、神戸	同
銅	塊及錠	一三九,九七二	六二,四五五	大阪	同

市街地の商圏

銅	線	四二,二九八	二二,二六九	大阪、東京	同
其	他 銅	一四三,七〇六	八五六四三	大阪、下關、東京	同
鉛	管	八五,〇二五	一七,六四八	大阪、門司	同
其	他 鉛	二五三,〇四七	四七,二五九	大阪、門司、神戸	同
錫		一六八,七七二	二六八,五三一	大阪、神戸	同
眞	鍮 及 青 銅	五四七,八五三	二六九,二七五	大阪、門司、神戸	同
洋	鐵 釘	一一,九六,七七一	一八〇,八九一	大阪、神戸、門司	同
其	他 釘	六八〇,一八六	二〇一,六三三	大阪、神戸、門司	同
レ	ル	一一,五三,八八八	八八,四六〇	東京、神戸、大阪	同
其他鐵道建設用材料		三五五三三	六八七九	東京、大阪、神戸	同
橋梁建設用材料		四六六,六一	八六,六七七	東京、大阪	同
絶 緣 電 線		七四二,一三	四六一,二四九	長崎、門司、東京、大阪、博多、横濱	同
工 匠 具		—	二二,一八〇	大阪、東京	同
農 具		—	五〇四,九四三	大阪、神戸、下關	同
金庫及貨幣匣		—	一五三,七九〇	大阪、東京	同
鐵 鋼 及 釜		—	一〇一,七一	大阪、東京、博多	同
珽 瑯 鐵 器		—	二四九,四二八	大阪、博多、神戸	同
銅眞鍮及青銅製品		—	二三五,四六一	大阪、東京、門司	同

鐵製品	一、七六九、三五	大阪、東京、神戸	同
置時計掛時計及同部分品	一、四〇、八八	大阪、名古屋、東京	同
度量衡器	一、六三、一〇三	大阪、東京	同
醫療器類及同部分品	一一七、〇三五	同	同
寫真器及同部分品	六八、七九〇	同	同
樂器同部分品及附屬品	四一四、八一〇	大阪、東京、名古屋	同
電信電話機及同部分品	二二九、一八八	東京、大阪	同
銃砲及同部分品	八九、三六九	大阪、神戸、博多、東京	同
自働車及同部分品	二〇五、八五八	神戸、大阪、横濱	同
自轉車及同部分品	一、六一〇、九二	大阪、神戸、東京、横濱、名古屋	同
汽船	一〇四、四〇〇	東京、下關	同
鐵道機關車及	二七、二〇〇	神戸、東京	同
機關車用炭水車	一〇一、六二四	東京、大阪、博多	同
發電機電動機類	一一六、二二	大阪、東京	同
唧筒	六〇、六六六	神戸、大阪、東京	同
金屬工及木工機械	六九、八七〇	大阪、東京	同
精米機	二、〇〇三	大阪、名古屋	同
綠綿器及打綿器	一、四二五	大阪、東京	同
製繩器及製苧器	四四、八三九	大阪、東京	同

其他木製品	—	八五,二七二	大阪、東京、下關、名古屋	同
漆器	—	二〇,七五九	大阪、名古屋、下關	同
護謨及同製品	—	二九八,一九六	大阪、神戸、東京	同
ランプ及同部分品	—	六六五,七〇四	大阪、東京、門司	同
遊戯具及玩具	—	六三八,〇六九	大阪、東京、名古屋	同
人造肥料	—	二〇,一二七 <small>百斤</small>	下關、神戸、門司	同
菜子槽	—	九五六九	長崎、下關、神戸	同
其他肥料	—	七〇六三	神戸、大阪、下關	同
其他雜品	—	一五,三二二,七九七	大阪、東京	
小包郵便	—	二,二〇八,七七五		
旅客携帶品	—	五六,二〇一		
全計	—	八八,五五五,四一六		

以上述べたる如く、當港貿易貨物は輸移出入數量百三十四萬餘噸、價額二億一千三百九十六萬餘圓にして、更に之を鐵道便及船舶便に依り滿洲、鮮内各地へ搬出入するものなり。今左に取引關係地別に觀たる釜山港貿易額の内容比率を示せば

仕出地及仕向地	輸出		輸入		合計	
	貿易額	百分比	貿易額	百分比	貿易額	百分比
釜山(自體)	六九,九五四,四三五 _円	五九	五七,九六七,九〇四 _円	六〇	一二七,九三三,三三九 _円	六〇
京城(通過)	四九五,七〇八	四	一五四,九三一九五	一六	二〇四,八八九〇 _円	九
其他稅關所在地(通過)	一八九,四四二	一六	一二,四六一,九七六	一三	三二,三八六,三八八	一四
其他の鮮内(通過)	一〇一,九〇七六一	八	七,五四九,三〇〇	七	一七,七八四,九八一	八
滿洲(通過)	一四,〇四〇,三三〇	一二	二,三三八,八八二	二	一六,三七九,二二二	七
計(釜山港貿易額)	一,一八,一〇五,六四六	一〇〇	九五,八五六,一七七	一〇〇	二二三,九六一,八三三	一〇〇

更に之を地方別種類別に大別すれば

一、釜山港移出入沿岸貿易統計表

一、大正十三年釜山港移出沿岸貿易地方別數量及價額表

開港	仕向地	朝鮮産		内地又は外國産		合計	
		價額	噸數	價額	噸數	價額	噸數
釜山	海	二六,八五七	二,二六四	三五,四八九四	三,二五六	六三,七五二	五,五二〇
馬山	浦	六七,八六六	五,七四九	一六,五八,二七一	一三,五二〇	二,二八六,三三八	一九,二六九
木浦	浦	一四,八二五	一,〇三六	四六,三九九	四,一九一	五八,八二四	五,三三七

長承	菱浦	加德	舊馬	熊川	金海	龜浦	下端	不 開 港	計	雄基	清津	城津	元山	新義	鎮南	仁川	群山
一〇二,五四〇	七,二八二	一一,二六三	五六,四八二	一一,五四八	五七,七九五	三五,四六〇	一四,五四七		一,八八五,六二〇	一,八八五,六二〇	一,三五,八九四	一,三五,八九五	一,二〇,九八七	一,二〇,四〇七	一,〇五,四三〇	九七,六四一	二六,五五八
九三	六五	一〇一	五〇,八三	一一二	五二〇	三二九	一三二		一,六七八九	一,一九八	一一,二一七	二,一〇八	一,〇三〇	一八四	九三二	八二六	二四五
五八,七九二	一一,六九六	二五,四〇〇	八四,七七〇	三〇,七七七	三八,六四二	三五,四八九	二八,三七〇		四,五八五,四〇〇	二,五二,六三七	二,八六,九三三	三,六二,九三八	四,二五,三九一	一,三八,九六二	一,五三,八六八	二,二六,六八〇	二,六〇,八四六
五二九	一一,四二	二二八	七,六二九	二七七	三四七八	三,一九三	二五五		三九,〇三二	二,二,七七三	一,五八二	三,二六六	三,八二八	一,二五〇	一,三八四	二,〇四〇	二,三三一
一六一,三三二	一九,九七八	三六,六八三	一四二,六五二	四三,三三五	四四四,二二五	三九〇,三五二	四二,九二七		六,四七一,〇二〇	三,八五,八八七	四二,二二七	五八,八〇三	五,四六,三七八	一,五九,〇〇九	二,五九,二九八	三,四,三二一	二,八七,四〇四
一,四五一	一一,二〇七	三三九	一一,七二二	三八九	三,九九八	三,五二二	三八六		五,五,八二〇	三,四七一	二,七九九	五,三七四	四,八五八	一,四三四	二,三三六	二,八六六	二,五八六

第二章 市街地の商圏

二四九

市街地の商圏

順麗	下河	南彌	露辰	昆	中	泗	船	三	欲	舵	固	統	巨				
天	水	浦	東	島	助	津	橋	陽	浦	川	津	浦	島	島	城	營	濟
五五八七四	四八二三八	七二八九二	一三〇六四五	二五三八九	一六六五二	五二九三〇	三九八一五	一一七五六	六三三四	五三九二	三二五四二	一四四二六〇	三〇〇八	五八二〇	二五四六三	九〇八二四	四四二九六
五〇二	三八五二	六四七	一、二七五	二二八	一四九	四七六	三五八	一〇五	五七	四八	二三八	一、二九七	二七	五二	二三九	八一七	三九八
三四九、六〇	八五一、九六	三三、九六二〇	四八三、二五四	二九五五〇	三四、二五六	一六三、九四二	一四九、七五〇	九九、八二〇	六二、四三〇	二六六〇八	二八六、三八八	四五三、八九一	四、九六〇	一〇、四三八	一九〇、八八九	八二〇、八四九	二六三、七三三
三、一四二	七、六六七	三、〇五六	四、三四七	二六五	三〇八	一、四七五	一、三四七	八九八	五六一	一、一三九	二、五七六	四、〇八四	四五	九四	一、七二七	九、三八七	二、三七三
四〇五、一三四	一、二八〇、〇六四	四一、五二二	六二、三、八九九	五四、九三九	五〇、九〇八	二六、八七二	一八九、五六五	一一、五七六	六八、七五四	一三、一〇〇	三二七、九三〇	五九八、一五一	七、九六八	一六、二五八	二六、三五二	九一、六七三	三〇八、〇六九
三、六四四	一、一五九	三、七〇三	五、五二二	四九三	四、五七	一、九五二	一、七〇五	一、〇〇三	六一八	一一、八七	二、八五九	五、三八一	七二	一四六	一、九四六	八二〇、四	二、七七一

右	珍	楸	西	暮	山	朝	金	城	太	青	莞	古	水	巨	羅	高	筏
水		子	歸	瑟				山	郎	山		今	門	文	老	興	橋
營	島	島	浦	浦	地	天	寧	浦	島	島	島	島	浦	島	島	興	橋
五、五二	六、三九〇	七、九六六	二四、五三〇	八一、一五	一四、三九〇	八、八六〇	一五、五七三	六二、二八七	五、五八六	一七、八九〇	二二、九三八	二二、八四〇	三二、七〇〇	五九、九四六	五、七二〇	一四、三二〇	三、七八六
五七	五八	六七	三〇	七三	三〇	八〇	一四〇	五〇	五〇	一六一	二一六	二二五	二八五	五、五九	五一	二九	三、四〇
一四、八六八	二、八五二	一六、七二七	二九、八六	二八、七二	八、七、〇〇	三、八九〇	三、七、八三	三、八四、八八九	二、七、九六〇	七、七、八三〇	二、三、四、五八二	二、七、九二	八、二、五三八	三、一、九七三	六、六、九七	一、九、四、三八九	五、四、九、三、六五
一三四	一一六	一五〇	二五八	二五八	七八四	二九六	三四〇	二五二	七〇〇	二、一一一	二五一	七四二	二八七	六〇二	一、七、四八	四、九、四三	五、八、七、二、九一
二〇、一六〇	一九、二四二	二四、六四三	五、三、四、四六	三、六、八、二六	一〇、一、五、九〇	四、一、七、五〇	五、三、三、九九	四、四、七、一、七六	三、三、五、四六	九、五、七、二〇	二、四、七、五、二〇	四〇、七、六一	一、四、一、三三八	九、九、九二九	七、二、六、九一	二〇、八、七〇八	五、八、七、二、九一
一九一	一七四	二二七	四七八	三三二	九二四	三七六	四八〇	四〇二四	三〇二	八六一	二、二、二、七	三六六	一、〇、二、七	六五三	一、八、七、七	五、二、八、三	五、二、八、三

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

法	聖	浦	四二,二六六	三八〇	一七七,五三〇	一,五九七	二九,七九六	一,九七七
苗		浦	七,七七六	六五	一五,八八七	一四二	一三,一六三	二〇七
大		邊	五,三九二	四八	八,七七八	七九	一四,一七〇	一二七
機		張	四,八二六	四三	八,九三七	八〇	一三,七六三	一二三
長	生	浦	九三,八四四	八四四	五八,九六六	四,七六〇	六三,七五〇	五,六〇四
蔚		山	一六七,一一八	一,五〇三	三六四,二九八	三,二七七	五三,四一六	四,七八〇
方	魚	津	一五八,二〇〇	一,四三三	二二六,三二〇	一,九四六	三,七四一〇	三,三六九
甘		浦	二三八,九六〇	二,一五〇	二五二,四八七	二,二七二	四九,一四七	四,四二二
牟		浦	五,二八三	四八	一一,三三五	・〇二	一六,六六八	一五〇
九	龍	浦	一三六,二八二	一,二三五	一七八,八〇一	一,六〇九	三五,〇八四	二,八三四
浦		項	四八三,八二六	四,三五四	一,五七七,八九四	一四,二〇一	二,〇六一,七二〇	一八,五五五
七		浦	一四,二三四	二八	八七,三五六	七八六	一〇,一五八〇	九二四
江		口	一二五,〇〇九	一,一二五	一四三,八二六	一,二九四	二六,八三九	二,四一九
丑		山	一〇,六六〇	九五	二八,三四〇	二五五	三九,〇〇〇	三五〇
平		海	七,六二四	六九	二四,九九五	二三四	三三,五四九	二九三
蔚		珍	二二,八三七	二〇六	一六八,三三五	一,五二四	一九一,一六二	一,七二〇
竹		邊	四七,九六五	四三	一七〇,八三五	一,五三七	二二八,七九〇	一,九六八
道		洞	四八,三九二	四三	二三八,一六	二,一四四	二八六,五〇八	二,五七九

三	涉	三,六六〇	三〇三	三,七五二	三,七九九	三,三七八	四〇八,九五九	三,六八一
江	陵	二,九九六	二六九	二,七八一	二,八二六	三,五九三	三〇八,〇六二	二,八六一
襄	陽	二,四三五六	二二九	三,五九二	三,四一	三,三三三	三,八三,五九八	三,四五二
注	津	一,七八八	一六〇	四,六四二	四,四二	四,一八	六,四二,三九	五,七八
大	浦	一,三五〇八	一一二	二,七二二	二,七三三	二,四五	四〇,七二	三,六六
巨	津	八,八九四	八〇	一,三八五	一,三八五	二,二五	三,二,七七九	二,〇五
杵	城	五,四六六	四九	一,三五五	一,三五五	二,二一	一,九〇一一	一,七〇
長	箭	八,七二八	七九	二,一八六	二,一八六	一,九六	三,〇,五九一	二,七五
通	川	七,六一六	六九	八,六六五	八,六六五	七,四	一,五,八八一	一,四三
庫	底	二,八三六	一六	一〇,八二六	一〇,八二六	九七	二,三,六六二	二,二三
西	津	一〇,九四一	九八	一,八七四	一,八七四	一,六九	二,九,六八五	二,六七
前	津	二,五三〇	一三	一,七五三	一,七五三	一,五八	三,〇,〇六三	二,七一
新	浦	一,五八二	一四	四,四七二	四,四七二	四〇〇	六〇,二九八	五,四二
新	昌	一,二六八	一〇五	三,六八九	三,六八九	三,三三〇	四,八五,七八七	四,三,七二
遮	湖	一,四六五	一三一	五,七四九	五,七四九	五,一七	七,二,六一	六,四八
端	川	一,二三八	一一	八〇,三四一	八〇,三四一	七,三	九,一,七二七	八,三四
泗	浦	七,九〇〇	七	一,四一,五六三	一,四一,五六三	一,二八〇	一,五〇,一六三	一,三五一
漁	津	一,四三八七	一九	一〇,五,五六六	一〇,五,五六六	九,五〇	一,一九,九七三	一,〇七九

市街地の商圏

二五四

獨 津 七、四五〇 六五二 一四八七二 一、三三八 二、二一七

其他各港 三九、六五七 三、五三四 五四、八七七 四八七七 九、四五三四

計 四、八〇、八一七 四、三一九三 一、五二、八七六 一、三八、六七九 二、〇〇、五八

通 計 六、六八、七四三 五、九九八二 一、九八、七四一 一、七七、七〇 二、六、六一六〇

一、釜山港移出沿岸貿易類別價額表

類 別	開 港		不 開 港		合 計	主 なる 仕 向 地
	朝鮮 産	内地又は 外國 産	朝鮮 産	内地又は 外國 産		
飲 食 物	三、四、八五六	五、四、五六〇	一、一、七四、五八八	二、一、六五、四七二	一、一、五七、三九四	浦項、馬山、木浦、城津
穀 物、穀 子	三、四、八五六	五、四、五六〇	一、一、七四、五八八	二、一、六五、四七二	一、一、五七、三九四	浦項、馬山、木浦、城津
澱 粉、種 子	三、四、八五六	五、四、五六〇	一、一、七四、五八八	二、一、六五、四七二	一、一、五七、三九四	浦項、馬山、木浦、城津
飲 食 物	三、四、八五六	五、四、五六〇	一、一、七四、五八八	二、一、六五、四七二	一、一、五七、三九四	浦項、馬山、木浦、城津
砂 糖 及 糖 菜 類	一、四、八二五	二、四、八九九	一、〇、三六、三四六	三、六、六六、七五二	一、三、九三、二九四	馬山、元山、浦項、龜浦
酒 類	一、三、四〇三	四、三、五六〇	一、九、三四〇	五、三、五九五	三、四、一六五	城津、蔚山、浦項
藥 材 及 染 料 塗 料	二、一、八四四	一、四、五、三〇二	二、七、八五二	三、四、九三三	一、八、五、二四〇	方魚津、筏橋、清津、木浦
油 及 蠟	二、四、五五五	二、四、七、二五〇	八、三、六六五	七、九、二、五五四	一、〇、七、八五〇	蔚山、浦項、船津、馬山
絲 纜 繩 索 及 布 帛	二、六、三三〇	二、八、二九五	二、七、五三三	四、〇、一、五九〇	六、五、八八二	六、九、八八五
絲 纜 繩 索 及 同 材 料	二、六、三三〇	二、八、二九五	二、七、五三三	四、〇、一、五九〇	六、五、八八二	六、九、八八五
綿 織 物	三、三、三三三	二、四、五五五	五、三、三三〇	一、七、五、三五六	八、八、六八八	二、〇、九、八七九

麻織物	10,242	1,187,925	43,668	446,550	53,260	594,475	舊馬山、浦項、統營、 蔚山、三千浦、麗水
毛織物	—	17,810	—	262,497	—	260,667	
絹織物	5,399	76,906	33,755	449,134	59,104	536,040	
諸布帛及同製品	33,406	338,334	64,388	382,940	66,454	606,764	
衣類及同所屬品	26,804	123,258	32,629	66,772	57,433	829,630	馬山、元山、木浦
紙紙製品及文具	7,268	233,229	34,894	245,398	43,162	459,327	浦項、馬山、統營
金屬及同製品							
鐵及鋼	6,755	29,832	9,553	189,310	16,278	329,062	
其他の金屬	25,300	33,288	2,188	247,754	27,198	472,522	浦項、馬山、仁川
金屬製品	12,455	136,986	7,500	404,875	19,485	549,771	
車輛、船舶學術器及機械							
車輛及船舶	9,494	63,841	12,586	74,980	33,090	138,822	群山、浦項、木浦
學術器及機械	9,006	36,800	7,768	83,924	16,924	110,754	
木材	34,873	83,893	1,067,679	245,335	1,292,553	329,288	馬山、浦項、總浦
煙草	347,986	—	462,586	—	80,534	—	浦項、馬山、麗水、鎮海
其他の諸品	26,444	263,875	54,380	1,662,833	740,804	2,566,766	馬山、浦項、清津、河東
合計	1,885,600	4,585,400	4,801,817	15,288,764	6,667,437	19,874,644	

第二章 市街地の商圈

三、釜山港移入沿岸貿易地方別數量及價額表

開仕向地	朝鮮産		内地又は外國産		合計	
	價額	噸數	價額	噸數	價額	噸數
鎮海	二八三,二六四	二,五四九	三五八,八三	三三	二八六,八四七	二,五八一
馬山	八〇六,三八五	七,二五七	三八二,六〇〇	三四四	八四四,六四五	七,六〇一
木浦	三四一,八三〇	三〇,八五	一一五,五三〇	二〇三	三六五,三六〇	三,二八八
群山	一六〇,八〇三	一,四四七	七八六	七〇	一六八,六二九	一,五二七
鎮南	三三二,五八九	二,〇九三	一一八,一〇〇	一〇六	二四四,四〇九	二,一九九
仁川	三四三,二五八	三〇,八九	二七二,三四一	二,四四二	六一四,五九九	五,五三一
新義州	二二,四五五	二二	一四五,八〇〇	一一	三八〇,三五五	三,四二
元山	三四六,七一九	三,二一〇	五三,八八	四八四	四〇〇,五五七	三,六〇四
城津	三七,一七七	三三五〇	八三,八二	六五	三八〇,五五九	三,四一五
清津	三四一,七六三	三〇,八四	三二,五一九	二九二	三七五,二八二	三,三七六
雄基	八二,九三〇	七四六	九三,八六	八四	九二,三六	八三〇
計	三,三三七,一八三	三〇,〇三一	四,七四〇,五五	四,二五三	三,八一三,三三八	三,四二八,四
不開港	二八三,五三六	二,五五二	五三,六〇〇	四八	二八八,八九六	二,六〇〇

露	辰	昆	中	泗	船	三	欲	固	統	壯	亘	長	加	舊	熊	金
梁	橋	陽	宣	川	津	浦	知	營	里	佐	承	德	馬	山	川	浦
五五八、六三三	一九五、八八四	三三六、二八〇	一八七、九六六	八六五、〇一〇	四〇四、八五四	一一五、二八三〇	一七二、五三二	七九七、七四八	一七三、五四〇	三五四、二七六	五三七、二五三	三四五、七〇	八三一、一六	三八二、六七四	二二六、三七二	一、四六三、一〇八
五、〇四四	一七、三三二	二、九六六	一、六九一	七、七八五	二六、四三九	一〇三、七五	一、五五三	七、一八〇	一、五六、一九	三〇八	四、八三五	三二一	七四八	三、四四四	二、〇七	一、三、一六三
四四、二六五	三三、八六六	五、三三四	七、七六五	二二、四五二	一七、七六三	四、一八〇	六五〇	一四、九三七	八五、五七六	八六	一、〇八〇	二四三〇	一、〇〇〇	一八二、〇三二	三、〇三五	一、三、七四八
三九八	二九六	四八	七〇	一九三	一五九	三八五	六	一三四	七七〇	七	九	二二	九〇	一、六三八	二七	二、三
六〇、二五八	一、九五八、七五〇	三三、六四四	一九五、六九一	八八六、四六二	四〇六、六二七	一一、九五、六四〇	一七三、一八二	八二、六八五	一、八〇、九九六	三五、一〇二	五三八、三三三	三七、〇〇〇	八四、一六	五六四、七〇五	二、九三、九七	一、四七六、八五六
五、四二二	一七六、二八	二、九八四	一、七六一	七、九七八	三、六五九八	一〇七、六〇	一、五五九	七、三二四	一、六三、八九	三、二五	四、八四四	三、三三	八三八	五〇、八二	二、〇六四	一、三、二八六

彌	助	一四二八〇〇	一、二八五	二、七八二	二五〇	一四五、五八二	一、五三五
河	東	一、九二六〇〇	一〇、七三三	二六、四四五	二三八	一、二九〇、四五	一〇、九七一
下	浦	三三四〇〇五	三、〇〇九	二二、八九九	一一五	三四七、七三四	三、一一四
麗	水	一、三七三、二九一	二、三三九	二八、三六一	二五五	一、四〇一、六五三	二、二六二四
順	天	八六八、二九〇	七八、二四	一五、二〇〇	一三七	八八三、四九〇	七、九五二
筏	橋	一、一六四、三七八	一〇、四七九	一六、三四九	一四七	一、一八〇、七二七	一〇、六二六
高	興	二二九、三七〇	二、〇六四	五、二七〇	四六	二三四、五四〇	二、一一〇
長	興	三二一、〇七三	二、八〇〇	五、七九	五二	三六、八〇二	二、八五二
羅	老	二四〇、五五八	二、二六五	三、八二一	三四	二四四、三七九	二、一九九
亘	文	二二六、〇八七	二、〇三四	四、二八六	三八	二三〇、三七三	二、〇七一
水	門	一一八、二五一	一、〇六四	二、〇〇〇	一八	二二〇、二五一	二、〇八二
古	今	一四七、七八〇	一、三三一	一、三八四	二二	一四九、二六四	一、三四三
莞	島	五六二、〇〇三	五、〇五八	七、二六五	八五	五六九、二六八	五、一二三
青	山	五三五、三八八	四、八八八	八、四二	七	五三六、二三〇	四、八二五
城	山	二二五、三四四	一、二二八	一、〇八四	一〇	二二六、四二八	一、一三八
金	浦	一一三、九二五	一、〇二五	一、五九二	一四	二二五、五一七	一、〇三九
朝	寧	四三、三九四	三、九〇	二、三六三	二一	四五、七五七	四、一一
山	天	一三九、三五〇	一、二五四	五、二八六	四七	一四四、六三六	一、三〇一

寧	丑	江	七	浦	九	甘	方	蔚	長	目	機	大	法	楸	西	暮	幹
					龍		魚		生				聖	子	歸	瑟	
海	山	口	浦	項	浦	浦	津	山	浦	島	張	邊	浦	島	浦	浦	林
四五,五八八	三八,六六二	一四一,一〇五	四二,六八二	一,八八三,一一六	二二五,四八三	二九四,七五	二六四,五三〇	五〇三,八四四	一,二五六,七八	一四三,三九九	二二四,八三六	二六,七三二	七五,三八八	四六,二八四	一一〇,〇〇八	七二,七四	一七八,四九
四一〇	三四八	一,一七〇	三八四	一六,九四八	一一,二九	二,六五二	二,三六〇	三,五三四	一一,三一一	一一九	一一三	二四〇	六七八	四六	一〇八	六五	一六二
四五〇	二,三六六	三,一〇五	四三八	一五八,二九〇	三,三三〇	三,八九四	二七,五二八	一三,九四〇	一一,四八二	四〇〇	—	—	一,三六〇	五二八	六三七	七三三	一,七九六
四	二二	二八	四	一,四四	二九二	三五	二四八	二五	一〇三	四	—	—	一一	五	六	六	一六
四六,〇三八	四一,〇四八	一四四,一一〇	四三,一一〇	二,〇四一,四〇六	一五八,〇二三	二九八,六一九	二九二,〇五八	五二七,七八四	一,二六八,二二〇	一四,七五九	二四,八三六	二六,七三二	七六,七四八	四六,八二二	一一,六四五	七九九七	一九六四五
四二四	三六九	一一,一九八	三八八	一八,三七二	一四二	二六八七	二六,八	三六,五九	一一,四一四	一三三	一一三	二四〇	六九〇	四二	一一四	七一	一七八

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

平	竹	道	三	江	襄	注	大	巨	杵	長	庫	西	前	新	新	遮	端
海	邊	洞	陟	陵	陽	津	浦	津	城	箭	底	津	津	浦	昌	湖	川
七,二八	六〇,七七八	三七,九二〇	四二,九九九	一三四,二九三	三五,四八一	三〇,八〇三	四八,七三二	一三,九〇一	七八,九四	二四,一七九	一八,四九三	三七,一四〇	二六,一四三	一七,二四五	一八,七二九	四二,九六五	一六,七二一
六五〇	五四一	三四一	三八〇	一,二〇八	三一九	二七七	四三九	二一五	七二	二二八	一六六	三三四	二三五	一五五	一六八	三八八	一五〇
八六五	七三六	八二,七四八	三,三六〇	二四,三〇六	五,三八三	二,四九六	一,〇〇〇	四〇五	一,一〇一	一,二六	三,八四二	一,〇六〇	八三〇	一	二,二五〇	一,三七二	七三六
八	七	七四五	二九	二二九	四八	二二	九	三	一一	一〇	三五	九	七	一	二〇	二二	六
八,〇八三	六一,〇〇四	二〇,六六八	四五,五五九	一五八,五九九	四〇,八六五	三三,二九九	四九,七三二	一四,三〇六	九〇,九六	二五,三〇五	二二,三三五	三八,二〇〇	二六,九七三	一七,二四五	二〇,九七九	四四,三三七	一七,四四七
六五八	五四九	一〇,八六	四〇,九	一,四二七	三六七	二九九	四四八	一二八	八二	二三八	二〇一	三四三	二四二	一五五	一八八	三九八	一五六

四、釜山港移入沿岸貿易類別價額表

類別	開港		不開港		合計		主なる仕出地
	朝鮮産	内地又は外國産	朝鮮産	内地又は外國産	朝鮮産	内地又は外國産	
穀物、穀子	一、九七、五三	八六、四四	三〇、七〇、八五	九六、八八	三、五〇、七五	一八三、二七七	浦項、馬山、金海、船津、辰橋
澱粉、種子							
砂糖及糖菓類	一四、三六	九、三六	四、四七	一六、一〇	一八、五九	三三、三七	仁川、木浦
酒類	一八、五九	二、八〇	三、九四	一、六五	五、五九	四、四六	馬山、麗水
水産物	四四、九元	四、三三	六、六九、五五	二六、三三	七、一〇、八〇	三〇七、六五	統營、麗水、莞島、浦項
其他の飲食物	三、四六、二五	三、三、七三	七、五、九八	一、三、二〇	一、〇、三、二一	一、〇、八三	馬山、河東、浦項
藥材及染料塗料	四、三五	六、二九	七、〇四	五、五〇	一、一、四〇	一一、七九	清津、馬山
油及蠟	一六、三六	三、四、八九	一、四、六〇	七、七、三三	三、〇、五八	六、三、七三	木浦、群山、浦項
計	三、四九、九一	二九、二、一六	二九、二、七〇	一、二、二、一八	一、一、二、八四	三〇、三、七四、三〇	
累計	三、四九、九一	二九、二、一六	二九、二、七〇	一、二、二、一八	一、一、二、八四	三〇、三、七四、三〇	
其他の各港	三、八二、六五〇		三、四四四	一八七、二六二	一、七六六	五、六九、九二	五二二〇
獨津	七、二八		六五〇	八七二	八	八〇九〇	六五八
漁大津	一三、九六〇		一二五	五三六	五	一四、四九六	一三〇
酒川	四八、三〇		四三四	四五〇	四	四八、七六〇	四三八

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

品名	木浦、馬山、浦項、仁川、元山、城津	仁川、木浦	元山、浦項、群山	江陵、濟州島、元山、浦項	木浦、仁川	河東、馬山、鎮海、元山
絲纜繩索及布帛	二七、九四〇	二、五七七	五四、三七九	三、八五四	八二、三〇二	三三、三六一
及同製品	二六、九〇四	二四、九三五	一四六、二六〇	六七、五七七	一七七、一六四	一三〇、〇二五
綿織物	四、六三三	四、七〇〇	三三、八三三	八九、三三五	九九、六五〇	一三〇、〇二五
麻織物	六三、八六六	—	—	—	—	—
毛織物	—	三三、六二七	—	三三、五五七	—	四七、一八四
絹織物	—	三三、四九二	八、三九九	二五、三七六	三三、六六六	五七、八六六
諸布帛及同製品	六七、八三六	二四、〇五六	六、三三二	四、三六二	九六、一七九	六七、三二八
衣類及同附屬品	三四、八七一	四、八〇〇	二四七、九〇八	八五、七三二	三六、七七九	二六、五三二
紙紙製品及文具	五、八〇〇	八、二五三	一六、八四四	三〇、五〇五	二七、六四四	三、七七九
金屬及同製品	—	—	—	—	—	—
鐵及鋼	七、二八二	六、五八五	四、八三三	二、七六八	四三、一〇四	一八、三三三
其他の金屬	一六、五二二	八、七五五	一七、九二九	一八、三六〇	三四、四四〇	二七、〇九五
金屬製品	八、八五六	一〇、二七一	七、九六二	二〇、三三六	一六、八二七	三〇、六二八
車輛、船舶、學術器及機械	—	—	—	—	—	—
車輛及船舶	二四、三〇〇	一五、九六八	一七、八〇〇	三、三三五	四三、〇二〇	九、一五三
學術器及機械	四、八七四	三、六六六	二、五〇一	五、九八〇	七、三七六	九、〇二六
其他の諸品	三六、六〇〇	二〇、八七七	三四、三、五〇〇	一三、五〇八	六八、一三〇	一五、九一〇
合計	三、三三七、一八三	四、七四〇、五五	二九、一六二、〇六六	一、三三三、〇八六	三、三、四九九、一九九	一、六六六、一四一

二、釜山、草梁及釜山鎮各驛發着貨物噸數表

種別	發着	通過	計
發送	17,001	56,161	36,162
到着	258,459	119,754	376,213
合計	428,461	176,015	604,476

釜山、草梁、及釜山鎮驛地發品名別貨物噸數表

品名	數量	品名	數量	品名	數量
米	491	小麥粉	3,034	鮮魚	1,0783
綿布	1,183	陶磁器	1,531	金屬類	4,699
木材	3,79	セメント	2,806	繩叭蕪	255
石炭	26,661	其他諸品	7,875	合計	17,001
				石油	873

釜山、草梁及釜山鎮驛地發仕向地別表

驛名	數量	驛名	數量	驛名	數量
洛東江	3,344	密陽	5,439	馬山	3,343
大邱	55,628	金泉	1,676	大田	3,533
平澤	743	京城	6,752	仁川	1,125
龍山	2,175	安東	1,046	新義州	1,637
				裡	1,446

松汀里	一、三三三	群山	一、二六九	木浦	一、二二七	元山	一、四〇〇
其他各驛	六、〇三七	合計	一七、〇〇一				

釜山、草梁及釜山鎮驛地着品名別噸數表

品名	數量	品名	數量	品名	數量
米	二〇、四七八	粟	三、六六八	大豆	九、二九二
木炭	四、〇五三	煙草	一、五七三	木材	一、八三四六
叭	五、二九七	金屬品	四、九三三	セメント	二、五六一
黑鉛	七、〇九一	其他諸品	五、四一六	合計	二五、八四五九
				活牛	一、九九〇七

釜山、草梁及釜山鎮驛地着任出地別表

驛名	數量	驛名	數量	驛名	數量
龜浦	一六、三〇三	洛東江	三、六〇九	進永	四、〇七五
楡川	九、七八七	清道	五、二五七	慶山	六、五五六
倭館	七、七七七	金泉	二、四六三	永同	五、二七九
大田	三、〇八六	龍山	四、〇二九	仁川	一、九七〇
平壤	二、二二六	安東	一、八二六	其他各驛	八、二〇四三
				合計	二五、八四五九

内地仕出釜山驛通過貨物噸數表

品名	數量	品名	數量	品名	數量
綿布	一四九六七	綿絲	五五二五	生果	一九九八
砂糖	四五四	和洋酒	一五七八	和洋紙	八九二
合計	五六、七九四			其他諸品	二五、九〇四

内地仕出釜山驛通過貨物仕向驛別表

仕向驛名	數量	仕向驛名	數量	仕向驛名	數量
馬山	七〇四	大邱	六、〇七五	群山	五七九
仁川	五六二	平壤	四、四八九	鎮南浦	三一九
安東	四、三三五	木浦	二七八	元山	二七九
東清	四、七四二	其他各驛	一七、三四五	合計	五六、七九四

内地仕向釜山驛通過貨物噸數表

品名	數量	品名	數量	品名	數量
米	四、三七五	大豆	八、七九一	雜穀	二、五三一
木炭	七、八一	牛皮	一、三三三	木材	四、〇、七三二
合計	二九、七五四			其他諸品	一、三九七

内地仕向釜山驛通過貨物仕出驛噸數表

仕出驛名	數量	仕出驛名	數量	仕出驛名	數量	仕出驛名	數量
密陽	五九四	進永	一四六三	慶山	二八九	大邱	三〇、八三六
倭館	二八七五	金泉	五、二四〇	永同	一、〇三七	大田	一、一〇六
論山	一、三三八	鳥致院	四三七	平壤	一、九九九	新義州	六、七二〇
安東	七、五八七	其他各驛	五、四六三	合計	一、一九七五四		

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の地域は釜山府・東萊・龜浦・梁山・方面・外來行商者の地域は廣島・福岡・鹿児島

地元出張販賣員 鮮内各地、滿洲奉天以南

外來出張販賣員 大阪・神戸・廣島・福岡

馬山府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

- (1) 貸出地域 府内・昌原・咸安・昌寧・宜寧各郡一圓・並に金海・密陽・固城各郡の一部
- (2) 利用の範圍 府内一圓・並に昌原・金海・密陽・咸安・各郡の一部
- (3) 最近一箇年間の總金額 一五、一一四、〇〇〇圓

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品種類	總仕入數量	總仕入價額	仕入先
玄米	八五〇〇〇石	二、八九〇、〇〇〇円	慶南線沿線地方
精米	一五〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	同
綿織物	四九〇〇〇反	一、九六、〇〇〇	内地及釜山
麻織物	一三、〇〇〇	一〇四、〇〇〇	同
毛織物	五、〇〇〇	七、四〇〇	同
絹織物	七、〇〇〇	七〇、〇〇〇	同
諸布帛類	一九〇〇〇	九五、〇〇〇	同
衣類其他	五、五六〇〇	一一、二〇〇	同
砂糖	三二、二〇〇斤	九三、六〇〇	釜山
紙	一三、一〇〇貫	七九、二〇〇	内地及釜山

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種類	總仕向數量	總仕向價額	仕向地
清酒	三、七五七石	三三六、一〇〇円	鮮内各地及支那
醬油	一、二〇〇	四八、〇〇〇	鮮内各地

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 昌原・咸安・宜寧・晋州・寧陽・金海各郡

外來行商者の地方別 昌原・咸安・宜寧・晋州・密陽・金海各郡・大阪府・富山縣・岡山縣・京城

晋州郡晋州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

晋州・泗川・河東・山清・咸陽・居昌・陝川・宜寧・各郡

前項の最近一箇年間の總金額

貸出額 七、七六八、二五五_円

預金額 二〇、二九三、〇九〇

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品の種類	總仕入數量	同上 價額	仕入先	摘要
呉服	七〇,〇〇〇 _反	一〇〇,〇〇〇 _円	京都、京城、支那	
木	一〇〇,〇〇〇 _寸	三五,〇〇〇	安東縣	

卸

商

材

一〇〇,〇〇〇_寸

三五,〇〇〇

安東縣

特産品名	仕向地	最近一箇年間生産	
		數量	價額
鍋類	大阪、神戸、支那	四、〇〇〇	一五〇、〇〇〇円
呉服類	晋州、京城、支那	一七〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇円
米類	晋州、泗川、咸陽、居昌	二八〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇円
金屬製品並陶器類	大阪、神戸、釜山	八、〇〇〇	一五〇、〇〇〇円
肥料	釜山	二、〇〇〇俵	一五〇、〇〇〇円
鍋、釜、鐵瓶、藥罐			

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品名	仕向地	最近一箇年間生産	
		數量	價額
棉花	大阪	五〇〇、〇〇〇斤	一五〇、〇〇〇円

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 晋州・山清・河東・居昌・咸陽・陝川・泗川・南海各郡

外來行商者の地方別 大阪・神戸・福岡・下關・釜山・京城・大邱

東萊郡東萊面

一、銀行、金融組合、金貨業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

銀行、金融組合、金貨業者等の貸付地域は東萊郡一圓及釜山府とす。

預金者の是等機關を利用する範圍即ち貸付の種類としては信用、不動産抵當、長期貸付とし、預金の種類は小口當座預金、貯蓄預金、定期預金、据置預金其の他とす。借受預金者の職業は農業四割、商業五割、其の他を一割にて、貸付金の用途は農業資金四割、商業資金及融通が五割、其の他一割なり。前項の最近一箇年間の總金額

東萊銀行貸付金	二、一五九、三五五 _円
同 預 金	一、六六一、九六四
東萊金融組合貸付金	一二九、二八六
同 預 金	一一九、一四三
金貸業者貸付金	四五、〇〇〇

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
内地人小賣雜貨品の仕入先は主として釜山にして、總仕入高は三〇、〇〇〇圓とす。鮮人の穀物及果物の仕入先は郡内及蔚山にして、總仕入高一〇〇、〇〇〇圓とす。鮮人小賣雜貨品の仕入先は主として釜山にして、總仕入高は五〇、〇〇〇圓なり、數量は計上し難し。

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品は煙管にして、主要仕向地は京城とす。最近一箇年間の數量は七〇、〇〇〇個にして、價額は二一、〇〇〇圓なり。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別 地元行商者の行商地域は郡内及釜山を主とし、外來商人の地方は主に慶尙南北道なり。

東萊郡龜浦面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍
銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域は東萊郡龜浦面、沙上面、沙下面、西面及金海郡大渚面、駕洛面下東面等とす。

預金者の是等機關を利用する範圍即ち貸付の種類としては信用、不動産抵當、手形、當座預金貸越、他所及當所割引手形、荷爲替手形、年賦償還貸付、殖産銀行媒介等の貸付とし、預金の種類は小口當座預金、當座預金、貯蓄預金、定期預金、手形預金、別所預金、通知預金其の他とす。借受預金者の職業は商業六割、農業三割、其の他を一割とす、隨て貸付金の用途は商業融通資金が六割、農業資金が三割、其の他が一割なり。

前項の最近一箇年間の總金額

慶南銀行龜浦支店貸付金	一、四八八、〇八〇 ^円
同 預 金	二、六九三、〇八六
龜浦金融組合貸付金	八二、〇〇〇
同 預 金	八八、七〇〇
金貸業者貸付金	四〇、〇〇〇

二、(イ) 内鮮外人商（卸・小賣・問屋に分）の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及金額

鮮人穀物の仕入先は慶北及慶南の各地とし總仕入數量は約三〇〇、〇〇〇石、此の金額は五、六四〇、〇〇〇圓とす。内鮮人雜貨品の仕入先は釜山を主とし、總仕入高は三〇、〇〇〇圓なり。

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

本面の特産品は蘆席にして、主要仕向地は大邱とし、最近一箇年間の數量は三八、八〇〇枚、此の價額は二、八一六圓なり。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別 地元行商者の行商地域は金海及釜山を主とし、外來

商人の地方は主に慶北の大邱なり。

金海郡金海面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

金融組合、金貸業者の貸出地域

一、金融組合 本郡内金海面、酒村面、長有面、駕洛面、上東面、下東面、藥山面、生林面

二、金貸業者 主として本郡所在地(市内)にして、時に一里以内の外洞里に貸出することあるも僅少

にして一年間十人以内なり。

預金者の是等機關を利用する範圍

預金者職業別表及預金種類は左の如し。

預金者の職業別及預金種類別表 (十四年三月末日現在)

區	別	金	農	業	商	業	工	業	其	他	計
			額	口	數	金	額	口	數	金	額

市街地の商圈

二七四

定期預金	100,000	1	1	1	1	1	1	1	1
當座預金	5,491,631	1,261	2,733	141	14,721	5	1,777,666	556	20,986
据置預金	334,077	5	521	3	1	1	9,888	60	10,805
計	5,926,098	1,271	3,306	144	14,733	5	16,130	666	27,557

最近一箇年品の總金額(大正十三年度)

一、金融組合

貸出金總額

一三七、一四二円

右の中本年度内償還

一一九、八六五

預金總額

一、一七六、四二六

右の中本年中拂出額

九四八、八六九

二、金貸業者(二箇所)

貸出總金額 一四、五〇〇圓にして、返済不能の分約一割なり

二、内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人	小賣	業務別	人員	仕入先	主要商品の種類	總仕入數量	同價額
			六人	釜山	食料品、化粧品、諸雜貨品	各種類別數量不明なり	五、八〇〇 <small>円</small>

朝鮮人 小賣 三 釜山 玉唐木、唐木、廣木、青木等の織物諸雜貨 織物 三、三〇^反 雜貨 若干 三、六〇〇
 支那人 同 八 同 金巾 白木綿、青木、麻織物等 七、二〇^反 九、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種類 主要仕向地 大正十三年度總數量 同 價額
 蘆蓆 (アンペラ) 京城以南の鐵道沿線各地 一〇三、七〇七^枚 三三、三九八^円

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域

地域 郡所在地 人員 備考

各市場を巡廻するものとす

新文 二
 松亭 四
 進永 四
 龜浦 三
 四五人

外來行商者の地方別

地方別	人員	地方別	人員
金海海面 (海面以外のもの)	一五人	清道郡	二人
全州郡	六	釜山府	四人
		慶州郡	二人

密陽郡密陽面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

營業者區別	貸出地域	貸出金額	預金金額	備考
銀行	密陽郡一箇	五五三,〇〇〇 ^円	九四,五三〇 ^円	慶一銀行及密陽銀行二銀行に付て調査したるものなり
金融組合	同	二九,七二一	二五,四八九	
金貸業者	同	一三〇,〇〇〇		島津金貸業者外二人に付調査したるものなり
計		七二二,七二一	一二〇,〇一九	

(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品	仕入數量	價額	仕入先
布	三〇,〇〇〇 ^疋	一九八六〇〇 ^円	釜山、馬山、大邱
魚類	一〇,八〇〇 ^噸	一六二,〇〇〇	釜山、馬山、元山
穀物	一五〇,〇〇〇	一,八三三,〇〇〇	部近の農村

計

二二八六〇〇_円

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産物	數量	價額	仕向地	備考
果物	一六〇,〇〇〇 _貫	一三〇,〇〇〇 _円	朝鮮各地及内地	梨・苹果を主とす
鮎魚	一〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	滿洲及内地	三貫に付三圓
栗	一五〇 _石	一三五〇		
計	一〇〇	一〇,〇〇〇	鮮内各地及内地	一石二十圓
		一七,一三五〇		

(4) 地元行商者の行商地域、及外來行商者地方別 地元行商者の行商地は釜山・馬山・大邱・元山なり。

外來行商者の地方別は最近に於ては重に漆器は統營、海苔は河東、人蔘は開城なり。

蔚山郡蔚山面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

銀行、金融組合、並に金貸業者の貸出地域は本郡一圓にして、借受者は該借受金を以て商業資金或は肥

料、農具代金等に利用しつゝあり。而して従來銀行組合に預金する者は諸團體及内地人に限られたる觀ありしが、郵便貯金等に比し利息の高率なる關係上、近時朝鮮人に於ても之等機關に預入するもの増加の趨勢を示しつゝあり。今最近一箇年間に於ける之等機關の貸出高及預金高を示せば左の如し

記

機關種別	貸出高	預金高
蔚山金融組合	一八〇、六八五 <small>円</small>	五三一、二二四 <small>円</small>
釜山商業銀行蔚山支店	二、〇二六、〇六七	二、三四〇、三四一
金貨業者	三一、〇〇〇	—

二(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

一、卸賣に付該當事項なし

二、小賣

仕入先種類	總仕入數量	價額	仕入先種類	總仕入數量	價額
釜山石油	四、七五 <small>箱</small>	三八四七五 <small>円</small>	同石炭	一八〇、〇〇〇 <small>噸</small>	二六三 <small>円</small>
大阪、釜山織物類	—	一六、二五五	福岡、釜山棉類	四、二〇〇 <small>貫</small>	二〇七〇〇

慶州	朝鮮紙類	二三五	棧	六四五〇	釜山	和洋紙類	九〇〇〇
岡山	壘表	一、〇〇〇	袋	一、四三〇	同	外米	一八二八五
釜山	粟	二五五	袋	三、六九七	同	和洋酒類	一〇、九五〇
同	味噌	一五〇	貫	一、二二五	同	醬油	三、五〇〇
同	木材類	一、一〇〇	噸	二〇、二四五	同	鐵物類	一〇、三〇〇
同	セメント	一〇〇、〇〇〇	枚	九八〇〇	同	士管	六六〇
同	瓦	一〇〇、〇〇〇	足	五、〇〇〇	同	石灰	一、二五〇
同	ゴム靴	三六、九〇〇	足	三六、九〇〇	同	肥料及農具類	五〇〇〇
蔚山郡内	繩	四〇〇、〇〇〇	束	八、〇〇〇	同	吹灰	二七、〇〇〇
京城、釜山	藥種類	一	束	一〇、一〇〇	大阪、釜山	其雜貨他類	二二、八五〇
計				六九八三四			

三、問屋に付該當事項なし

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

本面に於ける特産品は單に清酒のみにして、最近一箇年の仕向地數量價額左の如し。

記

仕地	種類	數量	價額	備考
慶尙北道	清酒	二五〇石	三、二八〇円	仕向地内譯は道内及び大邱、慶州並に東沿岸各地方

三、地元行商者の行商區域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商區域は郡内一圓に止まり、外來行商者の地方別左の如し

- 一、慶州
- 二、永川
- 三、義城
- 四、安東
- 五、東萊
- 六、釜山

昌原郡鎮海面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

當面には銀行 一、金融組合 二、金貸業者(所謂質屋業者)五を有し、貸出地域は金貸出金の八九割迄は當面内に於て商業資金及農業資金に活用せらるゝもの最も多し。

預金者は之等金融の便を受くるものを主とし、其他月給生活者も一部利用しつゝあり。前項の最近一箇年間の總金高は左の如し。

大正十三年中

(1) 金融組合(二箇所)

預金總高	一、二六八、〇三三 ^円
貸出總高	八二七、一二一

(2) 銀行 (一箇所)

預金 總高 三、二七五、五八九^円

貸出 總高 一、七六六、三〇七

(3) 金貸業者(質屋業者及遊金活用し貸付けるもの)貸付總高 (本金高は見込による)

約 五〇〇、〇〇〇^円

(4) 總計

預金 總高 四、五四三、六二二^円

貸出 總高 三、〇九三、四二九

(1) 内 鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品種類並に最近一箇年間の總仕入數量及

價額(大正十三年度)

(1) 卸賣は僅少に付掲記せず。

2) 小 賣

商 品 名	數	量	價 額	仕 入 先
麥		六、四六九 ^石	二二六、八〇五 ^円	沿海各面及馬山府

市街地の商圏

茶	米	九五、四七三	同	四六、一九九	同
材	木	一八、一六八	鴨綠江沿岸	四〇、八二〇	鴨綠江沿岸
石	炭	一一、四四九	福岡縣	二七四、三三九	福岡縣
酒	一、四三〇	石	馬山、釜山	一二九、九八六	馬山、釜山
砂糖	糖菓	三四、二三三	釜山	九三、六八五	釜山
絹毛	麻織物	四、八八八	大阪、京都、東京、釜山	四八、九一三	大阪、京都、東京、釜山
紡績	績	一三、七四〇	大阪、釜山、馬山	四一、五九五	大阪、釜山、馬山
綿織物	物	五、四九一	同	一六、四七二	同
衣類	同付屬品	二九、九〇〇	同	二八、九三九	同
金屬製	品	五九	同	二九、七六一	同
肥料	料	一三、〇三五	釜山、馬山	四七、四六三	釜山、馬山
煙草	草	三七、〇三七	同	七四、九〇九	同
諸飲食物	物	四一、〇五七	釜山、馬山、統營、大阪、下關	一六一、七三二	釜山、馬山、統營、大阪、下關
紙及文具類	類	九、一六〇	大阪、釜山、馬山	一五、一四九	大阪、釜山、馬山
計				一、二七六、七六七	

(3) 問屋なし

(口) 特産品主要仕向地、種類並に、其最近一箇年間の總數量及價額(大正十三年度)

商 品 名	數	價 額	仕 向 地
綿 織 物	二二、七七〇反	三四、七四〇 ^円	釜山、統營、馬山
乾 魚	五七、〇〇〇 ^斤	一七〇、〇〇〇	下關、大阪、釜山
鮮 魚	一二、四八五	一五、八〇〇	京城、大邱、平壤、新義州
産 蔘	五一四 ^石	四一、一二〇	大邱、廣島縣、滋賀縣
計	—	二六一、六六〇	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 當面内

外來行商者 なし

統 營 郡 統 營 面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

固城方面及巨濟島一部、統營・山陽・龍南・光道・道山・閑山・遠梁面

前項の最近一箇年間の總金額 五二、三五三、三五九圓

二、(イ) 内鮮外人の仕入地、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量價額

市街地の商圈

品名	数量	金額	主なる仕出地
漬物	一七〇,〇〇〇斤	一七〇,〇〇〇円	下關、岡山
味噌	一〇〇斤	一四五,〇〇〇	鞆町
葡萄酒	一八二	一五,〇〇〇	同
焼酎	一〇〇	一六,〇〇〇	同
柑類	二一〇,〇〇〇斤	一四九,〇〇〇	岡山
醬油	二四〇升	九九,〇〇〇	同
魚介類	一	一五三,〇〇〇	對馬方面
燈油	二五,五〇〇瓦	一一,〇一〇	下關
機械類	六七,五七五斤	七五八,〇〇〇	同
其他の礦油	一一,〇〇〇	六〇,〇〇〇	同
柿澁	四〇〇	四〇,〇〇〇	同
炭化石灰	一〇七,二〇〇	九八,九〇〇,〇〇〇	下關、佐賀關
藁繩	九四,三三三	三三六,二〇〇〇	大垣、下關、岡山、廣島
棕櫚繩	三三〇	一〇五,〇〇〇	大垣
漁網及漁網地	一一,二〇〇	一一五,〇〇,〇〇〇	岡山、廣島、音戸
衣類	一	七三,〇〇〇	岡山
紙製品	一	九,〇〇〇,〇〇〇	下關

煎鱈入れ紙袋

石	炭	二、〇四八 <small>噸</small>	二五、九七六、〇〇〇	博多、若松
セメント		五三三 <small>百斤</small>	一、一三〇、〇〇〇	博多、姫路
瓦		一、三六三	二、七二五、〇〇〇	博多、唐津
ワイヤロープ		九六〇 <small>斤</small>	二五〇、〇〇〇	大垣
鐵製品			二四九、〇〇〇	廣島、岡山
船舶			一、一八〇、〇〇〇	大阪、岡山
機械類			一五〇、〇〇〇	鞆町
竹材			三、二四九	對馬
原木		四三、八〇三 <small>立方尺</small>	二四、九四九、〇〇〇	同
挽材			一〇〇、〇〇〇	同
板材		一〇 <small>坪</small>		同
薪材		三四、三八八 <small>百斤</small>	一四、八三五、〇〇〇	同
木炭		四、四二九	一八、三五六、〇〇〇	同
藻類		一八、〇八〇	四五三、〇〇〇	岡山
漁網 (藻又は 棕櫚製)		七五〇	一一〇、〇〇〇	同
竹製品			二九、〇〇〇	下關、岡山、仁位、音戸
木製品			一、一八五、〇〇〇	岡山、音戸、下關
其他雜品			六、六六六、〇〇〇	上記各地

最近は神戸より仕入

第二章 市街地の商圏

合計 一四九、三六八、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

品名	數量	價額	主要仕向地	備考
精米	三七三石	一三、九九三、〇〇〇円	對馬	
大豆	六	九六、〇〇〇	同	
小豆	一	八、〇〇〇	同	
鮮魚	一、一九〇、六二五斤	一四〇、九四〇、〇〇〇	大阪、神戸、下關、兵庫、博多	
乾魚	二、二九二、四二〇	八三一、七七〇、〇〇〇	下關、岡山、大垣、大阪、廣島	
鹹魚	七、二五〇〇	七、九七一、〇〇〇	下關、唐津	
金礦	二、一九〇、九八三	二六〇、八〇〇、〇〇〇	佐賀關	
鰻油	一	一〇、五六一、〇〇〇	下關、岡山	
魚粕	百斤	二、一〇二、〇〇〇	下關	
その他雜品	一	二四、三〇〇、〇〇〇	下關、廣島	
合計	一	一、二八三、〇三六、〇〇〇	中桐丁駄台 二二、八五〇圓廣島仕向	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 固城郡・馬山府・河東郡・泗川郡・三千浦

外來行商者 なし

河東郡河東面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

(1) 貸出地域

(イ) 慶南銀行河東支店 河東郡及晋州郡並に全南光陽求禮兩郡

(ロ) 金融組合 河東郡一圓、但し北川玉東及加宗の三回を除く

(ハ) 其の他の金貸業者 河東郡一圓

(2) 預金者の是等機關を利用する範圍

預金者の殆んど全部は農商業者にして、是等の機關を利用する預金者は商業者とす。而して預金者中、商業者は主に信用取引を爲し、農業者は主に對物取引を爲す。今茲に大正十三年度一箇年間に於ける預金者に對する貸付總金額を擧ぐれば左の如し。

内地人 六九人 八六、三八〇^円

朝鮮人 八〇三人 九六八、九二四

外國人

計

八七二八

一、〇五五、三〇四^円

(3) 前項最近一箇年間の總金額

大正十三年度貸出總金額

一、六二〇、〇〇〇^円

内譯

慶南銀行河東支店

一、二九七、五三五^円

金融組合

一六三、〇〇〇

南一物産株式會社

五二、〇九〇

個人貸付

一〇七、三七五

計

一、六二〇、〇〇〇

備考 南一物産株式會社は、大正九年七月三十萬圓の資本金を以て創立し、海陸物産の貿易及び精米並に

營業資金の貸付を以て業と爲す者なり。

二、(イ)

内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内鮮外人商(卸小賣問屋の分)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總金額及總仕入數量左表の

如し。

主要商品の種類	仕入數量	價額	仕入先	備考
網 緞 布 木	九〇〇〇 _疋	九〇,〇〇〇 _円	釜山、馬山、仁川	
木 製 品	一六,〇〇〇 _個	一六,〇〇〇	釜山、成陽、晉州	
鐵 鑄 物	一三,〇〇〇 _實	一三,〇〇〇	釜山	
食 料 品	一五,〇〇〇 _實	一五,〇〇〇	同	
米 穀 類	一六,一三〇 _石	一三六,〇〇〇	釜山、求禮	西貢米、滿洲粟等
魚 物 類	二五六,〇〇〇 _實	二五六,〇〇〇	釜山、馬山、統營、麗水、南海、晉州、泗川	
綿布及麻布類	一八,〇〇〇 _疋	三五,〇〇〇	光陽、求禮、順天	
竹 製 品	一〇,〇〇〇 _個	一〇,〇〇〇	同上	
雜 品	五,〇〇〇	五〇,〇〇〇	釜山其他	
計	—	七一一,〇〇〇		

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額左の如し。

特産品の種類	數量	價額	主要仕向地
海 苔 類	二五,〇〇〇 _蒲	五〇,〇〇〇 _円	京城、大邱、大田、全州、金泉
米 穀 類	三一,四〇〇 _石	四七一,〇〇〇	釜山、馬山

木	竹	物	一五、〇〇〇 <small>圓</small>	三〇、〇〇〇	麗水、統營、珍島
畜	産	物	二九、一五〇 <small>圓</small>	一五三、〇〇〇	釜山、馬山、求禮、谷城
蔬菜及果物類			一五、〇〇〇 <small>圓</small>	一五、〇〇〇	麗水、釜山、統營
木		炭	三三、〇〇〇 <small>圓</small>	五〇、〇〇〇	同
計				七六九、〇〇〇	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

行商者の行商地域 釜山・馬山・統營・京城・大邱・金泉・麗水等地

外來行商者の地方別 京城・釜山・麗水・統營・南海・泗川・咸陽・求禮・谷城・光陽・順天・濟

州珍島・木浦・馬山・晋州・長水等

居昌郡居昌面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

(1) 銀行、東萊銀行支店あり、主として居昌面一圓を範圍とし、米穀商、及紬緞、布木商等に貸出を爲

しつゝあり。而して大正十三年中毎日平均貸出高十萬四千八百六十九圓九十三錢、同毎日平均預金高七萬八千六百二十四圓三十六錢、計十八萬三千四百九十四圓十九錢にして、當業者等は比較的低利な

るを以て競ふて利用する状況にあり。

(2) 金融組合、居昌金融組合一箇所あり、組合員は本郡内農業者を以て組織す。而して農資として廣く組合員に限り貸出を爲す、其一箇年總金高は五十一萬七千三百五十四圓九十二錢にして、組合員間に於ては頗る圓滑に利用しつゝあり。

(3) 金貸業者、居昌面に本據を有し、郡内各市場に於て貸出を爲す。

是等は前記銀行等に比し稍々高利貸を爲すものにして、一箇年間の總金高は略三十萬六千圓（居昌面に限る）を算す。

二、(イ) 内鮮外人商（卸・小賣・問屋分ち）の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の仕入數量及價額
仕入先 釜山・大邱・金泉・京城・仁川・平壤方面

種類	數量	價額	種類	數量	價額
絹布類	四、九三〇 <small>反</small>	五八六八三 <small>円</small>	文房具	—	二四、九〇〇 <small>円</small>
綿布類	四〇、六四六	二六三、五八四	紙及其製品	—	三四、〇〇〇
交織布類	九八四	八六、一六	鐵鑄物	—	一三八〇三
陶磁器	四一、九〇〇 <small>個</small>	三〇、五〇〇	苧布	—	一五、九六一
洋襪	一一、三〇三 <small>打</small>	四一、一〇一	生絲	—	四、二五二

麥 粉 一五、一〇〇買 一、二八〇 計 五〇八、二〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地 麻布は慶北金泉市、及京城方面 生牛は全北長水郡及隣郡たる咸陽・陝川方面、

穀類は慶北金泉、及釜山方面なり。

種類	總數量	價額	種類	總數量	價額
麻布	二九、七六八 <small>反</small>	五〇、六三五 <small>圓</small>	穀類	三、二七五 <small>石</small>	九三、九七五 <small>圓</small>
生牛	五〇一 <small>頭</small>	三〇、六〇〇	計	—	一、〇一四、六七〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

居昌郡内各市場、咸陽郡安義市、及咸陽市なり。

外來行商者の地方別

平安南道平壤	二	慶北金泉郡	三	慶北大邱府	五
慶南陝川郡	三	慶南咸陽郡	一二	支那山東省	二

黄 海 道

海州郡海州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

A 朝鮮殖産銀行海州支店

1 貸出地域 管轄區域に制限なきも事實上に於て殆んど本道一圓に亘り、就中海州・瓮津・延白の三郡は主要なる地域に屬す。

2 預金者の利用範圍 海州郡のみ、一箇年總額左の如し。

自大正十三年七月一日
至大正十四年六月末日

區 分	預 金 總 額	拂 戻 總 額
公 共 團 體	一一三、〇四九 ^円	一〇四、五二五 ^円
商 工 者	八、一七〇、六三四	八、一九九、七七二
其 他	三、三九七、一八七	三、二九八、七三一
計	一一、六八〇、八七〇	一一、六〇三、〇三〇

3 最近一箇年間の貸付金額 自大正十三年七月一日
至大正十四年六月末日

貸出 總額 三四八、三〇〇圓

回收 總額 四〇六、七七三圓

但し公共團體を除く

B 碧城金融組合

1 貸出地域 海州面・泳東面・錦山面・西邊面・東江面

2 預金者の利用範圍 預金者の範圍に制限なきも、預金の大部分は右五箇面に限定され、幾分は郡内他面、他道、及び内地にも及ぶことあり。

3 最近一箇年間の總金額

貸出 總額 六萬二千四十四圓

預金 二十一萬三十八圓

C 海州金融組合

1 貸出地域 海州面

2 預金者の利用範圍 預金者と雖も組合員に非ざる者は貸出をなさず、依て組合員外は組合を利用

することなし。

3 最近一箇年間の總金額 大正十三年度中

總取扱金額 六百九十八萬八千六百餘圓也

二、(イ) 内鮮外人商（卸小賣問屋に分ち）の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額の如何により相違せるを以て一定せる平均價格を算出し難し。

柳 殷 成 商 店

仕 入 先	主要商品の種類	總仕入數量	總仕入價額
京 城、仁 川	廣 木	三〇〇 <small>匁</small>	五、七〇 <small>円</small>
	唐 木	一〇〇	一、七八〇
	玉 洋 木	五〇	一、〇五〇
	木 綿	一二〇	四〇八
	次 唐 木	六〇	五九九
	麻 布	一五〇	四五〇
	單 絲	一〇 <small>匁</small>	一六〇
第二章 市街地の商圈			二九五

仁川、京城

麻	石	單	白	廣	次	木	玉	唐	廣	石	廣	生	彈	白
				唐	廣		洋				唐			
布	油	絲	苧	木	木	綿	木	木	木	油	布	苧	花	苧

三五〇	一、三七四	一三〇	三九〇	五四〇	四〇〇	四九五	三五〇	四六〇	二、四七〇	四五〇	一〇〇	二〇〇	八〇〇	五〇〇
正	角	錢	〇	〇	〇	〇	〇	〇	正	〇	角	正	錢	正

難波彌一商店	一、三五〇	一、〇九一	二、〇八〇	二、七三〇	三、七八〇	三、九八〇	一、六七三	七、三七一	四六、九三〇	七、八二〇	萬代龍助商店	三、九六〇	七〇〇	二〇〇	四二五	五六〇	二九六
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-----	-----	-----	-----	-----

仕 入 先	郡 内 各 面							郡 内 各 面							
	廣 木	品 名	外 國	粟	小 麥	大 麥	小 豆	大 豆	粗 穀	外 國	小 米	大 豆	小 麥	粟	粗 穀
一五〇 <small>正</small>	總仕入數量	三、〇〇〇	五〇〇	五、〇〇〇	五〇〇	三〇〇	三、〇〇〇	一〇、〇〇〇 <small>石</small>		一、七〇〇	二六〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	六三〇	一五、〇〇〇 <small>石</small>
二、八五〇 <small>円</small>	總價額	三、四、八〇〇	七、〇〇〇	九〇、〇〇〇	四、〇〇〇	四、七一〇	五一、〇〇〇	七八、〇〇〇 <small>円</small>	李壽永商店	三〇四、二〇〇	四、六八〇	六八、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一四、四九〇	一一七、〇〇〇 <small>円</small>

小賣商品柳股成商店の小賣部による
難波彌一

市街地の商圏

二九八

市内各卸商より

唐	木	五〇	八九〇
玉	洋木	五〇	八九〇
次	廣木	三〇	二九九
廣	唐布	三〇	二二〇
白	米	二二、〇〇〇 _石	二四、〇〇〇
粟		一〇、〇〇〇	一四、〇〇〇
小	豆	四、〇〇〇	一四、〇〇〇
精	米	五、〇〇〇	一一、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

自大正十三年十月一日
至大正十四年九月末日

品名	仕向地	仕入數量	同上總額
海州	京城、仁川、大邱、平壤、新義州	二六、四六 _丁	三八八九 _円

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者は重に翠野、青丹、新院を主要なる行商地と定む、外來行商者、該當事項なし。

載寧郡載寧面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間總金額

1 大同銀行載寧支店

イ、貸出地域 載寧・信川郡

ロ、貸出金及預金額

自大正十三年七月一日
至大正十四年六月三十日

貸出總額

回 收 額

現 在 額

預金現在額

一、九五二、九〇〇_円

一、八八〇、六九五_円

七二、二〇五_円

一五三、五八五_円

2 載寧金融組合

イ、貸出地域 載寧下湖里・南栗・北栗・三支江・銀山・花山・清水里・斗頭川面

ロ、貸出金及預金額 (大正十三年度)

貸出總額

回 收 額

現 在 額

預金現在額

二五二、二六五_円

一一四、六〇四_円

一二七、六六一_円

一一〇、九五九_円

3 載寧殖産組合

イ、貸出地域 載寧・信川・鳳山・安岳郡

ロ、貸出金及預金額 (大正十三年度)

貸出金總額 二十一萬圓

預金額なし

4 載寧商會

イ、貸出地域 載寧・信川・海州・鳳山郡

ロ、貸出金及預金額 (大正十三年度)

貸出金總額 十三萬圓

預金額なし

二、(イ)内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間總仕入數量及價額

仕入先	商品種類	單位	仕入數量	價額	備考
滿洲	粟	石	三五九〇	八六二六	
京城、平壤、仁川、鎮南浦	麥粉	貫	八〇六五〇	八〇六五〇	
同	砂糖	同	八一〇	三三四八	
同	鹽	同	八一〇〇	一〇四四	
同	食料品	同	一三五〇	一一三四〇	菓子、罐詰、其他雜品
同	酒	樽	一三一	一三二六七	金露、白鶴等

同	同	平壤	麥酒	箱	一四六三
同	平壤	煙草	同	同	一三〇
同	京城、平壤、鎮南浦	綿布	斤	一三、二一〇	二〇六、九六〇
同	同	綿絲	同	五、〇七九	五五、二七九
同	同	紙類	同	二〇、三六六	一一、一八九
同	同	燐寸	箱	四五	六二
同	同	石油	同	一六〇	一、三六〇
同	同	木製品	個	五、〇〇〇	七、五〇〇
同	新義州、安東縣	製材	才	五〇、〇〇〇	九、〇〇〇
同	平壤、京城	セメント	貫	二四、五〇〇	六、二二五
同	京城、平壤、鎮南浦	綿	斤	一、八一〇	一、〇八〇
同	同	金物類	貫	四七、六九〇	三三、八三〇
同	同	陶器	俵	一、八〇〇	一三、四〇〇
同	平浦、鎮南浦	煉炭	噸	七八	二、四〇一
同	滿洲、沙里院	石炭	同	一三〇	二、二一〇
同	海州、元山、仁川	乾魚	俵	一一〇	二、三三
同	同	海藻	貫	八、一〇〇	九、七二〇
同	滿洲、平壤	肥料	同	一一〇、二六〇	四、七三六八

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

海州、仁川、元山	鹽乾魚	同	一四、五八〇	二七、三四四
平壤、鎮南浦	味噌醬油	同	一、〇八〇	九七二
全羅北道	叭	枚	九六、一〇〇	二八、八三〇
平壤、鎮南浦	麻袋	同	一四、四〇〇	二八三
同	石灰	貫	一三、一五〇	一二、二五〇
京城、平壤、鎮南浦	藥品	包	七〇	七〇〇
新義州、安東縣	木材	才	一二、五〇〇	二二、〇五〇
平壤、鎮南浦	石材	貫	八〇	一六、一〇〇
同	硝子	箱	四〇	六四〇
同	麴	貫	一、三五〇	一、三五〇
同	苗木	俵	一一〇	六〇〇
信川	木炭	貫	二七〇	三六〇

備考 本表は大正十三年分

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

仕向地	種類	單位	數量	價額
沙里院、鎮南浦	粃	石	九、五七〇	一六、二六九 <small>円</small>
同	米	同	一二、六二〇	五四八、一六三

同	小	麥	同	一一、〇二五	一三二、五二五
同	粟	同	同	五、三六	一五、六六四
同	大豆	同	同	三、九九二	七五、八四八
同	雜穀	同	同	二、一八四	一四五、一五二
平壤、京城	牛皮	貫	同	八二、〇〇五、四〇〇	一六、二〇〇
沙里院、鎮南浦	綿	斤	同	一四二、三七	一四二、三七
同	綿(實綿)	斤	同	一四二、三七	一七八、二四九
沙里	野菜	貫	同	一六、三三五	四、九〇〇
平壤、京城	牛骨	斤	同	五、〇七九	一二六、九二五
同	牛脂	同	同	一、六九三	一、六九三
海州	アンペラ笠	枚	同	八〇〇	二四〇

備考 1 本表に記したるものは特産物にあらざるも本郡生産物中主要産物なり

2 本表は大正十三年分なり

三、地方行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 信川・安岳・鳳山・海州各郡・及京城・平壤・元山・大邱・釜山各地
 外來行商者の地方別 信川・安岳・鳳山・海州各郡・京畿・忠清南北・全羅南北・咸鏡南北・平安
 南北の各道

黃州郡 黃州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍

本郡内兼二浦を除く各面地方とす、その機關を利用する主なる範圍を示さば、農費用資金例へば肥料購入、畜牛、農具、又は耕地田畑の買入にして、生活費充當、冠婚葬祭商業用資金の利用等は之に次ぐ。

前項の最近一箇年間の總金額

貸付 一六七、三四三圓

預金 一〇六、二八八圓

二、(イ) 内鮮外人商(小賣)の他人先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

(問屋)なし仕入先名古屋・大阪・釜山・仁川・京城・平壤・鎮南浦等

主要商品の種類	總仕入數量	同上金額	主要商品の種類	總仕入數量	同上金額
燐寸	二〇〇箱	二、〇〇〇円	メリヤス類	二、〇〇〇點	一、〇〇〇
メリケン粉	三〇〇袋	一、五〇〇	罐詰類	五、〇〇〇圓	一、二〇〇
荷性曹達	五、〇〇〇斤	六〇〇	砂糖	六、〇〇〇斤	一、六二〇
洋紙類	三〇〇圓	一、五〇〇	酒	一、四四石	一、九五〇
染料	一、〇〇〇圓	五〇〇	ビール	六〇箱	一、四〇〇

サイダー	六〇箱	九〇〇	文房具	八〇點	一六〇〇
醬油	一三〇石	九四五	化粧品	七〇〇	一四四〇
味噌	七〇貫	六四八	綿布類	一五〇〇貫	一五、〇〇〇
菓子類	三六箱	一、〇八〇	計		三、四六三

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

該當事項なし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

郡内及鳳山郡瑞興郡平安南道中和郡の一部地方なり、外來行商者の地方別も亦此地方區域のものにして、稀に開城地方より來るものあり。

黃州郡兼二浦面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

貸出地域	總貸金額	總預金額	備考
兼二浦面一圓	一六九、三〇七 ^円	五三三、二〇一 ^円	大正十三年度

(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

種目	數量	仕入金額	仕出地	種目	數量	仕入金額	仕出地
粗布	二,五〇〇反	三,二五〇円	平壤	支那鹽	二〇,〇〇〇斤	一〇,八〇〇円	鎮南浦
晒金巾	一,〇〇〇	一五,〇〇〇	同	栗(滿洲)	二〇尺	三,〇〇四	四平街
支那麻布	一,〇〇〇	七,〇〇〇	同	木材	一九〇〇尺	二五,〇〇〇	新義州、安東
絹綿織物	一三,〇〇〇	三八六六〇	大坂、京都、名古屋	石油	一五〇〇箱	二,〇〇〇	平壤、鎮南浦
毛織物	三,〇〇〇	二二,〇〇〇	京城、仁川	マツチ	五〇〇	四,五〇〇	平壤
清酒	一三三三石	二四四六五	仁川、平壤	薪	一九五,〇〇〇	一一,七〇〇	新幕、瑞興、黃州
ビール	四斤入 三五〇箱	六,三〇〇	京城	木炭	一〇,一〇〇〇	二〇,四〇〇	同
サイダー	四斤入 二〇〇	一,二〇〇	京城、平壤				
醬油	二八六石	一六,一四〇	鎮南浦、平壤、仁川				
味噌	五六〇	三,九二〇	鎮南浦、仁川				
鹽魚及乾物	三六〇	二八,八〇〇	平壤、鎮南浦				
鮮魚	七三〇箱	一八,〇五二	釜山、元山				
砂糖	七〇〇斤	一七,五〇〇	平壤				
麥粉	四,〇〇〇袋	一八,〇〇〇	鎮南浦、平壤				
專賣鹽	五〇,〇〇〇斤	四七,五〇〇	鎮南浦				
計							
					四〇,〇〇〇		
					三,〇〇〇		
					三,〇二六		
					三,二八〇		
					七二		
					三,〇〇〇		
					一六,五〇〇		
					一九,〇〇〇		
					一〇,一〇〇〇		
					一九五,〇〇〇		
					五〇〇		
					一五〇〇		
					一,〇〇〇		
					一,九〇〇		
					一六,五〇〇		
					三,〇〇〇		
					七二		
					三,二八〇		
					三,〇二六		
					三,〇〇〇		
					四〇,〇〇〇		
						三三,二七一	

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種類	目數	量	金額	仕向地	種類	目數	量	金額	仕向地
玄米	三,〇〇〇石		九〇,〇〇〇円	大阪、名古屋	精米	一,一〇〇石		三九,〇〇〇円	鎮南浦
精米	八,〇〇〇		二九,〇〇〇	吳、大阪	小麦	一,〇〇〇		一五,〇〇〇	同
粗米	八〇〇		一,二〇〇	鎮南浦	醬酒	六四		三,二〇〇	沙里院、地方
玄米	五〇〇		一五,〇〇〇	同	計	一,三,四七四		四四,三三〇	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者 なし

外來行商者 平壤・京城

鳳山郡沙里院面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍並に最近一箇年間の總金額

殖産銀行沙里院支店	貸出地域	大正十三年度中 貸出金額	預金者の地域	大正十三年度中 預金金額
鳳山金融組合	鳳山郡一圓	一,四六二,一八六円	鳳山郡一圓	一,四三六,三一九円
		一,三〇〇八一		四,五五,〇〇〇

沙里院金融組合 沙里院面一圓 八四六二〇 鳳山郡内一圓 二七九〇九
 東拓沙里院支店 黄海道一圓 平安南道一圓 一六四〇五六七

二、(イ) 主なる内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

店主氏名	卸小賣の別	主要商品の種類	仕入先	總仕入數量	同上價額	備考
神田義槌	小賣	雜貨	京城、仁川、平壤	一〇、〇〇〇 <small>圓</small>	同	内地人
西脇保	同	自轉車	東京、大阪	五〇 <small>圓</small>	三、〇〇〇	同
森忠彦	同	藥種	東京、京城、平壤	三、〇〇〇	同	同
貫井新五郎	同	雜貨	大阪、京城、平壤	一、二〇〇〇	同	同
中川繁次郎	同	同	同	七、〇〇〇	同	同
伊藤利助	同	吳服	京都、大阪	五、〇〇〇	同	同
島崎芳郎	同	雜貨	仁川、平壤、京城	一〇、〇〇〇	同	同
西脇健一	卸並小賣	同	同	一五、〇〇〇	同	同
久田隆三	同	同	同	一五、〇〇〇	同	同
久田喜衛	小賣	同	同	一、二〇〇〇	同	同
梅田敏一	同	同	同	一、二〇〇〇	同	同
鄭在洙	同	同	同	一、二〇〇〇	同	鮮人
鄭慶祚	同	ゴム靴	京城	五、〇〇〇 <small>足</small>	五、〇〇〇	同

島崎貫一	小賣	金物	大阪、京城		五、〇〇〇	同	人
若林茂壽	同	金肥	安東縣、京城		六、〇〇〇	同	人
張龍鎮	同	同	同		六、〇〇〇	鮮	人
中上喜助	同	同	同		五、〇〇〇	同	人
包坂惣平	同	時計	東京	一五〇 ^個	一五、〇〇〇	同	人
李東憲	同	綢緞	京城、仁川、平壤	五〇〇	五、〇〇〇	鮮	人
朴聖默	同	同	同	七〇〇	七、〇〇〇	同	人
陳壽山	同	同	同	五〇〇	五、〇〇〇	支那	人
眞盛永	同	同	同	七〇〇	七、〇〇〇	同	人
眞盛興	同	同	同	八〇〇	八、〇〇〇	同	人
山本圭次	同	砂器	同		七、〇〇〇	内地	人
奈良岡藤松	同	材木	安東縣		七〇、〇〇〇	同	人

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額 沙里院面には特産品なし。

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 地元・並に隣郡

外來行商者の地方別 京城・平壤

瑞興郡禾回面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

金融機關別	貸出地域	預金の利用	貸出總金額	預金總金額
金融組合	瑞興郡東部面 梅陽面禾回面	農業及商業資金	七九、七九三	四七、二八八
金貸業者	新布及隣接面	農業資金	七〇、〇〇〇	

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

卸賣別	内、鮮、外人別	仕入先	主要商品別	仕入數量	同上價額見込
小賣	内地	内城、京城	反物、織物、雜貨	不	一〇〇、〇〇〇
問屋	朝鮮	京城、仁川、開城	反物、鑄造物	明	一五〇、〇〇〇
	支那	支那、平壤			二〇〇、〇〇〇
					〇〇〇、〇〇〇
					〇〇〇、〇〇〇
					〇〇〇、〇〇〇
					〇〇〇、〇〇〇

(ロ) 特產品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品種別	主要仕向地	仕向數量	同上價額
木	京城、仁川、鎮南浦	一五〇〇、〇〇〇 <small>貫</small>	三六〇、〇〇〇 <small>圓</small>
三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別			
地元行商者行商地域 瑞興・遂安・南川			
外來行商者地方別 仁川・京城・開城、沙里院・平壤			

平安南道

平壤府

一、銀行及金融組合乃至は金貸業者等の貸出地域並に預金者の是等機關を利用する範圍

イ、當地に於ける銀行業者の貸出地域は主として當府内並に隣接部落即ち寺洞、勝湖里、乃至は船橋里等、所謂平壤を中心とする一圓にして、殖産銀行等に於けるが如き、又は東拓支店に於けるが如き、地方農民に對する貸付金等ありと雖も、之等は或る特殊の者にして、此の外各銀行に於ける地方在住者に對する貸付金も多少有るも額に於ては餘り大ならざるものゝ如し。

ロ、當地には都市金融組合として南金融組合、及北金融組合、並に普通金融組合たる大同金融組合の三組合あり。

南金融組合にありては新市街方面に於ける主として内地人を組合員とし、北金融組合にありては主として舊市街方面に於けるものを組合員として何れも貸出をなすものとす。

ハ、以上の如く預金者の之等機關を利用する範圍は相當手廣く營業しつゝある所謂中流以上の商店にて、内地其他の地方と商取引を行ふ商店に於ては各銀行を相當利用するも、市内小賣商の所謂中以下

の小賣業者に於ては主として金融組合を利用しつゝあり。

前項の最近一箇年間に於ける預金及貸出金の總額

一、大正十三年中の預金取扱高

組合銀行の分(平壤全銀行)

預金總受入高

定期 四、七三六、四七三_円

當座 一二三、四六一、七六一

特別當座 七、二六二、四九五

諸預金 一一、〇一四、八三三

計 一四六、四七五、五六二

預金總拂戻高

定期 三、九一二、五〇七_円

當座 一二二、一四五、二五七

特別當座 六、八一八、六五七

市街地の商圏

諸 預 金 一〇、一二三、二一〇

計 一四二、九九八、六三一

貸 出 金 總 高

年 賦 及 定 期 一、二六二、二七一_円

證 書 貸 及 手 形 貸 五三、七〇六、七〇五

當 座 貸 越 三七、八五三、八三四

諸 手 形 割 引 二二、五五〇、一四五

計 一一五、三七二、九五五

貸 出 金 總 回 收 高

年 賦 及 定 期 一、〇七一、八九九_円

證 書 貸 及 手 形 貸 五三、三九九、八〇五

當 座 貸 越 三八、四八二、七七〇

諸 手 形 割 引 二二、四五四、二五二

計 一一五、四〇八、七二六

南金融組合貸出金總額

七五六、五七六^円

北金融組合貸出金總高

一、二四〇、二九七

計

一、九九六、八七三

南金融組合貸出金回收總高

七一五、二一二

北金融組合貸出金回收總高

九八〇、三一三

計

一、六九五、五二五

南金融組合預金受入總高

一、五〇〇、一八三

北金融組合預金受入總高

二、五〇七、〇一七

計

四、〇〇七、二〇〇

南金融組合預金拂戻總高

一、三一三、三九四

北金融組合預金拂戻總高

二、三一一、九九一

計

三、六二六、三八五

二、(イ)

内 鮮外人商（卸・小賣・問屋に分ち）仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

右は統計の據るべきもの無き爲に不詳なるも、税關に於ける要申告の物品即ち平壤税關を通關したるものは左表の通りにして、尙平壤移入貨物の大部分は阪神地方より仕入る。

大正十三年中重要移入品表

品名	單位	數量	金額	備考
砂糖	斤	九八七四四三一	一、四四七、七七五	臺灣原糖
清酒	升	四八八六	五四、八三〇	
麥酒	利	一七五八四	八、二四五	
醬油	升	三、二二三	一、七三九	
賣藥	—	—	三三、三六三	
綿フランネル	方碼	七五、七二九	二九、四三八	
綿	同	一八四、七四九	四五、〇九三	
生金巾及生シーチング	同	二、七五二、九三九	八五九、一六八	
晒金巾及晒シーチング	同	九四、〇三九	三〇五、八九〇	
天竺布	同	三八一、〇九〇	一一、二五一	
白木綿	同	六一四、九三三	一一六、二七一	
縞及紺木綿	同	一三五、〇五四	六五、九一九	
ジーンズ	同	四四四、二五六	一八三、八七五	

綾金巾及雲齊布	同	七二七,〇二七	二二八,六〇七
羅紗及セルザス	同	二四,六六五	四五八,四二一
モスリン	同	二二,三三七	二四六,五二一
綿浴巾	同	—	三三,六九八
ブランケット及旅氈	斤	三,五四八	四,五八一
肌衣	個	—	二八一
洋傘	個	二,二五四	三,五三八
織物を除く小包郵便物	個	—	九三八,五七一
其他雜品	個	—	五三七,四五〇
合計			五,一八九,〇七七

(ロ) 特産品の産額、並に主要仕向地及數量

品名	單位	數量	金額	仕向地
無煙炭	噸	二五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇 <small>円</small>	内地各地方へ約十三萬噸移出他は主として鮮内消費
砂糖	千斤	三八七,〇〇〇	一〇,八三六,〇〇〇	鮮内を主とし滿洲上海方面
セメント	樽	四三〇,〇〇〇	二,五五三,〇〇〇	同
清酒	石	七〇,四一	一,〇六〇,〇〇〇	十二酒造年度
燒酎	同	一五,〇〇〇	一,二〇〇,〇〇〇	船橋里方面を含む

市街地の商圏

靴	下打	約	一三〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	鮮内各地方へ仕向
ゴム	靴足		七〇,〇〇〇	二八五,〇〇〇	同
平壤	栗	石	六,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	鮮内及内地各地方へ
鑄物	物	!	—	六八〇,〇〇〇	鮮内各地方へ
支那素	麵	斤	約	一五,〇〇〇	鮮内及内地方面へ
馨	油	石	約	四五,〇〇〇	鮮内及滿洲地方へ
カルシウム	袋		一八,〇〇〇	三六,〇〇〇	鮮内各地方へ
煉炭	噸		三〇,〇〇〇	五七四,〇〇〇	同
合計				一八三三,〇〇〇	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

平壤在住者に於ける地方行商區域は平安南道、平安北道・及黃海道中鐵道沿線・及黃州・遂安・瑞興・鳳山、載寧・安岳・信川・段栗・松禾・長淵・海州郡等其の主なる處なり。

又地方より行商に來る者は内地在住者・及京城方面の者多數なるものゝ如し。

鎮南浦府

一、銀行、金融組合、金貸業者の等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍並に貸出、預金高總額

(大正十三年中)

1 銀行は大部分府内小部分附近村落

貸出 九三、三一、〇六〇圓 預金 六六、〇二八、九七八圓

2 金融組合は鎮南浦府龍岡郡内 (三和面其他一部分)

貸出 二、二七〇、四二七圓 預金 一、六〇九、二七一圓

3 金貸業者府内及附近村落 貸出總額三一、二〇〇圓

(二、) 内鮮外人商の仕入先、主要商品仕入數量及價額

大正十三年中鎮南浦港入貨調査

品名	單位	數量	價額	仕入先	摘
粗	石	五八四、八〇三	四、四一四	大部分平黃海道	賣主は鮮人買手は内地人にして全部卸買取引とす
玄	米	二八、二一九	同	同	同
白	米	九六、二九五	同	同	同
大	豆	一六〇、八七五	同	同	同
小	麥	一五五、三九七	同	同	同
木	材	立方尺	三七、〇八七	新安義	約七割内地人主として小賣
	材	坪	一七、二四八	東州	約三割鮮人

市街地の商圏

石	炭	噸	一〇八、四二	一、五二、一六〇	(支那)	全部内地人卸小賣兼業
生金巾及生シヂ	方碼	四三九、三五二	一四七、一八五	内地	内地人商に於て仕入れ其中約七割は鮮人の手を経て小賣せらるる爲部は内地人を爲す	内地人商に於て仕入れ其中約七割は鮮人の手を経て小賣せらるる爲部は内地人を爲す
其他織物	—	—	八一、五八五	同	内地人	内地人に於て直接仕入る、主として小賣す
綢緞布木類	—	—	一五〇、〇〇〇	(支那人仕入)	朝鮮人小賣業者へ支那人商より仕入	内地商の取扱なし
外洲	米石	八八一	二九四、三七	支那	支那船にて輸入し支那人問屋より内地人商の手を経て鮮人に卸賣す	支那船にて輸入し支那人問屋より内地人商の手を経て鮮人に卸賣す
滿洲	粟	百斤	七一、九六〇	支那	支那人問屋より仕入	支那人問屋より仕入
食鹽(官鹽)	斤	五、一六四〇、九九〇	—	廣梁	灣	約八割は内地人、二割鮮人
食鹽(支那鹽)	斤	二九六、八四二	二七六、五三五	大部分	關山	内地鮮人取扱中の約七割五分は鮮人五分は支那人二割は内地人にして何れも支那人問屋より仕入
砂	糖	噸	三三、四三六	内地	壤地	約八割は内地人、二割は鮮人(卸賣)
石	油	箱	九七、二六五	亞米利	國加	米國産九割五分英國産三四分にして米國産は直輸入に屬し各地米油元賣店に分散す當地特約店の販賣區域は附近及黃海道西部一帯にして一箇年消費より廻着し當地附近を販賣區域とす
機	寸百打	四四、六八六	二二六、九六二	内地	地	大部分は平地に輸送せらるる黃海道及當地附近に内地人卸商の手を経て内鮮商に於て小賣

麥 酒 升 一八、〇六〇 一五七、六七 內

大部分は平壤方面商人取扱に係る當地附近の消費年額は四六、五六四升見込にして内地商人の手を経て内鮮各小賣店にて販賣右消費額は當地に於ける入質に屬す

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

大正十三年中鎮南浦特産品生産高表

品名	生産數量又は價額	仕向地	摘	要
三和麗燒 (日用品美術器)	10,000 <small>円</small>	鮮内各地及内地	製産者は内地人	
三和編 (天日草及採取製器)	8,000 <small>石</small>	同	同	
白米	110,000 <small>石</small>	主として内地移出	生産は内地人五人鮮人一人	
萃果(林檎)	158,400 <small>貫</small>	一〇七、二〇〇 <small>内地</small> 一四七、二〇〇 <small>外國</small>	栽培者は内地人及朝鮮人	
麥粉	387,466 <small>石</small>	大部分内及支那	滿洲製粉會社分工場	
價額	1,496,860 <small>円</small>			

三、行商者の行商區域

イ、地元行商者 府内・龍岡・江西の兩郡、及黃海道方面

ロ、外來行商者 府内、及附近村落

安州郡安州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍

殖産銀行安州支店に於ける貸出地域 安州・平原・价川・徳川・寧遠、及平北寧邊・博川・定州・龜城

安州金融組合貸出地域 安州郡の安州・新安州・大尼・雲谷・東面

金貸業者富村順一貸出地域 安州・价川・平原・平北博川

預金者としては各官公署の各種公金、及官公吏の義務貯金、其他普通貯金は金融組合を殆んど利用し、

一般の商民に於ては銀行を利用するものあり。前項の最近一箇年間の總金額

貸出金の部

殖銀支店 一、一七八、四〇九^円

安州金融組合 一三二、八七九

金貸業者富村順一は最近一年内には貸出金回収のみにして貸出なし。

預金の部

殖銀支店 二八三、三九四^円

安州金融組合

九二、五八三

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋の分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總數量及價額

内鮮外人別		卸小麥及問屋の別		仕入先		種類		數量		價額	
内地人	卸	大阪、名古屋	織物	大阪、名古屋	七五、〇〇〇	反	七五、〇〇〇	円			
				東京、仁川	四、六五五	貫	四一、八九五				
		大阪、名古屋	綿絲	大阪、名古屋	二四、〇〇〇	斤	七、二〇〇				
				大阪	一九、〇〇〇	斤	二八、五〇〇				
		仁川	染料	仁川	五、〇〇〇	箇	三五、〇〇〇				
				大阪、名古屋	一九、〇〇〇	箇	二八、五〇〇				
	朝鮮人	卸	大阪、仁川、京城	織物	大阪、仁川、京城	八〇、〇〇〇	反	八〇、〇〇〇			
					仁川、京城、大阪	二、五九五	貫	二、三五五			
			大阪、鎮南浦	打綿	大阪、鎮南浦	七二、〇〇〇	斤	二一、六〇〇			
					仁川	一五、〇〇〇	箇	二、五〇〇			
			京城	石油	京城	五、〇〇〇	箇	三五、〇〇〇			
					京城、仁川	一、〇〇〇	反	一〇、〇〇〇			
支那人	卸	京城、仁川	織物	京城、仁川	一、八五〇	貫	一、六六五				
				當地方卸商	三、〇〇〇	斤	九〇〇				
		鎮南浦	打綿	鎮南浦	一、五〇〇	箇	二、二五〇				
				仁川	一、五〇〇	箇	二、二五〇				
		仁川	染料	仁川	一、五〇〇	箇	二、二五〇				
				仁川	一、五〇〇	箇	二、二五〇				

朝鮮人		賣			
小	大	種類	数量	金額	金額
織物	二五、〇〇〇反	綿絲	二、六五五	二、六五五	二五、〇〇〇
打綿	四、二五〇斤	石綿	二、六五〇	二、六五〇	二、六五〇
染料	一、五〇〇斤	刺繡	二、〇〇〇	四、〇〇〇	二、二五〇
		花頭	七五〇	一五、九三七	
		官紗	二、五〇〇	三五、〇〇〇	
		元羅	二五〇 ^正	三、七五〇 ^円	

三二四

備考 小賣商は全部當地卸商より取引するものにして仕入先なし

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地	種類	數量	價額
平壤、京城	元羅	二五〇 ^正	三、七五〇 ^円
同	官紗	二、五〇〇	三五、〇〇〇
同	花頭	七五〇	一五、九三七
同	刺繡	二、〇〇〇 ^圓	四、〇〇〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地方行商者の行商地域 平北博川・寧邊・定州・及平南价川・順川・平原郡

外來行商者の地方別 平北博川・寧邊郡・及平南价川・順川・平原・平壤・全羅南北道・慶尙南北

道・忠清南北道

成川郡成川面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍

貸金業者名稱又は氏名	貸金地域	貸出金額	同上利用する範圍
成川金融組合	成川、三徳、双龍、天成、九龍、崇仁、大谷、大邱、陵中、四佳	貸付金 二、三二、〇〇〇 預金 四八五、〇〇〇	貸付金は主に農業、商業等の資金融通を爲し、地方の金融緩和を圖るものなり
尾崎齋	成川邑内	貸付金 三、〇〇〇	農業及商業等の資金融通を圖るものなり
異儀田森太郎	成川郡一圓	同 四、〇〇〇	同
金益鉉	同	同 四、〇〇〇	同
劉秉植	同	同 二、〇〇〇	同
朴洪觀	同	同 一、〇〇〇	同
金相鎭	同	同 二、〇〇〇	同
鄭燦模	同	同 一、〇〇〇	同

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内鮮外人商の仕入先	主要商品	仕入數量	總價額
平壤	白米	一、五〇〇石	五八、五〇〇円
	織物	三、五〇〇疋	七、〇〇〇

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間總數量及價額

特産品の主要仕向地	主要品種類	總數量	總價額
平	葉煙草	七三、五九〇 <small>圓</small>	一〇六、八〇六 <small>圓</small>
	生牛	二、〇〇〇 <small>頭</small>	一〇、〇〇〇
古	繭	七〇 <small>石</small>	五九、五〇〇
	繭	二〇 <small>疋</small>	二、〇〇〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 丁波・勿兒視・長林・岐倉・別倉・新倉・平壤・江東・順川・陽徳
 外來行商者の地方別 上記の通り

龍岡郡金谷面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者等の是等機關を利用する範圍
 前項の最近一箇年間の總金額

1 當地には最近金融組合の設立を見、之れが貸出地域は金谷面・新寧面・貴城面の三箇面にして、最近一箇年間の貸出總額一六二、五二六、二一錢なり。

金融組合の預金者は現在七六七人にして、最近一箇年間に於ける預金總額一八九、九八八圓八九錢に及び、設立日尙淺きを以て其數少きも漸次増加する傾向あり。

- 2 金貸業者の貸出地域は一定し居らざるも、概ね金谷面・新寧面・貴城面内とす
- 3 銀行の設置なし

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品の種類	總仕入數量	價額	仕入先
酒	一七六斗	二五八〇円	鎮南浦
醬油	六二	三二〇	同
味噌	三三	二六四	同
砂糖	八〇 <small>俵</small>	二二〇〇	同
菓子	一	六二二	同
綿	二〇 <small>貫</small>	一三六	同
煙草	一	七四〇〇	同
陶器	一	八〇〇	同

(菓子原料をも含む)

市街地の商圈

諸	白	石	麥	ビ	計	備考
雜	米	油	粉	ル	ル	卸、問屋なし
費	米	油	粉	ル	ル	
	石	袋	袋	打	打	
一	二五	六二	五〇	六四	六四	
八五〇〇	七五	五、〇九〇	一、九二〇	三〇五	三〇、七四二	
同	同	同	同	同	同	

鮮人商小賣の分

砂	燒	菓	陶	藥	石	煙	備考
糖	酒	子	器	類	油	草	卸、問屋なし
四俵	三斗	一	一	一	三〇	一	
一〇八	一〇〇	三〇	三〇	五〇	二五	七二〇	
額	額	額	額	額	額	額	

支那人商小賣の分

綿	絹	ゴ	諸	自	同	計
布	布	ム	雜	轉	附	品
一	一	一〇	一	一八	一	一
二八〇	一〇〇	一〇〇	九三〇	一、一〇〇	五〇〇	四、三〇三
額	額	額	額	額	額	額

主要商品の種類	總仕入數量	價額	仕入先
麥粉	一八〇 <small>俵</small>	六八四 <small>円</small>	鎮南浦
酒	五打	八四	同
砂糖	四 <small>俵</small>	一〇〇	同
胡酒	六斗	八六	同
諸雜費	—	六〇	同
計	—	一、〇一四	—

備考 卸、問屋なし

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

種類	數量	價額	仕向地
米	五〇 <small>石</small>	八、〇〇 <small>円</small>	鎮南浦
棉	七三二、六五〇 <small>斤</small>	一四六、五三〇	同
鹽	八四三一、四三〇	七五〇、〇〇〇	同
計	—	九〇四、五三〇	—

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

イ、地元行商者の行商地域 鎮南浦府・龍岡郡貴城面・海雲面・三和面

ロ、外來行商者の地方別 鎮南浦府・龍岡郡三和面・貴城面・海雲面

第二章 市街地の商圈

平安北道

新義州府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

殖産銀行

貸出地域 新義州府龍川郡一圓

義州郡一部（批峴金融組合・和義金融組合 管轄内）

鐵山郡一部（車輦館附近）

預金者の當行を利用する範圍

預金、貸付、割引、代金取立、送金爲替

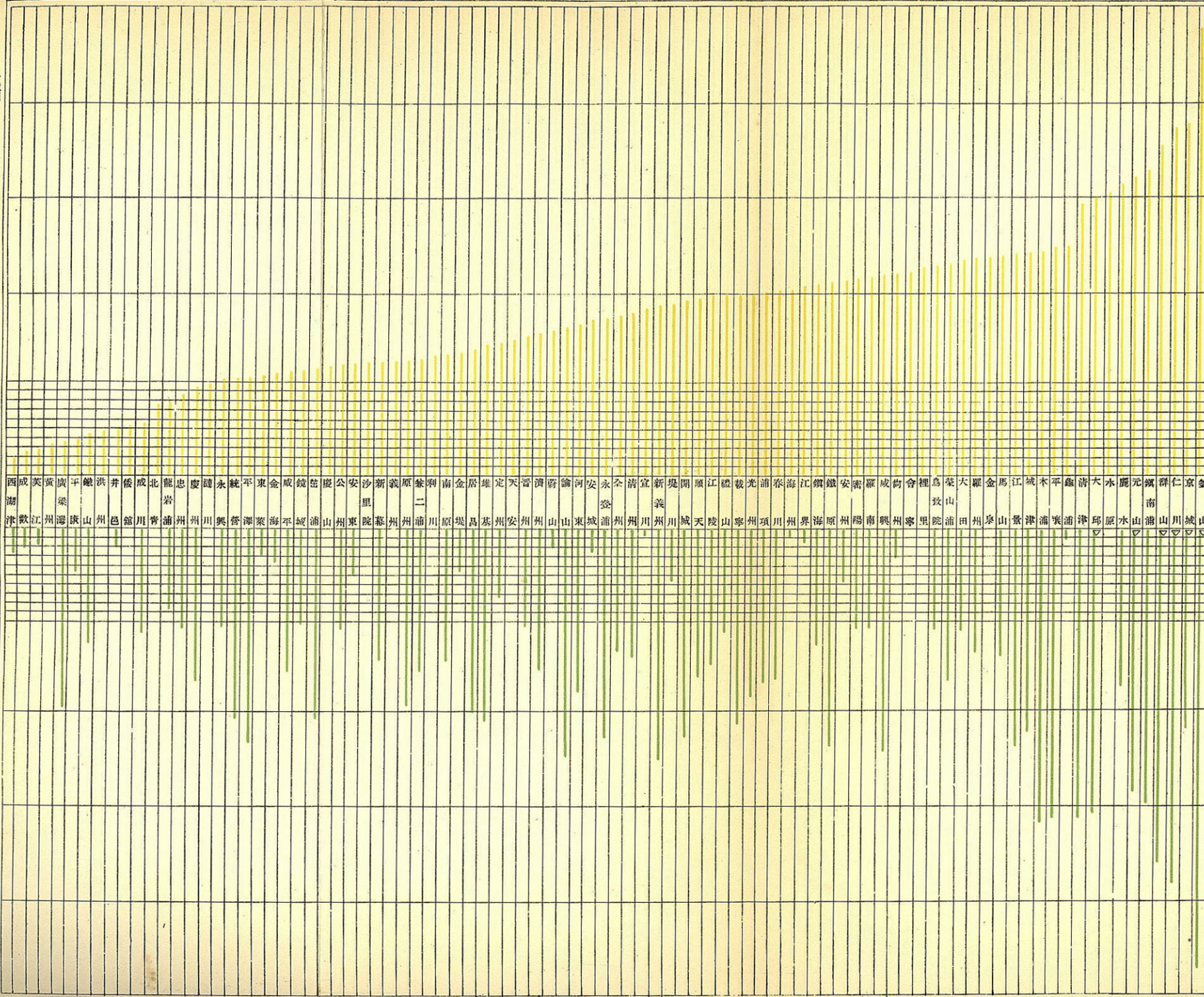
預金者の最近一箇年間取引總額

預け入 二千六百四十二萬五千圓

市街地の仕入商品價額及特産物の仕出高表

二億圓 一億圓 一千萬圓 百萬圓 十萬圓 零圓 十萬圓 百萬圓 一千萬圓 一億圓 二億圓

二億圓 一億圓 一千萬圓 百萬圓 十萬圓 零圓 十萬圓 百萬圓 一千萬圓 一億圓 二億圓



仕入商品
仕出特産物
△印は特産物以外の仕出をもち

- 西成 美江 廣州 平梁 鐵山 洪州 井邑 倭館 北龍 忠岩 慶州 永興 統營 平深 東海 咸平 鏡城 密浦 慶山 公安 沙里 新義 原州 兼二 南川 金堤 居昌 定基 天安 濟州 蔚山 論山 河東 永登 全州 清川 宣川 新義 堤川 開城 順天 江陵 禮山 義州 光州 浦項 奉天 海州 江界 鐵原 安州 蔚山 咸興 尚州 會里 禮山 烏致 榮山 大田 羅山 馬山 江津 城津 平康 龜浦 清津 大邱 水原 元山 嶺南 山南 川山 仁川 京山 釜山

引 出 二千六百二十二萬二千圓

貸出金額 一千八百二十七萬七千一百六十四圓

回收高 一千八百二十萬六千七百二十六圓

滿洲銀行

貸出地域 新義州・安東縣・義州郡・龍川郡・定州郡

預金者の當行を利用する範圍

貸付、割引、代金取立、送金爲替

一箇年の總金額

貸 付 九八七、三五九^円

割 引 一五六、八三九

代金取立 一、四六一、九八九

送金爲替 一五七、四八七

和義金融組合

貸出地域 古津面・光城面・威化面

預金地域 新義州府・古津面・光城面 威化面

利用範圍 貯蓄、當座、代金取立等

最近一箇年間總貸出額 一三二、二〇七^円

同 總預金額 一五九、六九〇

新義州金融組合

貸出地域 府内（但し組合員に限る）

利用範圍 組合員外と雖利用することを得、且區域に制限なし、其種類貯蓄、當座等あり。

最近一箇年間總預金額 二、一六一、六三三^円

同 貸出額 一、八三六、七四八

同 貸出額 一、四七二、五〇〇

同 回收額 一、一八二、五七七

二、(イ) 内鮮外人商（卸・小賣・問屋に分ち）の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量

及價額當地には卸問屋なく總て小賣なり。

金物類 大阪不詳 五〇萬圓位

吳服類 大阪 不詳 十五萬圓位

食料品類 大阪下關平壤元山不詳 十萬圓位

雜類 大阪 不詳 八萬圓位

(ロ) 特產品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

製材 鮮内及内地の一部 六八三、六三三尺 四、五五七、九七一円

靴 下鮮内 一八、〇〇〇打 五〇四、〇〇〇

豆糟及油糟 内地、鮮内 四八、一五六枚 九四、七三九

三、地元行商行の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者としては無く、外來行商者は極めて少數にして地方別不詳なり。

義州郡義州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

義州・定州・朔州・昌城・碧潼郡にして、最近一箇年間の總計金二百四十二萬八千九百八十七圓也

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

商品の種類	仕入先	總仕入數量	同價額
米	新義州及義州郡一圓	四一六 _石	一六、六四〇 _円
粟	支那及義州郡一圓	四、八〇〇	五一、二〇〇
小豆	支那及義州郡一圓	六〇〇	一三、二〇〇
醬油	馬山、内地	二四	一、六八〇
味噌	内地	三、六〇〇 _貫	一、四四〇
吳服類	京都、大阪、東京	一、六〇〇 _疋	二六、〇〇〇
朝鮮麻布	義州郡一圓	二、五〇〇	二〇、〇〇〇
同綿布	同	一、〇〇〇	四、〇〇〇
支那麻布	支那安東縣	五〇〇	三、〇〇〇
朝鮮紙	慶尙道、全羅道	六一五 _塊	二一、五二五
靴下	支那及内地	一六、四七七 _足	三三、八〇九

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品として擧ぐべきものなし

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は義州郡内にして、外來商人として支那安東縣及新義州方面より來る。

龍川郡 龍川面

一、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

1 金融組合貸出地域 龍川面・府・羅面・北中面・薪島面

2 金貸出業者の貸出地域 龍川郡一圓

3 預金者の是等機關を利用する範圍

官公署の現金並商人、請負人の大口取引にして、農・水産業等は小口取引

4 前項の最近一箇年間の總金額

貸出金 二十萬圓

預金 十萬圓

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分之)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

1 内鮮外人商の仕入先(卸賣・問屋なし小賣のみに付掲記)

支那安東縣・新義州・宣川・平壤・京城

2 主要商品の種類 穀物・織物・鹽

3 最近一箇年間の總仕入數量及價額

支那粟 一、五〇〇石—三 萬 圓

織物 一、三〇〇反—三萬四千五百圓 } 七萬九千五百圓

鹽 五、〇〇〇石—一萬五千圓

(ロ) 特產品の主要仕向地、種類並に其の最近一箇年間の總數量及價額

1 特產品主要仕向地 仁川・定州・鐵山・新義州・安東縣

2 特產品種類

蘆草筵・泥炭

3 最近一箇年間の總數量及價額

蘆草筵 九五、五五七枚—五六、九九六圓

泥炭 四、六七七、〇〇〇箇—二三、三八五圓

三、地方行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

1 地方行商者の行商地域 南市・楊市・枇峴

2 外來行商者の地方別 新義州・楊市・南市・枇峴

宣川郡宣川面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

先年一般金融業者の貸出緊縮方針を採りしより、資金の捻出に己むなく金融業者に非ざる個人より高率を以て借受たる等の途を講じたり、其の結果は勢ひ確實なる販路を擴張せざるべからざるの窮境に陥りたりしが、此の窮策は却つて好結果を齎らし、近來に至りては京義沿線の商圈を掌握し、奥地各郡との交渉日に繁榮を來し、商勢侮り難きものあり。是れ京義線中樞の地たる地理上に立脚したるものと思考す。而して宣川面に於ける金融機關を見るに、殖産銀行支店金融組合の貸出額左の如し。

一、農 業 者 (最近一箇年)

利用機關別	擔 保 貸			信 用 貸			備 考
	人員	金額	利率	人員	金額	利率	
殖銀支店	三〇	一五〇、二五六 ^円	平均三錢三厘	—	—	—	利率は同一ならざるも最高三錢六厘最低三錢なり
金融組合	三五五	七九七五〇	年一割五分	三〇九	三二六〇 ^円	年一割五分	
計	三八五	一三九、九〇六	—	三〇九	三二六〇	—	

二、工 業 者 (最近一箇年)

市街地の商圈

三三八

利用機關係別	擔保		信用		備考
	人員	金額	人員	金額	
金融組合	三	一九五 _円	—	—	
利率	—	年一割五分	—	—	

三、商業者（最近一箇年）

利用機關係別	擔保		信用		備考
	人員	金額	人員	金額	
殖銀支店	三七	九三〇〇 _円	六	四一五〇 _円	最高三錢六厘 最低三錢
平均利率	—	平均三錢三厘	—	平均三錢三厘	
金融組合	五八	一八五二九	五三	八七五	年一割五分
計	九五	二二、五二八	五八	二二、八六五	

以上の貸出地域は宣川郡一圓に渉るも、主として宣川面に於けるもの多し。

二、(イ) 内鮮入商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人卸商

主要商品種類	數量	價額	仕入先		摘要
			入	先	
綿	二、五一〇 _疋	五六、一六〇 _円	大	阪、釜山	
締	四四五 _捆	七〇、四〇〇	同	上	
石	二、二五〇 _箱	一三、五〇〇	京	城、平壤	

煙草
和洋雜貨

鮮人卸商

七三、四〇〇
一六五、〇〇〇

平壤
大阪

主要商品種類

數量

價額

仕入先

要

護謨靴

三四、二〇〇足

一四、五二〇円

平壤、京城、大田

鯨布

四五〇箱
一、一二〇駄

一二、六〇〇
一〇、〇八〇

元山、釜山

絹布

一、九六〇疋

三九、二〇〇

平壤、京城、仁川、鎮南浦

毘布

一、三五〇包

一四、五五〇

元山

燒酎

一、五〇〇石

九〇、〇〇〇

平壤、仁川

紙

一、二五〇張

一一、五〇〇

京城

滿洲粟

三、八八〇袋

五〇、四四〇

滿洲、新義州

一袋は七斗二升

外國人卸商（支那人）

木炭

一〇〇、〇〇〇貫

一〇、五三〇

龜城郡

釜炭

一、八五〇箇

一四、五〇〇

新義州、平壤

市街地の商圏

主要商品種類 數 量 價 額 仕 入 先 摘 要

鹽 二、二五〇^斤 一〇、五七五^円 滿洲、新義州、鎮南浦

絹 布 一、二五〇^疋 一七、五〇〇 安東縣、新義州

釜 一、七二〇^箇 一〇、三二〇 新 義 州

内地人小賣商

主要商品種類 數 量 價 額 仕 入 先 摘 要

酒 一五〇^樽 一〇、八〇〇^円 京 城

食 料 品 三三、五〇〇 大 阪、京 城

和 洋 雜 貨 一三、〇〇〇 大 阪

鮮人小賣商

主要商品種類 數 量 價 額 仕 入 先 摘 要

棉 布 三、五〇〇^疋 三五、〇〇〇^円 平 壤、鎮南浦

絹 布 八五〇 一七、〇〇〇 同 上

外國人小賣商該當なし

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品種類	數	量	價	額	仕	向	地	摘	要
鶇	卵	一〇〇,〇〇〇 ^個	三,〇〇〇 ^円	平	壤				本郡願島に産するものにして毎年四五月の頃採取す

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

イ、地方行商者の行商地域 鐵山郡・朔州郡・定州郡・龍州郡

ロ、外來行商者の地方別 黃海道・平安南道定州郡・龜城郡・鐵山郡・龍川郡・義州郡

定州郡定州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

本郡には銀行なし、定州面に金融組合二あり、組合の貸出地域は本郡内定州・東州・高峴・新安・伊彦・阿耳浦・古邑・葛山・大田・西・南・海山各面にして、他郡に及ぼすことなし。

金貸業者の貸出地域は郡内定州面一圓・新安・東州・高峴 伊彦・西・南面の一部にして、組合員は預金の有無に不拘定州金融組合は無擔保にて二百圓迄、擔保提供は五百圓、定原金融組合は無擔保にて五百圓、擔保提供三千圓迄を貸出し、組合員ならざる一般預金者は右機關を利用することなし。

前項の最近一箇年間の總金額

二、金融組合總貸出高

五九二、八一^円

同 預金額

一、四四七、九四七

金貸業者の總貸出額

八八、〇〇〇

二、(イ) 内、鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に其最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品の種類	卸賣又は小賣別	仕入先	仕入數量	同上價額
粃	卸	郡内各地	四六、〇〇〇 ^石	四六、〇〇〇 ^円
玄粟	卸 小賣	滿洲	二五〇〇	五七五〇〇
吳服大人物	小賣	主に京都	五、〇〇〇 ^反	二四、五五〇
(内地人)			二、〇〇〇 ^疋	一〇、〇〇〇
棉布	同	郡内各地及平壤方面	一、七〇〇 ^疋	一一、九〇〇
麻布	同	京城方面	一、七〇〇 ^疋	一一、九〇〇
石油	卸	宣川、平壤	四、九〇〇 ^噸	一八、〇〇〇
石炭	同	滿洲方面 安州	三三 ^噸	七、七四〇
(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額				
種類	仕向地	數量	價額	
定州粟(内地人)	平壤、鎮南浦、大阪方面	五〇 ^石	一、〇〇〇 ^円	

定州米(玄米)	仁川、京城、平壤、内地	三三,〇〇〇	五九,八〇〇
林 檜	安東方面、平壤、釜山方面	二一,〇〇〇	一一,〇〇〇

三、地方行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地方行商者にして他道、他郡に行商するものは僅に龜城郡に赴くもの少數あり

外來行商者にして他郡、他道より來るもの僅少なるが、内安東方面・平壤・京城・新義州最も多し

江界郡 江界面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の

總金額

種類	個所	貸出地域	一箇年間貸出に對する		一箇年間預金高	
			人員	金額	人員	金額
銀行	一	江界、厚昌、慈城、渭原、四郡	二五七	一四〇,八八一	八〇三	三,七七七,八九七
金融組合	一	江界郡江界、公西、公北、曲河、從南、從四、六面	一,〇一一	一一六,三七七	二,九〇六	九七,一九三
貸金業者	三	江界面	八六	五五,二七〇	一	一

備考 一、貸付を受くる者は大部分農家に於て、雇傭賃、購牛、農舍建築、又は土地改良事業等の資金に融通し、他は商業資金に融通するものなり

市街地の商圏

三四四

二、預金は貯蓄積立を主とし、他は各種團體等の保管兼用なり

三、本表は大正十三年末調査とす

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人

重要商品の種類	卸、小賣、問屋の區分	仕入先	數量	金額
絹織物	卸賣又は小賣	内地	一五〇 _正	三、六五〇 _円
綿織物	同	内地、平壤、安州	二、七五〇	二、三、七九〇
毛織物	同	内地	五〇	二、七八〇
交織物	同	同	二、三〇	二、九五〇
雜貨	同	同	十	二四、五二〇
食料品	同	同	十	一、五〇〇
金銀美術品	同	同	十	二、六〇〇
自轉車及同附屬品	同	同	十	三、二〇〇

備考 商店數は十箇所とす

朝鮮人

主要商品の種類	卸、小賣、問屋の區分	仕入先	數量	金額
絹織物	卸賣又は小賣	仁川、平壤、安州	二、三三〇 ^正	三〇、三三〇 ^円
綿織物	同	同	一〇〇、五四〇	八九九、七五〇
麻織物	同	同	三、五三〇	二五、五四〇
交織物	同	同	四、九〇〇	九〇、二一〇
毛織物	同	同	一五〇	九、七〇〇
雜貨	同	同	—	七三、二〇〇

備考 商店數は九十六箇所とす

外国人

主要商品の種類	卸、小賣、問屋の區分	仕入先	數量	金額
雜貨	小賣	安東縣	—	八、五〇〇 ^円
食料品	同	同	—	七、三二〇

備考 商店數は八箇所とす

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産物の種類

一箇年間の産出高
數量 價額

主要仕向地

直 鑪 器

九、八〇〇円

江界、慈城、厚昌、渭原

木 器

五、三〇〇

江界、新義州

備考 商店數は十七箇所とす

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

イ、地元行商者數 十三人

行商地域 江界・慈城・厚昌・渭原四郡

ロ、外來行商者數 五人

行商者地方別 大阪・福岡・九州

鐵山郡 站 面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

1 金融組合の貸出地域は站面西林面にして、農業資金、又は商業資金に利用し、商業者等の預金多く、其他一般の利用尠からず。

2 一箇年貸出金額八五、六一五圓位なり。

3 貸金業者の貸出地域は鐵山郡、龍川郡各一部にして、農事、商業等の資金に充用するが爲めに借金するが如し、但し一箇年貸出金額一五、〇〇〇圓位なり。

二、(4) 一、鮮人卸、小賣商

金 巾 類 二、六三〇疋 價額 二、三、五〇〇圓

支那苧麻布類 九〇〇疋 價額 一、一、五〇〇圓

假 屬 類 九五五疋 價額 九、三六〇圓

二、支那人小賣商

金 巾 類 一五〇疋 價額 一、八〇〇圓

支那苧麻布類 五〇疋 價額 三五〇圓

(ロ) 特産品 支那式高粱酒 年産額一、三八〇石、此の價額二〇九、〇〇〇圓位にして、その仕向地

は京城・元山・平壤・仁川・大邱・釜山・鎮南浦等に及び、車輦館一圓は勿論隣接各郡に販路を有す。

三、地元の行商者の行商地域 宣川、鐵山邑内・南市

外來行商者は定州・宣川・東林・鐵山・南市等各地なり

江 原 道

春川郡春川面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項最近一箇年間の總金額

本項左表の通り

金 貸 業 者	貸 出		預 金		摘 要
	貸 出 地 域	貸 出 金 額	預 金 者 數	預 金 金 額	
殖産銀行春川支店	備考記載の通り	一、三六八、一七七 ^円	二、三九五	七、七四八、四六四 ^円	自大正十三年七月一日 至大正十四年六月卅一日
春川金融組合	春川面一圓	一七、〇三三	七八四	七六〇、二六一	自大正十三年三月卅一日 至大正十四年四月卅一日
春州金融組合	備考記載の通り	八七、一八三	六〇五五	二七九、三三二	同 前
商 業 組 合	春川郡一圓	三、一〇〇	—	—	自大正十三年八月一日 至大正十四年九月末一日
其の他金貸者	同	一〇〇、〇〇〇	—	—	—

備考 一、殖産銀行春川支店の貸出地域は原州、横城、洪川、華川、楊口、麟蹄、春川、加平の各郡

二、春川金融組合の貸出地域は春川郡の春川、東内、東山、新南、南、南山、西下の各面

三、商業組合の貸出地域は春川郡一圓なるも、組合員にのみ貸出を爲すを以て組合散在に依り其地域は確定し居らず

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間總仕入數量及價額

仕入先	品種類名	總仕入數量	價額	備考
内地、支那	呉服類	七五,〇〇〇反	三〇〇,〇〇〇円	
京城	食糧雜貨	—	九〇,〇〇〇	數量明記し難し
内内、京城	酒類	一〇〇石	八,〇〇〇	
京城、仁川	洋雜貨	—	二〇〇,〇〇〇	數量明記し難し
隣接各郡	米穀類	八四〇石	三三六,〇〇〇	
米國	石油	六〇〇箱	五四〇〇	
京城	荒物類	—	六〇,〇〇〇	數量明記し難し
京城	和洋紙類	—	三六,〇〇〇	同
計			一,〇三五,四〇〇	

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

仕向地	種類	仕向數量	價額	仕向地	種類	數量	仕向數量	價額
京城	大豆	三,〇〇〇石	五二〇,〇〇〇円	京城	薪	—	五〇〇,〇〇〇貫	二五,〇〇〇円
京城	木炭	一五〇,〇〇〇貫	一九〇,〇〇〇	計				五五四,五〇〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元の行商者は無し、外來行商者は全羅南北、慶尙南北道の者最も多く、次は忠清南北道の者にして、稀には京畿道の者もあり。

江陵郡江陵面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

銀行貸付地域 江陵・襄陽・高城・平昌・旌善・三陟六郡

金融組合貸付地域 江陵・丁洞・城山・旺山・邱井・城港・江東・玉溪・望祥の九箇面

銀行 貸出金額 二、一〇、〇八七
預金金額 三、四一四、三八二

金融組合 合同 九九、一一六
同 二九、一五九

預金者の機關を利用する範圍 金融組合は一定の限界なく、銀行は江陵邑内とす

二、(イ) 内鮮外人商の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

種	類	單位	數	量	金	額	仕	入	先	卸、小賣、問屋の別
粗	布	個	八〇三		二四一、五〇〇	円	釜	山、元	山	小
晒	金	巾	個	二、三四	二五七、四五〇		同			同

第二章 市街地の商圏

計	燐	ゴ ム	麩	粟	菓	綿 絲 網	鹽	石	鐵	砂	鍋	打	酒	麥	陶	蓑
	寸	靴	子		子	類	油	物	糖	釜	綿	ル	粉	器		
	箱	箱	箱	石	貫	統	斤	箱	個	斤	個	個	石	貫	箱	箱
	八七〇	二二五	二,五〇九	八四九	三,六二〇	三,七四	四九二,〇九〇	五,三四〇	一,四五七	四四,九〇〇	一,一五一	四六九	三九六	三八,〇九〇	一,一八七	一,四六八
	一	二二,五五五	三,四,一四五	八,七六〇	九,五,六五	九,八二五	六八,〇二二	一三,三八〇	四,五,八九〇	一八,四八〇	五,七三〇	二〇,八二〇	一五,一五〇	一七,〇九九	一三,二六〇	三,七,五〇〇
	同	釜 山、元 山	同	元 山	釜 山	同	同	同	同	同	同	同	同	同	釜 山、元 山	釜 山
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	小	間
															賣	屋

九四九、三四一

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の數量及價額

種類	單位	數量	價額	仕向地	備考
米	石	一五、五九八	二四六、五〇三	釜山、元山、浦項	
繭	石	六三六	五三、五三〇	釜山、下關、元山	
麻	布	一三、七〇〇	三五、八八二	釜山、元山、浦項	
柿	接	三六、四八〇	九六、一八〇	釜山、元山	柿一接は百個なり
牛	皮	一三、五〇〇	七、七〇〇	清津、雄基	
計		—	四三九、七九五	元山、釜山、江口	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 平昌・旌善・三陟・襄陽・釜山・元山・浦項等地
 外來行商者の地方別 右に同じ

鐵原郡鐵原面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

銀 行 (朝鮮殖産銀行鐵原支店)

貸出地域 鐵原郡・平康郡・伊川郡・金化郡・漣川郡

預金者の是等機關を利用する範圍

中流階級の農工商業者にして、之が口數等に付ては詳ならず

金融組合（鐵原金融組合）

貸出地域 郡内各面（乃文、馬場を除く）

預金者の是等機關を利用する範圍

農業者 一、四七四^円

商工業者 一〇二

雜 三〇六

前項の最近一箇年間の總金額

銀行（朝鮮殖産銀行鐵原支店）

預金 六、三二七、一〇八^円

貸出金 七、六六六、一七三、

金融組合（鐵原金融組合）

預金 七三、八三一^円

第二章 市街地の商圏

貸出金 一五二、四一六

金貸業

貸出 約 五、〇〇〇円

備考 銀行は大正十三年第一期及第二期分とす

金融組合及金貸業は大正十三年度とす

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及

價額

品名	數量	金額	備考
棉花	一五、〇〇〇 <small>斤</small>	一五、六〇〇 <small>円</small>	京城
小麥粉	六五〇 <small>貫</small>	九、七五〇	同
粟	八、六四〇	六四、八〇〇	同
食鹽	四、二七〇	二一、三五〇	仁川、元山
生魚	一二、三〇〇	一二、三〇〇	同
鹽乾魚	四〇、〇〇〇	三二、〇〇〇	同
材木	五七、〇一五 <small>尺餘</small>	一五、〇一五	金化郡、平康郡
紙類	三三七 <small>擔</small>	二六、九六〇	京城

清酒	二三〇石	四六、〇〇〇	内地、京城
生牛	一三、六四六頭	一、〇二二、七〇〇	伊川郡、平康郡、金化郡、黃海道
牛皮	二五、一八八斤	一一、三三四	京城

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

品名	數量	金額	備考
精米	一、一五〇石	四二、五五〇円	京城
大豆	三、一四六	一八、二一九	内地
粳	一一一、七八六	一、二九九、六四六	京城
果實	一三、一八	四五、九一三	内地、京城
繭	一五三石	七、六五〇	京城
生牛	一三、六三六頭	一、〇二二、七〇〇	内地、京城、仁川
絹布	一、三八〇疋	一六、五六〇	京城

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地域及地方別 漣川・金化・平康等にして、總て該市場を廻行す

原州郡 原州面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

當地には未だ銀行の設置なく金融機關として原州金融組合一あり、業務の傍殖銀春川支店の代理店を兼營するに過ぎず。同組合及金貸業者の貸出地域は左の如く狭く郡内に止まり、而かも金融組合の貸出先は定款を以て其の組合員のみ限定し、自然銀行の一般的貸出とは其の趣を異にするが故に、預金者としては全然是等機關を利用するに至らず。

區別 貸出地域 最近一箇年間總金額

金融組合 原州郡一郡(原州、所草、好橋の六面) 一七六、二四三円

金貸業者 原州郡一(興業、板富、神林) 一五、五三〇

(二) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

甲、内地人

卸			卸		
仕入先種類	總仕入數量	價額	仕入先種類	總仕入數量	價額
京城煙草	八二八 <small>箱</small>	四三、九二二 <small>円</small>	京城石油	一、一六〇 <small>箱</small>	一、一三四〇 <small>円</small>

計 二〇八八 五四二五二

小 賣 小 賣

仕入先種類	總仕入數量	價額	仕入先種類	總仕入數量	價額
京城、石油	五〇 <small>箱</small>	四六〇 <small>円</small>	京城、清酒	一五 <small>石</small>	六二五 <small>円</small>
同、燐寸	二八六〇〇	一、四四〇	同、麥酒	二〇〇 <small>打</small>	九〇〇
同、煙草	九一	四、八〇〇	計	四七一五六	一七四四五
同、藥	一八、〇〇〇 <small>也</small>	三、六〇〇			

備考 一、當地には煙草及石油の外卸商なし、小賣を主とし卸賣を兼行するものあるも之は便宜小賣として調査せり

二、小賣商相互間商品の分譲を受くるものに在りては、其の品の仕入先は面内と記載すること當然なるべきも、茲には

最初の元仕入先（例へば京城とするか如し）を記入す

三、内地人に於て經營する問屋なきに付調査は之を省略す

乙、朝鮮人

小 賣 問 屋

仕入先種類	總仕入數量	價額	仕入先種類	總仕入數量	價額
京城、原州絹布	一八〇 <small>反</small>	三七六 <small>円</small>	京城、原州絹布	二五〇 <small>反</small>	五二五〇 <small>円</small>

第二章 市街地の商圈

三五七

市街地の商團

三五八

同	綿	布	五、五〇〇	三二、〇〇〇	同	綿	布	七〇〇	二八〇〇	
同	麻	布	七、八〇〇	三二、二〇〇	京城、原州、平昌	麻	布	二、三〇〇	七、五〇〇	
京	城	石	油	三二二	江	陵	海	草	五、〇〇〇	
同	煙	草	一九〇	一〇、〇七〇	京城、江	陵	鹽	漬	魚	一、三〇二
同	燐	寸	五三、〇一〇	二、二五一	江	陵	生	魚	一、二〇〇	
同	食	鹽	二、二六五	二、三五九〇	京	城	果	實	二、〇四五	
同	染	料	一、七二〇	二、五八〇	堤	川	朝	鮮	紙	二、〇〇〇
計			七〇、九八七	八八、二六一	計			四四、五一〇	三二、七七七	

備考

- 一、卸商なし、小賣商にして相互間卸の値段を以て商品の分譲を爲すものは之を便宜小賣として調査す
- 二、前項後段の場合に於て、分譲を受けたる商品の仕入先は面内某商店と記載するを正當とすべきも、茲には最初の元仕入先を記入することとせり
- 三、當地には問屋類似のもの一箇所あり、市日に限り店を開き、外來行商と購買者との中間に立ち物品賣買の仲介を爲し、且つ自家に於て一旦購入し之を小賣するものなるに過ぎず、便宜之を問屋として調査せり

丙、外國人

小賣

仕	入	先	種	類	總仕入數量	價	額	備	考
京	城	廣	木		五、五〇〇 _反	九三、五〇〇 _円			
								一、卸商なし、小賣にして相互間卸の値段を以て商品	

同 唐 木 二五〇〇 四、一〇〇

同 廣東 布 三五〇〇 二、六三〇

同 石 油 二五〇 一、二二五

同 磷 寸 三六〇〇 一、八〇〇

同 ゴ ム 靴 九〇〇〇 九、〇〇〇

同 煙 草 一一九 六、二五四

計 五六七四四 一五五、三〇六

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地	種 類	總 數 量	價 額	備 考
京 城	精 米	九、八七七 <small>石</small>	二五四、三七一 <small>円</small>	當地には特有の産物なきに付便宜主要産物を掲記す
同	粃	四八〇〇〇	四三、一〇〇	
同	大 豆	五八〇二	八二、三三八	
同	小 豆	一〇、一四四	一五、三五〇	
同	生 牛	二、八九七 <small>頭</small>	二二五、八九二	
同	牛 皮	一九、〇六九 <small>斤</small>	九、一一四	
同	蜂 蜜	一四、〇〇〇	七、〇〇〇	

計 一〇〇,六五四 九四,九五五

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 平昌郡大和市場・横城郡横城市場・京畿道驪州郡市場・本郡文幕市場
興湖市場

外來行商者地方別 平昌郡・横城郡・京畿道驪州郡・及利川郡・忠清北道忠州郡・及堤川郡

平康郡平康面

一、銀行、金融組合、金貸業者の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

本郡金融組合貸出地域は平康郡の一圓にして、預金者の利用する範圍は郡内に居住する一般人民は固り
官公署の職員も利用する状態なり。

前項最近一箇年間の總金額

貸出金の部

貸付 一二一、七六一^四

返済 八九、四一八

差引高 一二二、三四三

貯金の部

預り金 三八三、七八九^四

拂戻金 三三七、一七七

差引高 四六、四一一

右は大正十三年四月一日より大正十四年三月三十一日にて總金額なり

(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量

及價額 卸商や問屋はなく、仕入先は京城や仁川方面にして、主要商品の種類並に最近一箇年間の

總仕入數量及價額は絹布三二九反^二、九六一圓、木綿一、〇五〇反^三、一五〇圓、金布三、五

〇〇反^二、二八、〇〇〇圓、絹綿交織二四五反^一、四七〇圓、砂糖六、〇〇〇斤^二、〇〇圓、茶六

〇〇〇斤^四、二〇圓

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要なる仕向地 京城・仁川・鐵原等にして、最近一箇年間の仕向數量及價額は、大豆二、二

五〇石^二、三六、〇〇〇圓、蕎麥三四〇石^七、四八〇圓、燕麥四〇〇〇貫^一、二五〇圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者は當郡の奥地即ち西面・木田面・楡津面等の地域に行商し、外來の行商者は殆んど無し。

咸鏡南道

元山府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

甲 貸 出 し 地 域

資金貸出し地域の説明を試むるに當り、普通貸出しと稱するものと、専ら商取引代金取立の爲替關係より生ずるものと區別して觀察するを必要と思ふ。

イ 普通 貸 出 金

本項の貸出金と稱するものは、元山及其の附近に於て主として動産不動産を擔保とし、或は信用に於て貸附けたるものにして、左記示す如く大正十三年中には合計五千六百二十七萬餘圓中、元山五千五百五十萬餘圓を占め千分の九八七に相當する。

地 名	金 額	千 分 比	備 考
元 山	五五、五四二、九〇〇 ^円	九八七	咸鏡南道
安 邊	三八〇、五〇〇	九八七	同

高	原	八、〇〇〇	九八七	同
永	興	一三、一〇〇	九八七	同
定	平	一、三〇〇	九八七	同
咸	興	二二七、四六八	九八七	同
新	興	二、五〇〇	九八七	同
清	津	三三、八〇〇	九八七	咸鏡 北道
鏡	城	三三、〇〇〇	九八七	同
富	寧	三、五〇〇	九八七	同
高	城	八、五〇〇	九八七	江 原 道
通	川	二二、六〇〇	九八七	同
合	計	五六、二七七、一六八	一、〇〇〇	安邊以下の千分の九を合す

備考 以上計數は大正十三年中貸附金累計とす

ロ 爲替關係に因る貸出金

輸移出貨物代金の取立勘定は他地方に對する元山の貸出金となり少し性質を異にするが故に、普通言ふ所の貸出し金と區別した。此の貸出金は朝鮮各地に對するもの、内地各地に對するもの、及諸外國に對するもの、と區別し、尙内地の分は移出の徑路に依り、關門、阪神、及中國筋と、北陸筋とに分ちて掲記し

た。而して其の詳細は以下別に表示する如くなるが、今茲に其の概要を略記する。

地方別	金額	千分比	備考
朝鮮内地	七、一七五、四七九	五五一	金額は大正十三年中の累計とす
内關門、阪神及地方	三、二二三、九八六	二四七	内地千分比計四三四
中國方面	二、四二七、二四六	一八七	
北陸	一七三、八三三	一五	
諸外國	一、九九〇、五四四	一、〇〇〇	
合計			
咸鏡南道	二、四六六、七六四	三四四	道内元山以外の各地に對するもの、合計
咸鏡北道	一、〇二六、六二五	一四二	
江原道	三一〇、〇七二	四三	
京畿道	九五六、五九四	一三四	
忠清北道	一三、〇八一	二	
忠清南道	八四、一一三	一一	
黃海道	一六四、五二二	二二	

次に元山對朝鮮各地に對するものを道別に表示し、元山の各道に對する關係を觀察する。

全羅北道	二一五、五八八 ^月	三〇
全羅南道	二三九、九七一	三四
慶尙北道	四七六、三一	六七
慶尙南道	五九八、四七六	八三
平安南道	二二二、七一八	三一
平安北道	八三、八三六	一一
其他	三二六、八一八	四五
合計	七、一七五、四七九	一、〇〇〇

調査資料中各地別に區別しあらざるもの

以上記する所にて大體の範圍が明瞭となりたりと思はるゝに依り、更に朝鮮、内地、及諸外國に對するものを細別し、各都會地毎に表示する。

咸興	一、〇三七、七九九 ^月	定平	二、二一八 ^月
咸鏡南道		高原	七、一八一
咸興	一二七、九〇八	高邊	三八一、六〇八
文川	三、二四八	安邊	一七八、三三六
北青	二、三四四、三七	利原	二四三
端川	一八七、三三二	新興	一一二、六六五
洪原	二五二、六六八	新昌	

市街地の商圏

三六六

新	退	高	新	三	甲	豊
浦	湖	山	夔 坡	水	山	山
一九二、〇三六	一五、一九〇	二四、九八二	九、〇三四	二、八六六	四、〇五九	一、四七三
新	惠	新	鎮	前	西	
上	山	高	興	湖	計	
二二、一七八	七、六九六	三七、三四六	一、六六一	八〇四	三、四五一	二、四六六、七六四

咸鏡北道

清	富	會	城	明	漁	花	朱	穩
津	寧	寧	津	川	津	台	乙	城
四四七、三四三 ^四	六、五七九	四九、六七〇	二三八、一五四	三、三五六	二〇、九九六	一九、三四六	三、六〇九	一九四
鏡	雄	吉	羅	富	鍾	茂	臨	
城	基	州	南	居	城	山	濱	計
三一、一三 ^四	一八、一三七	一、五〇一	二八、一七七	一、八五五	一一、四五五	四五	三三六	一、〇一六、六二五

市街地の商圏

三六八

禮 山 三、五二五
公 州 一、四九九
計 八四、一三

江 景 九、三二五
大 田 一七、二七八

信 川 六、〇〇六^四
黄 海 道 一五七、六〇五

新 幕 九〇一^四
計 一六四、五二二

沙 院 一五三、六一六^四
全 羅 北 道 三、三六九

全 州 四、九七四
裡 計 二、五五八

木 浦 一、五三六^四
金 堤 八、二〇〇

井 邑 三、三六九
計 二、五五八

群 山 四七、四九六^四
全 羅 南 道 一四二、三四三

松 汀 三、九七〇六^四
計 一〇、四二六

榮 浦 一、四二二^四
計 二、三九九七一

光 州 一〇、四二六
計 二、三九九七一

大 邱 三、一七七〇^四
慶 尙 北 道 一〇、二五五^四

浦 項 一〇、二五五^四
計 一〇、二五五^四

下	關	關門、阪神、中國筋	門	司	
難の き他 も細 の別	計	三六八二八	朝鮮合計		七二七五四八〇
新 義 州	八三、三三四	宣 川			五二二
鎮 南 浦	三二二六	安 州	計		二二二七二八
平 壤	二〇一、三八三 _四	安 州			一八、一九九 _四
計	五九八、四七六	統 營			四七二
新 馬 山	二五、一六〇	馬 山			三九三、九〇八
釜 山	一、三六五	普 州			二八〇
釜 山	一七七、二九一 _四				
慶 山	二〇、九二六	計			四七六、三二一
慈 仁	一〇、六三〇	金 泉			二二、二六〇

市街地の商圏

三七〇

宮崎	高松	大分	兵庫	尾道	岡山	前橋	甲府	其の他	敦賀	伏木	高岡	七尾	富山	京都	計
九二四〇	六一、四二八	九三、〇九二	六、〇四七	一八、〇三〇	八三三	五、九六四	四、六五二	六九七二	一、二五六、六四八 ^甲	九六、六八四	六一、九五八	三、三八九	七、八四九	七三五	二、四二七、二四六
廣島	吳	神戶	小豆	笠岡	豊岡	名古屋	東京	計	舞鶴	宮津	彦根	松本	氷見	其の他	
一〇五、九九二	一三六	八〇二、九八八	九八、〇〇五	一、一〇〇	一、五六一	一、一五五	一八〇、一七九	三、二二三、九八六	一八二、五二二 ^甲	七〇五、三七八	五四、〇六二	一四、六九二	四、二二〇	三九、二二八	

北陸筋

諸 外 國

龍井村	四七三 ^四	安東	一三三三 ^五
遼陽	六〇四七	奉天	七六五〇一
公主嶺	三、七三九	四平街	九七四五
大連	一九、六五三	上海	一、三二六
長春	九、七七四	計	一七三、八三三
總計	二、二九九、五四四		

上記貸出金は主として輸移出品の代金なることは既に説明の通りである。此の中、内地及諸外國に對する詳細は以下別に述ぶることとし、次に元山對朝鮮内各都市に如何なる商品が主として移出せられつゝあるやの概略を記する。

元山より鮮内各地への移出品は之を二種に別つことを説明上便宜とする。其の一は内地及外國よりの輸移入品主として粟、綿絲、綿布類、石油、セメント、金物類、及雜貨等とし、道内一帯、及江原道沿岸、平安南道の奥地へ供給すること、其の二は咸鏡南道の特産品たる明太、明太子、或は鮮魚、鹽乾魚、海藻類、麩子、(朝鮮燒酎醸造用醱酵母のこと)鹽、木材等にして、就中、明太、明太子、鹽乾魚、若目等は鮮内、津々浦々迄極めて廣汎に行渡つて居る。前者は海陸の交通未だ不便なりし時代にありては、咸鏡南北道一帯、江原道

の沿岸、及北部一圓平安南道の一部は悉く元山より供給を受くるを利益とせしが、其の後交通の利便増加、關稅法の改正、或は鮮商人の覺醒等と相俟つて、少しく資力あり且つ内地又は京城、釜山方面との交通を利用し得る港津都邑に於ては、直接之等の都市より仕入れをなすもの増加せし結果、従前盛んなりし元山の仲繼貿易は尠からず其の商範圍を縮少せらるゝの餘儀なきに至つた。然りと雖物價の昂騰及一般地方經濟力の發達は、其の總取引金額に於て昔日の比にあらず、大なる膨脹を遂げつゝあるは敢て説明の要なきことである。次に後者咸南特産品の輸移出は地理上及金融、倉庫業、市場等、其の他商取引と不離の關係にある之等機關の完備せる爲、當港を利用するは蓋し當然にして、鮮魚類は主として京元線各驛、京城方面に大なる販路を有し、明太は當港より鮮内各地に十三年中鐵道便のみにて、一萬一千五百餘噸、又鹽鱈、鹽鯧、鹽鯖等の鹽乾魚の鐵道發送數一萬八百噸に達した。麩子は元山麩子として古くより聲價を博し、咸鏡南北朝、江原道地方に賣行盛んである。又元山釀造の清酒、醬油等は品質優良なるため需要多く年々内地産品の移入に少からざる影響を與ふる程にして、咸鏡南北朝、及江原道各地に相當賣行ある。以上取引各地別品名價額を掲ぐることは大なる參考となる譯なるが正確なる統計材料を得ること能はざるを遺憾とする。

預金者の範圍も、貸出金の關係と等しく普通唱ふる所の預金と、輸移入品代金取立の被仕向爲替より成立つものと區別する。

イ 普通預金

本項預金は普通預金にして、元山及其の附近の人々が何等かの理由に依り主として元山の銀行を利用しつゝあるものである。

地名	金額	千分比	備考
元山	八五、〇七四、五一五 _円	九九三	咸鏡南道
徳源	六、九〇〇	九九三	同
安邊	七、三一六	九九三	同
文川	三九、二九三	九九三	同
永興	六九、六一五	九九三	同
箭灘	一、〇〇〇	九九三	同
高原	六、七五九	九九三	同
定平	七八〇	九九三	同
咸興	一一、八七九	九九三	同
釋王寺	四六〇	九九三	同

市街地の商圏

三七四

北	青	四二、四四五	九九三	同
利	原	五三、一〇七	九九三	同
端	川	四二、六〇九	九九三	同
京	城	一六、〇〇〇	九九三	畿 道
通	川	一八〇、〇五一	二	江 原 道
合	計	八五、五五二、七二九	一、〇〇〇	徳源以下千分比を合す

ロ 爲替關係に因る預金

輸移入貨物代金の支拂勘定即ち被仕向爲替は、元山は預金を有し居る形となり普通預金と少しく性質を異にするが故に之を區別した。此の預金も亦元山對朝鮮内各地、内地及諸外國とに分ち掲記した。詳細は以下別表にするが次に其の概要を示す。

地方別	金額	千分比	備考
朝鮮内各地	五、八四三、三四九	四七八	大正十三年中の累計
内地	—	—	
關門、阪神及 中國、方面	四、六四二、四三七	三七九	
北陸	一八六、八五六	一七	
諸外國	一、五四八、七三九	一二六	
合計	一二、二二一、三八一	一、〇〇〇	

次に元山對朝鮮内地に對するものを道別とし、元山以外の各地方に對する關係を示す。

道名	金額	千分比	備考
咸鏡南道	一、三八五、六五三	二三七	道内元山以外各地に對するもの、合計
咸鏡北道	三二七、七五一	五六	
江原道	一五八、九六〇	二七	
京畿道	二、五七九、〇七六	四四二	
忠清南道	一二、七四六	二	忠清北道なし
全羅北道	三三、〇九四	六	
全羅南道	二八〇、六二六	四八	
慶尙北道	一七、六一二	二	
慶尙南道	六二六、三七五	一〇八	
平安南道	九二、八〇六	一五	
平安北道	一一四、五四〇	二一	
黄海道	一三九、五五九	二四	
其の他	七五、五五一	一二	調査資料中各地別に區別しあらざるもの
合 計	五、八四三、三四九	一、〇〇〇	

以上概要を明かにせしに依り、次に元山對朝鮮内地及諸外國各都市間の狀況を詳記する。

朝鮮咸鏡南道

一〇二,四三五四

利

原

二,〇〇〇四

咸

興

青

鏡

三,五九三一八

計

計

一,三八五六五三

北

津

咸

鏡

北道

雄

基

五九,五七八四

清

南

津

一六九,四〇三四

城

津

八六,九九八

羅

南

江

原

九,五三五

計

計

三二七,七五一

會

寧

江

原

二,二四七

鐵

原

一,二六三〇九

江

陵

江

原

四二,六五一

鐵

原

一,二六三〇九

計

陵

江

原

一五八,九六〇

鐵

原

一,二六三〇九

京

城

京

畿

道

龍

山

六,一四八四

開

城

京

畿

二〇六,九二〇四

仁

川

四八四,二六五

水

原

忠

清

一四,八九四

計

川

二,五七九〇七六

鳥

致

忠

清

四,五六八

大

田

六,七七八四

院

院

忠

清

三,三七七四

大

田

六,七七八四

	公	州	計	全	羅	北	道	計	二,七四六
	木	浦	二八,七五 _円	全	羅	南	道	金	三,三六九 _円
	群	山	三,二九四	全	羅	南	道	堤	二〇,三九三 _円
	榮	浦	六七,一五八 _円	全	羅	北	道	松	二〇,三九三 _円
	計	山	一四〇,八二八	全	羅	南	道	汀	五二,二四七
		浦	二八〇,六二六	全	羅	北	道	州	五二,二四七
	大	邸	七八一八 _円	慶	尙	北	道	羅	二〇,三九三 _円
	金	泉	一,五〇九	慶	尙	南	道	浦	八二八五 _円
	釜	山	五九五,三八三 _円	慶	尙	南	道	計	一七,六一二
	統	營	四七二	慶	尙	南	道	浦	一七,六一二
	計	山	六二六,三七五	慶	尙	南	道	項	一七,六一二
第二章	平	安		慶	尙	南	道	山	二九,一五五
市街地の商圏	南	道		慶	尙	南	道	鎮	一,三六五 _円
				慶	尙	南	道	山	二九,一五五

市街地の商圏

三七八

平	八二、五六〇 <small>四</small>	鎮	九、九四八 <small>四</small>
安	二九八	計	九二、八〇六

新	二四、〇三八 <small>四</small>	宣	五二 <small>四</small>
義	一一四、五四〇	川	
計	一二四、五四〇		

黄 海 道

沙	一三九、五五九 <small>四</small>	計	一三九、五五九 <small>四</small>
里			
院			

其 の 他

各	七五、五五一 <small>四</small>	朝	五、八四三、三四九 <small>四</small>
都		鮮	
市	七五、五五一 <small>四</small>	各	
の		地	
明		計	
計	七五、五五一		

關門、阪神及中國筋

下	五三、三三九 <small>四</small>	久	二六、六五六 <small>四</small>
關		留	
		米	

廣	二五、八九一	尾	一、六五八
島		道	
		道	

大	二八〇、四〇七	兵	六〇、四七
阪		庫	
		道	

長	八、四一三	門	四〇、九〇二
崎		司	
		庫	

唐	二六、六五七	高	六、二四七
津		知	
		司	

名古屋	一四〇,五五一	神戶	七三〇,五七九
東京	五九,四四五	其他	一七,二二五
計	四,六四二,四三七		
北陸			
高岡	一三三,〇三七 ^四	敦賀	三二〇,五四 ^四
京都	一四,一七二	宮津	五三四
其他	八〇,五九	内地各都市計	四,八五九,二五三
計	一八六,八五六		
諸外			
奉天	四八二,二四七 ^四	四平街	四五六,五二 ^四
安東	七三,六七〇	大連	一六,一六一
公主嶺	三三,七五九	其他	一〇六,七三五
長春	八九,七七二	遼陽	一五四,〇〇七
鐵嶺	七二,三九〇	開原	一七,三三三
青島	四八,二八一	計	一,五四八,七三九
總計	二,三三二,三六一		

右表示する所の預金は主として買入商品の仕拂金なること前述の如し。而して元山對内地及外國との關

係は別に説明することとし、次に朝鮮各都邑との概況を観察する。

移入品の主要なるものは大豆、米最多數を占め、米は最近年々激増の趨勢にあり、其の他粟、小麥、雜穀、鹽、石油、石炭、薪、木炭、繩呷莖等の藁製品、黒鉛、木材、セメント等にして、大豆及米は咸鏡線各驛、江原道より、粟は滿洲より、小麥は沙里院より、鹽は仁川、鎮南浦、石油は釜山、仁川、石炭は咸興、平壤、及滿洲より、薪、木炭は咸興以南各地、及江原道より、藁製品は群山、榮山浦、松汀里及咸興方面、黒鉛は、永興、木材は安東、及高山、咸興方面より、セメントは平壤より移入する。

二、内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先、主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
朝鮮、内地及外國よりの仕入商品代金決済の被仕向爲替の關係は預金、(ロ)の項に於て述べたるが如く實際の仕入商品の價額と銀行を通じて受渡せられたる金額と税關の統計に現はれたる額とは其の間少からざる差違ある。前記預金、(ロ)に於て記述したる元山對朝鮮内都邑に對する分は、他に據るべき數字なきが故に銀行を通して移動したる金額を以て其の大體を知る爲列記したるが、元山對内地外國の分は前掲の數字を參考とし、以下別に貿易の標準となる税關の統計を掲げ之か狀況を詳にすることとした。

イ 商品の仕入先

元山の商品仕入先及其の價額は大體次の如し。

關門、阪神及中國筋

地名	金額	千分比	備考
下關	56,190 <small>四</small>		
久留米	3,330		
若松	30,730		
尾道	4,955		
柳井	4,333		
萩	3,066		
神戶	1,171,103		
横濱	1,067,106		
其他	1,173		
計	北 海道		
劍路	235,233		
	166,966	三	
	北 陸 筋		
敦賀	23,722		
舞鶴	6,672		
門司	36,926 <small>四</small>		
唐津	6,890		
宇品	35,030		
高知	3,330		
岩國	5,233		
大坂	4,750,555		
名古屋	2,477,833		
東京	4,677		
計	7,550,057	七〇	
標津	41,833		
京都	17,584		
伏木	137,031		

第二第 市街地の商圏

市街地の商圏

七尾	六、四九〇	—	宮津	一四、三五五	—
富山	五、一〇一	—	計	三六、〇九五	元
臺灣	八三、六七〇	六	其他内地諸都市	三六、八八八	三
小包郵便物	四一、七三〇	四	内地合計	九、〇三三	八
支那	二、五五五、四六六	二九	蘭領印度	一〇三、〇〇七	—
露領亞細亞	二、七七一	一	英吉利	一、四四五	—
獨逸	二、八七三	二	白耳義	一、四八八	—
北米合衆國	六七、六七三	五	加奈陀	一、四五三	—
布哇	五	—	計	三、四五八	一、〇〇〇
總計	二、四三六、〇三八	一、〇〇〇			

千分一に達せざるもの比を合す

大阪 主要商品の仕入高數量及價額

區別	數量	價額	區別	數量	價額
小麥粉	四四、四〇〇斤	四六、〇〇〇円	麥酒	三二、二四六利	一五、二六〇円
生金巾	四五、一五六方疋	一、二四九、八六六	天竺布	一、三八二、二九六疋	四五九、二七〇
ゴム靴	—	四〇、二六〇	其他	—	二、五八二、一九四
清酒	二二、三〇五升	二、三、四五〇	マツチ	二四、七〇〇百打	二、〇、九三

市街地の商圏

三八四

白	ビ	清	白	ビ	小	セ	砂	マ
木	計	酒	計	木	麥	メ	糖	ツ
綿	ル		綿	ル	粉	ント		チ
名		敦	京		東			
古	二二、一六五	一、三三六	八、二八	六二、八二九	三七〇〇	三二六、九二六	一三三、〇三三	一五、三〇〇
屋	一五三、七八二	一、四五六	一七、五八四	二八、八五五	三七〇		一七〇、二五	百斤
		九、八八〇	一、七二				二二、二〇	百斤
							三、八六八九	百斤
其	其	マ	其	其	其	其	麥	木
の	の	ツ	の	の	計	の	酒	材
他	他	チ	他	他	他	他		
		六〇〇					九、五八三	
		百斤						
二四三、一九三	一四三、九九四	四五〇	一五、八七三	四八、七七二	一九、五四七	一八四、二四二	四、九〇九	一、二〇八

市街地の商圏

石 木
炭 材
計 二、五九五、四六六

米

小 麥 粉 七、八一六斤
砂 糖 三〇、一〇一
セ メ ン ト
其 の 他
以 上 合 計
粟 二、八九五、五九三斤
清 酒 八〇、五〇二升
砂 糖 六、九七一、四六斤
マ ツ チ 七、四、五〇〇斤
白 木 綿 八、一七、四二二方碼
木 材
生 金 巾 四、五、三、四、三、四方碼
ゴ ム 靴

國

四〇、九四三
三〇、六〇〇

一、九、七、八〇〇 円
八、八、六、九一
二、一、九、八、五二
六、二、四、七、八
二、〇、一、三、五、九
六、七、四、七、二
一、二、五、二、五、九、八
四、六、一、〇、七、八

晒 金 巾 一〇
其 の 他

三、八、六

四、六、四、六、二、七

鹽 晒 金 巾 百斤
石 油 二〇、二〇〇方碼
計
鹽 一、〇、四、一、六、六、〇瓦
小 麥 粉 一、九、四、〇、六、八斤
ビ ル 一、七、三、〇、八、三利
晒 金 巾 四、二、五、二方碼
石 炭 一、六、七、〇、二噸
其 の 他
天 竺 布 一、三、八、二、六、六方碼
セ メ ン ト 五、〇、二、三、五斤

一、〇、四、一、六、六、〇
一、九、四、〇、六、八
一、七、三、〇、八、三
四、二、五、二
一、六、七、〇、二
一、三、八、二、六、六
五、〇、二、三、五

五、二、〇、五、六、九
六、六、七、六、七、二
二、二、七、二
二、九、九、一、五、七
一、八、一、八、三、五
一、五、一、四、一、四
二、四、八、一、〇、二
六、一、六、四、一、九、五
四、五、九、五、九、一
一、一、九、四、六、六

石 油 一〇四二、六〇瓦 五二、二二九 總 計 一、二四三、八〇二瓦

三、特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

イ 主 要 仕 向 地

特産品と限定すると範圍が狭くなり、僅に朝鮮内移出品としては明太、若目、昆布等の海藻類、鹽乾魚、また内地向きとしては生牛、大豆、黒鉛、木炭、滿洲へは海蔘、南清へは乾蠣位のものであるが、左に元山の輸移出品の主要仕向地別金額を表示する。尙元山の鮮内各都市に對する分は前に掲記せしが故に之を省く。前例に依り内地仕向先の徑路を關門、阪神、中國筋と北陸方面とに別つ。(稅關の統計に據る)

關門、阪神及中國筋

地 名	金 額	千 分 比	地 名	金 額	千 分 比
大 阪	一、三九五、三六 <small>円</small>	—	神 戶	一、〇七九、四八 <small>円</small>	—
門 司	五三七、五〇三	—	下 關	九二六、二三四	—
尾 道	四〇八、四〇〇	—	小 豆 島	二九五、二八九	—
宇 品	八一、九二五	—	計	四、三五六、三九一	五五四
北 陸 方 面					
敦 賀	一、八七〇、四〇一 <small>円</small>	—	舞 鶴	五五六、三五〇 <small>円</small>	—

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

三八八

宮津	五八〇八五一	伏木	五七〇六九
計	三〇六四、六七一	其他内地各都市	七、五六九
内地合計	七、四九二、六三一	支那	三三六、七三五
米	一四、四〇〇	露領亞細亞	二六
總計	七、八五三、八九一		

主要輸移出品

大阪

區別	數量	價額	區別	數量	價額
玄米	二二、八五九 <small>石</small>	六九四、五七〇 <small>円</small>	大豆	二二、三三五 <small>石</small>	四二二、三三七 <small>円</small>
鹽魚	四六、六五〇 <small>斤</small>	二、八七五	魚肥	三〇 <small>百斤</small>	二、一六九
木炭	一、〇三三 <small>百斤</small>	二、七一九	精米	一、六四二 <small>石</small>	五六、四一〇
乾魚	二、二〇〇 <small>斤</small>	二、四四五	明太子	一、三三五 <small>斤</small>	二二、〇四四
黑鉛	一、二四五 <small>百斤</small>	二、八三三	其他	—	一八九、二四
計	—	一、三九五、三二六			
神戶	—	—			
支米	五、五六八 <small>石</small>	一六四、一六〇 <small>円</small>	大豆	二、七八九 <small>石</small>	五二、一〇一 <small>円</small>

第二章 市街地の商圏

門			司			下			關		
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
精	乾	黑	鹽	乾	木	乾	乾	乾	乾	乾	乾
米	魚	鉛	魚	魚	炭	魚	魚	魚	魚	魚	魚
一,九五五石	一〇〇斤	七九,三三九百斤	一,一八五,五一〇斤	三九,八三五斤	四六二斤	二〇石	二,八四一〇	八八斤	二,五四一,〇〇〇	七,七〇〇斤	七,七〇〇斤
七〇,六〇四円	三〇	一九〇,二五七	六二,五四一	六二,四二天	一,一〇八	七〇〇円	八〇,八〇八	二,三七六	五〇,九四〇	四九一	四九一
大	明	其	大	魚	精	魚	魚	海	明	精	精
豆	太	の	豆	肥	米	肥	肥	參	子	子	米
一,一四〇〇石	二,四三〇斤	一	一,七五二五石	五二,四九九〇斤	七六六石	一二,四四〇斤	一六,八六斤	四二〇斤	二,四四二〇斤	一,五四八	一,五四八
二,二五,九三五円	四八五	四四,三六二	三二,七七七円	九,九〇八一	二七〇一六	九〇,二九一	一,二八二六	六一五	四,九一一	五五,〇四〇	五五,〇四〇

市街地の商圏

鹽 魚 一八二、九七〇
木 炭 一六八

敦

鹽 魚 二六六、〇三〇
活 半 二二、三〇七
精 米 二四六、五一五
明 子 一三九、一五二
木 炭 四、三二一

舞

玄 米 二、三五八
大 豆 三、八二六
木 炭 四六、〇二
明 子 九〇

計

宮

賀

魚 一〇、一七四
計 四六五

鶴

大 豆 二六六、〇三〇
魚 肥 二、三〇七
其 他 二四六、五一五
乾 魚 一三九、一五二
計 四、八四五

津

精 米 七、八九〇
鹽 魚 七〇、一九九
乾 魚 一三、二二五
其 他 二二〇

三九〇

魚 肥 八二八
計 五三七、五〇三

大 豆 五、六〇三
魚 肥 一、〇五七
其 他 一、〇五七
乾 魚 一三、五五〇
計 五、八三三
鉛 一、二六六

精 米 一〇、五三二
鹽 魚 一七〇〇
乾 魚 二〇〇
其 他 五、五五二

三八八、二四

一、八七〇、四〇一

一、〇六三、三九五

八二九六

二、四九四三

三、〇〇五

一七〇

六〇

五、五五二

第二章 市街地の商圏

木	乾	黒	大	計	大	木	其	大	木	精	魚	玄
炭	魚	鉛	豆		豆	炭	他	豆	炭	米	肥	米
三八〇 _{百斤}	八〇〇 _斤	六、八〇〇 _{百斤}	六、六六二 _石	一四、九七五 _石	一四、九七五 _石	二、八五五 _{百斤}	一七五 _{百斤}	一八五二 _石	二、八五五 _{百斤}	一一〇八九 _石	二七〇 _{百斤}	二、二四一 _石
二、一〇四	一九〇	一七、〇〇〇	二九、八三八 _円	二九四、三〇四 _円	二九四、三〇四 _円	三五〇	一五〇	三、四七八 _円	八、五六六	四〇六、九九四	一七九六	七五、五九四 _円
	明	其	鹽	其	魚	計	黒	明	明	其	大	
計	太	の	魚	の	肥	計	鉛	太	子	の	豆	
	子	他		他				子		他		
	三、六三〇 _斤		二四、九〇〇 _斤				二、五〇八	六〇 _斤			四四、七三	
三九一	一、九四、四六〇	八三一	三、六〇〇 _円	八八五 _円	五七、〇六九	一八、六一三	六、四七八 _円	一一	五八〇、八五一	三、八一七	八四、一三二 _円	

其他内地都市

小豆島

伏木

支那

大豆	一〇〇石	二,一〇〇円	鹽魚	九七五、二八三斤	六二、九八六円
海蓼	二六、一〇九斤	二〇、一六〇九	乾魚	一一、八九九	四六六四
明太子	七六九八	一、七七一	其他	—	六三、五〇四
計		三三六、七三五			

米國

黑鉛	一〇、二二六百斤	一四、四〇〇円	計	—	二四、四〇〇円
以上合計	—	—			
玄米	四一、九七七石	一、二七九、九五四円	大豆	一六六、九九一石	三、二五一、四九六円
乾魚	二、四七、七二三斤	一四四、二四四	乾礪	二八、四一〇斤	八〇、八〇八
魚肥	一九、〇九九百斤	一三九、二七一	活牛	六、二五三頭	四七〇、二六五
其他	—	六六六、一〇五	精米	三三、八四七石	一、一四三、二八〇
乾魚	六三、七八四斤	一三、七五〇	明太子	七〇、二二八斤	二、三三、一九二
海蓼	二六、五一九百斤	一〇、一、二二四	黑鉛	一一五、八九三	二、七八、八二二
木炭	一四、八七三	四〇、五九〇	總計	—	七、八五三、八九二

輸移出入貨物の内鮮及外人の取扱數量價額を卸小賣及問屋別とすることは不可能であるが、大體に於て

觀察するに

輸移出重要品は殆んど卸商の取扱に係るものと稱して差開へない。内鮮外商の區別に就きては八割以上は、内地商人の扱ひに係り、鮮商も近年内地其の他に直移出を試み徐々に内地商人の地盤に喰入りつゝあるは鮮人商の進歩と觀るべく、又支那商人は關稅改正後輸移入貿易の衰退と共に甚だ振はず、僅かに海蔘、毛皮類、藥材類を取扱ふに過ぎない。

次に輸移入重要品も亦卸商の扱なれども、近年交通機關の整備と、關稅改正後卸小賣を兼ねる商店が直接仕入を爲すものも亦尠からず。一例を擧ぐれば鮮人向き綿布類の如き従前にありては悉く小賣商は當地の卸商より仕入れたるものなりしが、近來は二個三個と内地より仕入れをなす者もあり、砂糖、清酒、麥酒、ゴム靴等之と同様である。内地人向衣料用品は卸商（小賣を主とする吳服店）直接仕入れをなし、其の他雜貨類及食料品は小賣を主とする卸商の扱ふ所である。鮮人向雜貨類は専門の仕入商の扱ひに係るもの相當多數と觀るを得。内鮮及外商の區別に至りては内地商の取扱輸移入額合計の八割以上を占め、交通の便と輸移入手續の簡易になりたる結果、直接内地又は京城、釜山等より仕入を爲すものが尠くない。次に支那商は關稅改正後、上海天津方面よりの輸入不引合となり著しく衰退を來し、漸く大阪、京城、釜山、方面よりの内地品を取扱ふの止むなきに至つた。

四、地元行商者の行商地域、及來行商者の地方別

地元行商の取扱ふ品は僅に呉服類にて、道内、及江原道沿岸地方重要都邑に向つて、毎年春秋二期出張販賣を行ふ位のものである。又外來行商は京城、釜山方面より、春秋二期以外に出張販賣店を開催す。其の他内地、及京城等よりは、新發明品の宣傳の爲に來る者一年間に平均十名位ある。

考備 本調査の資料は、當地朝鮮銀行、東洋拓殖會社、朝鮮殖産銀行、十八銀行、韓一銀行、朝鮮商業銀行各支店、及元山金融組合、元山無盡會社、並に元山税關支署より得たるものにして、市中其の他の金融業者の分は之を加算せず。

咸興郡咸興面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍は市内及咸興・新興・永興・洪原・定平の各郡一圓にして、其の貸出及預入金額左の如し。

貸出金額	一一、六〇九、〇六三 ^卅
預入金額	一一、七九一、四六四

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

種類	單位	仕入數量	同上價額	仕入先
石炭	噸	一,七七七	三二,二六六 ^円	京城、平壤、仁川、撫順
石油	箱	九,五二五	七六,二〇〇	仁川、釜山、元山
鹽	噸	二五,〇四五	三五,〇七五	仁川、鎮南浦、元山
鮮魚	貫	一一六,三三三	一八六,一三一	京城、釜山
乾魚	貫	四〇,三三一	七六,二五〇	京城、釜山、木浦、元山
麥粉	袋	三二六,八六六	一八三,七七八	京城、鎮南浦、元山、平壤
豆粉	貫	一五,二七八	八,六五二	京城、開城、安東、元山
石炭	貫	六六,八〇二	八,〇二六	京城、仁川、元山、大阪、釜山
セメント	樽	四,一五四	二五,七五五	同
石粉	貫	九,四五六	一四,七九三	同
砂糖	俵	三,七九四	一〇六,三三二	京城、仁川、舟橋里、赤洞、勝湖里
味噌、醬油	貫	一一,四四六	一六,一八〇	京城、仁川、永登浦
綿絲	貫	四,〇六四	二八,四四八	京城、仁川、釜山、元山、平壤、大邱、大阪
綿布	貫	一四七,〇六六	九五五,九二〇	同
陶磁器	貫	四四,九五八	九八,九〇八	敦賀、釜山、京城、仁川、名古屋

和酒	樽	三,三四一	二,三三,八七〇	京城、仁川、群馬、馬山、釜山、平壤
麥酒	箱	一,六七三	三〇,〇九六	京城、元山
刻巻煙草	箱	六,七七八	一,二二,四三一	京城、元山
藥品藥材	貫	三〇,九八八	六,一九七八	安東、京城、大邱、釜山、洗浦、元山
繩	貫	二〇,九〇四	二〇,九〇四	群馬、松汀里、榮山浦
食料品	貫	七,八九八	五,〇二八	大阪、京城、仁川、釜山、馬山、沙里院

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

米	石	六七,〇一八	二,六一三,七〇一	京城、元山、仁川
大豆	石	二〇,六〇〇	四二,一〇〇	京城、元山、仁川、西湖津
木材	才	四,七三九,四九〇	四三六,五五四	京城、仁川、平安、松汀里、開城、大邱、釜山、太田、馬山
石炭	噸	一三,七八四	一六五,四〇八	同
藥品藥材	貫	五二,三〇八	七六,九六二	同
牛皮	貫	四一,一三一	二四,一七〇	京城、仁川、平壤

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 道内一圓

外來行商者地方別

朝鮮人側 京城・平壤・開城等

内地人側 大阪・山口・鳥取・大分・佐賀・熊本地方

咸興郡西湖面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の總金額

銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍は、西湖面、雲田面の各里にして、前項の最近一箇年間の總金額左の如し。

貸出金額	六八、五五四 _日
預金額	一三二、八五七

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額
内鮮外人商の仕入先は大阪・京城・及咸興にして、主要仕入商品は木棉類、及ゴム靴等なり。

1、木綿類	一、三〇〇 _日	價額	一一、〇〇〇 _日
2、ゴム靴	一、五〇〇 _足	同	一、二〇〇

(ロ) 特産品主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要仕向地 釜山・元山・咸興

種類、明太

數量 四三〇駄 價額 二四、四八〇圓

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域 郡内一圓

外來行商者地方別 洪原郡・及郡内西退潮面・雲田面

北青郡北青面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項最近一箇年間の總金額

種別	貸出高	貸出地域	預金高	預金者の利用する範圍
殖産銀行北青支店	二、七九六、七三 ^円	北青、利原、三水、甲山、豊山各郡	四、四八二、七七〇 ^円	北青、利原、三水、甲山、豊山各郡
北青金融組合	一、一〇、七八五	北青、良家、原昌、佳會、下車西面及徳城面の一部	一九九五、五七	北青郡内の農業者

金貸業者

五〇九八〇〇

北青郡一圓

—

同

計

三、四一七、三〇七

四、六八二、三三七

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

卸 賣 兼 小 賣

商 品 種 類	總 仕 入 數 量	同 上 價 額	仕 入 先
旗 大 布 (綿 布)	四、〇〇〇 <small>疋</small>	三六、〇〇〇 <small>円</small>	東 京、大 阪
綿	二〇〇 <small>塊</small>	六、二〇〇	同
帽	七、〇〇〇 <small>個</small>	一四、〇〇〇	同
ゴム	二〇、〇〇〇 <small>足</small>	一八、〇〇〇	同
靴	—	七四、二〇〇	同
計	—	—	—

商人は卸賣兼小賣のみにして、純卸賣、又は問屋なし

(ロ) 特 産 品 無 し

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

北青・利原・豊山・洪原の各郡

永興郡 洪仁面

一、金融組合及金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關利用する範圍

(1) 當郡洪仁面に於ける金融組合の貸出區域は洪仁面、徳興面、長興面、福興面、仁興面、順寧面、横川面、耀徳面、宣興面の九箇面にして、個人貸出區域は郡内及高原郡の一部なり。

(2) 之等利用者は(金融組合)農業用の肥料、畜牛、田畑等の購入資金にして、預金者は商工業等を主とし、其の他は農業者なり。

個人金貸業者の借受者は商業資金等に充當するを主とし、幾分耕地購入等に充つるものあり、是れ金融組合より幾分多額の金を借入るゝ便あるによる。本面には銀行等の設置なし。

(3) 最近一箇年間 總貸出金 十七萬四千三百六十九圓

同 預 金 五十四萬二千五百八十一圓

二、(4) 内 鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

(1) 卸商及問屋として塵舗を有するもなく小賣の傍ら少量の物品を卸賣するに過ぎず。

仕入先 元山・仁川・平壤・釜山・京城・大阪・東京

(2) 重要仕入商品の種類

織物類、石油、清酒、醬油、麥粉、麥酒、サイダー、洋襪、メリヤス類、紙類、文具類、乾物類、金物類、化粧品類等なり。

(3) 右仕入總數量

六十九萬八百萬餘箱

價額 十四萬一千四百圓

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

支那及間島・城津・清津・會寧・甲山郡・茂山郡・京城・鎮南浦等なり。

種類 蔓蔘 永興明紬

數量 蔓蔘 三十七萬斤 明紬 六千疋

價額十二萬圓也

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域は郡内一圓、及高原郡とす。

外來行商人は郡内馬山場、鎮興場、高原郡等なり。

咸鏡北道

清津府

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

金融業者の貸出地域は殆んど府内にして、特種事業資金の貸出に限り附近地方に及ぶ。而して預金者の利用範圍は全部商取引上の運用にあるを以て、道内、及間島、瑯春地方に於ける物資買出に對する信用狀、及鮮内、大阪、神戸、北陸地方に於ける仕入商業の荷爲替上に利用せられつゝあり。

最近一箇年間の總金額（大正十三年中）

金融業者名	貸出金額	金融業者名	貸出金額
朝鮮銀行支店	一九、四五一、六〇八 _円	清津金融組合	三、五四八、三三一 _円
殖産銀行支店	二四、三九七、〇九三	金貸業者	二二六、七七五
朝鮮商業銀行支店	五、四四九、〇二〇	合計	五三、〇六二、八二七

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内地人	卸商	小賣商
大阪、神戸、下關、釜山、京城	大阪、京城、府内	大阪、京城、府内

同	問屋	浦鹽、支那、問島、大阪、神戸、横濱
朝鮮人	卸商	京城、仁川、釜山
同	小賣商	京城、府内
同	問屋	浦鹽、問島、釜山、京城
外國人	卸小賣	浦鹽、上海、青島、天津、京城

仕入主要商品の種類、並に最近一箇年の總仕入數量價額（大正十三年）

品名	單位	數量	價額
米及穀類	百斤	六五一、六四六	一、四九九、九五八
酒類	升	二五六、四二〇	一、〇〇、二六七
綿絲布金巾織物類	方碼	四、〇一五、四二九	一、二七〇、七二二
魚類	斤	二四、八四四、二五六	六〇三、〇九七
其他			五、九八九、八六七
計			九、五六三、八〇一

(口) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の數量及價額

特産品種類	單位	數量	價額
海産物	斤	八六、八二七七	一、一四三、六六九
木材	立方尺	一、二七六、二六〇	一、六七八、八九二

第二章 市街地の商圏

穀類	石	二七〇五・一〇	三、九七、六七八
其他		—	四、六九、七七一
計		—	二、四二九、〇一〇

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者は全部府内とす、外來行商人は、内地人にありては大阪附近、鮮人は京城方面を主とす

鏡城郡羅南面

一、銀行、金融組合、金貨業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

(大正十三年十二月末日現在)

名	稱	預入金	貸出金	摘要
殖産銀行	羅南支店	一〇、八七、二九五 <small>円</small>	二、〇〇九、〇一六 <small>円</small>	直接貸出地及預金者：羅南、朱乙、鏡城 地及預金者：明川、漁大津本道一圓
羅南金融	組合	四三八、〇〇〇	二九〇、六九八	貸出地域及預金者：羅南一圓
協和無盡	株式會社	—	三五、六四五	同
菅原倉庫	資會社	—	四二、四一一	同
質屋		—	五〇、〇〇〇	同
金貨業者		—	一五、〇〇〇	同

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品の種類	數量	價額	仕入先
米	八、五三七石	三五〇、〇一七 _四	釜山、仁川、咸興
粟	七、三〇〇	一六五、二五〇	南滿洲、問島、本道
豆類	三、八〇〇	六八、四〇〇	問島及本道
醬油	五九〇	三五、四〇〇	内地及南鮮地方
味噌	三六、〇〇〇 _匁	二一、六〇〇	同
清酒	一、〇〇〇 _石	一五〇、〇〇〇	同
煙草	—	二七五、三六五	煙草專賣局
砂糖	三六、〇〇〇 _匁	六三、〇〇〇	下關及神戸
麥粉	五三、一〇〇	三八、七〇〇	同
毛織物製品	—	四三〇、〇〇〇	京都、大阪、平壤
呉服メリヤス類	—	三八〇、〇〇〇	同
諸雜貨	—	三八〇、〇〇〇	同
食料品	—	三六二、〇〇〇	同

備考 卸賣商として内地人五、支那人一あるも卸賣專業にあらず、卸賣兼小賣營業者にして、專業たる卸賣及問屋等なし、尙數量欄に掲げなきものは數量不明

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

第二章 市街地の商圏

市街地の商圏

四〇六

主要品の種類	数量	價額	仕向先
清酒	八五〇 <small>石</small>	八二、四五〇 <small>円</small>	清津、會寧、間島、南鮮地方
醬油	三五〇	二一、〇〇〇	同
味噌	一八、〇〇〇	一〇、八〇〇	清津、會寧、間島
鯖及牛肉罐詰	(四打入) 一、〇〇〇 <small>箱</small>	七、八〇〇	内地、關東地方、樺太、及南鮮地方
煉瓦	二三〇、〇〇〇 <small>本</small>	四、〇八五	清津、會寧、鏡城、羅南
土管	七、〇〇〇 <small>枚</small>	三、七一〇	同
瓦	二〇〇、〇〇〇 <small>枚</small>	一一、〇〇〇	同
石鹼	一九、六三三 <small>貫</small>	三一、四六五	本道一圓及第十九師團第二十師團へ納入

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者の行商地域 鏡城郡一圓、及茂山地方とす

外來行商者の地方別 大阪・京都・廣島・下關地方及釜山・京城・平壤・元山地方とす

鏡城郡 梧村 面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

(大正十三年十二月末日現在)

名 稱 預入金 貸出金

殖産銀行羅南支店 一〇、〇〇〇^円 二〇、〇〇〇^円

鏡城金融組合 五、〇〇〇 七〇、〇〇〇

質 屋 | 一、〇〇〇

金 貨 業 者 | 二、〇〇〇

摘 要

預金は何れも殖産積立貯金にして、商賣人等が資金を融通する爲めにしたるものとす、貸出も商賣人の資金として貸付を受けたるものなり

預金は商賣人及農民にして、貸付は商賣資金として少なく農民間の利用多し

貸金出範圍として鏡城のみにて利用するもの殆んどなし

之れは魚類、其他果樹、菓子、鶏及鶏卵、野菜小賣の女子等が主として利用するものにして其利子高し

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

主要商品の種類	數量	價額	仕入先
米	五〇〇石	二五、五〇〇 ^円	釜山、仁川、元山、咸興
砂 糖	一三、二七〇 ^貫	二三、三二三	下關、神戸
麥 粉	一〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	同
毛織物製品類		五〇〇	京都、大阪、平壤、釜山、上海
吳服メリヤス類		五〇〇	同
諸 雜 貨	二、〇〇〇 ^匁	三〇、八〇〇	大阪、釜山
組 布	一、五〇〇	二四、七五〇	同
玉 洋 木	五〇〇	二〇、〇〇〇	大阪、釜山、上海
法 緞	一、〇〇〇	九、〇〇〇	同
明 納			

備考 本表數量欄記入なきは其の數量分明ならざるに因る

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

主要品の種類	數量	價額	仕向地
大豆	三、〇〇〇石	七六、〇〇〇円	元山
麻布	九一〇疋	二、〇六七	同
蠶繭	三〇石	二、〇〇〇	釜山
明太	六〇〇駄	三二、〇〇〇	元山

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者としてなく、外來行商者としては清津、羅南方面より當鏡城市日毎に來る者あるのみなり

會寧郡會寧面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍(最近一箇年間の總金額)

貸出 一一、六一三、七六〇^円

預金 八、一九四、八三六

貸出及預金地域は主として會寧面内居住者なりしも、貸出關係に依る仕向手形は廣く内地、朝鮮、滿洲

の各地なり。預金者の金融機關を利用する範圍は、前示中貸付金は殆んど預金關係者に對するものなり。他の送金及手形に於ても預金者が七割以上を占めつゝある現狀なり。

(イ) 内鮮外人商(卸・小賣、問屋に分ち)の仕入先、主要商品の最近一箇年間仕入數量價額

内地人

品名	仕入先	卸		小		問	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
酒類	内地及羅南	一五〇石	三〇,〇〇〇円	二六石	四,一七〇円	二五石	四六,七五〇円
砂糖	内地	三三,三〇〇貫	六六,九〇〇	一四,二二〇貫	四二,三六〇	—	—
米	南鮮	三,〇〇〇石	一一〇,〇〇〇	一,五〇〇石	六〇,〇〇〇	—	—
醬油	内地	一一五	九,一〇〇	七七	六,五九〇	—	—
味噌	同	九,〇〇〇貫	九八,〇〇〇	五,七〇〇貫	六,七七〇	—	—
呉服	同	—	—	一,九三〇反	二五,〇〇〇	三五二〇反	四六,五〇〇
履物	同	—	—	三,二五〇足	一五,四〇〇	—	—
麥粉	同	二七,〇〇〇貫	八二,五〇〇	一五,三〇〇貫	九二,〇〇〇	—	—
メリヤス類	同	一八〇打	四,三三〇	二二〇打	五,六八〇	—	—
和洋紙類	同	—	二五,〇〇〇	—	一三,〇〇〇	—	—

第二章 市街地の商圏

金屬製品	同		三五〇〇 <small>袋</small>	一、五七五		九、五〇〇 <small>袋</small>		二五、〇〇〇
燐寸	同						四七五	
魚類	釜山、清津						二二、〇〇〇	六三、〇〇〇
帽子類	内地		三五〇 <small>打</small>			一三五 <small>打</small>		
打綿	内地		二五〇 <small>個</small>	二、五〇〇				
粗布	同		八〇	二四、八〇〇				
金巾	同		四〇	二四、〇〇〇				
仁紗	同		一〇〇	二七、五〇〇				
合計				四四八、五九五		二二四、八四五		二八一、二五〇

朝鮮人

品名	仕入先	數量	價額	數量	價額
粗布	内地	五七〇 <small>個</small>	一七六、七〇〇 <small>円</small>	六八〇 <small>個</small>	二四二、〇〇〇 <small>円</small>
金巾	内地及仁川	四〇	一一四、〇〇〇	九八	六一六、〇〇〇
仁紗	内地	三三〇	九〇、七五〇	四五〇	一六、〇〇〇
打綿	同	五七〇	三〇、二五〇	四二〇	三三六、〇〇〇
原鹽	青島、臺灣	七、〇〇〇 <small>噸</small>	一四、〇〇〇	五、〇〇〇 <small>噸</small>	一一、〇〇〇

粗綱品	布織類	仕入先	支那	人		小	
				卸	賣	數量	價額
合	計	同		九六九,二五〇	二八,三〇〇	四	六五八,七八〇
俊	織	同		五八〇	二八,三〇〇	四五個	二〇,五〇〇
燐	寸織	内地		一五,〇〇〇	一,〇五〇	三,一〇〇	一,六〇〇
朝	紙	南鮮		七〇〇	五,九〇〇	六個	五,六〇〇
毛	布	内地		一〇〇	三,一〇〇	二八個	一〇,八〇〇
靴	下靴	内地及平壤		五〇〇	一一,四〇〇	二,一〇〇	六,三〇〇
ゴム	靴	内地及京城		—	—	二,五〇〇	三九,三〇〇
綱	類	内地及仁川		—	—	三四〇	四,三〇〇
布	類	京城、仁川		—	—	一,四〇〇	九,六〇〇
鹽	魚	同		五,二〇〇	三三,〇〇〇	一,二〇〇	七三,〇〇〇
生	魚	同		二,三〇〇	一八,〇〇〇	四八〇	三八,〇〇〇
乾	魚	清津及露領		二,一五〇	九〇,八〇〇	五一〇	一四,三〇〇

市街地の商圏

四一三

金	巾	内地及仁川	一〇〇 <small>圓</small>	六,一〇〇	二〇	一三,八〇〇
布	類	京城、仁川	六〇〇 <small>圓</small>	四,一〇〇	五〇〇 <small>圓</small>	三,五〇〇
毛	布	内地	—	—	一〇〇 <small>圓</small>	三,六〇〇
仁	紗	同	—	—	三五 <small>圓</small>	九,九七〇
俊	織	内地及京城	—	—	六〇	二五,〇〇〇
合	計			一〇,一〇〇		七二,九七〇

三、地元行商者の行商區域、及外來商者の地方別

地元行商者は會寧面郊外居住の支那人野菜耕作者が、會寧面市街地内戸々に就き行商するものなり。又外來者は防寒具、革製品即ち提鞆、製靴類並に書籍等の行商者にして、清津・京城・東京より來るものなり。其他數日間臨時店を會寧市内に開設するものあり(一年二、三回)、是等は羅南より來る。

城津郡 城津面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍

前項の最近一箇年間の總金額

種別	貸出地域	預金總額	預金者の利用する歩合
殖産銀行支店	城津郡、吉州郡、明川郡 咸南端川郡	二,五五四,五〇五 <small>圓</small>	八割七分

元城金融組合	城津郡内の城津面	二八八、二六一	八割八分六厘
城津金融組合	鶴上面、鶴城面、鶴南面	六四五、〇二四	六割九分

二、(イ) 内鮮外人商(卸・小賣・問屋に分ち)の仕入先主要商品の種別並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

内鮮支別	卸、小賣、問屋の別	仕入先	主要商	品數	數量	價額
内地人	小賣	釜山、京城、下關、大阪、神戸	小麥粉、砂糖、酒類、鐵類、食鹽、魚類、紙類、木材、呉服、反物、穀類、石油、煙草	—	—	二、三五七八一八
鮮人	小賣	元山、京城、釜山、大阪、神戸	染料、綿類、麻及金巾類、紙類、陶器、木材、穀類、鐵類、食鹽、小麥粉	—	—	一、四二四六九〇
支那人	小賣	元山、京城、大阪、神戸	染料、綿類、麻及金巾類、マツチ其他	—	—	九四三、二二七
計						四、七二五、六三五

但問屋なし

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

特産品の種類	單位	主要仕向地	數量	價額
大豆	石	大阪、神戸、下關、敦賀、尾ノ道、伏木	九九、三三六	二、九九四、二二三
小豆	石	大阪、神戸	五四二	一一、〇五〇
其他豆類	石	大阪、神戸、下關、敦賀	八八三	一六、七三五

市街地の商圏

乾魚	斤	同	九六、〇〇〇	二〇、五〇六
鹹魚	同	同	一、〇六七、八九九	九七、一九四
明太魚	卵斤	大阪、神戸、下關、敦賀	七八、八三三	一一、四四五
牛肉	同	兵庫、敦賀、下關、宇品	一三四、〇三〇	三九、三二七
牛皮	同	大阪	一一一、一七七	五六、三三〇
活牛	頭	東京、兵庫、福島、大阪、鹿兒島、敦賀、 下關、廣島、尾ノ道、神戸	二四、〇三三	一七〇、六五五
肥料	百斤	神戸	四〇、二五四	二二九、二〇一
黒鉛	噸	大阪	四八	九六、四五
合計			一	二六四七、二六一

四一四

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別

地元行商者行商地域 咸鏡南道端川郡方面・咸鏡北道吉州・明川地方

外來行商者の地方別 咸鏡南道・平安南道・京畿道・江原道・全羅南道・内地・支那・露西亞

慶興郡雄基面

一、銀行、金融組合、金貸業者等の貸出地域及預金者の是等機關を利用する範圍、前項の最近一箇年間の
總金額

一銀行、金融組合等の貸出地域は郡内のみにして、就中最近一箇年間の貸出額、農業資金十萬二千圓、商業資四十二萬三千圓、土地家屋資金十三萬圓、其の他にて計金六十八萬二百六十三圓に達し、同預金額は二十三萬五千一百一十一圓なり。

二、(イ) 内鮮外國人商(卸、小賣・問屋の分ち)の仕入先主要商品の種類並に最近一箇年間の總仕入數量及價額

品名	單位	數量	價額	仕入先
米及雜物類	石	一,四五六	二〇,三八〇 ^円	成興、及元山、釜山
小麥粉	斤	六三,五四〇	七〇,一三八	下關
砂糖	同	九一,八七五	一四,二六四	同
清酒	升	一五,三四四	一七,三三三	同
麥酒	利	二五,五五〇	一一,九四七	同
鮮鯨	斤	七四,八〇〇	二二,四五六	浦鹽
昆布	同	一一,三三六	五,九九六	同
燐寸	百打	一,九二七	一一,七九七	大阪
打綿	百升	六九七	六八,五二八	同
生金巾及生シーチング	方磅	三三二,一〇四	九七,六四四	同
晒金巾及晒シーチング	同	九八,二四五	三〇,八一	同
ジェーンズ綾金巾及齊布	同	二七八,四四一	九七,四二二	同

市街地の商圏

ブランケット	毘	斤	六,二二八	七,八三二	同
ガン	コ	籾	一八五,二五〇	四九,二九五	同
鐵	條	及板	七〇,九四〇	八,九六一	同
電	鍍	板	四一,七六六	九,五二九	同
鐵	釘	同	三三,三四五	五,〇一七	同
セ	メ	ン	三〇,三二二	七,六四六	神
ト		百斤	一	五五六,九七一	戸
計					

(ロ) 特産品の主要仕向地、種類並に其最近一箇年間の總數量及價額

品名	單位	數量	價額	仕向地
大豆	石	一〇,二〇六	一,五九二,八二〇 ^切	北陸地方、下關
小豆	同	二,二六四	四五,三七七	大阪、神戸
菜豆	同	六,七九五	九二,七九七	同
乾北寄貝	斤	五,四〇二	三,五三四	神
乾壯蠣	同	六,九〇〇	四,一四〇	同
罐詰類	打	一,一九二	二,六八〇	大
肥料	百升	四〇,五八	三四,二四四	大阪、神戸、下關
計			二,七七五,四四二	

三、地元行商者の行商地域、及外來行商者の地方別
地元行商者なし、外來者の中糶賣者が時々羅南より入込み、又季節の呉服反物を携へ來り、元山・清津の商人が旅館等にて販賣するを常とす。

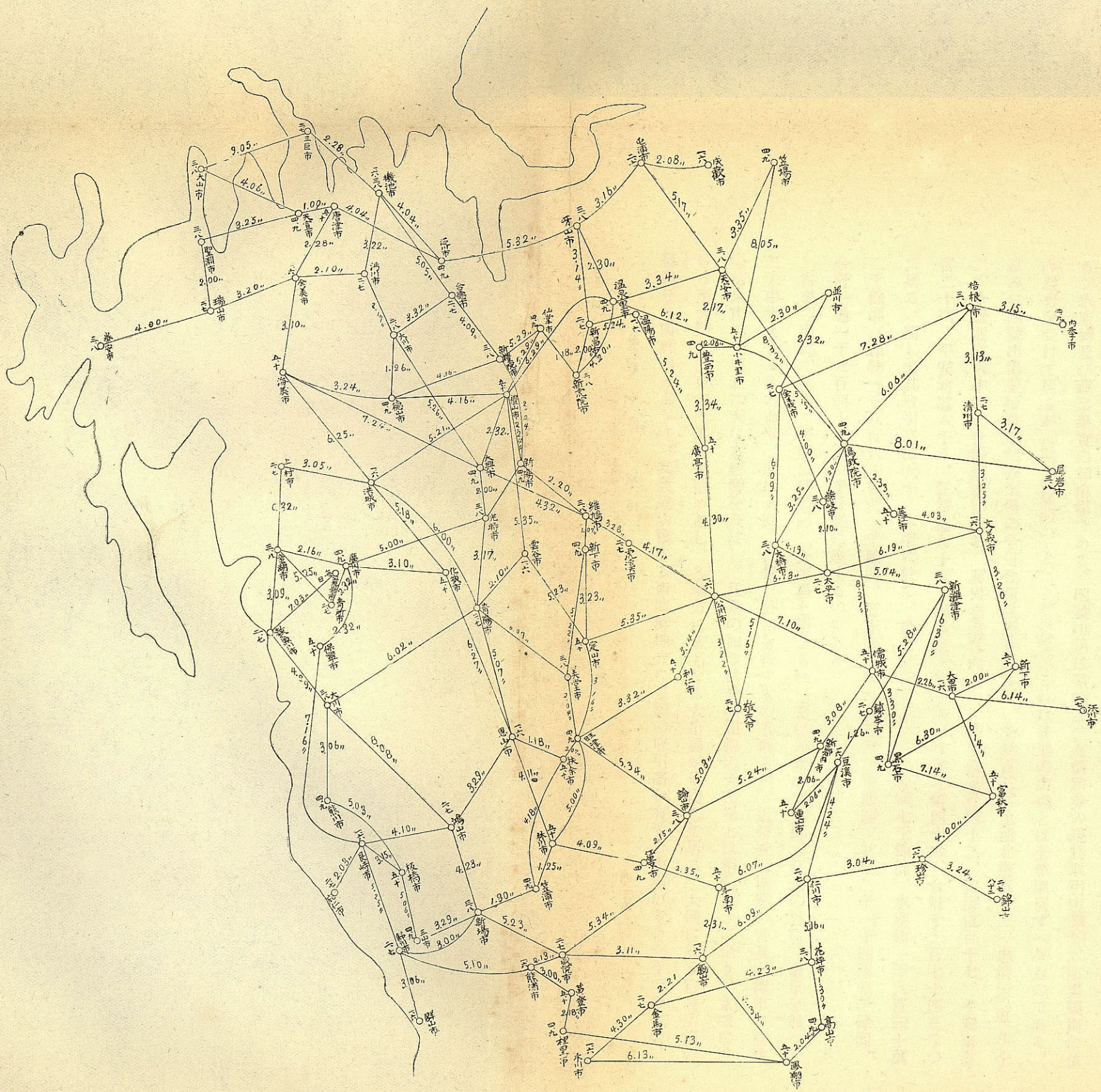
第三章 市場の取引

市場の概況

朝鮮に於ける市場取引は商業上最も重要な部分を占め、殊に都會地以外に在りては日用必需品の賣買は殆んど市場のみに於て行はれ、市場は生活上及び經濟上極めて大切なる機能を有して居る。されば市街地の商圏を調査する上に於ては、之と密接なる關係ある市場の取引狀況を精細に攻究することは最も大切なることである。大正十二年末現在の調査に據ると、市場規則第一條第一號市場（場屋を設け又は設けざるも區劃したる地域に於て毎日又は定期に多數の需要者又は供給者來集し貨物の賣買交換を行ふ場所）一千二百三十三、此一箇年の賣買取引高一億九百九十八萬一千圓、第二號市場（十人以上の營業者一場屋に於て主として穀物食料品の販賣を行ふ場所）七、賣買取引高百二萬六千圓、第三號市場（委託を受け競賣の方法に依り貨物の販賣を行ふ場所）三十四、賣買取引高八百四十六萬三千圓、第四號市場（毎日又は定期に營業者集會し見本又は銘柄に依り物品又は有價證券の賣買取引を行ふ場所）九、賣買取引高六億一千九十七萬八千圓である。此に一號市場と云ふのは在來の朝鮮市場にして、二號市場は近年物價暴騰に依る

公州附近市場順路表

(漢字數字、市日ヲ示ス)
(亞利比亞文字、里程ヲ示ス)



生活難の緩和を目的として都會地に府又は面營を以て設置されたものである。三號市場は糶賣の方法に依る、水産物及び蔬菜果實の卸市場である。四號市場は穀物及び有價證券の現物取引市場で、市場規則に依り監督を受けて居るが、取引所類似のものであるから、これは普通の市場とは全然區別すべきものである。試みに四號市場を除外した各市場の全道分布状態を見るに、京畿百二、忠清北道五十二、忠清南道九十二、全羅北道六十四、全羅南道百十七、慶尙北道百六十一、慶尙南道百四十二、黃海道百十七、平安南道百二十四、平安北道六十八、江原道九十五、咸鏡南道九十四、咸鏡北道四十六、合計千二百七十四となつて居る。而して其取引高は大十二年中に於て、農産物三千二百六十九萬七千餘圓、水産物一千八百三十萬二千餘圓、織物一千八百六十九萬三千餘圓、畜産物二千九百三萬三千餘圓、其他二千七十四萬三千餘圓、合計一億一千九百四十七萬一千餘圓に達するのである。

古來、大邱、江景、平壤は朝鮮の三大市場と稱せられ、また一説には大邱、江景の外に、金泉を加へて三大市場と云ふものあり、或は大邱、江景、公州を指すものもあるが、近時交通機關の普及と都市の發達の結果市場の盛衰に大なる影響を及ぼし、江景の如きは最早屈指の大市場とは稱し難きに至り、京城に於ける南大門及び東大門市場を始めとし、各地方に著名なる大市場が現出して居る。大體に於て常設店舗の發達せる南鮮地方よりは、其發達幼稚なる西北鮮地方に巨額の取引高を有する市場が多いやうであるが、

市場の数は人口多く且つ經濟力の大なる南鮮地方に分布の密なるを認める。市場の開市日は、主要市街に設置されて居る公設市場及び魚菜市場の如きは毎日開市さるゝが、在來の普通市場は大抵一六、二七、三八四九、五十と云ふやうに五日目毎に開市され、中には毎日開市又は月三回或は附近市場と交互に定期開市のものもあり、藥令市の如きは秋期又は冬期に一箇月乃至二箇月一回開市さるゝものである。市場中には其沿革の古きものが多く、數百年前より同一場所に於て開市して居るものも尠くないが、中には交通機關の變遷、都邑の發達、地勢の關係等で、位置を變更したり、または市日の變つたものもあり、或は廢止、合併、新設されたものもある。市場は概して交通の便利なる地に設置され、河原、路傍等の空地を利用して居るものも尠ほ尠なからず、中には墓地の附近などに設けて居るものも多いやうであるが、郡廳の設置と同時に開かれたる市場の數の多いことは注目すべきことである。市場の分布は一郡四五箇所より十箇所内外に及ぶものもあり、市場の大小並に季節に依りて商人及び購買者の出場數は一定しないが、數百人より數千人の多きに達し、秋の收穫後は市場の最も繁昌する時で、春より夏に掛けては一般に取引閑散の時である。市場の利用範圍は、市場の大小、附近の地勢等の關係上多少の廣狹はあるが、附近三四里より七八里に及び、出場商人は附近の者及び近郷の生産者が多く、この外に市場巡回の行商者も出店するのである。

市場の取引は現金賣が多いが、また多少の懸賣も行はれ、市日を利用して金融も行はれる。大體に於て朝鮮在來の普通市場は、殆んど何等の設備なき野天に於て賣買される爲め、交通並に衛生上より見て遺憾の點が多く、また雨天の際には開市されない不便があり、其取引方法も概ね幼稚にして、原始的經濟狀態の域を脱し得ない觀がある。

主 要 市 場

朝鮮に於ける市場取引の概況は右の通りであるが、更に各地に散在せる市場中に在りて其取引高の大きなものを知る爲め、試みに一箇年間に二十萬圓以上の取引ある市場(第四號市を除く)を擧げて見ると、其名稱、所在地、經營者、開市回数、一箇年間の賣買高及び市場の種類は、即ち左表の如くなつて居る。而して其道別分布數を見るに、京畿道十八、忠清北道四、忠清南道十八、全羅北道六、全羅南道六、慶尙北道十、慶尙南道十三、黃海道十、平安南道十九、平安北道十、江原道六、咸鏡南道十四、咸鏡北道六箇所となつて居る。

市場の取引

年額二十萬圓以上の取引ある市場表 (大正十二年調)

道名	市場名	所在地	經營者	開市回数	一箇年賣買高					備考
					農産物	水産物	織物	畜類	其他	
南	大門市場	京城府南	米朝鮮農業株式會社	三六二	三三、七〇〇 <small>円</small>	一九七、八〇〇 <small>円</small>	三三、〇〇〇 <small>円</small>	一、〇〇〇、〇〇〇 <small>円</small>	三、〇〇〇 <small>円</small>	第一市場
東	大門市場	同府禮知洞	廣藏株式會社	三六二	二、六七、〇〇〇	五〇、六八〇	四三、四四〇	三、七、二〇〇	同	開市
合	名城食料品市場	同府旭町一	合名會社東京食糧品市場	三六〇	三三、八七四	—	—	—	同	第三市場
京	城魚市場	同府明治町二ノ八五	守永和三郎	三五四	—	六四、四五六	—	—	同	同
京	城日の丸水産株式會社	同府旭町一の二〇三	京城日の丸水産株式會社	三五四	—	四三、四六七	—	—	同	同
龍	山水産株式會社	同府漢江通一三	龍山水産株式會社	三五五	—	三三、九七七	—	—	同	同
明	治町公設市場	同府明治町二ノ二五	京城府	三五〇	五七、六六六	八五、五二一	—	一四九、九七一	同	第二市場
花	園町公設市場	同府花園町一〇七	同	三五〇	六六、四七七	二二、五四一	—	一一〇、〇一一	同	同
仁	川水産株式會社	仁川府支那町五七	仁川水産株式會社	三六三	—	二九、五三〇	—	—	同	第三市場
邑	内市	驪州郡州内面弘門里州内面	同	七〇	三三、一五〇	二四、四三六	六三、七二〇	八三、四三三	同	第一號市場
利	川市	利川郡邑内面官庫里邑内面	同	六九	五四、一五二	一〇、六四四	二〇、七四四	九二、〇六六	同	同
長	湖院里市	利川郡清溪里清溪面	同	七一	三七、〇七七	六、五五四	三五、七三三	一一七、八五六	同	同

慶			道			南			羅			全			道			北			羅		
龜	魚	令	東	西	月	邑	順	順	松	光	旭	裡	淳	南	錦	山	山	山	山	山	山	山	
川	菜	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
達城郡玄風面院橋洞玄風面	同府元町一丁目 大邱魚菜株式會社	同府市町、南城町、 東城町、西城町、同	同府德山町同	市大邱府市通新町大邱府	市長城郡黃龍面黃龍面	市長興郡長興面長興面	市順天郡順天面順天面	市同郡松汀面松汀面	市光州郡光州面光州面	市場木浦府櫻町旭魚市場	市場益山郡益山面裡益山面	市場淳昌郡淳昌面南溪里淳昌面	市場南原郡南原面川渠里南原面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	市場錦山郡錦山面中島里錦山面	
三六	三六五	三〇	七三	七三	七〇	七二	六九	六九	七三	六二	六二	七四	七三	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	
二五、〇〇〇	四四、四〇〇	—	三三、三〇〇	七九、〇〇〇	七七、四三三	三三、六七五	三三、二八四	一八三、〇六八	一〇〇、〇四三	—	四五、三三三	一三、四一〇	七八、一八四	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	一四、一〇〇	
六三、三〇七	二八、四〇〇	—	三三、〇〇〇	九六、〇〇〇	七五、一一九	一九、九四七	六七、四〇〇	三六、〇六二	九三、一〇八	二七、四三二	七、三四三	四七、六三四	一〇四、六二二	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	六八、五〇〇	
四六、六八二	—	二七、〇〇〇	一七、〇〇〇	五五、〇〇〇	七五、〇〇〇	一一、〇〇〇	四六、六四四	一一、九六六	一七、八七八	—	九、六四七	五八、九六二	八四、七三三	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	三三、三〇〇	
一八、二五五	—	—	三元、〇〇〇	一七、〇〇〇	二二、四九四	八七、〇〇〇	二元、六〇〇	七四、八三三	六六、九六六	—	一四、九七二	三九、五五〇	八四、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	一三、六六〇	
九五、三三七	—	三三、五〇〇	二七、四〇〇	一〇、三〇〇	二六、九三〇	九五、〇〇〇	九九、二四八	八三、三三〇	五七、二九八	—	一〇、〇三三	二一、五七一	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	一九、六六〇	
同第一號市場日	同第三號市場日	同舊十二月一月中每日	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	
五號市場日	每號市場日	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	

第三章 市場の取引

八月十二月は
七回開市

海			黄			道			南					
邑	内	市	市	延	翠	海	邑	邑	統	統	密	鎮	邑	舊
信川郡	安岳郡	長淵郡	金川郡	延白郡	野同郡	州	内市	内市	營魚市	營市	陽市	海水產市場	内市	馬山市場
武井、校塔里	安岳面、瑞山、新長里	長淵面、内里	西泉面、市邊里	延白面、安南里	野同面、佐面、野里、茄佐面	海州郡	河東郡	河東郡	同郡	同郡	密陽郡	昌原郡	晉州郡	馬山府、元町、富馬山府
七三	六四	七二	七二	七二	七二	三五	七四	七三	七三	七三	七三	七二	七二	三五
二〇、八四七	四、四七	六、六七	七、三三	四、一四二	二、九二〇	三、九五〇	四六、八八〇	二九、九六五	一一、九六〇	一一、九六〇	—	—	二五、五〇〇	三六、五〇〇
二五、九一九	一〇、三七三	一三、六八五	三、六七〇	四、五六〇	二〇、六五〇	五五、七六五	二四、五〇〇	三九、四六六	三六、〇〇〇	三六、〇〇〇	一〇〇、一〇一	—	三八、六〇〇	二五、六一〇
二四、二六一	七、二三七	八、七二一	七、五三〇	七〇、三三八	四八、七三九	一五、五三〇	三五、八二〇	二六、六五五	五二、八四〇	二六、六五五	—	—	四八、五〇〇	五、三三〇
三三、九一一	二九、二〇五	七〇、八五四	三三、九四〇	八七、九六六	一〇、二三九	—	一四、二〇〇	三六、八〇八	九四、二〇六	九四、二〇六	—	—	一〇三、〇〇元	六六、二一五
三〇、九五五	二五、六六	六、六七八	三、八〇〇	六四、六〇〇	一四、〇四二	一〇、六六〇	一四、〇〇〇	一八、一〇一	九九、五九四	九九、五九四	—	—	四三、五〇〇	六三、九〇〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一、六日	二、七日	五、十日	四、九日	二、七日	三、八日	常設	一、六日	一號市場	三號市場	第一號市場	第三號市場	同	同	第一號市場

第三章 市場の取引

北		安		平		道									
楊	邑	邑	寧	北	南	梧	替	邑	軍	鹽	溫	齊	舊	藝	明
市龍川郡楊下面	市川北郡宣川面	市博川郡博川面	市東寧郡西寧面	市雲山郡北鎮面	市龜城郡方峴面	市義州郡義州面	市義州郡批峴面	市德川郡德川面	市龍川郡三浦面	市安州郡安州面	市同郡海雲面	市同郡金谷面	市同郡三和面	市同郡陽谷面	市同郡馬里陽谷面
七三	七三	七三	七三	六六	六四	七四	六三	七四	七〇	七三	七三	六三	七三	六六	六二
三六、一〇四	二七、〇〇〇	二六、四五一	五七、三五〇	一五、七〇〇	三三、九〇〇	二五、〇〇〇	二四、六〇〇	六、四九七	一三〇、八六六	六七九、六五〇	一六、一一〇	六三、四、五三、二四六	六四、三〇七	一、〇六、七七一	七
三三、二四六	三〇、〇〇〇	二七、一二三	三〇、六四〇	一四、五〇〇	三五、八〇〇	二〇、〇〇〇	九、九七〇	五、八二〇	八、七五〇	一七、一七五	五、六三二	三、四〇二	一、〇〇	七	八四
三三、七五八	〇〇、〇〇〇	二五、七、一〇〇	二九、四五一	一六、七〇〇	三三、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二七、六三〇	九九、八八一	二四、四四七	一〇九、〇六三	七、五九九	四、一〇五	二、三〇七	二〇、八二五	三
四〇、五六七	一五、一〇〇	一三、一二五	八八、一〇〇	八三、八六八	一九七、六九五	一三、七五四	一〇三、六三三	五五、七六六	三五、三七	二二九、八〇〇	七五、五七九	九七	九四三	二〇、八二五	三
七三、四三三	五〇、〇〇〇	一五、五四四	八〇、一七八	八七、六〇〇	五三、〇〇〇	二〇、〇〇〇	三六、四三三	一六、六五七	三三、六〇〇	六、〇七六	一〇、四九九	二、一〇六	七、六六	二〇、八二五	三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三、八日	三、八日	五、十日	同	二、七日	五、十日	一、六日	同	二、七日	五、十日	同	四、九日	同	四、九日	同	一、六日

南		道		成		北		道	
永興市	同	六	四七、五七五	一五六、一五〇	四、四四一	一六、七〇〇	同	同	同
鎮興市	同	七二	三三、〇〇〇	九七、〇〇〇	四〇〇	六七、〇〇〇	同	同	同
安邊市	同	六四	一五三、八八六	五、七四一	四六、七五五	九六	七、三〇六	同	同
新高山市	同	六七	三七、六五	四、八〇一	四三、八二七	一七、四四〇	八五、五七三	同	同
北青市	同	七四	七八、三八七	一七、九三八	六五、〇三四	一八三、四四四	一一、八六四	同	同
古川市	同	七四	一七、三六〇	一三、七六九	六九、七五三	一八、八八六	一八、三九七	同	同
惠山鎮	同	四	一三、四〇〇	八二、〇〇〇	二一、六四二	四三、八〇〇	一四五、八〇〇	同	同
清津魚菜市	同	三六五	—	三六七、三三	—	—	—	同	同
花台市	同	六	三三、二七	三三、三〇〇	四八、九七三	四七、七六七	一六五、三三〇	同	同
鏡吉州市	同	五三	四三、六七五	一一、四〇五	四六五、五七〇	五五、八六六	九四、〇二九	同	同
北錦川市	同	六七	一七、三五〇	一八、九〇〇	一三七、九〇〇	二〇、〇〇〇	一一、八五〇	同	同
臨漢市	同	三三	一三、五〇〇	五、九五〇	三三、四〇〇	七九、三三四	六五、四〇〇	同	同
鐘城市	同	四三三	一六、五〇〇	三四、〇〇〇	八七、五〇〇	六〇〇	五九、三〇〇	同	同
以上合計	同	—	一四五一、九二四、二二	七八三、九三三、五八〇、五六二	六三、五五七、四四六、一四、二四、四五五	—	—	同	同

全市場取引高
箇所
 一、二七四、九九六、〇九六、三三六、九七、八二一、八、三、〇、三、〇、六、三、九、五、二、九、〇、三、〇、三、〇、三、〇、七、四、五、〇、五

第三章 市場の取引

全取引に對する歩合	二二・四%	一九・三%	七二・七%	七四・四%	六七・五%	五〇・二%	六六・七%
-----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

即ち年額二十萬圓以上の取引ある市場の總數は全鮮千二百七十四箇所の市場中百四十五箇所の多きに達し、其取引歩合は全部の市場取引に對し六六・〇パーセントを占めて居る。更に年額五十萬圓以上の取引ある大市場の分布を見るに、京城南大門、京城東大門、京城魚市場、清州、江景、馬山面新場、禮山、天安、全州、大邱西門、金泉、釜山鎮牛市、釜山魚市、釜山富平町市、統營、統營魚市、河東面邑内、居昌面邑内、信川面邑内、沙里院、平壤司倉、中和面邑内、安州面鹽塵、藝明、龍岡舊邑、齊山、方峴面南市、博川面邑内、宣川面邑内、江陵邑、橫城面邑内、鐵原面邑内、咸興、永興、鎮興、惠山鎮、花台、吉州邑市の三十八箇所に及んで居る。此内に於て、府の所在地の市場は、京城の南大門、東大門及魚市場、大邱の西門市、藥令市及び東門市、平壤の司倉市場のみにして、他は皆地方に於ける市場である。殊に江陵、永興、天安、禮山、河東、宣川、南市、安州、沙里院、藝明、齊山、鐵原、橫城の市場は最も巨額の取引高を有して居る。これに依りて見るも、地方に於ける市場利用の大なることが窺はれるであらう。

以上は主として市場中の取引高の大なるもの、分布概況を述べたのであるが、朝鮮には普通市場の外に、家畜市場及び魚市場の大なるものが尠くないのである。即ち家畜市場中、一箇年の生牛集散頭數二萬頭以上のものは、水原、大邱、釜山、替馬、江界、北坪、北青、端川郡邑内、吉州の九箇所に及び、一萬

五千頭以上二萬頭以下のものに、平邸、安州、梧木、泰川、鐵原の五箇所あり、之等は牛市場として最も著名なものであるが、この外に一萬頭以上五千頭以下のもの二十三箇所、五千頭以上一萬頭以下のもの十五箇所を算し、生牛及び豚鷄の取引が非常に盛んである。また魚市場としては、釜山魚市場は全鮮一の大市场にして、魚類の集散地域は、内地、及び青島、滿洲方面への輸移出を始め、鮮内各地へ供給して居る。市内消費の市場として最も大なるものは、京城魚市場、京城日の丸市場にして、この外に龍山、仁川、群山、木浦、大邱、馬山、平壤、鎮南浦、元山、清津等の魚市場は、市内消費及び輸移出市場として年々巨額の取引がある。而して鮮内に於ける水産業の發達と、魚類消費の増加に伴ひ、魚市場の取引高は今後大に増加すること、思ふ。

市場の現状

市場の概況及び主要市場の分布に關しては大體の説明をしたが、更に市場取引の現状を知るに便せんが爲め、各道に於ける著名なる市場に就き、其經營者、敷地面積及び設備、主要取引品、一箇年賣上高、一日平均出場商人並に購買者數、市場利用の範圍、取引方法、仲介手数料を示せば左表の如くなつて居る。

市場の取引

四三四

道	市場名	公私	開市日	敷地面積設備	主要取引品	一箇年	出場商人	市場利用	取引方法	仲介手数料
京	南大門市場	私設	毎日	二、八〇三坪 瓦葺平屋二坪 五、三〇半坪 一、五七間半 上家七間を 設く。	農産物、水産物	一、五七、〇〇〇	二八	概ね卸小賣兼營にして小賣のみを行ふ者も幾分あり。見本取引なし。	なし	
京	東大門市場	同	同	二、九一坪 瓦葺平屋 建及び十坪屋 し、四戸に分 水溝の設備あ り。	米、雜穀、海 産物、乾物、 肉類、蔬菜、 漬物、其他	三〇、七一九	一五	概ね卸小賣兼營にして小賣のみを行ふ者も幾分あり。見本取引なし。	なし	
京	京城花園町	公設	毎日	二、七一九坪 瓦葺平屋建 全部瓦葺に 果物卸商に り。下の設あ り。尙生産者 の使用に供す ため牡丹葺上 屋の設備あり。	農産物、水産物、雜貨	三、五九、八〇〇	二五 四、五〇〇	從前は朝鮮中心市場の観あり。近時交通便利し爲小販も入り縮小なり。但し卸商人中一、五七間半は小賣のみあり。見本取引なし。	なし	
京	京城	同	同	二、八〇三坪 瓦葺平屋二坪 五、三〇半坪 一、五七間半 上家七間を 設く。	農産物、水産物	一、五七、〇〇〇	二八	概ね卸小賣兼營にして小賣のみを行ふ者も幾分あり。見本取引なし。	なし	
織	楊州	同	一、六日	一、〇二五坪 木欄を施し 市場の周りに 室内には事務 あり。	半	一八、一六九	六	漢金面在住者が主として出居し京城、楊州、廣州方面より買出しに來る。	全部小賣	なし
織	平邱市場	同	一、六日	一、〇二五坪 木欄を施し 市場の周りに 室内には事務 あり。	半	一八、一六九	六	漢金面在住者が主として出居し京城、楊州、廣州方面より買出しに來る。	全部小賣	なし

道

永登浦市場	同	三、八日	借用地三千坪 市場の周圍に 木欄を設け半 繋留杭を建	牛	一六、八七七	八	郡外附近五里以 内より賣込に來 る。	二人の仲介人 ありて適當な る畜牛の賣買 を紹介す。	畜牛賣買には毎 頭其價額の三分 を收む。
坡州	同	二、七日	四、八五〇坪 設備なし	白米、畜牛、 草鞋	二四九、四三六	七	出店者は附近十 里以内より買 入。以内より來 場す。	卸賣及小賣を 行ひ、見本取 引はなし。	生牛賣買に限り 手數料として其 賣買額の一分を 收め、仲介を 行ふ。
奉日川市場	同	二、七日	四、八五〇坪 設備なし	白米、畜牛、 草鞋	二四九、四三六	七	出店者は附近十 里以内より買 入。以内より來 場す。	卸賣及小賣を 行ひ、見本取 引はなし。	生牛賣買に限り 手數料として其 賣買額の一分を 收め、仲介を 行ふ。
開城	私設	六日に一、日 毎六日は兎 山市等を廻 る者の爲に 廻る者の爲 す。開市	一、四五〇坪 場内に上屋及 倉庫を設く。	農産物、水産 物、食料品	二四、七五	五	附近一里以内の 者出店し、三 里以内の者買 入。	小賣	なし
兩城市場	私設	六日に一、日 毎六日は兎 山市等を廻 る者の爲に 廻る者の爲 す。開市	一、四五〇坪 場内に上屋及 倉庫を設く。	農産物、水産 物、食料品	二四、七五	五	附近一里以内の 者出店し、三 里以内の者買 入。	小賣	なし
水原	公設	四の日	二、九六五坪 事務所、揚屋、 牛繋杭等の設 備あり。	農産物、畜産 物、織物、海 産物、水産物	三六三、六九〇	一、三五	出店又は買出に 來る者は水原の 附近五里位のも のなり。	卸小賣交々行 はる。	畜牛仲介人三名 ありて、賣買價 額の百の二を徵 合し其一を畜産 組に納附す。
城外市場	公設	四の日	二、九六五坪 事務所、揚屋、 牛繋杭等の設 備あり。	農産物、畜産 物、織物、海 産物、水産物	三六三、六九〇	一、三五	出店又は買出に 來る者は水原の 附近五里位のも のなり。	卸小賣交々行 はる。	畜牛仲介人三名 ありて、賣買價 額の百の二を徵 合し其一を畜産 組に納附す。
清州市場	同	二、七日	九、四八九坪 常設店舗の軒 下を利用し、 他に設備なし。	生牛、米穀、 乾魚等	六五、四三〇	四九三	附近四里内外の 者に利用さる。	卸賣、小賣共 に行はれ、小賣 敷及織物に引 りて見本取引 をも爲す。	牛馬に限り一頭 の取引に付四十 五錢を出す。

第三章 市場の取引

市場の取引

忠			道北清忠		
論山市場	大田市場	公州市場	忠州市場	報恩市場	竹田里に
公設	同	私設	同	公設	ては五の
三、八日	同	一、六日	五、十日	日三山里に	日ては十の
四、六二六坪	葦平屋一八五坪の設置あり	敷地面積不詳設備なし	六十間の道路なし、町内住家は凡て市場設備なし。	?	
穀物、絹綿布、家畜、家禽、竹、細工、雑貨等	牛馬、鳥獸、日用品	米穀、雜貨、海産物	穀物、水産物、織物、魚類、雜貨等	布帛、穀物、魚類、鹽、雜貨等	
四六、九五	三七、八〇	二六、四〇	二三、六三	一八、三〇	
三、〇〇〇	四、〇〇〇	一、二〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
附近五里四方	來る者もあり	公州附近三里位の者も來る。	内二千人は旅商人	三、四里近くの者が出店又は買	
卸賣又は小賣なり。	手を得るものとす。	主として小賣引なし。見本取	出場商人は資も持來り現	小賣取引のみ	
賣買價額の百分の一なり。	半馬一頭の賣買	同賣買價額の百分の一	歩して賣買高料と	穀物は升取料と	

道 南 清

江景市場	舒場市場	天安市場	烏致院市場
私設	公設	同	公設
四、九日	三、八日	同	四、九日
農産物、生乾、鹽、魚、雜貨其他	店舖、○五〇軒、掛小屋、三百五、薪炭等	○坪には周、園に木柵を施し、中に牛繫、杭のあるも、其他の市場は道路を使用する	四、六、五、五坪、幅八間の道路、を地域内縦横に通じ、市場の兩側に常設店舖、中央に小屋掛、店舖を別露店を建つ、牛市場を設け、杭、周圍に柵を施す。
五三、七〇〇	五〇〇、二六	三三、〇六	一八三、一五〇
六〇〇	九一五	三九	六五
江景附近六里四方の者に利用さる。	出揚者は概ね三里四方より來る。	市場を中心として二里四方の部落より出揚す。	天安以南、大田以北、公州、清州、忠州等、附近二十里以内の者に利用さる。
同	小賣のみなり	卸賣、小賣	小賣
賣買價額の四分、乃至六分にして、牛馬にはなし。	牛馬は一圓、牛は四錢、其他の商品は一圓に付一錢とす。	牛馬は一頭に付、四歩其他の商品は四歩、乃至五歩なり。	牛馬に限り、賣上りの百分の一なり。

道 北 羅 全

市場の取引

群山市場

公設

一、五日
一、三〇〇坪
屋九拾坪
屋九十坪
農産物、水産物、織物、畜類、雜貨等

三、三〇 不定

二里以内より來場する者多く、より來る者もあり、現金にて賣買す。商品を陳列し、顧客を待ちなし

群山市場

同

九〇五坪
木造、葺平
屋建十棟
農産物、水産物、雜貨等

四、七〇〇 二、〇〇〇

府内住民 同 海産物には卸取引行はるも、近時市場附近に該問屋業者漸増の傾あり、從て卸取引は減少の途を辿り、大部分は小賣とし、見本取引なし。

全州市場

同

二、七日
○坪、定めざるもの常設店
○坪、定めざるもの常設店
魚菜店三〇坪の設置を施せり
穀物、魚類、果實、蘆席、鹽、牛、織物、其他

七、一〇〇 一、一三〇

五六里以内より生産物を持來り、賣上金にて他のものを買取り歸す。途につくを例とし、大部分は小賣とし、見本取引なし。

井邑市場

同

一五、〇〇〇
坪設備なし
穀物、木材、薪炭、牛馬、魚介類、織物、金物、竹細工、品、雜貨、紙、油、陶磁器等

一、九〇、五九四 六〇〇

井邑郡井邑、内藏、所、古阜、面、淳昌、全州、德川、北の各、扶安、金堤、高、敬、各郡の市場、回商人等を出店、者とし前記各面、の外、羽順、海上、郡長城郡の一部、七寶各郡の買出に來る者多し。大部分は小賣取引は、且見本取引は行はれず。商品は賣上の百頭十錢なり。

全 羅 南 道

濟州 城市市場	光州 大市場	麗水 内市場	木浦 南市場	裡里 市場
公設 同	同	公設	公設	公設
同	二、七日	四、九日	每日	四、九日
四、五〇〇坪 冠物、布木、雜貨、雜品等 區劃を設く。	七、二〇〇坪 官有敷地に古より數人が店を設け又商人の占屋と露店あり。	二、一三〇坪 特記すべき設備なし。	一、一二四坪	九、一〇〇坪 各種商品を十種に區分し、全部強鈴葺店舗を長方形に建設す。
冠物、布木、雜貨、雜品、魚類、雜貨等	布木、米、穀、木竹、魚類、果菜等	米、穀	穀物、織物、鹽、乾魚、野菜、其他雜品	農産物、海産物、織物、木材、畜産類、鹽、果實等、打綿
一六四、一八四	三五四、二九二	七、〇〇〇	三、〇〇〇	三三六、三二八
五〇〇	一、〇〇〇	一、三〇〇	？	三、〇〇〇
略五里以内より出店又は買出に來る。	光州、潭陽、羅州、長城郡の商賣店、和順各郡の商賣店、附近住賣出店來る者常例とする。	出店者は十六七里より買出は五里以内より來場す。	府内商人は多く木浦織物高の如きは織物市場を巡廻小賣をなす府民及尙買手は府外者のみ。	汽車は二十哩、陸路は五里以内の者に利用さる。
卸賣、小賣並に行はれ、仲買を行ふものありなし	卸賣、小賣等のみ取引は行はれず、賣買主相談の上若干金を給付す。	卸小賣並び引はれ、見本取引はなし。	現金取引に目的とす。	卸賣、小賣、見本取引あり。商品は一分、半馬二分とす。
	一定の例規なく賣買主相談の上	海産物(文魚、海衣、甘藷類)は百分の三、生麻は百分の三、牛頭は百分の三、錢なり。	なし	

慶

慶州市場	同	東門市	大西門市	市場の取引
同 大市二、 七日市、 四、九日市	同 日、月、年、 迄三、十、 日一、日、一	同 四、九日	同 二、七日	
設備なし、坪 二、六、六一坪 海藻、魚類、牛、鳥 薪炭、果菜、鹽、 磁器、織物、紙、陶 等	種、兩、古、 店、側、區、 舗、又、側、 に、は、あ、 取、於、其、 引、他、藥、 、雜、貨、等、 織、物、 漢、藥、 、雜、貨、等、 、織、物、 農、產、物、 、雞、 、魚、	場、幅、三、六、 、下、の、十、 路、水、字、二、 、溝、形、間、 、あ、道、半、 、 、 、 、 、	建、下、四、間、 、揚、水、幅、の、 、屋、溝、半、 、を、附、通、路、 、設、六、及、至、 、坪、六、六、 、其、	
四、〇、七、七	四、〇、〇、〇	九、七、〇、〇〇	三、四、七、五、〇〇〇	
一、〇、〇〇〇 五、〇〇〇 店、面、慶、 。又、の、州、 は、買、出、に、 が、最、遠、隣、 出、に、各、	同	同	七、五〇〇 一、二〇〇 市、れ、内、大、 を、其、者、部、 巡、以、に、分、 廻、外、は、五、 行、利、里、 商、用、各、 し、	
引、の、卸、 な、小、賣、 し、も、共、 見、其、に、 本、本、行	引、の、生、 本、見、需、仲、 取、本、要、介、 引、取、者、人、 を、取、者、者、 旋、間、者、仲、 を、を、の、間、介、 行、本、取、の、取、人、	同	取、の、の、託、産、物、 引、に、手、直、地、は、に、 し、さ、手、手、を、仲、小、 多、る、に、渡、接、屋、間、 し、見、り、渡、小、の、水、 本、商、又、商、人、委、産、 、 、 、	四四〇
の、半、の、し、乃、穀、布、魚、 四、馬、も、て、至、物、木、類、 分、は、の、五、一、一、一、一、 と、取、な、五、錢、斗、足、負、 引、し、錢、以、に、に、 。價、以、内、四、五、五、 額、但、上、に、錢、錢、錢		同	馬、物、魚、 は、は、三、三、 三、分、分、 分、な、 な、 。半、 織	

金泉市場

同五、十日

坪一八、二〇〇
は上米及魚市場
は露店又は各
自の店にて行

穀物、獸、野菜、
雜貨、食料品、織
物、藥品等

六〇七、三〇〇

三六
五、〇〇〇
附近十里餘の
に出店又は買出
に來る。

牛馬は一頭は千圓以上、
其他の商物は千圓以内、
三分の十以内

義城
安溪市場

公設一、六日

三、三七七坪
店舖及露店を
設くるのみな

木綿、牛、大
麥、小麥

二六、六〇〇
自、〇〇〇
至九、〇〇〇

四、五十里四方
の物が出場す。

小賣のみにし
卸賣見本引
なし。

一般商品は直接
賣買は、馬は賣買も
半賣、馬は賣買の
額に對し、千分の六を徴す。

海産物は原産地をよ問屋委託
託の受り仲買人が
人を賣手に購て
小賣商に、粟、玄米、粃、見
本取引大豆、馬取
引穀引、現多、牛馬取
引仲介、買人、交
換取引、賣なし、標
縮糸布、商標
取見本、依りし
も、現盛、依りし
舖又は露店に
は、現品取引を
なすものは、多
卸筋見本の來
如く、文、其
先注、の、取
の、行、各
店舖の品は、買
引の品は、取

安東市場 公設 二、七日

洛面なるを以て面積不詳なり尙設備の如きはなし。
大豆、玄米、麥、粟、牛、馬、綿、麻布、木油、マツ、チ、鹽、棉花

二元、八元

内二千二百人自生賣り物他買ふものとする。
本市附近五、六里以內の者が來る店又は買出に來る見本取引をも御小賣を行ひる。徵收す。其他は

浦項市場 同 一、六日

浦項面南濱町一、一三、四坪埋立地に於て一定の區域内には開市するも目下木造並鉛葺場屋建築中なり。
穀物、海藻、魚、鳥、織物、果、蔬、菜、蘆、紙、薪、炭、蔴、唐、陶、磁器、瓦

五、八元

一、九元、一、五元
浦項面を中心として二里位の者に小賣のみを行ふ。品は圓、其他の商

慈慶仁市場 山私設 三、八日

三、五、八、五坪小屋掛店、舖、馬繫留杭、百本を設く。
穀物、魚介、果物、布、織物、塗器、鐵、炭、木物、鳥獸、雜薪

一四、八元

七元、三元、六元
六、七里以內より出店し、十里以內より買出に賣たり、重小賣なり、見本取引なし。鐵物百分の一、其他なし。

釜山 富平町市場 同 一月一日

一月一日を除き日没まで出より日す。坪の設備を有一坪。
白米、大豆、雜穀、鳥獸、果介類、鹽、織物、其他

一、八元、三、〇〇〇

二元、三
商人は店舖を常設し居り、購密し。見本取引なし。主に市内のものなり。

南 尚 慶

第三章 市場の取引

東萊市場	密陽市場	晋州市場	舊馬山市場	釜山市場
公設	公設	公設	同	同
二、七日	二、七日	二、七日	五、十日	毎日日出 より日没 まで
特に設備なし。	特別の設備なし。一、六七二坪	五、四八〇坪 常設店舗の建 坪は三百八十 七坪にして其 他設備なし。	坪數不詳なる も三間半中道 位延長二百間 以内外にして 設備なし。	二、一九九坪 事務所、瓦葺三 事務所、瓦葺三 倉八坪、牛糞 紫、杭七間、物 籐、八
米穀類、魚、海 菜類、牛、鳥、海 草、果、薪炭、籬 器、陶磁器、蘆 席、綢緞、荒布 木、日用蓄物	米穀類、牛、 鶏、魚、鹽、 陶磁器、雜品 薪炭、雜品	米穀類、魚、織 物、薪炭、竹 細工品、鶏、 豚、牛、冠物、 蔬菜、履物、 鹽	麻類、絹糸類、 魚類、其他日用 雜貨	生牛
一六、三〇〇	三九、五〇〇	三四七、一〇〇	四七、九二五	五六、四〇〇
四、〇〇〇	?	八、九〇〇	一五、〇〇〇	?
約二里以内の者 が出店又は買出 しに来る。	附近七里以内	普通五里以内位 の者に利用さ る。	出店者は七里以 内より、買出に 来るものは附近 三里内外あり來 集す。	出場商人は本道 慶北各地の西北 鮮各地のものに して買出に來る ものは二里以外 の農夫、屠牛者、 又は當時に於け り。移出牛商等な り。
小賣	全部小賣にし て、卸及見 本取引なし。	小賣人のみに して、卸賣、 見本取引等な し。	現金小賣の取 引なり。	見本取引は行 はれず。
牛一頭に付五十 錢以上なり。	半は賣買價額の 百分の一とす。	那畜産組合にて 生牛の仲介を行 ひ、賣買價額の 五分を徴し、一分 は地方費へ、一分 は仲介人たる 補助員に與ふる。	なし	生牛一頭に付賣 買者双方より各 五十錢の手數料 を徴收す。

市場の取引

海		道	
兼二浦市場	兼二浦市場 公設 五、十日	海州東門外 薪炭市場 公設 同	南本町市場 私設 毎日
各區劃を定め、橋杭を建て、上屋を設く。	二、六、九、二坪	八、一、八坪、周囲に木柵を建て、鐵條線を張る。	九、四、二坪、野菜館、生魚、何れも間口十間、奥圓排水、陶器、雞等、喰仰き。
農産物、水産物、雑品、畜産	一、三、四、克	薪炭、薬	三〇、六、五
附近四里以内の部落より出店し、小賣取引のみなし	二〇	附近四里以内の生産者需要者の直接取引なし	六
河東市場	河東市場 同	統營市場	統營市場 同 二、七日
三、四、七、九坪、店舖十棟、一〇間、建設あり。	三、四、七、九坪	餘上屋には間口を設置す。	一、〇、九、五坪
牛、米穀、魚類、海藻、織物	一、三、七、六〇〇	海産物、工産物、農産物	九、九、九、七
河東は船便、佳なるを以て、良里二十里の遠方より出場する者大部分を占む。	二、〇〇〇	郡内は勿論遠きは海路、十里より出場す。	一、〇〇〇
商賣より小賣に分給依る。取引なし。	五	舊慣に依る取引の外見本取し。	一、〇〇〇
魚類は百分の五、鹽は百分の二、半馬は百分の二	五	別手数料を徴せず	七
			附近約五里四方の鮮人を主たる顧客とす。
			現金小賣とす

沙里院市場 公設 五、十日

一、二、五〇〇
坪、西里魚藪
坪、七十一
に、屋敷を設
け、薪炭市場
八百七十坪
及、畜市、坪
千二百四十
坪には柵を設
備せり。

白米及雜穀

一、二九六、七四二

二、一〇〇
三、五〇〇

八、近及遠きは、
より賣買の爲め方
來市するものあり

總して小賣と
而見本を以穀類
は引取りする
時とあり

雜穀一石に十
錢付、一に十
錢付、三錢付、
頭付、三錢付、
馬、一に七錢、
馬、七錢、頭付
同額を徴す。

新幕市場 私設 一、六日

一、六、九八坪
從來より常
設店舖及露
店あり、但畜
牛四百頭を
容れ得る牛
欄、木繫牛杭
及構内に共同
便所を設置す。

農産物、薪炭、
水産物、織物、
畜類、蔬菜、
金物雜貨等

三六、五七

三九
一、五〇〇

附近七里位より
出店又は買用に
來る。

卸賣を主とし
引小賣あり。見本取

商品に付ては、
分付、付ては百
圓に成、牛馬に
付、三錢、一に
付、三錢、一に
仔牛、十錢、頭
仔、三錢、頭

平壤市場 公設

三大節及
毎月十六日
毎日を除き

二、〇七一坪

穀類、肉類、
海産物、食料、
雜貨、日用雜
貨、陶磁器、雜
貨、織物等

五四、七二

三〇

主として所在
附近の者には
一、六日、本
一、六日、本
壤府附近郡
部、田舎より
來場取引を行

現金小賣

商品に依りて
定價するも、
定むるに依り
二割以内なり。

平壤市場 公設 一、六日

牛、豚、

四三、三五八

三〇

出場の九割は
大同郡より其
平壤、順川、
面より來り、
買方

仲介人の斡旋
に其價額を
評定して、取

每頭成牛は十
錢、成豚は四
錢、成豚は十
錢、成豚は十
錢、成豚は十

安 南 道

市場の取引

<p>鎮南浦 龍井里市場 公設 一、四、七日 二、〇〇〇坪 家屋三十坪の 設備あり。 穀類、野菜、 水産物、織物、 畜類</p>	<p>中和邑市場 同 三、八日 一、五〇〇坪 大麥、小麥、牛</p>	<p>安廬市場 同 四、九日 三、〇〇〇坪 設備なし。 穀物、絹布</p>	<p>義州 梧木市場 私設 一、六日 三、二九七坪 米穀市場には 上屋の設けあ り。 白米、大豆、 小豆、粟、稗、 玉蜀黍、半、 豚、其他</p>
<p>府内商 二 郡部商 二、〇〇〇</p>	<p>一五〇、七三 三、三〇〇</p>	<p>一、一〇一、八五 三、五〇〇</p>	<p>四五、七五 二〇〇 五七</p>
<p>市場附近約三里</p>	<p>中和全部、古 生陽、東頭、新 興、庚井、各面、 大興、龍淵、各 里、清州、各郡 等より出場です。</p>	<p>附近五、六里 の所に六里位 に買出に來る。</p>	<p>市場廻商人及 州、里内兩面 住者に限られ遠 出は八里に及 くは八里に及 古寧朔、古城、 水鎮、古所、 元州内及至</p>
<p>需給者の直接 取引、小賣 賣、見本取引 何れも行は る。</p>	<p>毎市日に相互 賣買し、卸賣 又は見本取引 なし。</p>	<p>卸賣小賣並に 見本取引を行 ふ。</p>	<p>卸小賣にして 見本取引なし</p>
<p>なし</p>	<p>半一頭に付七 錢を徴收す。</p>	<p>絹、布、一尺に 錢六十、馬、付 商付六、十、其 の品は取引に を分取引に仲介 行ふ。</p>	<p>取引額の百分 一乃至三とす。</p>

?

出し商人中
黄海道の人
釜山の輸移
商人あり。出
牛

徴す。

北		安			平	
定州市場	同	定州市場	泰川市場	南龜城	替馬市場	
同	三、八日	公設	市場 設は公	私設	公設	
		一、六日	三、八日	五、十日	二、七日	
三、四六二坪 商品陳列場に して種数を區別 して標木を建 て牛市場には木 柵を施せ		二五、〇〇〇 坪、特に施設 せず。	普通市場は二 千五百坪あり、 り、設備なし、 牛市場は一千 坪ありて、柵 木及金網を施 す。	水産市場、布 木及雜貨市場 木炭市場等區 域を定む。	九、二〇〇坪 何等設備なし。 滿州粟、食鹽、 網、布、木、 家畜、家禽	
米穀、牛、鎗器 木炭、雜貨		米、玉蜀黍、 雜貨、布木	米、大豆、明 綳、綿布、綢 牛	家畜、農産物、 水産物、木炭		
五、三元		二、九元	一、五、二七三	一、〇〇九、六五	二〇、二八	
七五	六	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三五	
者市場四里附近 者來場す。		釜山、博川、平壤、 仁川方面よりある。	附近五里四方より 出店し、買出 りしは右の外安 州、博川、平壤、 釜山、仁川方面 よりある。	隣郡博川、昌城、 朔州方面約六里 位より出店し、 又は買出に來る	附近西南方面より 北方面よりは東 北方面よりは七 里位の者出場 す。	
小賣、卸賣		見本取引あり及	見本取引なし	方面又は宜川 を移入し、物品 を小賣す。	卸賣、小賣	
成牛一頭に付三 十錢、牛鬣一頭に 付十五錢、其他 商品には錢仲介人		馬、每頭四十五 錢、牛、每頭五十 錢、仔牛、每頭十 五錢、其他商品には 錢を徴し	商品は百分の 五錢なり。頭四十	平壤又は宜川 方面より物品 を移入し、物品 を小賣す。	牛一頭に付三 十錢にして其 他商品にはなし	

第三章 市場の取引

市場の取引

道

江界市場 同 二、七日

五、〇〇〇坪
設備なし。

雑貨、雜穀

二六、六五五

至

他より來り出店
するものなき
も、買出に來る
ものは十里内外
に及ぶ。

御小賣を行ひ
見本取引なし。

商品は百分の
五、牛馬は毎頭
四十錢

博川市場 同 五、十日

五五五坪
設備なし。

岩巾、飾類、
牛皮、大豆、
魚類、籠、裝
飾品

七六、三五四

三、五〇〇

附近のもの为主
として五里以上
の居住者も來場
す。

同

織物二分、海
藻五分、牛一頭
に付四十五錢、
馬一頭に付三十
錢

宣川市場 公設 三、八日

一〇〇〇、〇〇〇坪
常設店舗及露
店なり。

穀物、布類、
魚類、昆布、
木炭、皮類、
酒類、雜貨等

一、六四六、三〇〇

三、七〇〇

五里位の者が出
場し露店は主に
負解商なり。

穀物類には見
本取引あり、
御賣は大部分
懸賣にして、取
引のみなり。

穀類は一石に付
十錢、牛馬は一
頭に付六十錢宛
を徴收す。

春川邑市場 公設 二、七日

三、〇〇〇坪
特に設備なし。

米穀、海産物、
薪炭

三、九三三

二〇〇

本市より七、八
里近くの者出
す。又は買出に集合
す。

小賣

なし

江

洪川市場 公設 一、六日

面積なきも牛
二坪あり。特
に設備なし。

穀類、牛、水
産物、布帛、
雜貨

三五、六八

至

邑内津里、新陽
岱里、希望の者
出店し、買出に
來る者は東、南
北方、化村の各
面よりの者あり。

殆ど小賣のみ
にして、見本
取引なし。

牛は賣買上に対
し百圓に付八十
錢の手數料を收
め其他はなし。

平康 邑内市場 公設 五、十日

普通市は七百
坪、牛市は千二
百六十六坪あ
り。別に設備
なし。

牛、根炭、薪

七〇、七九

三〇〇

本市附近三里
外より出場す

全部小賣にし
て、見本取引
は行はず。

總賣買高の一割
徴收す。

道

恵山鎮市場 同、二、七日

二、一三〇坪
普通市場には牛を繋留す。

魚、鹽、織物、牛等

六三、一六二

五〇 七

三里以内より出店又は買出に來る。

卸賣、小賣

織物は賣上高一圓に付二圓成牛頭は付一圓なり

羅南牛市場 私設

二、七日

三、八〇〇坪
杭木を以て牛馬の繋留場の設備とす

牛

二六、三五

仲介人

附近二里位の部落より出店し、需要者は面民一般なり。

小賣現金取引

賣買は二十圓以上一圓に付一圓未滿十錢にし、十錢は毎件一圓と交換す。

咸

城津 公設市場

公設 毎日出より日没まで

一、〇〇〇坪
本市は設置日尙淺く上屋八間及四坪、井戸八間、便所等の設備あるも目下増築準備中なり。

魚類、野菜、薪炭、雜貨

一日平均二百五十圓

三〇 二〇

出店者は面内及本市附近一里以内より買出に來集す。

小賣

なし

鏡

北

吉州邑市場 公設

一、六日

九、〇〇〇坪
城内は牛市に於いて周圍東北南三面は、民家商店、飲食店等あり、西一面は河川に

牛、馬、麻布、穀類、蔬菜、水産物等

六七、五五

八〇 二〇

附近三里位より出場の多き季節には郡内八、九里、遠きは道外より出場する者などあり。

卸賣、小賣に於いて見本取引の多し。

生牛取引には指定仲介あり、成牛一頭に付十五錢、牛一頭に付十錢、牛一頭に付五錢の媒介料を徴す。

第三章 市場の取引

道

會寧市場	同	毎日午前六時より午後七時迄	堤防を以て界するのみにして、域外も域内も何等の設備なし。	薪、穀稈	二七、八〇	四二	五里以内位の者買出に來る。	現金を以て取引し、買受人指定の場所にて運搬す。	なし
------	---	---------------	------------------------------	------	-------	----	---------------	-------------------------	----

備考 一、賣上高は大正十二年中一箇年分のもとなす。

一、本表中出場商人等の購客數より多きものあるは、特に物々交換の爲來場せる者をも商人數に加へたものあるに因る。

朝鮮に於ける主要市場の取引狀況は略ぼ右の通りであるが、勿論地方に依りて市場の慣習等に多少の相違あるは免れないことである。尙ほ參考の爲めに、各道市場分布表、及び市場統計累年表、並に魚市場統計表を左に掲記して置くこととした。

各道市場分布表

(大正十二年十二月末現在)

府郡名	市場名	位置	公私設別	種別	開市日
京城府	南大門市場	南米倉町二八二	私設	市場規則第一號	毎日
	東大門市場	禮智洞四	同	同	同
	南米倉町市場	南米倉町二八二	同	同	同
	合名會社京城食糧品市場	旭町一丁目	同	同	同
	京城魚市場	明治町二丁目	同	同	同
	京城日の丸水産株式會社	旭町一丁目	同	同	同
	龍山水産株式會社	漢江通一三番地	同	同	同
	株式會社京城株式會社	黃金町二、一九八	同	同	同
	現物取引市場	南大門通四ノ七六	同	同	同
	京城穀物商組合市場	南大門通四ノ七六	同	同	同
	敦義洞公設柴炭市場	敦義洞一〇三	公設	同	同
	安國洞公設柴炭市場	安國洞二七	同	同	同
	竹添町公設柴炭蔬菜市場	竹添町二、一六〇、四	公設	同	同
	明治町公設市場	明治町二ノ二五	同	同	同
花園町公設市場	花園町一〇七	同	同	同	
鍾路公設市場	堅志洞一一〇	同	同	同	
京城府家畜市場	崇仁洞二四二四	同	同	同	

第三章 市場の取引

市場の取引

連川郡	楊州郡			廣州郡				高陽郡	仁川府	東大門公設柴炭蔬菜市場	臨時公設蔬菜市場									
笠	貴	朔	三	車	平	楸	東	議	昆	盆	山	老	牛	松	京	東	一	仁川水産株式會社	鍾麟路五、四	
岩	存	寧	串	灘	邱	橋	豆	政	池	唐	城	谷	川	坡	安	慕	山	支那那町	瑞麟洞二六	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	公設	私設	
南	西	北	中	郡	漢	廣	伊	柴	實	突	中	都	南	中	慶	龍	中	支	瑞	
面	南	面	面	內	金	積	淡	屯	村	馬	部	尺	終	垓	安	江	面	面	麟	
湘	貴	朔	三	車	三	佳	東	議	昆	盆	山	老	牛	松	慶	面	一	那	洞	
水	存	寧	串	灘	牌	納	豆	政府	池	唐	城	谷	川	坡	安	東	山	町	二	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	六	四
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一	三	同
																		號	號	同
一・六日	三・八日	五・十日	四・九日	一・六日	一・六日	四・九日	五・十日	三・八日	三・八日	二・七日	四・九日	三・八日	四・九日	五・十日	三・八日	本年中は休止の状態なり	五・十日	每	大正十二年十一月十日許可 存立四十日間	同

第三章 市場の取引

	利川郡		驪州郡		楊平郡		加平郡		抱川郡													
	長	午	玄	利	梨	邑	龍	曲	邑	縣	邑	梁	邑	新	雲	下	上	全	斗	麻	邑	
湖															松	松						
市場	川	方	川	浦	内	頭	水	内	里	内	文	内	邑	潭			谷	日	田	内		
院															隅	隅						
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
の																						
取	清	麻	栢	邑	金	州	青	砥	葛	下	郡	同	永	西	一	同	蘇	嶺	百	帽	積	
引	溪	長	沙	内	沙	内	雲	堤	山	内	内	面	中	面	東	面	屹	斤	鶴	山	城	
	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
	長	午	玄	官	梨	弘	龍	曲	楊	縣	邑	梁	永	新	禾	同	松	全	斗	麻	邑	
	湖	川	方	庫	浦	門	頭	水	根	里	内	文	平	邑	垈	隅	隅	谷	日	田	内	
	院	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	
	里																					
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
	四	三	三	二	一	五	二	四	三	二	四	三	八	一	二	四	九	四	五	三	四	
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
	九	八	八	七	六	十	七	九	八	七	九	十	十	六	七	十	十	九	十	八	九	
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	

始興郡			水原郡					振威郡			安城郡		龍仁郡			市場の取引				
軍	三	蠶	永	烏	發	新	南	半	同	水	安	西	平	竹	注		安	豐	白	金
巨	登	浦	山	安	基	陽	月	同	城	仲	井	澤	邑	川	城	德	岩	良		
浦	室	浦	山	安	基	陽	月	同	城	仲	井	澤	邑	川	城	德	岩	良		
里	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
西	秀	新	永	城	鄉	松	陰	半	同	水	梧	松	丙	二	一	邑	水	外	水	
二	岩	東	登	湖	南	山	德	月	同	原	城	炭	南	竹	竹	內	枝	四	餘	
面	面	面	浦	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
虎	陵	蠶	永	烏	發	沙	南	入	山	北	安	西	平	竹	注	場	豐	白	金	
溪	谷	室	登	山	安	江	陽	谷	樓	水	仲	井	澤	山	川	基	德	岩	良	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五	五	二	三	三	五	二	三	一	四	九	一	二	五	一	三	二	休	一	五	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	止	・	・	
十	十	七	八	八	十	日	八	六	日	日	六	七	十	六	八	七		六	十	
日	日	日	日	日	日		日	日			日	日	日	日	日			日	日	

第三章
市場の取引

			長湍郡				坡州郡				江華郡		金浦郡		富川郡					
			渭川	杀谷	九化	高浪	邑内	訥老	金村	挿橋	奉日	汶山	吉祥	江華	麻谷	吾羅	郡下	邑内	黃蛇	
薪炭市	都橋市	兩城市	渭川市	杀谷市	九化市	高浪市	邑内市	訥老市	金村市	挿橋市	奉日市	汶山市	吉祥市	江華市	麻谷市	吾羅市	郡下市	邑内市	黃蛇市	
高麗、大平、元、京、宮五町	同	松都面	大南面	津南面	江上面	長南面	郡内面	坡平面	衙洞面	青石面	條里面	臨津面	吉祥面	府内面	霞城面	陽村面	月串面	郡内面	桂陽面	蘇來面
南本町	大和町	渭川里	東上里	九化里	高浪浦里	邑内里	訥老里	金村里	東牌里	奉日川里	汶山里	溫水里	官廳新門	麻谷里	陽谷里	郡下里	北邊里	場基里	新川里	
公設	同	私設	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

四五七

同 同 每 五 四 一 二 三 休 二 一 二 五 四 二 五 二 一 四 三 一
 日 日 日 日 日 日 日 日 止 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
 日

沃川郡			報恩郡			清州郡			郡名			開城郡			市場の取引					
青	伊	沃	懷	元	官	報	梧	屏	文	米	内	芙	清	市		兩	板	邑	蟹	十
山	院	川	仁	南	基	恩	根	岩	義	院	秀	江	州	場	合	橋	牛	岩	橋	牛
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
青	伊	沃	懷	三	馬	報	梧	加	文	米	北	芙	清	位	嶺	東	大	興	同	同
山	伊	沃	北	竹	老	恩	倉	德	義	院	一	蓉	州	北	北	聖	聖	教	太	太
面	南	川	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	道	面	面	面	面	平	平
芝	乾	伊	中	元	官	邑	場	屏	文	米	内	芙	市	置	吉	鉢	豐	仕	谷	谷
田	株	香、	央	南	基	垓	里	山	山	院	秀	江	場	置	水	松	德	谷	里	里
里	里	下	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	町	置	里	里	里	里	里	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二・七日	五・十日	二・七日	四・九日	一・六日	四・九日	五・十日	三・八日	三・八日	一・六日	四・九日	四・九日	五・十日	二・七日	開	四・九日	十二年十月四日廢止	三・八日	二・七日	五・十日	四五八
														市						
														日						

第三章
市場の取引

陰城郡			槐山郡					鎮川郡		永同郡												
程	甫	旺	無	漢	邑	潘	清	青	延	水	光	槐	閑	廣	邑	深	陽	馬	黃	龍	永	
川	川	場	極	川	内	灘	安	川	豐	回	田	山	川	内	川	山	岩	澗	山	同		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
孟	遠	甘	金	蘇	陰	會	清	青	延	上	日	槐	德	萬	鎮	深	陽	黃	黃	龍	永	
洞	南	谷	旺	伊	城	坪	安	川	豐	笔	勿	山	山	竹	川	川	山	金	澗	山	同	
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
雙	甫	旺	無	中	邑	會	邑	青	三	水	光	邑	閑	廣	邑	深	松	秋	南	龍	稽	
呈	川	場	極	洞	内	坪	内	川	豐	回	田	内	川	惠	内	川	湖	風	城	山	山	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	嶺	里	里	里	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

四五九

五・十日	五・十日	五・十日	一・六日	一・六日	二・七日	一・六日	四・九日	一・六日	二・七日	一・六日	二・七日	三・八日	四・九日	三・八日	五・十日	三・八日	三・八日	三・八日	二・七日	五・十日	四・九日
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

十二年十二月十一日許可三・八日

丹陽郡			堤川郡					忠州郡									
梅	永	丹	平	寒	德	水	清	堤	新	牧	内	龍	泉	立	龍	大	忠

市場の取引

忠清南道

浦	春	陽	洞	泉	山	山	風	川	堂	溪	倉	堂	浦	場	院	州
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市

梅	永	丹	白	寒	德	水	清	堤	沙	同	巖	同	仰	老	薪	利	忠
浦	春	陽	雲	水	山	山	風	川	味	面	政	面	城	隱	尼	柳	州
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
梅	上	下	平	寒	道	水	邑	邑	新	牧	美	龍	江	蓮	龍	大	忠
浦	坊	坊	洞	泉	田	山	内	部	堂	溪	内	浦	泉	河	院	召	州
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	邑

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五・十日	四・九日	一・六日	三・八日	一・六日	四・九日	五・十日	四・九日	二・七日	休 止	二・七日	三・八日	二・七日	一・六日	三・八日	一・六日	四・九日	五・十日
------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------

四六〇

第三章 市場の取引

大田郡			燕岐郡						公州郡					郡名							
新	黒	儒	新	大	大	小	東	太	燕	鳥	鳥	維	新	虎	廣	大	敬	利	邑	市	
			灘	田		井			平		致										
下	石	城	津	魚	田	里			部	里	院		鳩	下	溪	亭	橋	天	仁	内	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	場
東	杞	儒	北	同	大	同	全	錦	南	同	鳥	新	新	寺	正	長	鷄	木	公	位	
面	城	城	面	面	田	面	義	南	面	面	致	上	下	谷	安	岐	龍	洞	州	面	
新	黒	場	石	同	本	小	邑	太	燕	同	鳥	石	山	虎	廣	大	敬		本	置	
下	石	袋	峰	町	井	里	内	平	岐	里	致	南	亭	溪	亭	橋	天		町		
里	里	里	里		里		里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里				
同	同	同	公	同	私	同	公	私	公	私	公	私	同	同	同	同	同	公	私	公	
			設		設		設	設	設	設	設	設						設	設	設	
同	同	同	第一	第三	同	同	同	同	第一	第三	同	同	同	同	同	同	同	同	第一	種	
			號	號					號	號									號	別	
五・十日	四・九日	五・十日	三・八日	每日一回乃至二回	一・六日	五・十日	二・七日	二・七日	三・八日	每 日	四・九日	三・八日	四・九日	二・七日	五・十日	三・八日	二・七日	五・十日	一・六日	開	
																					市
																					日

舒川郡				扶餘郡				論山郡				市場の取引								
大庇板新吉邑林	笠	鴻	恩	旺	邑	江	江	斗	仁	新	豆		連	論	嶺					
川	仁	橋	場	山	内	川	浦	山	山	津	内	魚	景	江	川	溪	山	山	嶺	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
大川面	庇仁面	東山面	馬山面	同	舒川面	林川面	良化面	鴻山面	恩山面	同	扶餘面	同	江景面	九子谷面	陽村面	同	豆磨面	連山面	論山面	嶺面
大川里	城内里	板橋里	新場里	三山里	郡司里	郡司里	笠浦里	鴻山里	恩山里	楮石里	官北里	同	同	斗江里	仁川里	新都内里	豆溪里	同	同	内洞里
私設	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公設	同	同	同	私設	公設	私設	同	同	同	同
第一號	同	同	同	同	同	同	同	同	同	第一號	第三號	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三・八日	二・八日	五・十日	三・八日	四・九日	二・七日	五・十日	四・九日	二・七日	一・六日	四・九日	五・十日	隨時	四・九日	五・十日	二・七日	四・九日	一・六日	五・十日	三・八日	二・七日

牙山郡			唐津郡					瑞山郡					市場の取引									
新	仙	牙	屯	温	温	機	南	泛	汚	三	邑	蒲		大	聖	天	全	海	泰	瑞	大	
昌	掌	山	浦	泉	陽	池	院	川	川	巨	内	地	山	淵	宜	美	美	安	山	川		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
新	仙	靈	屯	同	温	松	泛	合	汚	高	唐	梨	大	聖	貞	雲	海	泰	瑞	古		
昌	掌	仁	浦	温	陽	嶽	川	德	川	大	津	北	山	淵	美	山	美	安	山	德		
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
邑	君	牙	屯	温	邑	機	富	雲	城	龍	邑	蒲	大	坪	天	龍	邑	門	邑	大		
内	德	山	浦	泉	内	池	長	山	土	頭	内	地	山	里	宜	獐	内	東	内	川		
里	里	里	里	里	里	市	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	私	公	私	同		
																設	設	設	設			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
二・七日	四・九日	三・八日	二・七日	四・九日	一・六日	一・六・三・八日	四・九日	二・七日	二・七日	二・七日	五・十日	休 止	五・十日	三・八日	四・九日	一・六日	五・十日	三・八日	二・七日	三・八日		

第三章 市場の取引

全州郡		群山府				府郡名	天安郡												
花坪市	高山市	鳳翔市	參禮市	東山市	全州公設市場	全州市場	群山公設市場	食糧品市場	群山穀物商組合市場	群山魚市場	群山市場	市市場	天安市場	笠場市	並川市	成歡市	豐西市	曲橋市	新虎院市
華山面花坪里	高山面邑内里	鳳東面場基里	三禮面三禮里	助村面東山里	同大正町三丁目	全州面大和町	明治町通り	蘆町二八	本町二六	西濱町二	藏財洞榮町	位置	天安面邑内里	笠場面下場里	葛田面並川里	成歡面成歡里	豐歲面豐西里	鹽時面曲橋里	道高面彌山里
公設	私設	同	同	同	同	同	同	公設	私設	同	公設	公私設別	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	第一號	第二號	第一號	同	第二號	第四號	第三號	第一號	種別	同	同	同	同	同	同	同
三・八日	四・九日	五・十日	三・八日	一・六日	十二・四・十六より開市毎日	二・七日	毎日・月末・祭日は休	毎日一回	毎日・年末年首日曜祭日は休	毎日二回	一・六日	開市日	三・八日	四・九日	一・六日	一・六日	四・九日	十二年十二月二十日廢止	三・八日

南原郡			任實郡				長水郡			茂朱郡		錦山郡		鎮安郡		市場の取引					
魏	引	南	葛	館	阿	葵	任	長	魯	相	長	安	茂	茂	秋		珍	錦	銅	龍	鎮
井	月		潭	村	山	樹	實	溪	境	花	水	城	豐	朱	富	山	山	鄉	潭	安	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
金池面	東原面	南原面	江津面	烏川面	三溪面	屯南面	任實面	溪内面	播岩面	山西面	長水面	安城面	茂豐面	茂朱面	秋富面	珍山面	錦山面	銅鄉面	龍潭面	鎮安面	
魏井里	引月里	川渠里	葛潭里	仙川里	後川里	葵樹里	肥二通里	長溪里	魯壇里	相花里	長水里	場基里	縣內里	邑內里	馬田里	邑內里	中島里	大良里	壽川里	郡上里	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五・十日	三・八日	四・九日	二・七日	五・十日	三・八日	五・十日	一・六日	一・六日	一・六日	三・八日	五・十日	五・十日	三・八日	一・六日	五・十日	一・六日	二・七日	三・八日	四・九日	四・九日	四六六
																	二・七日				八月十二日七回開市

第三章
市場の取引

金堤郡	扶安郡			高敞郡					井邑郡			淳昌郡								
金堤	院坪	萬頃	扶寧	扶寧	茁浦	茂長	卵山	介甲	安子	四互	高敞	井邑	古阜	上三	禾湖	古龍	泰仁	淳昌	雲峰	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
堯村	院坪	萬頃	同	東中	茁浦	同	同	同	同	同	邑內	市基	古阜	新泰仁	禾湖	詩山	東谷	泰仁	南溪	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
二・七日	四・九日	四・九日	四・九日	二・七日	三・八日	五・十日	五・十日	五・十日	四・九日	二・七日	三・八日	二・七日	一・六日	三・八日	一・六日	三・八日	一・六日	五・十日	一・六日	五・十日

光州郡		木浦府			府郡島名	益山郡					沃清郡		市場の取引						
飛松	光州	光州	南橋	大橋	穀物	旭魚	熊浦	金山	礪山	咸悅	木川	黃登		裡境	地境	臨坡	才南	竹山	
市	市	市	市場	市場	市場	市場	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
飛松	同	同	同	同	同	同	熊浦	金山	礪山	咸悅	五山	黃登	益山	大野	臨坡	龍池	竹山	竹山	
面	面	面	洞	洞	洞	洞	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					公設	私設													
同	同	同	同	同	第一號	第四號	第三號	種別	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一・六日	三・五・八・十日	四・九日	二・七日	二日	七日	同日	每日	開市日	一・六日	二・七日	一・六日	二・七日	一・六日	五・十日	四・九日	二・六日十二・八・廿六日新設	三・八日	三・八日	五・十日

寶城郡										高興郡				順天郡				市場の取引			
和熊會鳥長筏海福牛東	羅加油過高	邑中洛槐廣順																			
順	順	順	順	順	順	順	順	順	順	老	禾	范	驛	興	內	興	水	木	川	天	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
和	熊	會	鳥	同	筏	得	福	同	寶	蓬	道	東	南	高	樂	海	松	黃	佳	順	
順	峙	寧	城		橋	糧	內		城	萊	化	江		興	安	龍	光	田	岩	天	
面	面	面	面		面	面	面		面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三・八日	三・八日	四・九日	三・八日	九ノ日	四ノ日	一・六日	四・九日	二ノ日	七ノ日	新設せしも未開市なり	三・八日	一・六日	五・十日	四・九日	三・八日	四・九日	一・六日	四・九日	三・八日	二・七日	四七〇

第三章
市場
の
取
引

康津郡			長興郡					和順郡					
佐松邑	兵石道	七舟月	社海大	竹邑院	綾龍梨	沙同石							
田旨内	營梯岩	良橋川	倉倉德	川内村	州江陽	坪禰湫							
市市市	市市市	市市市	市市市	市市市	市市市	市市市							
北松海	古城道	七康有	長安大	古長外	綾道道	外同二							
平旨南	郡田岩	良津治	平良德	邑興北	州岩林	南福西							
面面面	面面面	面面面	面面面	面面面	面面面	面面面							
同同同	同同同	同同同	同同同	同同同	同同同	同同同							
同同同	同同同	同同同	同同同	同同同	同同同	同同同							

四七一

三・八日
五・十日
一・六日
三・八日
一・六日
五・十日
一・六日
四・九日
五・十日
一・六日
五・十日
五・十日
三・八日
二・七日
休 止
五・十日
二・七日
四・九日
五・十日
二・七日
四・九日

羅州郡			務安郡			靈岩郡				海南郡		市場の取引									
三	佳	南	望	務	三	轅	牙	都	灰	火	德		東	右	南	七	二				
道	洞	昌	南	倉	山	州	雲	安	郷	川	川	浦	洞	院	津	外	水	利	日	日	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
三	多	公	潘	組	榮	羅	望	外	一	昆	昆	北	始	新	北	靈	門	黃	馬	玉	
道	侍	山	南	枝	山	州	雲	邑	老	二	一	一	終	北	一	岩	內	山	山	泉	
										終	終	終		始							
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
五・十日	三・八日	二・七日	四・九日	三・八日	五・十日	二・七日	一月六日	四・九日	一・六日	四・九日	三・八日	二・七日	三・八日	一・六日	三・八日	五・十日	四・九日	三・八日	七ノ日	二ノ日	

第三章
市場の取引

珍島郡	莞島郡		長城郡					靈光郡		咸平郡		大南									
五邑	大	大	郡	藥	四	新	月	社	壽	立	法	浦	靈	蟬	沙	羅	邑	大	南		
日	內	山	平	內	水	街	興	坪	倉	山	石	聖	川	光	峙	川	山	前	草	平	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
古	珍	郡	古	莞	北	北	北	黃	森	長	佛	法	郡	靈	海	新	平	咸	茶	南	
郡	島	外	今	島	下	二	一	龍	溪	城	甲	聖	南	光	保	光	陵	平	道	平	
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
四 七 三	五 ノ 日	二 ・ 七 日	九 ノ 日	四 ・ 九 日	休 止	一 ・ 六 日	一 ・ 六 日	五 ・ 十 日	四 ・ 九 日	五 ・ 十 日	二 ・ 七 日	四 ・ 九 日 (十二・三・廿日新設)	三 ・ 八 日	二 月 七 日	一 ・ 六 日	三 ・ 八 日	五 ・ 十 日	四 ・ 九 日	二 ・ 七 日	三 ・ 八 日	一 ・ 六 日

第三章
市場の取引

安東郡										義城郡				軍威郡						
邑	禮	九	山	雲	豊	瓮	鞭	邑	深	安	邑	桃	歸	泥	邑	山	義	鶴	新	孝
内	安	潭	下	山	山	津	巷	内	川	溪	上	李	川	方	内	城	興	城	院	令
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
青松面	禮安面	豊西面	吉安面	一直面	豊山面	北後面	臨東面	安東面	多仁面	安溪面	比安面	鳳陽面	佳音面	點谷面	義城面	山城面	義興面	古老面	缶溪面	孝令面
月幕洞	西部洞	九潭洞	泉旨洞	雲山洞	下里洞	場基洞	中平洞	東部洞	西陵洞	龍基洞	東部洞	花田洞	佳	西邊洞	嶽竹洞	花本洞	邑内洞	鶴城洞	昌平洞	中九洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四・九五	一・六日	四・九日	五・十日	一・六日	二・八日	三・九日	五・十日	二・七日	四・九日	一・六日	五・十日	四・九日	三・八日	五・十日	二・七日	一・六日	五・十日	一・六日	四・九日	三・八日

(九尾市を雲山
市と改名)

市場の取引

盈德郡			英陽郡			青松郡																
都	扶	延	浦	餘	柄	寧	長	江	邑	院	發	唐	新	邑	眞	火	和	川	大	梨		
邱	助	日	項	川	谷	海	沙	口	内	里	里	洞	卯	内	寶	峴	睦	邊	前	田		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
東	同	延	同	浦	柄	寧	南	同	盈	石	看	青	立	英	眞	安	縣	縣	府	府		
海	日	日	項	項	谷	海	亭	德	德	保	比	杞	岩	陽	寶	德	西	東	南	東		
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
都	中	生	同	浦	柄	城	長	江	南	院	發	唐	山	西	眞	長	九	通	大	梨		
邱	明	旨	洞	項	谷	内	沙	口	石	里	里	洞	海	部	安	田	山	坪	前	田		
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
二・七日	十ノ日	三・八日	四・九日	一・六日	一・六日	二・七日	四・九日	三・八日	二・七日	三・八日	三・八日	五・十日	五・十日	四・九日	四・九日	休	一・六日	五・十日	三・八日	三・八日	三・八日	
																止(二・七日)						

第三章
市場の取引

慶州郡													迎日郡							
東	安	扶	阿	乾	義	龍	八	下	魚	進	邑	曲	清	下	藥	立	杞	玉	興	外
山	康	助	火	川	谷	山	寶	西	日	峴	内	江	河	城	田	岩	溪	里	海	洞
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
江西面	江東面	同	西面	山内面	内南面	外東面	陽南面	陽北面	内東面	慶州面	曲江面	清河面	長鬢面	滄州面	竹南面	杞溪面	同	興海面	松羅面	
安康里	菊堂里	阿火里	乾川里	義谷里	伊助里	八寶里	下西里	魚日里	馬洞里	東部里	興安洞	德城里	邑内里	納臺里	立岩里	縣内洞	玉城洞	城内洞	下松洞	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
一・六日	四・九日	五・九日	一・六日	五・十日	三・八日	五・十日	三・八日	四・九日	五・十日	四・九日	大二・七日 小四・九日	五・十日	一・六日	一・六日	三・八日	三・八日	一・六日	四・九日	二・七日	三・八日

清道郡 慶山郡 永川郡

大榆大陽新省華堂慈河半慶琴大北古杏慈市新邑

夜
日

市場の取引

川川城院 峴陽里伏陽山湖昌安村花川基寧内
市市市市市市市市市市市市市市市市市市市

雲門面 大城面 伊西面 豐角面 同松西面 華陽面 龍城面 慈仁面 河陽面 安心面 慶山面 琴湖面 大昌面 北安面 古村面 臨臯面 新村面 知谷面 新寧面 永川面
大川洞 榆湖洞 高樹洞 陽院洞 松金洞 東上洞 西里洞 西部洞 琴樂洞 栗下洞 鍾泉洞 冷泉洞 井浦洞 柯樹洞 平泉洞 慈川洞 三昌洞 花城洞 倉邱洞

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五・十日 三・八日 四・九日 三・八日 一・六日 二・七日 五・十日 一・六日 三・八日 四・九日 一・六日 五・十日 三・八日 一・六日 四・九日 一・六日 八月十四日 十二月三十日 兩日 四・九日 五・十日 三・八日 二・七日

四七八

第三章
市場の取引

金泉郡				漆谷郡				星州郡			高靈郡										
館	梨	校	金	多	若	仁	臺	漆	新	倭	大	倉	葛	院	邑	得	邑	東	薪	新	
基	川	里	泉	富	木	同	峰	谷	洞	館	馬	泉	又	内	成	内	倉	旨	基		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
大德面	谷松面	知禮面	金泉面	架山面	若木面	仁同面	東明面	漆谷面	枝川面	倭館面	草田面	伽泉面	志士面	龍頭面	星州面	星山面	高靈面	梅田面	錦川面	同	
館基里	台村里	校里	旭町・本町	多富洞	福星洞	仁義洞	錦岩洞	邑内洞	新洞	倭館洞	大樟洞	倉泉洞	修偏洞	龍亭洞	京山洞	得成洞	軒門快賓古掛洞	東山洞	薪旨洞	芝村洞	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三・八日	三・八日	四・九日	五・十日	休 止	三・八日	内外四・九外市二・七日	四・九日	一・六日	四・九日	一・六日	四・九日	一・六日	三・八日	三・八日	二・七日	三・八日	四・九日	一・六日	一・六日	四・九日	

開慶郡										尙州郡					善山郡				大新邑	市場の取引
醴	幽	葛	旺	赤	籠	山	邑	咸	化	牟	切	洛	新	尙	龜	長	海	桃		
泉	谷	坪	陵	城	岩	陽	内	昌	寧	東	城	東	岩	州	尾	川	平	開	山	新
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
醴泉面	戶西南面	身北面	加恩面	東魯面	籠岩面	山陽面	開慶面	咸昌面	化西面	牟東面	切城面	洛東面	中東面	尙州面	龜尾面	長川面	海平面	桃開面	善山面	牙浦面
南本洞	幽谷里	葛坪里	旺陵里	東城里	籠岩里	仙岩里	下里	舊鄉里	新鳳里	龍湖里	玉山洞	洛東里	新岩里	南町城下	元坪洞	下場洞	洛成洞	官基洞	東部洞	大新洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二・七日	三・八日	三・八日	一・六日	三・八日	五・十日	十ノ日	二・七日	一・六日	三・八日	五・十日	一・六日	五・十日	三・八日	二・七日	一・六日	五・十日	四・九日	三・八日	二・七日	四・九日

第三章 市場の取引	奉化郡			榮州郡						醴泉郡											
	才	小	西	春	遠	乃	縣	詔	玉	順	豐	金	盤	榮	梧	闊	三	知	龍	柳	金
	山	川	碧	陽	屯	城	村	川	帶	興	基	光	邱	州	川	芳	灘	保	宮	川	谷
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
	才	小	同	春	鳳	乃	下	浮	丹	順	豐	平	長	榮	虎	甘	豐	知	龍	柳	龍
	山	川	同	春	鳳	乃	下	浮	丹	順	豐	平	長	榮	虎	甘	豐	知	龍	柳	龍
	面	面	面	陽	城	城	里	石	山	興	基	恩	壽	州	鳴	泉	懷	保	宮	川	門
	縣	縣	西	宜	遠	浦	殷	詔	玉	邑	城	金	盤	榮	梧	闊	第一	麻	邑	菴	金
	洞	洞	碧	陽	屯	底	山	川	帶	內	內	光	邱	州	川	芳	槐	田	部	基	谷
	里	里	里	里	里	里	洞	里	里	里	洞	里	里	里	洞	洞	上	里	里	洞	洞
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	一・六日	五ノ日	五ノ日	六ノ日	目下廢止手續中	七ノ日	休止	一・六日	五・十日	二・八日	三・九日	一・六日	四・九日	五・十日	休止	休止	三・八日	一・六日	五ノ日	三・八日	一・六日

咸安郡		晋州郡						釜山府				府郡名		市場の取引				
平郡	邑	嚴	班	智	文	北	安	水	晋	釜山穀物商組合穀物市場	釜山鎮共同販賣所	釜山食糧品株式會社	釜山水産株式會社魚市場		富平町市場	釜山鎮牛市場	釜山鎮市場	市
林北	內亭	城	水面	山倉	文	大	美	水	晋	大	凡	同	南	富	同	凡	位	明湖
市	市	市	市場	市	市	市	市	市	市	市	洞	洞	洞	町	町	洞	置	力川
代山	郡北	咸安	金谷	一班	智水	文	大	美	水	晋	大	凡	同	南	富	同	凡	明湖
面	面	面	面	城	面	面	面	川	谷	州	廳	一	濱	平	一	一	南	力川
平林	中岩	北林	儉岩	倉村	清潭	蘇文	廣石	安	昌	玉	大	洞	洞	洞	洞	洞	洞	力川
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	同	同	同	私	同	同	公	同
										設				設			設	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一	四	同	同	三	同	同	第	同
										號	號			號			一	同
																	種	
																	別	
一・六日	四・九日	二・七日	一・六日	三・八日	五・十日	四・九日	四・九日	一・六日	一・六日	二・七日	同	同	同	同	每	四・九日	四・九日	開
															日			市
																		日

第三章 市場の取引	東萊郡			梁山郡					昌寧郡			漆原										
	三朱邑	送佐機	下龜東	西院新	三華邑	馬靈上	吾邑	漆原														
	千浦	文内	亭亨	川張	端浦	萊倉	洞坪	溪山	内院	首山	浦也	内原										
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市									
	三千浦面	邑南面	泗川面	鐵馬面	長安面	機張面	沙下面	龜浦面	東萊面	熊上面	下西面	下北面	上北面	上西面	梁山面	遊魚面	靈山面	南谷面	梨房面	昌寧面	漆原面	
	東里西里	朱文里	宣仁洞	送亭里	佐川里	東部里	下端里	龜浦里	壽安洞	三湖里	院里	尊池里	石溪里	華鶴里	北部洞	釜谷里	城内里	南旨里	雁里	校洞外	龜城里	
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	四・六日	一・六日	三・五・八・十日	五・十日	四・九日	五・十日	一・六日	三・六日	二・七日	四・九日	二・七日	三・八日	五・十日	五・十日	一・六日	二・七日	五・十日	二・七日	一・六日	三・八日	三・八日	

居昌郡				河東郡					南海郡				泗川郡		市場の取引						
栗	古	高	熊	邑	文	辰	露	舟	横	花	邑	昌	平	彌		彌	邑	西	城	三	八
院	縣	梯	陽	内	岩	橋	梁	橋	川	開	内	善	山	助	水	助	内	浦	内	三	八
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	場	市	市	市	市	場	市
神院面	渭川面	高梯面	熊陽面	居昌面上	加宗面	辰橋面	金陽面	古田面	横川面	花開面	河東面	昌善面	南平面	同	三東面	南海面	西浦面	昆陽面	同	同	同
陽地里	場基里	農山里	老玄里	下洞金川洞	安溪里	辰橋里	露梁里	古河里	如意里	塔里	邑内洞	水山里	平山里	同	彌助里	北邊洞	舊坪里	南門外里	西里	東錦里	西錦里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	私	同	同	同	公	私	同	同
													設	設				設	設		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一	三	同	同	同	一	三	同	同
													號	號				號	號		
二・七日	二・七日	二・七日	三・八日	一・六日	三・八日	三・八日	五・十日	一・六日	四・九日	一・六日	二・七日	二・七日	三・八日	每	一・六日	四・九日	二・七日	五・十日	每	一・九日	

第三章 市場の取引	昌原郡										金海郡										
	邑	新院	熊慶	鎮海	鎮海	慶和	繪南	古縣	鎮東	斗刀	新琴	昌原	進永	新文	茶山	永康	大渚	金海	加祚		
	市	市	市	市	市場	市場	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市		
	山清面塞洞	北下面川里	熊東面龍院里	熊川面城内里南門里	同慶和洞	同旭町	同未廣迺里	鎮海面慶和洞	鎮田面良村里	同古縣里	鎮東面鎮東里	上南面吐月里沙巴丁里	東面龍嶺里	昌原面中洞里北洞里	下界面進永里	長有面茂溪里	茶山面松亭里	鳴旨面中里	大渚面沙德里	金海面東上洞	加西面場基里
	同	同	同	公設	同	同	私設	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	第一號	同	同	第三號	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	一・六日	三・八日	二・七日	四・九日	每 日	每 日	每 日	五・十日	二・七日	四・九日	四・九日	休 止	二・七日	二・七日	四・九日	三・八日	四・九日	五・十日	一・六日	二・七日	四・九日

市場の取引

咸陽郡										馬山府					山清郡					
相田市	大南市	松溪市	安義市	介坪市	沙斤市	玉女市	馬川市	邑内市	舊馬山市場	扇町公設市場	舊馬山市場	馬山牛市場	馬山青物市場	馬山水產市場	丹溪市	丹城山市場	德於外市場	生林市場	車黃市場	
柏田面兩柏里	西上面大南里	西下面松溪里	安義面堂本・石川・錦川里	池谷面倉坪里	水東面花山里	柳林面柳坪里	馬川面佳興里	咸陽面上洞下洞	元町	扇町	元町富町石町壽町	午東洞	都町一丁目	濱町三丁目	新等面丹溪里	丹城面城内里	矢川面糸里	同於西里	生草面新淵里	車黃面新基里
同	同	同	同	同	同	同	同	公設	私設	同	公設	同	同	私設	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	一	三	同	同	一	同	三	同	同	同	同	同	同
								號	號			號	號							
一・六日	四・九日	三・八日	五・十日	四・九日	一・六日	五・十日	四・九日	二・七日	每	每	五・十日	五・十日	每	每	四・九日	五・十日	四・九日	八ノ日	三ノ日	二・七日

第三章
市場の取引

蔚山郡					密陽郡					陝川郡										
連	大	彦	南	目	虎	内	兵	邑	松	武	淵	守	三	密	三	古	栗	草	冶	邑
山	峴	陽	倉	島	溪	廂	營	内	旨	安	銃	山	浪	陽	嘉	縣	旨	溪	爐	内
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
西生面 明山里	大峴面 上開里	彦陽面 南部里・東部里	溫陽面 南倉里	溫山面 方島里	農所面 虎溪里	同 伴鳴里	下廂面 南外里	蔚山面 玉橋洞・城南洞	下東面 松旨里	下西面 武安里	丹陽面 臺龍里	下南面 守山里	下東面 三浪里	密陽面 内一洞	三嘉面 一部里・錦里	大井面 倉里	德谷面 栗旨里	草溪面 草溪里	冶爐面 冶爐里	陝川面 陝川洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一・六日	二・七日	二・七日	三・八日	四・九日	一・六日	一・六日	三・八日	五・十日	休 止	一・六日	四・九日	三・八日	一・六日	二・七日	二・七日	四・九日	一・六日	五・十日	二・七日	三・八日

		宜寧郡				固城郡				統營郡				市場の取引								
		新	中	鳳	宜	下	塘	背	邑	魯	巨	河	下		巨	統	朝	統	呂	亭	西	仁
黄	市	反	橋	谷	寧	明	洞	菴	内	山	濟	清	我	濟	魚	營	營	川	子	生	甫	
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
海	面	富	同	芝	宜	介	巨	會	固	光	二	延	二	巨	同	同	統	大	江	西	斗	
	新	林	中	正	寧	川	流	華	城	道	運	草	運	濟	營	營	營	峴	東	生	西	
道	反	里	橋	鳳	中	明	塘	背	城	魯	長	德	鴉	吉	新	牧	呂	亭	西	仁		
	里	里	里	谷	洞	星	洞	屯	内	山	生	峙	洲	野	島	川	里	子	生	甫		
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	私	同	同	公	私	同	同	同	同	同		
										設	設			設	設							
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一	三	同	同	一	三	同	同	同	同	同		
										號	號			號	號							
	四・九日	二・七日	五・十日	三・八日	二・七日	三・八日	四・九日	一・六日	休	每日	二・七日	三・八日	四・九日	每日	每日	二・七日	二・七日	二・七日	五・十日	三・八日		
								止	又	又				又	又	除	除	除				
								二	二	二				二	二	日	日	日				

斐津郡

新溪郡

平山郡

念 康 温 甫 大 銀 古 丁 邑 漢 新 南 物 文 麒 白 温 漏 汗 兔 市

佛 翎 井 音 坪 店 新 南 川 川 川 山 邊

市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市

西 富 馬 沙 赤 麻 美 古 新 馬 同 寶 安 文 麟 新 積 細 金 月 西

民 山 芝 餘 西 水 溪 山 山 城 武 山 岩 岩 谷 岩 城 泉

面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面

東 康 温 沙 大 銀 楸 丁 鄉 漢 新 南 寶 安 文 麟 新 積 細 金 月 西

五 翎 泉 伊 坪 店 川 峰 校 村 南 山 城 武 山 岩 岩 谷 岩 城 泉

里 里 里 谷 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

四・九日 五・十日 二・七日 三・八日 一・六日 四・九日 三・八日 三・八日 二・七日 一・六日 四・九日 四・九日 四・九日 二・七日 五・十日 一・六日 四・九日

市場の取引

第三章 市場の取引	股栗郡			松禾郡				長淵郡						蘇	發						
	長	金	觀	清	股	石	豐	公	水	松	站	碑	石	助	松	南	苔	樂	邑	蘇	發
		山										石									銀
	連	山	溪	栗	灘	川	稅	橋	禾			橋	泥	川	倉	灘	山	内	江		峰
	浦											浦									
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
	長連面東部・西部里	同	北部面	南部面	股栗面	泉洞面	豐海面	枕源面	蓬萊町	松禾面	薪花面	尊澤面	龍淵面	海安面	大數面	候南面	速達面	樂道面	長淵面	西面	龍泉面
	金山里	靈山里	清溪里	紅門里	石灘里	城上里	公稅里	水橋里	邑内里	孝峴里	碑石浦里	石橋里	夢金浦里	松川里	南湖里	苔灘里	地境里	邑内里	邑底里	大井里	
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	一・六日	三・八日	四・九日	三・八日	五・十日	二・七日	一・六日	二・七日	三・八日	四・九日	二・七日	二・七日	三・八日	四・九日	三・八日	一・六日	五・十日	一・六日	五・十日	一・六日	三・八日

載寧郡				信川郡				安岳郡				市場の取引									
彌	新	青	内	上	金	載	載	載	載	石	柳		達	文	邑	椒	鴨	溫	東	伏	邑
		石	土			寧	寧	寧	寧	城	川	泉	化	内	井	峰	井	倉	獅	内	
靱	院	頭	洞	海	山	薪	鳥	牛													
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
上方面	下柳面	上聖面	銀山面	同	三支江面	同	同	同	載寧面	北部面	用珍面	草里面	文化面	信川面	西河面	大杏面	銀紅面	龍門面	大遠面	安岳面	瑞山・小川・訓
壇菊里	新院里	青石頭里	新鎰里	上海里	金山里	石井里	柳花里	新垞里	邑内里	石城里	柳川里	達泉里	東閑・西亭里	武井・校塔里	椒井里	鳴峰里	溫井里	東倉里	伏獅里	新長里	
同	同	同	同	同	公	私	公	私	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					設	設	設	設													
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四・九日	五・十日	二・七日	五・十日	四・九日	一・六日	常設	二・七日	二・七日	二・七日	三・八日	三・八日	四・九日	五・十日	一・六日	三・八日	四・九日	五・十日	三・八日	一・六日	二・七日	二・七日

第三章
市場の取引

瑞興郡				鳳山郡					黃州郡					新海						
陵	興	新	邑	西	清	馬	蒜	銀	沙	沈	小	黑	德	三	兼	城	邑	内	新	海
里	水	慕	内	鍾	溪	洞	山	波	里	村	梅	橋	隅	街	二	南	内	宗	換	昌
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
道	木	木	瑞	西	龜	土	舍	楚	沙	青	仁	黑	龜	清	兼	同	黃	北	同	南
面	甘	回	興	鍾	淵	城	人	臥	里	龍	橋	橋	洛	水	二	州	栗	栗	栗	栗
陵	興	新	隊	楸	館	馬	蒜	銀	東	小	小	黑	德	金	本	城	邑	内	新	海
里	水	慕	柳	津	堡	山	山	波	西	串	梅	橋	隅	光	町	南	内	宗	換	昌
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四・九日	四・九日	一・六日	二・七日	二・七日	一・六日	四・九日	二・七日	三・八日	五・十日	三・八日	三・八日	二・七日	二・七日	四・九日	五・十日	一・日	六・日	三・八日	五・十日	四・九日

市場の取引

平壤府			府郡名			谷山郡					遂安郡								
平壤魚市場	平壤家畜市場	平壤上營市場	平壤幸町公設市場	平壤壽町公設市場	平壤司倉公設市場	市名	玄岩市	助仁市	一松亭市	仙岩市	新坪市	邑内市	社倉市	栗里市	笏洞市	坪院市	明堂市	陶河市	邑内市
櫻町	新陽里	上需里	幸町	壽町	新倉里	位置	桃花面玄岩里	西村面助仁里	花村面廣川里	下圖面鳴灘里	覓美面文岩里	谷山面南川里	大千面社倉・楠亭里	延岩面栗里	小口面寶光・石達里	泉谷面坪院里	梧洞面下朝陽里	城洞面陶河・位羅里	遂安面龍潭・石橋里
同	私設	同	同	同	公私設別		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第三號	同	同	同	同	第一號	種別	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
每日	一・六日	取引なし	同	同	開除一月元旦・毎日	市日	二・七日	五・十日	三・八日	三・八日	四・九日	一・六日	四・九日	二・七日	一・六日	二・七日	五・十日	二・七日	一・六日

	大同郡										鎮南浦府										
第三章 市場の取引	箕下	船馬	廣	戊	長	院	猿	梨	大	長	太	檢	鎮	鎮	鎮	億	碑	龍	平		
	林石	橋	嵐	灘	辰	鯢	場	岩	木	泉	水	平	南	南	南	兩	石	井	壤		
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	浦	浦	浦	機	里	里	食		
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市場	魚	物	產	市場	市場	市場	品		
	林原面	在京里面	大同江面	斧山面	古平面	栗里面	同	金祭面	南串面	同	秋乙美面	柴足面	大寶面	龍淵面	同	三和	龍井	億兩	碑石	龍井	壽
	箕林里	下石花里	船橋里	馬山里	廣灘里	戊辰里	外祭里	院場里	猿岩里	梨木里	寺洞里	魯山里	太平外里	檢浦里	同	町	町	里	里	里	町
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公設	同	同	同	私	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	第一號	第四號	第三號	同	同	同	第一號	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四九五	五・十日	四・九日	二・七日	一・六日	同	同	二・七日	三・八日	四・九日	三・八日	同	同	同	五・十日	除祝祭日日曜・毎日	同	每日	五・十日	三・八日	一・四・七日	同

第三章 市場の取引

中和郡					江東郡																
内	邑	太	綾	碑	邑	看	祥	綾	中	關	朝	縣	勝	關	朝	縣	別	岐	宇	勿	
洞	内	平	盛	石		東	原	盛	和	波	陽	内	湖	波	陽	内	倉	倉		波	
市	市	市	市	市	市	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	畜	視
市	市	市	市	市	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場	市場
培和面内洞里	祥原面新邑里	水山面乾川里	楓梧面綾盛里	上道面大同里	中和面樂民里	看東面看東場里	祥原面新邑里	楓相面綾盛里	中和面樂民里	高泉面關波里	三登面文明・鳳儀里	江東面阿達・柴浦里	晚達面勝湖里	高泉面關波里	三登面鳳儀里	江東面阿達・柴浦里	大邱面別倉里	三德面三德里	靈泉面宇波里	通仙面百源里	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					設							設									
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二・七日	三・八日	五・十日	四・九日	一・六日	三・八日	五・十日	三・八日	四・九日	三・八日	二・七日	一・六日	三・八日	同	二・七日	一・六日	三・八日	四・九日	二・七日	四・九日	二・七日	

龍岡郡

邑	咸	南	岐	郡	馬	堂	溫	大	齊	舊	藝	麻	佳	眞	邑	唐	昆	瑤	斗	看	市場の取引	
内	從	陽	陽	内	山	竝	井	嶺	山	邑	明	花	洞	池	内	谷	陽	浦	湖	東		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
飯	成	城	東	江	龍	瑞	海	貴	金	三	陽	多	吾	池	龍	唐	楊	海	新	看		
山	從	岩	津	西	川	和	雲	城	谷	和	谷	美	新	雲	岡	井	井	鴨	興	東		
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	
聚	成	南	岐	德	麻	自	溫	大	牛	内	馬	五	佳	眞	玉	唐	石	瑤	湖	看		
龍	從	陽	陽	興	洞	福	井	嶺	登	校	明	花	龍	池	桃	谷	陽	浦	山	東		
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
四・九日	一・六日	三・八日	四・九日	二・七日	三・八日	二・七日	四・九日	三・八日	一・六日	四・九日	同	一・六日	二・七日	五・十日	二・七日	五・十日	二・七日	四・九日	一・六日	五・十日		

第三章 市場の取引	平原郡														江西郡						
	鹽	西	金	四	三	二	一	公	順	岩	石	漢	加	中	永	岐	馬	鳥	新	文	沙
	西 部 麩 牛 市	鶴 里 市	里 市	里 市	里 市	里 市	里 市	平 安 市	順 安 市	赤 岩 市	石 川 市	漢 川 市	加 乙 橋 院 市	中 橋 市	永 柔 市	岐 陽 家 畜 市	馬 山 市	鳥 耳 里 市	新 興 市	文 洞 市	沙 川 市
	安州面清橋・信義・文峰里	肅川面館東里	海蘇面金鶴里	同 官 前 里	同 館 東 里	肅川面城南里	公 平 面 退 南 里	順安面南昌・郡上里	同 岩 赤 里	石岩面東石岩・西石岩里	漢川面廿八里	青山面舊院里	龍湖面藥田・蓮橋里	永柔面永徳・大夫里	東津面岐陽里	星臺面大馬里	水山面鳥耳里	新興面龜蓮里	雙龍面多足里	斑石面上四里	
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	四・九日	四・九日	二・七日	同	三・八日	三・八日	三・八日	五・十日	五・十日	二・七日	一・六日	一・六日	五・十日	三・八日	四・九日	四・九日	五・十日	四・九日	五・十日	三・八日	二・七日

義州郡		新義州府		府郡名	寧遠郡		德川郡		价川郡				安州郡		市場の取引				
麟	館	梧	新	新	溫	新	社	邑	汁	邑	北	軍	平	無		邑	新	立	龍
			新義州	新義州	倉	邑	倉	内	屯		院	陽	院	盡			安	石	伏
山		木	穀物	水産	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市		市	州	市	市
			組合	市場	平安														
光	古	義	榮	櫻	位	溫	德	大	寧	蠶	德	北	外	中	中	价	新	立	雲
城	館	州	榮	櫻	北	和	化	興	遠	上	川	面	西	西	南	川	安	石	谷
面	面	面	面	面	道	面	面	面	面	面	面	院	面	面	面	面	面	面	面
蓮	館	東				溫	校	社	永	陶	邑	龍	龍	三	鳳	元	元	立	龍
山	洞	部				陽	館	倉	寧	冷	南	里	浦	所	鳴	興	興	石	伏
洞		洞				里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
同	同	公	同	私	公	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		設		設	設														
同	同	第	第	第	種	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		一	第	三	別														
		號	四	號															
		號	號	號															
二	十	一	同	開		五	四	一	三	三	二	三	五	二	四	一	三	二	五
・	二	・	同	市		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
七	十	六	日	日		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
日	日	日		日		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

第三章
市場の取引

			熙川郡			雲山郡		泰川郡		龜城郡										
立	武	麟	天	修	寧	邑	北	古	邑	沙	泰	塔	新	吉	南	東	邑	白	替	永
石	昌	灘	陽	隅	邊	内	鎮	場	内	浦	川	洞		祥		山		馬	馬	山
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
古城面 南山・下草洞	鳳山面 古城洞	同 就城洞	八院面 天陽洞	獨山面 修隅洞	寧邊面 東・西部洞	熙川面 邑上・邑下洞	北鎮面 鎮洞	委延面 上院洞	雲山面 邑内洞	院 内面	泰川面 邑内	天廳面 塔洞	沙器面 新市洞	梨峴面 吉祥洞	方峴面 下丹洞	東山面 車福洞	龜城面 左・右部洞	威遠面 西下洞	批峴面 替馬洞	古寧朔面 田倉洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一・六日	一・六日	四・九日 (同)	四・九日 (十二年六月 十四日設置)	三・八日	二・七日	二・七日	二・七日	三・八日	五・十日	四・九日 (十二年 二月十四日開市)	三・八日	五・十日	二・七日	四・九日	五・十日	二・七日 (十二年一月設置)	五・九日	五・十日	二・七日	四・九日

		鐵山郡		宣川郡		定州郡				博川郡		寧邊郡				市場の取引					
南龍		車邑	古邑	海邑	古邑	清亭	郭山	邑	嶺博	東	新	蘇	球	新	杏		泰	石			
	岩	鞏	軍	山	邑	亭	山	内	美	川	倉	興	民	場	月	平	倉				
	浦	館	營											林							
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市			
外	龍	站	鐵	深	宣	海	古	馬	郭	定	嘉	博	百	同	同	龍	同	北	泰	南	
上	川	面	山	川	川	山	邑	山	山	州	南	川	嶺	同	同	山	同	新	平	松	
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
南	雲	車	邑	古	川	濂	月	清	造	城	嶺	邑	大	新	蘇	球	下	蘆	館	沙	
市	輿	鞏	内	軍	北	湖	暈	亭	山	外	美	内	豐	興	民	場	杏	下	上	川	
洞	興	館	内	營	川	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五	四	四	一	二	三	三	二	三	二	一	一	五	三	四	一	五	一	三	一	一	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
十	九	九	六	七	八	八	七	八	七	六	六	十	八	九	六	十	六	八	六	六	六
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

三・八日(十二年十一月設置)

第三章 市場の取引

		厚昌郡		慈城郡		江界郡		渭原郡		楚山郡		碧潼郡		昌城郡		朔州郡			龍川郡			
		葡邑	邑	中邑	武邑	江界	漢城	古場	楚山	碧圍	碧潼	昌城	大館	院豐	南倉	邑	耳島	龍岩	良策	楊新	新南	
		坪	内	内	江州	界	城	場	山	團	潼	城	館	豐	倉	内	島	岩	策		南	
		市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市場	市場	市場	市	市	市	
		東部	厚昌	慈城	周延	前川	江界	崇正	古山	楚山	松西	碧潼	昌城	外南	兩山	外南	朔州	府羅	龍川	邑東	楊下	同
		面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
		葡三	郡内	邑内	中上	長興	龍淵	富坪	城西	四西	豐	城	南	面	面	面	船里	龍岩	龍	策	楊	停車
		洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	私	同	同	同	同
																	設	設				
		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		二・七日	一・六日	四・九日	四・九日	二・七日	一・六日	三・八日	一・六日	三・八日	三・八日	一・六日	四・九日	一・六日	二・七日	四・九日	三・八日	每日(自四月上旬至七月中旬)	每日(自四月上旬至九月末日)	一・六日	三・八日	二・七日

淮陽郡	新邑	林	萬	文	長	楊	蒼	縣	伊	瑞	元	冠	上	倉	光	泉	邑	府郡名	
縣	新邑	林	萬	文	長	楊	蒼	縣	伊	瑞	元	冠	上	倉	光	泉	邑	市	
里	安	塘	堡	登	坪	口	村	里	布	和	通	堡	東	里	板	田	內	場	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
蘭	同	淮	東	亥	水	方	楊	內	麒	同	瑞	北	南	麟	史	南	新	春	位
谷	同	陽	安	安	入	山	口	麟	麟	同	和	面	面	蹄	內	面	北	川	原
縣	新	邑	林	萬	文	長	上	蒼	縣	伊	瑞	元	冠	上	倉	光	栗	司	道
里	安	內	塘	堡	登	坪	里	村	里	布	和	通	堡	東	里	板	文	倉	置
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	公
																			私
																			設
																			別
																			種
																			一
																			號
																			別
一	三	二	二	一	三	四	五	三	四	一	四	二	四	三	同	同	同	二	開
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	同	同	同	・	市
六	八	七	七	六	八	九	十	八	九	六	九	七	九	八	同	同	同	七	日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

市場の取引

江原道

日

第三章 市場の取引

襄陽郡					高城郡					通川郡											
連	江	銅	其	橋	物	邑	杆	巨	大	長	高	貨	沛	松	庫	庫	外	雪	北	化	
谷	陵	山	士	岩	溜	内	城	津	津	箭	城	通	川	田	底	内	濂	峰	倉	川	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
連谷面	江陵面本町・旭町・大正町	縣南面	縣北面	土城面	降峴面	襄陽面	杆城面	梧笠面	縣内面	新北面	高城面	鶴二面	鶴一面	踏錢面	順嶺面上・下底庫里	通川面	臨南面	同	長楊面	安豊面	
冬德里	市邊里	其士門里	橋岩里	物溜里	南門里	下津里	巨津里	大津里	長箭里	西箭里	貨通里	沛川里	松田里	西里	東里	外濂城里	下坤里	末輝里	化川里		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
五〇五	三・八日	二・七日	開市せず	五・十日	一・六日	五・十日	四・九日	二・七日	三・八日	四・九日	五・十日	一・六日	二・七日	一・六日	四・九日	三・八日	五・十日	四・九日	一・六日	二・七日	一・六日

旌善郡		蔚珍郡						三陟郡					江陵郡		市場の取引							
畫	義	臨	邑	平	正	梅	富	竹	邑	北	廣	黃	古	祀		美	交	邑	邱	注	玉	
林	岩	溪	内	海	明	花	邱	邊	内	坪	洞	池	士	谷		湖	柯	内	山	文	溪	津
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
東	新	臨	旌	平	箕	遠	北	同	蔚	北	下	上	所	同	遠	近	三	城	新	玉	溪	
面	東	溪	善	海	城	南	面	面	珍	三	長	長	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
畫	禮	松	鳳	平	正	梅	富	竹	邑	北	廣	黃	古	祀	湖	交	邑	邱	注	文	縣	
岩	美	溪	陽	海	明	花	邱	邊	内	坪	洞	池	士	谷	山	柯	上	山	文	文	内	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	公	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
設																						
同	同	同	同	同	同	同	同	同	第	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一號																						
四・九日	四・九日	五・十日	二・七日	二・七日	一・六日	一・一日	三・三日	開市せず	二・七日	三・八日	四・九日	五・十日	五・十日	開市せず	三・八日	一・六日	二・七日	開市せず	一・六日	四・九日	四・九日	五〇六

第三章 市場の取引

金化郡	華川郡	洪川郡	横城郡			原州郡			寧越郡		平昌郡			餘	概					
金	邑	邑	豐	新	柳	屯	安	邑	興	文	原	酒	永	珍	蓬	大	美	邑	餘	概
城	内	内	岩	場	洞	内	興	内	湖	幕	州	泉	興	富	坪	和	灘	内	粮	山
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
金	金	華	瑞	洪	晴	屯	井	横	富	建	原	兩	寧	珍	蓬	大	美	平	北	南
城	化	川	石	川	日	内	谷	城	論	登	州	邊	越	富	坪	和	灘	昌	面	面
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
芳	邑	上	豐	新	柳	自	下	邑	興	文	上	酒	永	下	蒼	大	倉	川	餘	武
忠	内	里	岩	場	洞	浦	安	下	湖	幕	洞	泉	興	珍	洞	和	里	邊	粮	陵
里	里	里	里	里	里	谷	興	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五・十日	一・六日	二・七日	四・九日	一・六日	四・九日	五・十日	三・八日	一・六日	三・八日	三・八日	三・八日	一・六日	五・十日	三・八日	七・二日	四・九日	一・六日	五・十日	一・六日	開市せず

洪原郡		安邊郡					德源郡		文川郡		高原郡				市場の取引						
平	靈	洪	蟹	南	高	新	梧	安	文	豐	豐	箭	豐	玉		山	地	德	高	橫	宣
	武原					高				上	上									川	興
浦			川	山	山	山		邊	坪	第	第	灘	田	坪	谷	境	池	原		家	家
場	邑					山				二	一									畜	畜
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
龍	龍	州	培	文	同	衛	文	鶴	北	同	豐	都	龜	郡	山	上	郡	下	橫	宣	
川	源	翼	花	山		益	山	城	城		山	草	山	内	谷	山	内	鉢	川	興	
面	面	面	面	面		面	面	面	面		面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四・九日	一・六日	五・十日	同	同	休	四・九日	二・七日	三・八日	休	七ノ日	二ノ日	七ノ日	一・六日	三・八日	一・六日	二ノ日	一・六日	三・八日	休	五・十日	

第三章 市場 の 取 引	端 川 郡	利 原 郡						北 青 郡					旭 三								
	橋	古	雙	龍	端	利	遮	龍	群	利	泥	倉	璋	方	居	新	新	陽	北	三	旭
	項	城	上	淵	川	家	湖	岩	仙	原	谷	坪	興	村	山	昌	浦	化	青	湖	
	邑			邑	畜				邑		牛	牛									
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
	利	水	何	福	波	西	南	同	東	西	泥	同	星	上	居	新	新	陽	老	市	希
	中	下	多	貴	道						谷		車	山	昌	浦	化	德	青	賢	
													書								
	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五 一	五 ・ 十 日	休 止	五 ・ 十 日	休 止	每 日	五 ・ 十 日	五 ・ 十 日	三 ・ 八 日	五 ・ 十 日	四 ・ 九 日	二 ・ 七 日	五 ・ 十 日	二 ・ 七 日	一 ・ 六 日	二 ・ 七 日	每 日	五 ・ 十 日	二 ・ 七 日	三 ・ 八 日	三 ・ 八 日	三 ・ 八 日

三水郡		豊山郡					長津郡		新輿郡						市場の取引								
上	嶺	仲	平	長	黄	祀	楊	新	古	下	長	加	新	初		元	古	石	新	利	松		
巨	城	坪	山	坪	水	撥	坪	豊	里	土	碓	津	平	豊	里	平	川	浦	福	洞	項		
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
自	好	三	同	安	同	安	熊	里	同	新	郡	加	下	上	元	東	同	北	南	廣			
西	仁	南		水		山	耳	仁		南	内	平		元	元		古		斗	斗	泉		
面	面	面		面		面	面	面		面	面	面		面	面	面	面		面	面	面		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四・九日	四・九日	二・七日	四・九日	五・十日	二・七日	一・六日	五・十日	三・八日	二・七日	三・八日	四・九日	二・七日	一・六日	五・十日	二・四日	三・八日	休 止	四・九日	二・七日	三・八日			五二二
																			五・十日(十二年七月設置) 四・九日(十二年五月設置)				

市場の取引

會寧郡		茂山郡		富寧郡		城津郡		吉州郡			明川郡									
石	烈	晚	會	松	茂	素	富	城	玉	臨	錦	東	吉	寶	荷	花	陽	古	阿	嬰
浦	洞	項	寧	坪	山	清	居	津	泉	溟	川	海	州	村	坪	臺	村	站	間	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市場
昌	雲	碧	會	延	邑	觀	富	城	鶴	鶴	德	東	吉	上	下	下	上	同	阿	上
斗	頭	城	寧	社	海	居	居	津	上	中	山	海	城	古	古	加	加	間	間	粵
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
蒼	城	永	四	石	城	素	富	旭	玉	臨	錦	龍	邑	寶	荷	花	陽	古	黃	上
苔	東	綏	浦	川	清	居	居	泉	泉	濱	川	原	內	村	坪	臺	村	站	若	場
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三・八日	三・八日(開市なし)	二・七日	每 日	四・九日	五・十日	四・九日(同)	三・八日(同)	每 日(同)	一・六日(開市なし)	二・七日	五・十日	三・八日	一・六日	三・八日(新設取引なし)	二・七日(十二年十一月新設)	四・九日	五・十日	三・八日	五・十日	二ノ日

	慶興郡				慶源郡			穰城郡		鍾城郡			金	
	雄	龍	阿	下	新	古	檜	北	穰	鳳	鍾	行	鍾	金
	基	峴	吾	龜	阿	乾	蒼	川	城	山	山	營	城	洞
		地	洛	山	原	坪	洞			洞				
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
	雄	蘆	同	上	阿	龍	慶	永	穰			古	鍾	碧
	基	西	下	山	山	德	源	仲	城			邑	關	城
	面	面	面	面	面	面	面	面	面			面	面	面
	雄	龍	阿	新	龍	檜	北					行	西	中
	基	峴	吾	阿	峴	蒼	蒼					營	門	島
	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞					洞	外	洞
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	三・八日	每 日	二・七日	一・六日(同)	五・十日(開市なし)	三・八日	四・九日	一・六日	三・八日	同	同	同	同	同
												十二 年二 月十 七日 廢止		四・九日(開市なし)

右は最近の朝鮮の分布を示したものであるが、これを増補文献備考記載の市場表と對照するときば、市場の所在、名稱、市日等の變遷に就いて、興味ある事實を發見することが出来る。

市場統計累年表

年	開市回数		買						高
	次	市場數	農産物	水産物	織物	畜類	其他	合計	
明治四十三年	九〇	七三,〇〇〇	三,五三三,一九三	四,三三一,九〇〇	二,〇〇三,六九六	一三,五九七,七二三	八,六六六,三六〇	五〇,四四三,七八〇	
同 四十四年	一,〇八四	七七,一八四	一,四八六,八三三	五,一六〇,一八〇	二,二〇三,二六〇	一三,七五一,九三六	一〇,二五一,六四四	五六,一三二,六四四	
大正 元年	一,二五	八七,一三二	二,六二一,三六〇	七,一九〇,三三六	一三,五五五,七九六	三三,〇二二,六八四	一三,三七八,六六八	九三,三八〇,一三六	
同 二年	一,一四三	七六,四七三	二,四四五,三三二	四,八五三,〇三六	七,三三九,八九二	二〇,〇八八,七三二	八,八〇四,三三五	五二,五〇〇,四四六	
同 三年	公設	一,二〇五	八,五九六,六三二	二,七六八,二七四	五,五四九,二七四	七,五四一,五七二	五,四八一,二二三	二九,九六六,八四五	
	私設	一,三八	六,三三六,四〇三	三,一四四,四一七	四,六七,六六六	二,〇三二,七四三	一,五八一,一四六	一三,四九三,三三五	
計	一,二四三	九二,一六七	一四,九三三,〇三五	五,九一二,六九一	六,〇六八,九四〇	九,五五四,三二五	六,九九九,二五九	四三,四六一,七〇〇	
同 四年	公設	一,七〇七	八,四三三,六六八	三,〇三四,四三三	五,六三三,六四六	七,七六六,二九九	五,八二八,七三三	三〇,六六七,七六	
	私設	一,四	六,七三九,〇一五	二,五九一,一〇一	三,一〇一,七六〇	二,〇二一,四八一	一,二三五,三四四	二二,八六八,八一	
計	一,三一一	九五,八五三	一五,一六四,七三三	五,六二五,五三四	五,九三四,四三六	九,七七七,七五〇	七,〇六四,〇七六	四四,五六六,五九	
同 五年	公設	一,〇九二	九,六五五,三三三	三,六七四,八九五	六,〇〇九,一三六	二二,四三九,一八五	六,五三三,七四九	三六,三三〇,二六六	
	私設	二一八	六,八〇〇,四三三	二,八三三,七七五	四,九一〇,八六六	一,二九六,三四四	一,一一一,九六六	一三,四九七,六〇四	
計	一,三一〇	九五,七五〇	一六,四五六,七三三	六,五〇七,六七〇	六,四八八,三三三	一三,七三五,五二九	七,六四五,七三五	五〇,七八八,八九〇	

累

年

第三章 市場の取引

		比						較					
同六年	公設	一、二六	七、七三〇	三、二四四、三五七	四、〇一〇、四六三	七、一〇七、四四二	一五、〇四九、七三三	七、五六六、七三七	四、五六七、七三三	一六、六六三、九〇六	六、二、四二二	一、三九五、六七	一六、六六三、九〇六
	私設	一〇六	二、〇一〇	九、八八八、〇〇〇	三、〇四九、〇二二	五、六八〇、二二	一、八三三、八二二	一、三九五、六七	一六、六六三、九〇六	六、二、四二二	一、三九五、六七	一六、六六三、九〇六	一六、六六三、九〇六
計		一、一三三	九、七三〇	三三、〇〇〇、九五七	七、〇六〇、四七五	七、三四四、二四四	一六、六六三、九〇六	一、三九五、六七	一六、六六三、九〇六	六、二、四二二	一、三九五、六七	一六、六六三、九〇六	一六、六六三、九〇六
同七年	公設	一、二五	七、三〇五	一六、八二五、四四六	五、三九〇、三三六	一一、二八〇、四四二	二五、六六六、六二八	一一、〇三三、八四五	七、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	一、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五
	私設	一〇	一七、五五八	二七、七五、七七七	四、四三六、九八八	七、五八三、〇四	二、九三三、六三	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五	二、〇三三、八四五
計		一、二六	九〇、五九一	四四、五七四、〇三三	九、八二七、三六	一三、〇六八、四八六	二八、六二九、二九二	一三、〇六八、四八六	二八、六二九、二九二	一三、〇六八、四八六	一三、〇六八、四八六	一三、〇六八、四八六	一三、〇六八、四八六
同八年	公設	一、二三五	七、三三四	二〇、八五九、七七一	七、八二八、五五五	二〇、三五六、八八〇	三三、八八〇、七六	一六、六一三、一〇九	一六、六一三、一〇九	一六、六一三、一〇九	一六、六一三、一〇九	一六、六一三、一〇九	一六、六一三、一〇九
	私設	八〇	一七、七八三	四四、三〇一、一八四	五、七二六、四四七	八、九六三、三四	三、二二九、〇八	二、七三三、二四九	二、七三三、二四九	二、七三三、二四九	二、七三三、二四九	二、七三三、二四九	二、七三三、二四九
計		一、二三五	九〇、一二七	六五、一六〇、九七五	一三、五五五、〇二二	二二、二五三、三三三	三六、九九八、〇〇四	一九、三四六、三五八	一九、三四六、三五八	一九、三四六、三五八	一九、三四六、三五八	一九、三四六、三五八	一九、三四六、三五八
同九年	公設	一、二九九	七、四三三	一七、八八一、五〇〇	七、六五、九七一	一七、六四六、〇八八	二七、三〇〇、四四五	一四、四二九、四三九	一四、四二九、四三九	一四、四二九、四三九	一四、四二九、四三九	一四、四二九、四三九	一四、四二九、四三九
	私設	七五	一六、三六〇	六、〇四四、七五五	六、三〇七、三三〇	八、九六、九一九	二、四六三、二五	二、八二九、八八七	二、八二九、八八七	二、八二九、八八七	二、八二九、八八七	二、八二九、八八七	二、八二九、八八七
計		一、二三四	九〇、六九五	二三、九六六、六五五	一三、九六三、二六一	一八、五四三、〇〇七	二九、八三三、一七〇	一七、二五九、三三三	一七、二五九、三三三	一七、二五九、三三三	一七、二五九、三三三	一七、二五九、三三三	一七、二五九、三三三
同十年	公設	一、二四	七、八二六	二〇、一六九、一六五	八、一一八、八四三	一七、七九一、一三	二九、四二一、六四三	一六、九八九、四一〇	一六、九八九、四一〇	一六、九八九、四一〇	一六、九八九、四一〇	一六、九八九、四一〇	一六、九八九、四一〇
	私設	七五	一六、三六一	五、八六九、〇八二	七、〇六八、九三五	八、五六六、六六八	三、二七三、五二五	一、七四四、四九二	一、七四四、四九二	一、七四四、四九二	一、七四四、四九二	一、七四四、四九二	一、七四四、四九二
計		一、二二九	九四、一〇七	二六、〇三九、二四七	一五、一八七、七七	一八、六五八、〇一	三三、六八四、一五七	一八、七〇三、八九三	一八、七〇三、八九三	一八、七〇三、八九三	一八、七〇三、八九三	一八、七〇三、八九三	一八、七〇三、八九三
同十一年	公設	一、二七	七、〇七三	二〇、八〇〇、二二六	八、七三九、六〇九	一七、三二二、八四八	二九、二二五、五四二	一五、八五八、九九七	一五、八五八、九九七	一五、八五八、九九七	一五、八五八、九九七	一五、八五八、九九七	一五、八五八、九九七
	私設	六五	一六、四二四	三、九六三、〇二二	七、三九九、五七七	七、六六三、五九	二、八三七、四九九	一、三三七、〇二二	一、三三七、〇二二	一、三三七、〇二二	一、三三七、〇二二	一、三三七、〇二二	一、三三七、〇二二
計		一、二二七	九四、四八七	二四、七六三、三六	一六、一三九、一四六	一八、〇四九、二〇七	三二、九六三、一〇〇	一七、二三五、九九九	一七、二三五、九九九	一七、二三五、九九九	一七、二三五、九九九	一七、二三五、九九九	一七、二三五、九九九

市場の取引

大		同十二年		京畿道		忠清北道		忠清南道		全羅北道		全羅南道	
計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設
二七	二	六四	二,二四	九三	二〇	二二	一	二五	二九	一	六四	二七	二
七,五五五	七三	六,八四四	九,九六九	八,七五九	三,六〇〇	三,五〇〇	七	五,六三三	二,四三七	七	五,七〇四	七,五五五	七三
九六三,一〇七	—	九六三,一〇七	三,六六七,八三三	八六六,八三三	二,九四四,七五五	八〇〇,九四四	—	二,九三三,九九九	五九〇,〇四二	二,二二〇,〇〇〇	一,一三三,二六九	九六三,一〇七	—
一,〇八六,一九九	三四四,四三九	七四一,七〇〇	一八,三〇一,六八五	三,五五七,七〇〇	一,九九〇,〇七五	三〇八,六〇〇	—	八四一,四六六	五九一,六九九	一,〇六六,〇〇四	八四一,四六六	一,〇八六,一九九	三四四,四三九
八三三,九〇八	—	八三三,九〇八	一八,六九三,九五二	四八四,二一八	五七,五三三	五五五,〇二六	—	七三三,五五〇	八二五,六〇六	二,八三〇,一九九	七三三,五五〇	八三三,九〇八	—
一,一三三,三六八	—	一,一三三,三六八	二九,〇三三,五三三	三,四八九,一〇〇	三,四九三,五五八	一,一三三,〇七七	—	一,〇八九,一九六	六三四,三三九	一,〇九二,〇〇〇	一,〇九二,〇〇〇	一,一三三,三六八	—
一,一三三,三六八	—	一,一三三,三六八	二〇,七四三,〇五五	一,一三四,六四四	二,四二七,一五五	六三七,九五五	—	一,〇八七,〇五三	五三六,四四一	一,〇八七,〇五三	一,〇八七,〇五三	一,一三三,三六八	—
五,〇八六,四三四	三四四,四三九	四,八九三,二八六	二九,四二一,〇四三	六,三三六,三五五	六,三三六,三五五	三,四七六,四七三	—	四,八八四,七三三	三,一七七,〇三二	四,八八四,七三三	四,八八四,七三三	五,〇八六,四三四	三四四,四三九

第三章 市場の取引

五一九

		十										正											
	江原道	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	計	私設	公設	
		九五	—	九五	六	三	六	三	三	三	二七	三	二七	二四	二四	二六	一六	一	一六	一六	一	一六	一六
		五,〇二〇	—	五,〇二〇	四,七二六	五九二	四,一三四	四,一三四	二,二五五	二,二五五	八,二四五	七四七	七,五〇〇	一三,六二六	四,二九三	九,三三三	一〇,七四一	三六五	一〇,三七六	一〇,三七六	三六五	三六五	三六五
		五,〇二〇	—	五,〇二〇	一,五九三,八〇〇	—	一,五九三,八〇〇	一,五九三,八〇〇	一,五九三,八〇〇	一,五九三,八〇〇	一〇,三四〇,七〇七	三,三四一,〇	三,三四一,〇	二,〇〇,七四六	二,〇〇,七四六	二,〇〇,七四六	二,〇〇,七四六	四,四四〇	二,〇〇,七四六	二,〇〇,七四六	四,四四〇	四,四四〇	四,四四〇
		三七五,六四	—	三七五,六四	六三三,三六〇	二二八,六五七	四二七,七〇三	四二七,七〇三	四二五,八三八	四二五,八三八	五三七,六元	四九四,三七	四九四,三七	四九四,三三九	三,三七五,四三	一,五七五,二七	二,七四二,八三三	二八八,二四〇	二,七四二,八三三	二,七四二,八三三	二八八,二四〇	二八八,二四〇	二八八,二四〇
		一,一三〇,六六六	—	一,一三〇,六六六	二,二二四,四〇	—	二,二二四,四〇	二,二二四,四〇	三,四三三	三,四三三	一,二六八,二五六	一,五五〇,三〇〇	一,五五〇,三〇〇	一,一三〇,六六六	一,一三〇,六六六	一,一三〇,六六六	一,一三〇,六六六	—	一,一三〇,六六六	一,一三〇,六六六	—	一,一三〇,六六六	一,一三〇,六六六
		二,二三六,六七	—	二,二三六,六七	一,二七〇,一〇	—	一,二七〇,一〇	一,二七〇,一〇	一,五七,九六	一,五七,九六	二,七五四,〇六	一,四八,三三	一,四八,三三	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一	—	一,一四九,九五一	一,一四九,九五一
		一,八五五,四四五	—	一,八五五,四四五	二,〇三三,五五六	—	二,〇三三,五五六	二,〇三三,五五六	六九,九一九	六九,九一九	一,二七,〇六	一,二七,〇六	一,二七,〇六	一,一八四,九五一	一,一八四,九五一	一,一八四,九五一	一,一八四,九五一	—	一,一八四,九五一	一,一八四,九五一	—	一,一八四,九五一	一,一八四,九五一
		六,一四五,八四一	—	六,一四五,八四一	一八,九七,一〇	二二八,六五七	七,九九八,四四四	一八,九七,一〇	一,九二二,一九二	一,九二二,一九二	一六,〇六三,九五二	八,四八九,〇二四	八,四八九,〇二四	一三,七四三,二四三	三,八六六,九九七	三,八六六,九九七	三,八六六,九九七	—	三,八六六,九九七	三,八六六,九九七	—	三,八六六,九九七	三,八六六,九九七

合 計	公設	一、二〇二	八二、八二六	三、八二〇、八七六	九、八七五、六五八	一七、七六〇、四四一	二六、六六八、九七四	一八、七五五、九三三	一〇、九八七、四八三
	私設	七二	一六七九三	三、八〇六、九四四	八、四三七、〇三七	八九七、九二〇	二、三六四、五五九	一、九八七、二一九	一七、四六三、五五九
計		一、二七四	九九、六〇九	三、六六六、八二〇	一八、三〇二、六九五	一八、六五八、三六一	二九、〇三三、五三三	二〇、七四三、〇五二	二九、四七一、〇四二

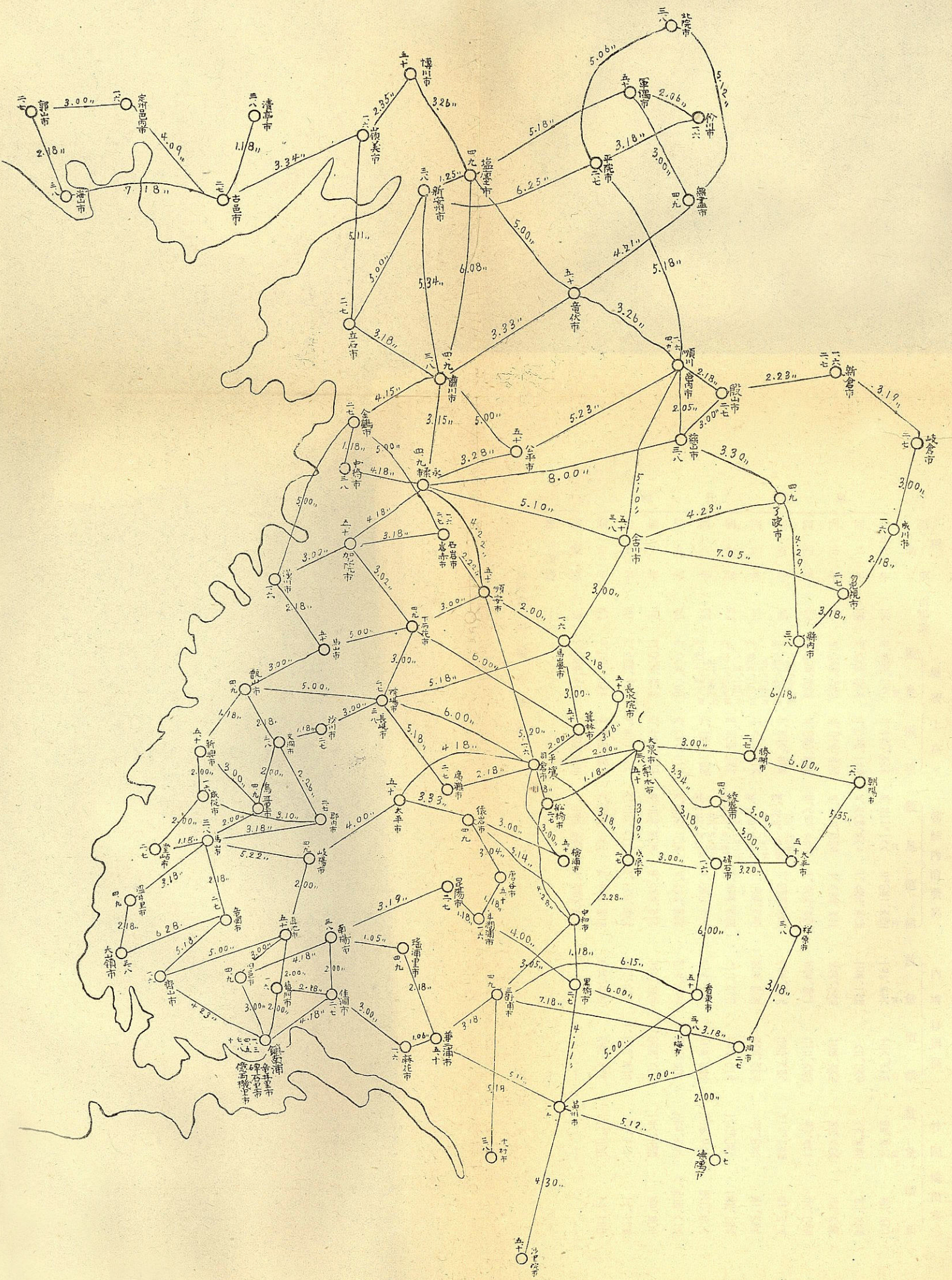
備考 一、本表には市場規則第一條第四號市場を掲げず。
 二、大正元年以前の賣買高は、集散高を掲げせるものとす。

種類別市場及取引高道別對照表 (大正十二年申)

道別	種類	第一號市場		第二號市場		第三號市場		第四號市場		合計	
		市場數	取引高年	市場數	取引高年	市場數	取引高年	市場數	取引高年	市場數	取引高年
京畿道	公設	八九	五、六四〇、〇二一 <small>円</small>	三	六八、三四四 <small>円</small>	—	—	—	—	三	六、三三八、三五五 <small>円</small>
	私設	五	四、三五〇、〇六九	—	—	五	一、九九三、三三六	二	九四、五五〇、一四八	二	一〇〇、八七八、四四四
	計	九四	九、九七五、〇九〇	三	六八、三四四	五	一、九九三、三三六	二	九四、五五〇、一四八	五	一〇四、二〇七、二〇六、七九六
忠清北道	公設	五三	三、四七六、四七三	—	—	—	—	—	—	五三	三、四七六、四七三
	私設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	五三	三、四七六、四七三	—	—	—	—	—	—	五三	三、四七六、四七三
忠清南道	公設	七三	八、二二、八七四	—	—	—	—	—	—	七三	八、二二、八七四
	私設	一四	二、七二、九七七	—	—	五	三九五、一一〇	—	—	一九	三、四五七、〇七二
	計	八七	一〇、八七四、九七一	—	—	五	三九五、一一〇	—	—	九二	一一、二六九、九八二
全羅北道	公設	五九	四、三七七、九七七	三	二二、三四五	—	—	—	—	六二	四、八六四、二七三
	私設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	五九	四、三七七、九七七	三	二二、三四五	—	—	—	—	六二	四、八六四、二七三
合計	公設	一〇	四、四〇、四〇〇	—	—	—	—	—	—	一〇	四、四〇、四〇〇
	私設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	一〇	四、四〇、四〇〇	—	—	—	—	—	—	一〇	四、四〇、四〇〇

平壤附近市場順路表

漢字數字ハ市日ヲ示ス
 亞刺比亞文字ハ里程ヲ示ス



魚市場統計表

道名	種別	市場數	總賣上高		朝鮮內消費高		內地移出高		外國輸出高	
			數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
大正元	年	二六	三、五三〇、九〇	二、一九〇、六六六	三、三二一、二八八	二、〇五二、六九二	一七六、七七六	二〇六、六四	四四、五二六	三、三六〇
同	二年	二四	三、八九四、二八三	二、〇四四、一八七	三、六四九、六六七	一、九四九、五六五	二二一、六四	八二、六七	八六、五三	四、三三五
同	三年	三二	四、〇八五、九九七	二、一〇九、九七四	三、七七〇、四三	一、八七三、六二	三三六、〇〇七	一三三、六六七	三、八八八	三、六六六
同	四年	三六	四、五七五、五三三	二、〇〇五、三七三	三、九三七、六九二	一、八〇九、四八	五四七、四八一	二二二、六〇〇	七〇、三六一	二六、〇九五
同	五年	三四	五、八三八、八九六	二、三三八、五三三	四、七四八、三七七	二、〇四四、二八二	九五五、四九九	二五八、八四八	二八、六三三	三、四三
同	六年	三三	六、五九〇、五三三	二、九六八、八二六	五、二二六、三五五	二、三三三、六七〇	一、四〇五、四六五	六六三、四六七	七六、〇五三	五、六七九
同	七年	三三	六、二一五、五三三	四、三〇四、〇九六	五、一五〇、五〇	三、五七六、六四四	八三三、六〇〇	七三三、〇九九	一三、〇五六	一、五四、四四
同	八年	四	五、三三三、四本	六、四七、一〇四	五、二二六、九五五	五、〇〇〇、九八	五九、一七六	六二五、五八	四〇五、九二	四〇、九九
同	九年	三	六、六八九、八〇〇	六、六五八、〇一八	六、三六、二〇五	五、九六六、四三三	四五、九七七	六〇二、三六	二七、六八	八、九四、八三
同	十年	二九	六、〇二二、六八二	六、九二二、七〇	五、三三七、三〇三	五、八五五、四六	七三、一三五	一、〇六六、〇三	一八、三四四	五、五三
同	十一年	三〇	六、九四四、七五八	七、三三〇、八四六	六、三三八、八一八	六、二〇、三九九	六七、八二九	一、一四、三三	四四、二一	一八、六五
同	十二年	三〇	七、〇六二、七二	七、四四四、四〇〇	六、六四九、二九九	六、七七〇、四四	三八、七七	六五八、九六	三八、〇〇	一七、三〇
京畿道			一、〇三五、三六九	一、六六〇、三六二	一、〇三五、三六九	一、六六〇、三六二				
忠清南道										

市場金融

朝鮮に於ける市場の取引高は頗る巨額に達し、その機能は殆んど朝鮮人の經濟と生活とを左右する程に有力なるものであるから、市場に於ける金融問題は、取引上の便否、賣買者の利害上、實に輕視すべからざるものである。

古來市場に於ける金融は、市邊なる市場金融業者に依りて行はるゝことあり、また居間即ち仲介業者が貨物の仲買を爲す傍ら金融の仲介を取扱つて居る。地方行商の盛んな開城の商人は、夙に市場金融の有利なることに着眼し、全鮮到る所の市場に出入して金融上に活動して居る。市場に於て金を借るものは、主として市場に出入する小商人であるが、また中には其地方の農家なども、市日を利用して金の融通を受けに行くことがある。而して市場貸は薄資無産のものに無擔保で貸付ける爲めに、其金利は非常に高率にして、概して高利貸の手に其實權が握られて居ると云ふも過言であるまい。市場金融の方法や名稱は地方に依りて區々に岐れ、日邊、月邊、年邊、市錢、替計等種々あり、大正九年、中樞院に於て調査したる各地方の市場金利概況は左の如くなつて居るが、大體に於て市日から次回の市日迄を一期間として利率を定むるものが多いのである。

吉州郡吉州市 昔時より市場利息として無市日期間（毎五日）に付一分の割合を以て利息を徴するの
法あり、現今も亦行はる。

穰城郡北蒼坪市 毎月金一圓に對し二錢五厘又は二錢にして、古往も現今も大差なし。

元山府場村洞市、北村洞市 月六歩。

定平郡邑内市 一圓に付一月最高三錢、普通二錢、最低一錢。

文川郡都草市 一箇月一圓に付五六錢の割。

新興郡古川市 一圓借りたる場合は次の市日より金二十二錢を五回に分ちて元利共に返済す、右の利息
は今昔共同様にして異なることなし。

豊山郡新豊里市 年三分にして今昔同様なり。

横城郡横城市 今を距る十餘年前迄は月六分乃至一割二分なりしも、今は二分乃至五分となれり。

徳川郡徳川市 金額の多寡信用の有無により金利に高低あり、數年前迄は十圓に對し一日一錢乃至四錢
なりしも、今は流通貨幣の増加及金融組合等の設置に依り利率低下し、十圓に付七厘乃至三錢となれ
り。

求禮郡求禮市 從來は一市一圓に付二錢なりしも、今は平均一錢乃至八厘なり。

任實郡良崎市 舊慣に依る市邊なるものあり、小口金額は十錢に付一市日目（五日目毎）二厘の利息なりしも、今は少額の金額と雖も半分に減せられたり。

海南郡海南市 昔日は毎市五割乃至十割なりしも、今は多少減低せり。

谷城郡邑内市

い、短期貸 一箇月間元金十二圓とすれば、之が返済は六回の開市日に元利二圓十錢を分返す。

ろ、長期間貸 一箇年間元金二十圓とせば、七十回の開市日に分返し一回の元利金は四十錢なり。

羅州郡路下市 舊慣に依る市錢あり、一箇市一圓に付十錢なり（月一割二分）之は貸借金高百圓以下にして、其他短き期間に返済するものには、替計錢とて一圓貸借の契約にて十錢を差引九十錢のみ貸付け、其支拂方法は一市毎に十錢宛十回分に分納するものなり、斯くの如き貸借金高は最高百圓より最低二十錢の間なり。

井邑郡泰仁市 各市を通じ不定なるも本市の最高額は年四割なり。

利川郡邑内市 昔時は市場貸借と稱し、最高は一市二分、月五分、最低年五割を以て貸借せられしも、

社會の變遷に伴ひ目下は最高一市一分、月四分を以て取引をなす者多く、最低は月三分なり。

加平郡邑内市 市邊と稱する百圓に付一市二圓の利子、及び間邊と稱する百圓に付月六分の利子あり、

目下は間邊行はるゝこと多し。

また市場に於ける賣買取引の代金決済法も地方に依り、商品の種類に依り、卸賣と小賣に依りて自ら異なるが、大體に於て各地とも小賣は現金を原則とし、卸賣は三、四割から、五、六割位の懸賣もあり、或は相當期間の延取引も行はれる。而して懸賣の期限經過後は、多少の金利を附せしむるを普通として居るやうである。

今試みに現在の市場金融状態を知る爲め、全鮮主要地の市場に就き、市場に於ける懸賣の割合、市場金融の方法、市場貸に對する金利歩合等を示せば即ち左の如くなつて居る。

市場金融狀況一覽表 (大正十三年調査)

市場名	懸賣の割合及期限	市場商人數	市場貸に對する金利	市場金融の方法	京畿道		忠清北道	
					水原 城内外市場 城外市場	奉日川市場	松都 面市場 (四箇所)	清州市場
京城府家畜市場		獸肉卸商人 若干人	日歩二十錢		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
水原		一六五	普通月四		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
城内外市場		一〇〇	普通月四		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
城外市場		一〇〇	普通月四		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
奉日川市場		五五二	月三分乃至六分		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
松都面市場 (四箇所)	都橋市場に於ては穀類に一割位の懸賣あり、仕拂期限一月二分の金利を徴することあり	同(兩城) 三五二 行商(都橋) 二〇九 牛市場薪市場は晴雨 寒暑により増減あり	月一分乃至二分五厘		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
清州市場	懸賣は現金賣より五分高、仕拂期限二箇月、期限後は月二分の利子を附すを慣例とす	問屋(各主) 四一〇	月三分		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
忠州市場		行小間 二、〇〇〇	月六分		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買
公州市場	懸賣二割、仕拂期限は十五日以内なるも月末拂もあり	小賣 一〇〇	日歩八十錢		小賣	小賣	小賣	小賣
鳥致院市場		小仲買 六五〇	日歩最高五十錢 最低十錢		小仲買	小仲買	小仲買	小仲買

第三章 市場の取引

市邊なる市場金融業者五、六人あり一口貸付をなす

市場の取引

忠清南道

大田市場	論山市場	江景市場
卸賣は大部分懸賣、仕拂期限二日の間とし小賣は現金取引	―	―
問屋仲買 小賣共	出場商人平均五〇〇	出場商人平均八〇〇
四四〇	普通月	普通月
〔百圓未満月四分乃至五分 百圓以上三分乃至四分〕	五	一
分	分	分

天安市場
懸賣期限は三十日間とし利息一分二厘を徴する慣習あり
出場商人平均二〇九
月三分乃至六分
分

全羅北道

全州市場	麗里市場
懸賣は織物商が農民に少數の懸賣をなすに止まり現金賣より五分乃至一割高にて通例一市乃至二市を仕拂期限とするも麻布、綿布、蓆等夏季に懸賣するものは收穫期を期限とす	卸賣に限り三割位の懸賣あり現金取引より五分高にて支拂期限は五日又は十日間
問屋仲買 小	問屋仲買 小
一、二〇〇	七五三〇〇
二	年利
最高六分	最低二割五分
分	分

木浦旭魚市場
全部懸賣にして仕拂期限三日とす
仲買
一四
日歩
四錢乃至六錢
分

全羅南道

光州市場	麗水邑内市場
卸小賣間に於ける懸賣は其市日拂ひ小賣の懸は次回に仕拂ふ慣例にて大體買受人の隨意とす	懸賣割合約五割、仕拂期限最短期日、最長十日、期限後は年三分の利子を附す例あり
仲買	仲買
四五〇〇	一〇〇〇
最高	最高
一割二分	一割二分
分	分

光州大市
市日間の懸賣は現金取引
問屋仲買 小
四四〇
普通月
五
分

光州大市
市日間の懸賣は現金取引
問屋仲買 小
四四〇
普通月
五
分

光州大市
市日間の懸賣は現金取引
問屋仲買 小
四四〇
普通月
五
分

光州大市
市日間の懸賣は現金取引
問屋仲買 小
四四〇
普通月
五
分

市邊と稱し毎市日間に(五日毎)に一圓に對し二錢の利息のあり

毎市日に割當市日毎に元利金を割當するに法あり、利子は市日毎に一圓に對し一錢の割合にて仕拂ふに當る

懸賣は織物商が農民に少數の懸賣をなすに止まり現金賣より五分乃至一割高にて通例一市乃至二市を仕拂期限とするも麻布、綿布、蓆等夏季に懸賣するものは收穫期を期限とす

卸賣に限り三割位の懸賣あり現金取引より五分高にて支拂期限は五日又は十日間

全部懸賣にして仕拂期限三日とす

卸小賣間に於ける懸賣は其市日拂ひ小賣の懸は次回に仕拂ふ慣例にて大體買受人の隨意とす

懸賣割合約五割、仕拂期限最短期日、最長十日、期限後は年三分の利子を附す例あり

慶尙北道

大邱市場 西門市 小賣を主とするが故に現金賣を普通とし懸賣のときは次の市日(五日間)迄の期限を以て仕拂ふを例とす
 (西門市)問屋三、仲買八、小賣二〇〇〇、(東門市)仲買三、小賣七、(藥令市)問屋五、仲買七、小賣四〇〇、(公設市場)小賣一五

鮮入間に於ては元金に對し月五分の利息を加算し毎市日に分割を行はる

安溪市場 小賣商人 四〇〇 年 三割五分乃至四割

安東市場 懸賣は一割高、仕拂一箇月を普通とす 小 鈞 賣 商 八 九 六 千圓以下月四分乃至五分 三 年 三 割 內 外

豐山市場 懸賣割合一割、仕拂期限一箇月 小 仲 賣 買 六 五 三 年 三 割 內 外

浦項市場 織物に限り約三割の懸賣あり、仕拂期限三週間なるも一箇月又は二箇月の延滞をなすものあり 小 仲 問 買 屋 一、〇九三 二圓に付一市日毎に二十四錢宛拂ひ十回にて全部辨濟す

慶州市場 懸賣の割合二、三、割仕拂期限一箇月 小 仲 賣 買 四、〇六八 大口は月二分五厘乃至三分五厘 小口は月三分乃至四分

慈仁市場 懸賣の割合一分五分、双方の協定に依りて一定期限金利なし 小 仲 問 買 屋 一 鈞 商 一 厘 月三、四分より四分五厘五分に及ぶものあり

河陽市場 約五割の懸賣あり仕拂期限は市日當日又は十日十五日以内とす 小 仲 問 賣 買 屋 三 〇 三 〇 〇 六 月 三 分 以 內

金泉市場 懸賣の割合約二割、仕拂期限は一週日又は二週日とす 小 仲 賣 買 三 五 〇 五 月 五 分 以 上

尙州市場 懸賣の割合一割五分、仕拂期限は一週日又は二週日とす 小 仲 賣 買 三 五 〇 五 月 五 分 以 上

第三章 市場の取引

市場の取引

釜山食糧株式會社市場

買賣仕切金は五日以内に決済するものとす

仲買

三〇日

五錢

市場より市場販賣品を擔保として貸出す立替金は其の時價の六掛とす

舊馬山市場

小賣

三〇〇

十圓に付五日間に十錢内外の利息を拂ふ

晋州市場

懸賣の割合三割内外

全部小賣商のみにし
出常設店五、市日最
場商約五、市日最
期四〇〇人に及ぶ

月五分乃至六分

慶尙南道

密陽市場

魚肉屋
小賣約一、〇〇二

十圓以下の金融は一市日毎に一圓に付二錢

東萊市場

仲買

四〇〇

日歩六錢乃至七錢

統營市場

懸賣に對する金月五分

間買屋
仲賣一〇〇五二

月七分内外

舊慣による市貸等あり

河東市場

委託販賣組合
商人數四〇〇

月五分

海州南本町市場

商人間の貸借は三箇月期限三分利、又は百日賦(利邊四分位)あり

仲買
六〇六

市中金利より月五厘高位なるも最近は市中金利二分五厘位なるに市場金利は二分内外となりたり

兼二浦市場

小賣
三二〇

月一割二分

黄海道

沙里院市場

近來不景氣の爲め殆んど懸賣なし

白米及雜穀商二五〇〇
畜類商二〇〇〇
水産物商一〇〇〇
其他一〇〇〇

濟崩法の場合も以上の利率に準ず

平安南道

第三章 市場の取引	梧木市場	鹽、壓市場	中和邑市場	府市場	鎮南浦市場	龍井里市場	株式會社	新幕市場
		懸賣の割合約七割に及ぶ、仕拂期限一箇月、期限後は金利三割拂を徴す		魚市場は仕拂期限三月以内其他は現金取引	龍井里市場	龍井里市場	規定により懸賣は行はざるも萬一月以内に回収す	物品代金の五割は現拂、殘額は一箇月の期限にて仕拂ふ
	小仲賣買	小仲卸賣買商	其魚雜物商	人屋を全日居れり	龍井里市場約三、〇〇〇	來市の商人近傍より	鮮魚仲買	木炭問屋
	二〇一〇〇	三〇六〇〇	八二五〇〇	人野業者が市場に支那	碑石里市場六〇〇〇	野產物商、支那人	一五	織物雜貨小賣商
	日歩十錢	金利三割	月二分	毎日出店居れり	內鮮人間月平均二分五厘	內地人間月平均二分二厘	四月分	二六

市場の取引

平安北道

江 陵 市 場	春 川 邑 内 市 場	江 界 市 場	宣 川 市 場	清 亭 市 場	定 州 市 場	泰 川 市 場	南 市 場	替 馬 市 場
懸賣割合千分の五、仕拂期限は二十日限り小賣二十日限り金利率普通月二分五厘	商人間は一箇月の延取引にして小賣は殆んど現金取引なり	懸賣三割あり、仕拂期限は一箇月期限後は月利三割を徴す	懸賣仕拂期限は一箇月とし金利率は月三分を附す例なり	懸賣約三割あり、期限は隨意に約定し期限後は年三割の利子を附す例なり	懸賣仕拂期限は一箇月又は六箇月とす	普通三割の懸賣あり、仕拂期限は普通一箇月とし期限後は月三分の利子を附す例なり	小仲	卸賣には約三割の懸賣あり、仕拂期限は一箇月乃至三箇月、之に對し日歩五錢の利子を附す例なり
商人	商人	仲買人共	仲介業共	卸賣小賣共	小仲問	小仲問	賣買	商人 賣買數
一、二、三	二〇〇	五〇	五〇〇	六六	七二五	四一五	一三七五	二二九五
普通月	年	年	月	年	日	月	月	日
三分	二割五分	三割	三分乃至一割五分	三割	最高二十錢 最低十錢	三分乃至六分	三割	二十錢 三分以下
								一箇月未滿の期限を以て百圓以下の金銭を借するに於ては日歩五錢以下あり其
								合場は月二歩あり其 融通しつゝあり

一箇月未滿の期限を以て百圓以下の金銭を借するに於ては日歩五錢以下あり其
合場は月二歩あり其
融通しつゝあり

江原道

注文津市場	懸賣約一割あり、仕拂期間最長一箇月と定め、期限後は月三分の利子を附すこととせり	商人數	四〇	市邊利子月	一割二分
横城邑内市場	懸賣約四割あり、仕拂期限一箇月内外なり	商人數	七一	月	三分
新場埜市場	懸賣仕拂期限は大抵十五日以内、期限後は月二分の利子を附す例なり	商人數	八〇	月	五分乃至六分
鐵原市場	懸賣仕拂期限は大抵十五日以内、期限後は月二分の利子を附す例なり	間屋、仲買、卸賣、小賣共	五〇〇	普通市場月	三分
		山方面より出場するものあり、大正十二年の出場人員一〇、二六九三人に及べり		牛市場月	六分

咸鏡南道

咸興牛市場	約三割の懸賣あり、仕拂期限は一週間にして、期間後は月二分の利子を附す例なり	商人數	二一一	月	六分
永興市場		商人數	二一一	月	六分
北青市場		小賣	一、五〇〇	一市日間二分を普通とするも信用及業態により月三分乃至五分迄の金利にて貸借行はる	
惠山鎮市場		商人數	七一	月	五分

咸鏡北道

吉州邑市場	懸賣總取引額の約三分の一あり、支拂期間は普通一箇月以内とし、多額の金高の場合は一割五分なり、振出し金利は略一割五分なり	朝鮮人	八〇〇乃至九〇〇人	月	三分乃至四分
城津市場	日出より日没迄開市の公設市場すべて現金賣、懸賣は行はれず	内地人	七〇乃至八〇人	月	三分乃至四分
會寧市場		支那人	五〇〇人餘	月	三分乃至四分
		附近村落の農民	平均四一	同	金利特に定めなし

第三章 市場の取引

右の表を見れば、各市場に於ける懸賣の割合、延取引期限、期限後の金利等は、地方に依りて異なつて居るが、殊に市場金融の方法及金利には著しき差異がある。而して其金利の高率なるは驚くべきもので、斯くの如き高利が、生活必需品の賣買に附隨して行はるゝは、朝鮮に於てのみ見る特殊の例である。以上は市場に於ける金融状況の一斑を示したものであるが、市場取引中比較的纏つた多額の資金を要する畜牛購入資金の融通に關し、殖産局の調査した所を見ると大體左表の如くなつて居る。

家畜市場に於ける金融状況

道	區分	金融の便	金融業者	金融業	融通額	同上に依る	利率及償還方法
京畿道	ある市場數	者の種類	者の數	融通額	購牛見込數	利率	及償還方法
	三	金貸業者	二八	一四、四三 ^円	二、三八 ^圓	利子は月五、六歩又は市日貸は五日間に一步とす	大低信用貸にして
						(一) 普通は數人の連帶借とし利率は月三歩乃至五歩にして期間は一、二月とす	
忠清北道	三	飲食店	二五	一〇、六〇〇	?	(二) 市日貸は百圓に付一圓を普通とするも尙利益金折半又は四分六分の分配あり	
		其他				(三) 獸肉販賣者は飲食店より屠肉を市價に比して一割乃至二割安に提供し又一方牛皮の提供を約する者あり其の利子は月二、三歩とす	

第三章 市場の取引

忠清南道	全羅北道	全羅南道	慶尙北道	慶尙南道	黄海道	平安南道
一五	該當	七	二	?	一九	八
金貸業者	事項なし	金貸業者と稱すべき程に非ず	金貸業者と稱すべき程の者に非ず	金貸業者	金貸業者 牛皮賣買者	金貸業者 飲食仲介業者 飲賣店
三六		七六	一五	一、二名に付	九六 一七	二五
四、七〇〇		二〇、四七八	一五、〇〇〇	一人に付 二〇〇圓乃至 五〇〇圓	一五〇、五〇〇	二二一、〇〇〇
一、四三三		五、〇〇〇	?	?	?	?
借受人は多く鮮人の屠殺業者にして貸付方法を種々あり信用貸保貸又は牛皮を的に無期貸付のものあり利子は月四、五歩を普通とす		多く信用貸にして期間は市日貸にして稀に長期のものもある月五歩乃至一割二歩にして最短期のものには日歩百圓に付五十錢に及ぶものあり償還は概ね良好なり	多くは信用貸にして一口四、五十圓より長きは二、三箇月のものあり其長期の利子は月三歩乃至七歩にして償還は概ね正確なり	金融組合設立せられたる爲市場に於ける資金融通漸次減少す貸付は信用貸又は擔保貸として一箇月乃至六箇月拂又は定期拂とし利子は月三分乃至五分とす	金貸業者は普通六箇月乃至一箇年利子は二歩乃至六分又牛皮賣買者は無利子の代りに牛皮を時價より一斤に付二錢低廉にて賣渡す契約をなす	多くは擔保市日貸とす利子は其の期間日歩二十錢とす

地方	取引	業種	金額	備考
平安北道	?	地方資産家	?	
江原道	一〇	農業兼金貸業者	三八 一〇八〇〇〇	總て信用貸にして期間は一箇月乃至六箇月とし一時に返済せしむ利息は市日貸は一步月貸六歩とす
咸鏡南道	七	客産家主 雑貨商等	四〇 五九二〇〇	擔保貸又は信用貸にして一口最高五百圓とす期間は市日又は二市日長きは六箇月乃至一箇年のものあり、利率は月三歩乃至六歩を普通とし咸興市に於ては年三割とす
咸鏡北道	該	當事項なし		

備考 右表は大正十一年十月畜産技術員會同に於ける答申書中より抜萃したものである。

在來の朝鮮人市場に就ては、其設備、取引方法、市場稅徵收等改善すべき點が多いが、金融上の改善も亦最も急務であると認むる。薄資無産の可憐なる市場商人をして、高利貸の苛酷なる手に何時迄も委ねて置くやうでは、朝鮮に於ける經濟の進歩を妨ぐるとが尠少でない。諸種の記録を見るに、昔時に於ては市場金融の金利は、現在に比して甚だしく高率であつたことが窺はれる。一例を示せば、毎市五割十割といふ如きものもあり、或は一圓を借りて二十二錢宛五市日に返済するものあり、または百圓に對し一市二圓の利子を附する等、いづれも高率なるものであつたが、時勢の變遷と、銀行、金融組合等の普及は、自然市

場金融の金利にも影響を及ぼし、今日は餘程金利の低下を來して居るが、それでも平均月利五、六分から七、八分乃至一割以上に及ぶものが尙ほ尠くない。市場金融と他の金融に於ける金利とは著しい差があるが、試みに個人貸金業者の平均金利、及び各道別平均金利比較を見ると左表の如くなつて居る。

貸金業者平均金利累年比較

年	内地人間			朝鮮人間			朝鮮人對内地人間			市場貸		
	最高	最低	普通	最高	最低	普通	最高	最低	普通	最高	最低	普通
明治四十四年	四八 <small>分厘</small>	二二 <small>分厘</small>	三一 <small>分厘</small>	六〇 <small>分厘</small>	二五 <small>分厘</small>	三八 <small>分厘</small>	五六 <small>分厘</small>	二八 <small>分厘</small>	三七 <small>分厘</small>	—	—	—
大正元年	四四	二三	三一	五二	二四	三四	五〇	二六	三五	—	—	—
同二年	七八	一五	三〇	九四	一八	三五	八三	一八	三五	—	—	—
同三年	七三	一七	三三	九三	一八	三七	七七	一九	三五	—	—	—
同四年	六三	一四	二九	八二	一七	三九	八〇	一八	三五	—	—	—
同五年	三九	一九	二七	四九	二二	三一	四六	二三	三一	—	—	—
同六年	三七	一八	二六	四六	二一	三〇	四五	二一	三〇	—	—	—
同七年	三八	一九	二六	四七	二二	三〇	四六	二四	三〇	—	—	—
同八年	四四	二二	三一	四七	二四	三二	四七	二五	三三	—	—	—
同九年	四二	二〇	三〇	四五	二二	三二	四六	二三	三三	—	—	—
同十年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八五	四三	五五

咸鏡	北道	三九	二〇	二七	四四	二二	三二	四三	二二	二九	五五	三〇	四〇
平	均	三八	一九	二七	四六	二二	三一	四五	二四	三一	九〇	四八	六四

備考 右二表は各道主要地五箇所に於ける見通平均金利にして、市場貸は十圓其の他は百圓に對する月利なり

右二表は朝鮮總督府統計年報に據る

右の統計に依りて窺はるゝ如く、勿論年に依り地方に依り、金利に多少の高低はあるが、現在行はるゝ市場貸の利率が、他に比して遙かに高率なることだけは否定することが出来ない。大正十二年の例に徴するも、平均月利最高一割一分四厘、普通六分四厘といふが如き高利の資金を借り入れ、或る期間商品の持ち越しを餘儀なくされ、其上延取引も尠からず、且つ貸倒れの危険をも伴つて營業をせねばならぬ市場商人の苦境は察するに餘りある。従つて其結果、生産者に對しては、不當に安く買ひ倒しを行ひ、一方消費者に對しては、法外なる高價を以て賣り付けるやうな弊害も起り、市場金利の高率が直接間接に、生産の發達、取引の増進、生活の安定を阻害して居ることは尠少でないのである。常設店舗取引の發達せず、國內商業の大部分が市場に於て行はるゝ現在の朝鮮に在りては、市場金融の問題は最も如實に極めて深刻に全人口の利害に觸れて居るのである。其影響する範圍とこれが性質より見て、市場金融の改善は一日も忽諸に附すべからざる問題であると信する。

第四章 貿易の趨勢

朝鮮に於ける市街地の商圏を調査するに就いては、また其貿易關係を見ることも頗る大切なることである。由來朝鮮の貿易狀態は、日韓併合以前に於ては極めて貧弱なるものでもつたが、總督府設置以來、産業上各種の保護獎勵施設を實行したる結果と、歐洲大戰の影響を受けて經濟界を刺戟し、近年に至り輸移出入貿易共に急激なる膨脹を遂げ、併合當時と今日とを比較するときは、殆んど隔世の感があるに至つたのである。試みに既往の狀勢を見るに、明治十九年の交に於ては、朝鮮の開港場は僅に釜山、仁川、元山の三箇所を數ふるのみで、其貿易額は三百十萬圓内外を出ず、殊に輸出額は總計五十六萬圓に過ぎなかつたのである。されば當時の貿易不振の一斑は之に據りて略ぼ想像し得るであらう。爾來數年間著しき貿易の變遷はなかつたが、明治三十年には、鎮南浦、木浦、同三十二年には、群山、馬山、城津を開港し、同三十七年には、日露戰役に依りて、龍巖浦は事實上の開港場となり、斯くの如くして次第に貿易關係を頻繁ならしめ、更に同四十一年には、清津を開港し、貿易總額は明治三十八年に四千萬圓、同四十二年には五千三百萬圓を算したものが、大正二年には一躍して一億圓を突破し、同十二年には六億三千八百萬圓に突進して、其間に於ける異常なる貿易の發展を示したのである。

而して日清戰役前の朝鮮の貿易關係は、日本内地及び支那の兩國が其大部分を占め、兩國の貿易勢力には著しい差異はなかつたのであるが、日清戰役の結果は、遽かに日本内地と朝鮮の貿易關係を密接ならしめ、また延いて各國との通商關係も緊密を加へ、米國、英國、蘭領印度、露領亞細亞、英領印度、英領海峽殖民地、暹羅、獨逸等との間に貿易が行はれ、殊に支那及び亞細亞とは、地理的關係から内地に亞いで貿易上重要な地位を保つて居る。試みに大正十三年に於ける貿易總數を見るに、其輸移出入額は左の如くなつて居る。

輸	出	二二、三七九、〇八一	圓	輸	入	九七、七七六、三一〇	圓
移	出	三〇六、六六〇、〇一三		移	入	二二、八一七、〇二六	
計		三二九、〇三九、〇九四		計		三〇九、五九三、三三六	

從來朝鮮に於ける貿易狀況は、累年輸移入超過を繼續して居たのであるが、大正十三年に至りて、始めて輸移出超過に轉じたことは、最も注目すべき現象である。將來果して朝鮮の貿易狀態が、如何に推移するかは頗る興味ある問題であるが、之を究めんとせば、先づ精密に過去に於ける貿易記録を検討する必要がある。そこで左に貿易の趨勢を窺ふべき數種の統計を揚げ、説明は之を省略することとした。

貿易品價額連年對照表

年次	輸出		輸入		輸移入超過
	輸出	計	輸入	計	
明治十九年	56,047	56,047	2,566,007	2,566,007	1,969,960
同二十年	82,769	82,769	2,835,214	2,835,214	2,010,445
同二十一年	897,464	897,464	3,076,849	3,076,849	2,179,385
同二十二年	1,265,631	1,265,631	3,409,606	3,409,606	2,143,975
同二十三年	3,576,304	3,576,304	4,753,665	4,753,665	1,177,361
同二十四年	3,395,475	3,395,475	5,285,599	5,285,599	1,890,124
同二十五年	2,466,041	2,466,041	4,632,788	4,632,788	2,166,747
同二十六年	1,733,369	1,733,369	3,905,438	3,905,438	2,172,069
同二十七年	2,403,648	2,403,648	5,923,996	5,923,996	3,520,348
同二十八年	2,733,573	2,733,573	8,339,978	8,339,978	5,606,405
同二十九年	4,866,988	4,866,988	6,669,622	6,669,622	1,802,634
同三十年	9,085,577	9,085,577	10,179,196	10,179,196	1,093,619
同三十一年	5,813,233	5,813,233	11,921,296	11,921,296	6,108,063
同三十二年	5,049,979	5,049,979	10,279,474	10,279,474	5,229,495

同	三十三年	—	—	九、五六八、七六八	—	—	一、〇六九、三六二
同	三十四年	一、〇八二、三九九	七、四六〇、三三四	八、五四二、七二三	五、六六七、一五五	九、一一〇、〇七九	一四、七七七、二三三
同	三十五年	一、七八七、二五五	六、六八一、二八八	八、四六八、五〇三	五、〇三八、五八九	八、六六四、三三三	一三、六九二、八四二
同	三十六年	一、九五二、六五一	七、七七、四〇〇	九、六六一、一三一	六、七六〇、六四四	一一、六八四、六四七	一八、四二〇、七一一
同	三十七年	一、六七五、四三七	五、八五五、二八八	七、五三〇、七二五	八、一四七、二八五	一九、二五五、三〇六	二七、四三〇、五九一
同	三十八年	二、三〇四、六四六	五、六一一、九五五	七、九一六、五七一	八、九三〇、六三六	二四、〇四一、二二六	三三、九七一、八五二
同	三十九年	一、六六七、四五三	七、三三三、〇六六	八、九〇二、五〇九	七、〇七七、四一〇	二二、二五七、二二二	三〇、三〇四、五三三
同	四十年	四、〇二五、三三七	一一、九五六、六〇元	一六、九八三、九三三	一一、〇四五、七九二	二九、五六五、七三六	四一、六一一、五〇〇
同	四十一年	三、一四九、九五七	一一、〇九六、三三三	一四、一一三、三二〇	一六、九八五、〇五八	二四、〇四〇、四六五	四二、〇二五、五二三
同	四十二年	四、一六七、一五〇	一一、〇八一、七六八	一六、二四八、八八八	一四、七六六、三五五	二二、八五二、四四五	三六、六四八、七七〇
同	四十三年	四、五五五、二〇〇	一一、五三七、六四三	一九、九一三、八四三	一四、四三四、六七一	二五、三四八、〇八五	三九、七八二、七五九
同	四十四年	一、五二六、四〇四	一三、三四〇、五五五	一八、八五六、九五五	二〇、〇九二、二四八	三四、〇五八、四三四	五〇、〇八七、六八二
大正元	年	五、六二六、六〇八	一五、三六六、〇〇元	二〇、九八五、六七	二六、三三九、四三四	四〇、七五五、一〇三	六七、一一五、四七三
同	二年	五、五五六、〇四七	一五、三三三、八七七	二〇、八七八、九四四	二六、一五一、一九二	四〇、四三九、〇五五	六七、〇六〇、二四七
同	三年	五、八〇二、七六八	一八、五六七、〇一九	三四、三八八、七八七	二四、一八四、四九九	三九、〇四六、九六二	六三、二三一、四六一
同	四年	八、五九二、四九六	四〇、九〇〇、八八元	四九、四九二、三三五	一七、六六四、二五五	四一、五三三、一〇二	五九、一九九、三三七
同	五年	一三、八三七、八六二	四二、九六四、〇七	五六、八〇一、九三四	二二、九九七、四八六	五三、四九九、三二七	七四、四五六、八〇五
同	六年	一六、〇四九、七三七	六四、七三三、六四〇	八三、七七五、三六七	三〇、一〇〇、七〇〇	七二、六九九、〇六	一〇三、八八六、七三六

貿易の趨勢

同	七	年	一六、九八四、二七五	一三七、〇四八、七五	一五四、八九、一四八	四二、〇三五、九三〇	二七、二七三、四二五	一五、三〇九、三六三	四、三〇、二二五
同	八	年	一九、八二六、九七	一九九、八四六、八五四	二九、六六五、七六一	九五、八六八、六四〇	一八四、九七、六七八	二八〇、七六、三六	六二、三〇、三三七
同	九	年	三三、五七七、八〇七	一六九、三八〇、八八七	一九一、九五八、六九四	九五、八四四、六九六	一四四、二一、七七	三三八、九五六、四三	四六、九九七、七九
同	十	年	二〇、八八四、五七七	一九七、五九三、六四六	一三二、二七七、三三	七五、八九九、〇二	一五六、四六二、五七三	三三三、三八一、五六四	一四、一〇四、三六一
同	十	一	年	一七、四六九、六四一	一九七、九七四、七二	二二五、四〇四、〇〇	九五、七九七、七	一〇三、二四七、〇三	二五九、〇四四、八〇七
同	十	二	年	二〇、四四〇、三〇	二四四、二六三、四三	二六二、六六五、七三	九五、三三六、三三	一六七、四三三、三〇	二六五、七九七、七
同	十	三	年	三三、三九九、〇八一	三〇六、六六〇、〇二	三三九、〇三九、〇九四	九五、七七六、三〇	三二二、一七〇、三六	三〇九、五九七、三九

備考 △印は輸移出超過を示す。

輸移出入貿易指數表 (明治四十三年を百とせる指數)

年次	輸 出		輸 入	
	輸 出	移 入	輸 入	移 出
明治四十三年	100	100	100	100
同 四十四年	111	87	139	134
大正元年	114	100	183	161
同 二年	113	165	126	159
同 三年	152	186	168	154
同 四年	189	266	122	164
同 五年	305	279	152	207
同 六年	400	42	209	287
同 七年	374	891	284	463
同 八年	437	1,300	664	730
同 九年	498	1,101	664	565
同 十年	460	1,283	526	627
同 十一年	386	1,287	664	631
同 十二年	450	1,569	681	661
同 十三年	492	1,993	677	1,311

第四章 貿易の趨勢

五四九

國別外國貿易額及比率表 (大正十三年)

國別	輸出		輸入		合計	
	實數	千分比	實數	千分比	實數	千分比
支那	22,399,150 <small>円</small>	95.7	73,010,110 <small>円</small>	74.7	94,409,260 <small>円</small>	78.6
香港	390,556	1.8	1,781,647	2	569,203	5
英領印度	1,964	—	449,474	5	451,438	4
海峽殖民地	139,437	6	7,861	—	147,298	1
蘭領印度	493,433	2	4,300,119	4.4	4,349,462	3.6
露領亞細亞	228,202	1.0	1,000,762	1.0	1,228,964	1.0
英吉利	11,589	—	5,481,677	5.6	5,493,266	4.6
白耳義	33	—	28,565	—	28,597	—
獨逸	6,518	—	7,675.2	—	7,332.70	—
瑞典	88	—	93,619	—	93,707	—
北米合衆國	26,518	6	21,482.93	2.2	11,574.81	9.6
加奈陀	1,755	—	22,008	—	23,763	—
濠洲	3,403	—	363,958	—	367,361	—
其他諸國	30,536	5	4,844,635	5	5,149,91	4
合計	23,379,81	1,000	97,776,310	1,000	121,155,391	1,000

主要貿易品價額及比率表 (大正十三年)

品目	輸移		千分比	品目	輸移		千分比
	實數	入			實數	出	
米	一六四,四八三,四四四 ^円	五〇〇		皮	四,四七〇,三六四 ^円	一四	
大豆	二五,一九八,四〇三	七七		荳	三,二五六,五八四	一〇	
綿	一三,一八,三八七	四〇		荳	二,七四二,〇七七	八	
鮮魚	一一,四五八,六二六	三八		鐵	二,四七五,二二七	七	
家蠶	一〇,二五四,五〇八	三一		鐵	一,九三二,九七一	六	
生絲	七,三三八,六八〇	二三		鐵	一,七六一,二一〇	五	
木材	七,二六,九三四	二三		魚	一,六八二,二二三	五	
肥料	六,二六一,二三	一九		炭	一,四七四,九四八	四	
砂糖	六,〇五五,六四六	一八		麥	一,三二六,四五二	四	
乾魚	五,九八一,九六八	一八		他	四,〇七〇,九六四	一三	
乾魚	五,〇一九,一九三	一五		計	三,九〇三,九〇九四	一〇〇〇	
鐵	四,五三九,二七一	一四					
品目	實數	入	千分比	品目	實數	出	千分比
生金巾及生シーチング	二〇,四八六,八八八 ^円	六六		米	二,〇三九,六四六 ^円	三九	
粟	一九,六七九,〇〇九	六四		米	一一,四九三,五五八	三七	
				枳			
				蠶			
				絲			

第四章 貿易の趨勢

貿易の趨勢

木	材	九四三、六四二	三二	印刷料	紙	二、五四二、〇九一	八
絹	織物	八七七一、九七四	二八	葉煙草	草	二、四六七、二八六	八
石	炭	八〇五六、四四〇	二六	白木	綿	二、二七二、二八六	七
ジーンズ綾金巾及雲齋布		八〇二一、九九〇	二六	鐵電鍍	板	二、〇六三、九二六	七
機械類		七三九九、三六二	二四	打磁	綿器	一、九四八、〇九一	六
砂	糖	六、七九六、九二七	二二	陶磁	器	一、八三九、七七六	六
晒金巾及晒シーチング		六、五五二、九五七	二二	鐵條及	板	一、七八五、〇三二	六
綿織絲		六、五〇六、〇三二	二二	麥	酒	一、六八五、〇九一	六
靴	料	六、一八一、〇八三	二〇	清	酒	一、六四五、三五五	五
肥	料	六、〇三一、〇九二	一九	セメソ	ト	一、六二三、六五一	五
ゴム	靴	五、六六七、六七五	一八	隣	寸	一、五九六、七一九	五
車輛及船	舶	五、〇八〇、〇五二	一六	生	果	一、五八六、六一三	五
小麥粉	粉	四、九〇〇、六二二	一六	漁	網	一、四六六、九三三	五
支那麻布	布	四、九九一、六一四	一六	小	豆	一、四三四、七七八	五
石	油	三、八五九、六〇三	一三	機械油及其他	重油	一、三四七、三八六	四
紙 (除印刷料紙)		三、七九八、〇二二	一二	書籍及雜誌		一、二三六、七七七	四
小麥	麥	三、二八九、五二七	一一	軌條及附屬品	品	一、二六二、九一六	四
羅紗及セルヂス	豆	二、九六六、七五四	一〇	鐵	釘	一、一六二、一七二	四
大豆	豆	二、八六八、四八三	九	天竺	布	一、〇七六、六七八	三
肌衣	衣	二、八四〇、三四三	九	其他	他	九七、〇四一、一七六	三二
鹽		二、五四九、九八八	八	合計	計	三〇、九五九、三三六	一、〇〇〇

輸移出入金銀價額累年比較表

年次	輸出		輸入	
	金	銀	金	銀
明治二十年	1,439,225	1,496,109	1,488,901	1,416,544
二十一年	1,280,815	1,280,815	1,836,7	2,183,67
二十二年	865,456	865,456	599,776	599,776
二十三年	818,841	818,841	627,044	627,044
二十四年	1,133,858	1,133,858	522,543	522,543
二十五年	1,066,104	1,066,104	497,982	497,982
二十六年	1,406,939	1,406,939	866,421	866,421
二十七年	1,338,406	1,338,406	1,702,919	1,702,919
二十八年	1,675,874	1,675,874	739,357	739,357
二十九年	2,270,873	2,270,873	2,038,963	2,038,963
三十年	3,855,551	3,855,551	4,954,62	4,954,62
三十一年	4,257,819	4,257,819	1,095,551	1,095,551
三十二年	4,127,33	4,127,33	4,337,08	4,337,08
三十三年	5,195,103	5,195,103	907,333	907,333
三十四年	5,611,669	5,611,669	965,50	965,50
三十五年	5,626,615	5,626,615	3,807,43	3,807,43
三十六年				

第四章 貿易の趨勢

五五三

輸移出入金價額累年比較表

年次	輸 移 出			輸 移 入		
	貨	金	計	貨	金	計
明治四十三年	二〇	八八三、六〇九	八八三、六二九	五〇〇、〇〇〇	—	五〇〇、〇〇〇
同 四十四年	一、九四四、五〇〇	九〇九九七、九六六	一一、〇四四、二九六	一、九〇〇、二八七	二、二五一	一、九〇二、四三九
大正元年	二六	九、一四一、二九七	九、一四一、三三三	—	五、九四四	五、九四四
同 二年	一一、〇〇〇	九、九六一、五一五	九、九七二、五一五	—	七、〇〇三	七、〇〇三
同 三年	五〇〇、〇〇〇	九、六四四、二六七	一〇、一六四、二六七	五〇五	一一、二六八	一一、二六七
同 四年	—	一一、三六六、五八七	一一、三六六、五八七	—	一四七、三三九	一四七、三三九
同 五年	—	一五、六三三、七九七	一五、六三三、七九七	—	一一、九六六、九九一	一一、九六六、九九一
同 六年	—	九、六三〇、八二四	九、六三〇、八二四	—	一一、五六五	一一、五六五
同 七年	—	六〇二、四〇二	六〇二、四〇二	一〇	二九七、〇四三	二九七、〇五三
同 八年	—	四四一、五二四	四四一、五二四	—	九三、九五六	九三、九五六
同 九年	—	二、三六三、〇七〇	二、三六三、〇七〇	—	一三六、〇八九〇	一三六、〇八九〇
同 十年	二五、五〇〇	七、二八二、七四二	七、三〇八、二四二	六二	二二、二九三	二二、二九二
同 十一年	—	三、九六一、二五四	三、九六一、二五四	一、八一〇	二二〇、八六一	二二、二六七
同 十二年	—	五、五八六、九八五	五、五八六、九八五	一〇〇	一〇五、八〇〇	一〇五、九〇〇
同 十三年	八〇〇	四、一六六、五五五	四、一六七、三五五	—	八八一、二八〇	八八一、二八〇

第四章 貿易の趨勢

五五五

輸移出入銀價額累年比較表

年次別	輸 移 出			輸 移 入		
	銀貨	銀地金	計	銀貨	銀地金	計
明治四十三年	一七七,二六三	一七八,七四六	三六六,〇〇九	一三六,六一七	一〇〇,三三三	二三七,六二〇
同 四十一年	一七七八,二六〇	三四,四六七	一八二,七七七	二,八〇六,二四六	三〇,五六〇	二,八三六,八〇六
大正元年	九五〇,七八〇	三三,二一九	九八二,九九九	一,三六七,三七七	九九,二二七	一,四六六,六〇四
同 二年	九四六,五九九	二四,八九九	九七一,四九八	一一三,三〇六	八一,七九〇	一九五〇,九六
同 三年	六四九,三〇〇	一〇,九四八	六六〇,二四八	二三八,五三五	五二,九九〇	二九一,五二五
同 四年	三九二,九五〇	四,六七七	三九七,五七七	五八九,四〇四	七六,六一一	六六六,〇一五
同 五年	四六五,九二一	三一,三三六	四九七,〇五七	三四二,六二一	九六,六〇一	四三九,二二三
同 六年	一九三,二五	一四,八九〇	三四二,〇五	二八六,七八四	五三,〇四三	三三九,八二七
同 七年	—	二,三六〇	二,三六〇	九三八	七一,六三九	七二,五七七
同 八年	二,九三〇	四八〇	三四一〇	三,三三二	七〇,七六六	七,一四一,一八
同 九年	三,四二五	一七,三八一	二〇,八〇六	八〇	三八五,六四二	三八五,七三
同 十年	六,一五五	二七	六一,八〇二	三〇,八四二	二九〇,三五〇	三二一,一九二
同 十一年	二五,二二	二,七六三	二二,七八四	三九一,一五四	五四五,八三一	九三六,九八五
同 十二年	九九七,九六〇	八,二八一	一,〇〇六,二四一	六七,一五三	二八〇,六三六	九五二,一六八
同 十三年	一,五四七,七七	五四七,七四	一,五九九,五五一	三五七,三〇四	三五六,九八〇	七,一〇二,八四

港別貿易額表 (大正十三年)

港別	輸出		輸入		計	移出		移入		計	輸出		移入		計	
	輸	入	輸	入		移	入	輸	入		輸	入	輸	入		
仁川	四,六四六,〇〇〇	一八,六二一,〇三三	三,三三九,八五三	五五,五四〇,六六五	四七,四三三,八七二	一〇,一九七,九五三	六,〇〇五,七一九	一三六,三三七,〇〇五								
釜山	一〇,〇〇〇,〇〇〇	七,〇〇〇,〇〇〇	八,三三九,七三三	一七,〇五五,六四四	八八,五五九,四六六	三〇,五五七,〇〇〇	一八,〇〇五,六四六	九六,八五六,一七七	三三,九九九,八三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三	三三,三三三,三三三
元山	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇
鎮南浦	四九八,四〇九	四,三七九,九九五	四,八六六,九四四	二六,九七九,五七七	六,九六三,二七四	三,五九八,二七四	二九,四七四,五九六	二,三五五,一〇三	四〇,八四三,六六八							
京城	七〇〇,四三三	八,五〇〇,九六六	九,三三三,七七八	四八,七七三	三,〇三三,三三三	二,三三三,三三三	一,三三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三	三,〇三三,三三三
群山	六四,五五五	一,一五六,七六六	一,三三三,三三三	三五,八九四,四四四	二,五七七,三三三	四七,四六四,七七六	三,三五五,三三三	四七,四六四,七七六	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三	三,三五五,三三三
木浦	一四,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	三〇,三三三,三三三	七,四九七,七六六	二,七八八,七七六	三〇,三三三,三三三	八,七七六,九九〇	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三	一,三三三,三三三
大邱	七,四九九	一,五七七,三三〇	一,六四四,六六六	八三,三三三	三,五六二,七七三	三,六四四,五五〇	一,五六二,七七六	五,二二二,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一	五,三三三,四六一
馬山	二,三九九	三〇〇,一六七	三三三,五六六	五,四四五,八八八	三,六五九,九九八	九,〇六六,八八六	五,四三九,二二七	三,八五五,一五五	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九	九,三三〇,三九九
鎮海	三四七,三三九	一,七三三,九九三	三,〇八四,八三三	八,六六七,五七七	九,四九九,九九九	一八,〇八六,五三三	九,〇三三,八二二	二,一四四,五七七	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇
清津	九三六,一三六	五〇〇,六六六	一,四三三,七七四	一	七,五五九,四三三	二,八二六,三三三	二,六〇四,三三三	八,四四八,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三
會寧	五四四,三九六	三,七四四	六,六六九,九九九	二,〇五九,八三三	七,五五九,四三三	二,八二六,三三三	二,六〇四,三三三	八,四四八,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三	三,四四四,三三三
雄基	一,九九五	三,三四四	五,〇〇〇	二,六九二,五四七	三,三四四,〇〇〇	五,〇〇〇,五四七	三,三四四,〇〇〇	五,〇〇〇,五四七	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇	三,三四四,〇〇〇
城津	七,六八三,四九九	三,六三三,八八一	四四,三三三,四四〇	二,五六九,九九九	一,一四六,九九九	三,七〇〇,八七五	一〇,三四七,四三三	七,七五九,九九二	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三	四八,〇三三,三三三
新義州	七,三三三	三,九九九,八三三	五,〇〇〇,七一一	三,七〇八,八四四	一,六四四,一六四	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三	三,七三三,三三三
龍巖浦	三,七五五,〇〇〇	五,七〇〇,九九九	八,四六六,九九九	七,四三三,三三三	五,七八八,〇〇七	五,六六六,三三三	三,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三	一〇,八三三,三三三
平壤	三,五二二,三三三	三,六六六,九九九	六,一七六,三三三	一,六七七,四三三	三,五七七,四三三	一,九三三,三三三	一,九三三,三三三	六,三四四,七七七	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三	三,五五五,三三三
其他	三,三三三,三三三	九七,七七七,三三三	〇,〇〇〇,〇〇〇	三,六〇六,〇〇〇	二,二二二,三三三	二,八七七,〇〇〇	三,九九九,九九九	三,九九九,九九九	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三
合計	三,三三三,三三三	九七,七七七,三三三	〇,〇〇〇,〇〇〇	三,六〇六,〇〇〇	二,二二二,三三三	二,八七七,〇〇〇	三,九九九,九九九	三,九九九,九九九	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三	六,三三三,三三三

第四章 貿易の趨勢

港別貿易額千分比表 (大正十三年)

港別	輸出入		計	移出入		計	輸移出		計
	輸	入		出	入		出	入	
仁別	208	191	194	181	224	199	183	223	198
釜山	49	75	70	382	418	396	359	310	335
元山	17	35	31	24	43	33	24	40	33
鎮南浦	22	45	40	94	33	69	90	37	64
京城	33	86	77	1	57	24	4	66	64
群山	2	22	20	27	55	93	109	41	76
木浦	1	23	20	6	35	54	62	28	46
大邱	3	16	14	1	17	7	1	17	8
馬山	1	2	2	28	17	27	17	22	15
鎮海	1	2	2	1	1	1	1	1	1
清津	16	18	27	26	44	35	27	36	33
會寧	42	15	22	1	1	1	1	1	1
雄基	13	1	5	7	4	5	3	2	2
新城津	1	1	1	9	2	10	8	3	5
新義州	343	375	369	8	15	7	31	12	7
龍巖浦	3	31	26	9	1	5	8	20	9
平壤	24	58	71	1	14	10	8	25	12
其他	13	37	52	56	13	7	58	10	23
合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

港別貨物噸量表 (大正十三年)

港別	輸出	輸入	運送外國	運送內國	積戻	通過	合計
仁川	四三,三三四噸	一四八,七八二噸	八一,七〇〇噸	一五,九五五噸	一八,二四噸	一噸	二七〇,五五噸
釜山	二四,二二八	一四三,二二二	一七,六五五	二四	四九,七	四,四三	一九三,九八九
元山	二〇,二四七	四四,四〇〇	二,三四五	六,九四七	一	三七二	七四,三一
鎮南浦	一三,九九八	一七六,〇三八	三,四七〇	一,九九三	四五	九	二三四,五五三
京城	六,三四九	六四,九三七	一四六	一	一	一	七一,四三一
群山	一,六五六	二九,七〇七	五七〇	五	一	一	三一,九三八
木浦	四六二	二七,九九四	二	二九	一	一	二八,四九七
大邱	九九七	三,七七四	三	一	一	一	三,七七四
清津	一八,〇九四	三五,三七〇	五,四五六	六,六四一	八〇九	一	一一二,三七〇
雄基	一五,七〇四	一,三五九	六,三六三	二,三九二	二七	一	二六,〇三五
會寧	四,八一五	一三,〇九七	一,〇六〇	一	一	四三	二九,三九五
咸興	三三	一,二五〇	一	七三七	一	一	一,〇二
新義州	一四九,八五三	五七四,九六一	一九〇,三七一	一	四四,五四	四三,二七九	一,〇〇二,八八
龍巖	八,〇二七	五二,四八〇	六,五四二	一	一	一	六七,〇四九
平壤	一五,六二四	七八,四六五	五九	一	一	一	九四,一四八

船舶入港連年對照表

年	種別	汽船		帆船		ジャンク		合計
		隻	噸	隻	噸	隻	噸	
明治十九年	同	一七六	一四一、三三三	七六	六、五七一	三〇五	六、〇〇七	一六二、九一〇
二十年	同	一八〇	一六一、五五五	一四六	二二、二七八	三八八	七、四六六	一八一、三九七
二十一年	同	三三三	一七六、〇〇九	二四二	一〇、九四四	六五九	一〇、〇〇四	一九六、〇〇三
二十二年	同	三三九	二四一、七五五	一六五	一五、四四一	八一〇	一五、〇〇四	二四四、三三〇
二十三年	同	三七八	二七六、三三〇	一五九	二一、六四四	一、〇八四	二四、八五五	三三三、八四七
二十四年	同	四七三	三三四、〇六八	一三六	一〇、四六七	八九三	三三、六〇〇	三五八、一四五
二十五年	同	五五八	三六八、七七七	一三一	一八、二七八	七七七	三三、四八六	三九〇、四九七
二十六年	同	五八一	三五七、七九六	二〇四	二一、九七八	五七七	二七、七三〇	三六七、五〇七
二十七年	同	五九六	三三九、四二六	二四七	二二、〇六四	四六〇	三三、八三三	三六五、三三〇
二十八年	同	六〇七	三三七、三三三	二四三	九、六三三	九四六	二四、一六六	四〇六、一三〇
二十九年	同	六四九	四〇三、二六一	二四四	一〇、九三三	八六七	二四、九三六	四九六、一〇〇
三十年	同	八二五	五〇六、五三六	五三三	三三、三三四	〇〇〇	三三、二五五	六一〇、二二五
三十一年	同	一、一六四	五八六、八三二	八九一	四四、七六六	一、三三一	二八、三三二	六五九、九七〇
三十二年	同	一、六六六	七四四、〇一〇	九九六	四八、六六一	一、〇〇〇	一九、六六一	八二四、三四四

第四章 貿易の趨勢

同	五	年	三,八八四	三,八八四	一,四三三	五,七〇七	六,一八一	八,八六三	一一,五九六	三,一七四	三,七六七
同	四	年	四,三九七	四,三九七	一,四三六	五,八二八	四,三九七	七,一一一	一〇,〇〇一	三,一七〇	三,九七二
同	三	年	四,一五三	四,一五三	一,八三三	六,〇〇〇	三,六〇〇	六,七二七	九,九七〇	四,〇〇〇	四,六六六
同	二	年	四,一六七	四,一六七	一,六九六	五,九一三	四,〇〇〇	七,七四四	九,九七〇	四,〇七六	四,九六九
大	元	年	四,一六二	四,一六二	一,八〇〇	六,三〇〇	四,六八八	八,九四〇	一〇,六〇〇	三,八八八	三,九七二
同	四	十	四	四,二二九	一,七九三	六,六五五	三,九四〇	八,一五〇	一〇,〇四六	三,九七二	四,〇四六
同	四	十	三	四,一六九	一,七〇七	四,九六八	三,〇九八	四,一五〇	八,三三三	三,二九六	四,一七七
同	四	十	二	三,八〇三	八,九四四	三,六三三	四,〇〇〇	四,七〇〇	七,八八三	三,〇三四	三,〇四六
同	四	十	一	三,七〇〇	八,二八二	三,九三三	四,四二二	五,五〇〇	八,五一一	二,九六〇	三,〇二八
同	三	十	九	三,六〇五	一,三三三	三,七〇五	四,三三三	六,六三六	一〇,〇七〇	三,〇八八	三,〇七六
同	三	十	八	三,四四四	一,一三三	三,五八三	三,四四四	五,〇〇五	九,九四九	二,〇〇〇	二,〇四四
同	三	十	七	三,七九六	一,一八一	六,〇〇九	三,二六二	三,八二三	七,二五九	一,三三二	一,四四四
同	三	十	六	三,五〇八	一,六七九	七,一九一	一,九三三	二,九二三	七,一五九	一,七五〇	一,七五〇
同	三	十	五	二,九〇三	一,二八八	六,〇九六	一,二七七	一九,五三三	五,四六二	一,二四一	四,四三〇
同	三	十	四	二,四三九	一,〇〇〇	六,二六六	一,三三六	一九,七三七	四,九七二	九,八五三	三,〇〇九
同	三	十	三	二,〇九七	五,〇四五	六,六六六	一,三三六	一九,七三七	四,九七二	九,八五三	三,〇〇九
同	三	十	二	七,九二八	一,〇七五	五,〇四五	一,三三六	二二,九五五	四,四三〇	八,四三二	七,七二七

貿易の趨勢

同	六	年	三、〇九五	二、三六六、二八八	一、七八八	五、七八三	六、七三三	八五、六三六	一、六一五	二、五五、七〇九
同	七	年	三、三六六	二、一五三、〇九六	四、八〇八	一、三、四九三	七、一一〇	八七、二六七	一、五、二四四	二、三五、八七五
同	八	年	四、二二	二、六六九、五七	五、四九六	一、四七、二六八	九、〇四六	一、四、五二六	一、八、六六五	二、九三、三一一
同	九	年	四、三四	三、九三、三七九	四、七一一	二、〇、五三三	八、二六六	七、一〇八	一、六、五二六	三、一、〇三、九三〇
同	十	年	四、八四六	三、六〇六、八三八	四、八三五	一、三、三〇三	六、七五三	七、〇、五九八	一、六、四三三	三、〇、八、七五九
同	十一	年	五、四四五	四、二三九、三一一	三、五四〇	九七、一九三	七、〇六九	七、七四六	一、五、七五四	四、四〇八、二五〇
同	十二	年	六、五〇四	五、四〇九、九九二	七、六四六	一、三、七七三	七、七二	八〇、一九四	三、八六一	五、六三三、九五八
同	十三	年	七、三六	六、一三七、二五八	六、五三三	一〇、六三三	八、四六一	八三、二五三	三、三、三六〇	六、三、八、一三〇

備考 明治四十年以前は沿岸貿易船を含む

船舶入港國別六箇年對照表

國別	大正十三年		大正十二年		大正十一年		大正十年		大正九年		大正八年	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸
汽船	5,348	5,916	5,033	5,167	4,165	3,300	3,910	3,910	3,372	3,344	3,662	3,550
內 地	1,251	1,344,494	1,333	989,873	863	720,945	866	633,635	677	479,443	377	256,266
朝 鮮	63	79,185	121	73,344	187	66,668	44	4,600	22	8,544	8	3,921
支 那	15	3,030	18	5,939	18	4,889	2	8,330	3	1,596	3	10,000
英 吉 利	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佛 蘭 西	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獨 逸	3	10,333	6	3,104	2	7,577	—	—	—	—	—	—
伊 太 利	—	—	—	—	2	6,638	—	—	—	—	—	—
和 蘭	5	3,334	4	1,958	4	7,421	—	—	—	—	—	—
諾 威	4	5,975	—	—	2	8,165	—	—	—	—	—	—
露 西 亞	21	2,056	27	2,163	27	2,939	9	100	47	4,430	33	3,967
北 米 合 衆 國	23	5,849	22	3,956	14	57,833	5	3,433	8	3,083	1	2,073
ハ ナ マ	—	—	1	3,033	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,566	6,137,256	6,545	4,999,912	5,144	3,912,311	4,846	3,606,886	4,244	2,923,379	4,222	2,669,557

貿易の趨勢

五六四

内地	四、七六六	七六、一四〇	六、三三三	一〇八、五九九	二、〇三八	七〇、三六四	二、六六六	八四、九九九	三、五九五	九二、四五二	五、〇〇四	一三三、一六八
朝鮮	一、五七五	二五、七〇〇	一、三三四	二、八六八	一、二三四	二五、六一〇	二、〇三三	四三、四七	六三	一七、一〇五	四七五	一一、七三四
支那	七四	一八五	九〇	三四五	六九	八五〇	九〇	八七四	四四	四九三	五	六〇
英吉利	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露西亞	八八	五五	一〇九	九七〇	三九	三五八	一四	三二三	一〇	五六五	一四	三六
計	六、五三三	一〇、六三三	七、六六六	一三三、七七一	三、五四〇	九七、一九三	四、八二五	一三二、三〇三	四、七七一	一一〇、五三三	五、四六九	一四七、二六八
シヤンク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝鮮	七三〇	四、九九	四三三	二、八五七	六五四	五、九九	五八一	三、九四〇	二六六	二、二〇一	五四	三、五七七
支那	七、五〇五	七、〇〇九	七、〇三三	七、四七七	六、三三八	六三、九九一	六、〇八三	六五、六六六	七、七六七	六七、四九〇	八、三三七	一、九、〇七七
露西亞	三三六	二、三三六	二五四	二、五六〇	一七七	二、〇六四	八	一、〇四二	一三	一、三三七	一六五	一、九〇三
計	八、四六一	七、八、二五二	七、七七一	八〇、一九四	七、〇六九	七二、七四六	六、七五二	七〇、五九八	八、一六六	七二、〇二八	九、〇四六	二、四、五五六
通計	二二、六〇〇	六、三三八、一〇〇	二二、八、六二五	六、三、九九一	一五、七五四	四、四八、二、五〇	一六、四三三	八、〇八、七三九	一六、五六一	三、一〇二、九三〇	一三、六六五	二、九三、三三二

船舶入港別表 (大正十三年)

港別	外國			國內		
	汽船	帆船	汽船	汽船	帆船	汽船
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
仁川	123	3,036.1	2	104	33	560
釜山	70	1,649.0	1	22	4	2,180
元山	3	3,992	1	1	2	2,550
鎮南浦	130	1,933.7	2	76	3	2,815.8
群山	3	3,339	1	6	1,451	2,616.2
木浦	2	1,134	1	1	3	3,897
馬山及鎮海	1	1	1	1	3	4,191
清津	81	6,733	108	2,380	186	2,911
雄基	72	5,655	96	710	45	2,547.5
城津	20	1,536	1	1	1	1,511
新義州	1	8	1,134	1,667	5,541	39
龍巖浦	10	1,109	167	5,371	1,398	73
其他	1	1	1	1	1	1
合計	661	7,593.4	1,573	2,433.00	8,461	7,613.5

關稅收入額連年對照表

年次	種別	輸出稅	輸入稅	移出稅	移入稅	噸稅	出港稅	酒稅	消費稅	糖稅	雜收入	合計
明治十九年		四〇,八三三	一三三,七七七	—	—	二七〇九	—	—	—	—	—	一六〇,二七六
同二十年		四〇,六九五	一〇三,三七七	—	—	三,〇四三	—	—	—	—	—	一四六,七〇一
同二十一年		四三,三三一	二九,七六〇	—	—	四,一三五	—	—	—	—	—	二六七,二六六
同二十二年		六二,八五五	二二,三四七	—	—	四,七〇七	—	—	—	—	—	二七九,九一九
同二十三年		一七八,五三三	三三七,四六〇	—	—	八,五六八	—	—	—	—	—	五二四,六〇〇
同二十四年		一六八,〇九六	三七二,〇三三	—	—	八,九四〇	—	—	—	—	—	五四九,〇五六
同二十五年		一三三,三三三	三〇八,九五四	—	—	六,二四七	—	—	—	—	—	四三八,四三三
同二十六年		八五,七三〇	二六三,六七九	—	—	五,七七七	—	—	—	—	—	三五四,一六六
同二十七年		二五,七七九	三三七,八三八	—	—	七,三九九	—	—	—	—	—	四八一,〇〇六
同二十八年		一三四,二六一	六〇,一五六	—	—	一五,四八八	—	—	—	—	—	七四,一九七
同二十九年		三三六,三四二	四八六,一三七	—	—	一七,三〇五	—	—	—	—	—	六九,一七四
同三十年		四〇,二九二	六七三,一八八	—	—	一九,六九九	—	—	—	—	—	一一三,二九九
同三十一年		三七,七三三	七四〇,四三三	—	—	三,二六六	—	—	—	—	—	一,〇〇〇,四四〇
同三十二年		一三七,四五六	六五四,九九九	—	—	三,〇九九	—	—	—	—	—	九〇一,九五四

關稅收入額種類別累年表

年次	種別	輸出稅	輸入稅	移出稅	移入稅	噸稅	出港稅	酒稅	砂糖消費稅	糖稅	雜收入	合計
明治十九年		二四、八三	一三三、七七			二、七九						一六〇、三六
同二十年		四〇、六五	二〇三、七三			三、〇五						二四六、七三
同二十一年		四三、三一	二九、七〇			四、二五						二六七、二六
同二十二年		六、八五	二三、四七			四、七〇						二七九、九九
同二十三年		一七、五二	三三、四〇			八、五八						五二四、六〇
同二十四年		一六、〇九	三七、〇三			八、九四						五四九、〇五
同二十五年		三三、三三	三〇八、九四			六、二四						四三八、四三
同二十六年		八五、七〇	二六二、六七			五、七七						三五四、二六
同二十七年		二五、七九	三五七、八八			七、三九						四八一、〇六
同二十八年		二四、六一	六〇、五六			一五、四八						七四二、二九
同二十九年		三六、四三	四四八、一七			一七、三〇						六九一、七四
同三十年		四〇、二九	六七三、一八			一九、六九						一、二三、一六
同三十一年		三七、七三	七四〇、四三			三三、二六						一、〇〇、四〇
同三十二年		三七、四六	六五四、九七			二〇、五九						九〇三、九五

同 六 年	三九、九九一、六九二、九七	七五、六四〇、四、五四〇、八五〇	七一、七〇三	—	二四三、九七三	—	一四四、六六	七、四四九、八三六
同 七 年	一六、三五二、二〇六、三三三	七九、七六六、五二五、七〇一	八六、四七四	—	二七九、〇八九	—	二六、五九六	一〇、一一四、三五六
同 八 年	二、二三九、四七九、三七七	三四、二三二、五三〇、五三	一三、一八七	—	五六四、三三三	四七、六九九	三〇〇、六四	一八、〇三二、六四
同 九 年	— 三、八五八、三六	— 八、〇九五、〇九七	一〇三、九四七	四四、九三五	六九、四三三	六三六、四三三	三〇〇、六九九	一三、六四九、三〇九
同 十 年	— 五、六六六、七六六	— 九、二二三、五九一	一五、四七四	一四四、九八〇	六七〇、九八六	八四〇、三三三	三〇〇、七三三	一六、八三三、八三四
同 十 一 年	— 七、二四四、六六四	— 九、一〇五、一五六	二、三、九七七	六六、七四六	七〇〇、三一一、一〇三、〇〇	三、三、〇〇	三六七、二九	一八、五四九、八四九
同 十 二 年	— 六、三三三、三三三	— 三、四九八、九九三	二、三、三六六	九七、四九〇	七二八、六〇四、一、一三三、七三三	三三三、九三〇	三三三、九三〇	二二、二〇八、四九八
同 十 三 年	— 六、三三七、二九一	— 二、八〇〇、七三三	二、五、〇三六	九、六九七	七二六、七六一	九四、五七七	三三三、七七七	二二、一〇九、八五六

備考 明治十八年以前は詳ならず

關稅收入額港別表

港別	輸入稅	移入稅	噸稅	出港稅	酒稅	砂糖消費稅	雜收入	合計	千分比例
仁川	一、八三〇、六九九	七〇三、〇五五	五、〇七四	一三、四七〇	一七七、五五五	三三、七八七	七、三〇六	三、〇三四	二七六
釜山	五七九、三七七	六六、九三九	四、八七二	三、九七九	二九、四六七	二七六、五三〇	一三、四四六	一、六八一、五九九	一六九
元山	二六二、九七七	一五七、八五五	一、〇七〇	二六八	二九七、四四五	六〇、四九五	一七、〇三五	五八、三五二	四六
鎮南浦	一六、〇四四	四六、七四四	六、四七七	六	三四、四六三	三、八七一	三四、九七七	二五四、四七八	二二
京城	九四三、九〇三	四三七、八七五	—	九、〇三九	八七、三三三	二五、〇三五	八、五三三	一、五二一、七三三	一三七
群山	九八、五五八	二二八、七六五	一、一四二	八六七	二五、四七七	一〇六、〇七一	六、二七八	四四七、〇三六	四
木浦	七、二八一	七九、二三二	五八	二、五五七	三、〇二〇	六三、〇三五	四、四四〇	二五八、三七七	二二
大邱	一〇三、三四〇	一五、六〇五	—	一、六二二	三、〇三九	二七、三四四	一、二二六	三三、〇三五	二六
馬山及鎮海	七、二六七	三三、一〇五	—	六七四	一、三三二	二五、五六八	三三	六六、〇九七	六
清津	五九、〇五三	七三、九八六	二、〇三六	九九二	三六、三三六	八〇、八七七	二四、七二六	二六、〇〇七	二四
雄基	二、二二七	一、二三四	九七三	—	四、九五六	七、二九一	三、三〇〇	三、二六五	三
會寧	二四、九四五	三、三三一	—	—	一、八二二	四、〇七〇	一、八七八	三六、〇六八	三
城津	二四	九、〇七九	二六	三	四、七三三	九、六九五	三、三七二	一〇、一三四	〇
新義州	一、一三七、六九八	二四、六六四	一、四七七	一、四七七	二、〇一三	八、八四四	一〇、七四三	一、五七、〇九六	一三八
龍巖浦	三、七七八	一七	一、三三二	七九八	〇二二	七	八四	三、八〇四	三

平	壞	四四、三五	一三、六七	二、九四	一四、七五	四七	四、九五	五六、五三	五三
其	他	三三、八六	三、五〇	一四、三三	四、三三	一六、〇三	一〇、二六	一七、〇四	一
合	計	六、一七、三九	二、〇〇、七三	二五、〇六	九三、六七	七六、七六	九三、五三	三三、七七	一一〇、九八

備考 小包郵便物に依る出港税は其他に編入す。

市街地の商圈
終

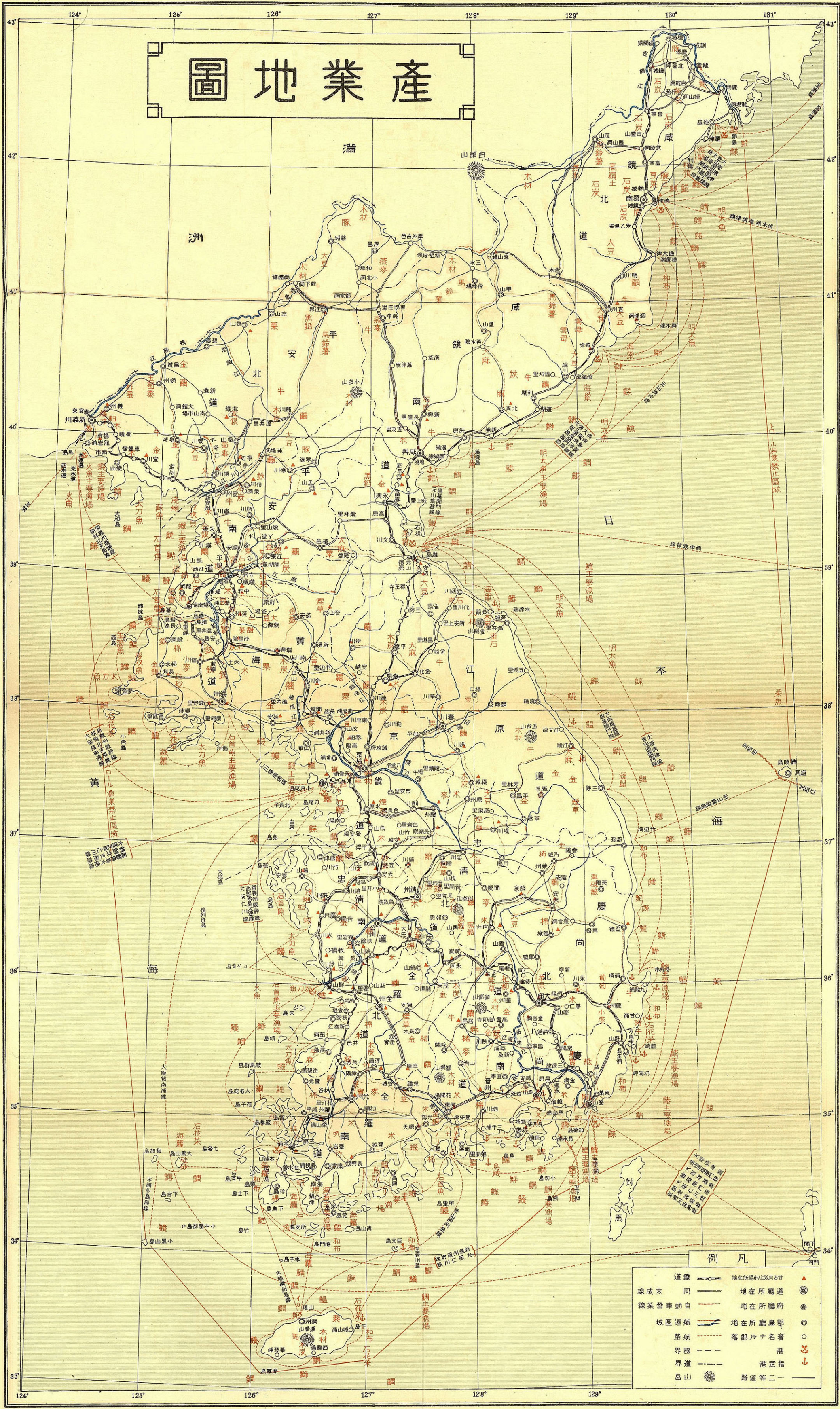
大正十五年三月五日印刷
大正十五年三月十日發行

朝鮮總督府

京城府西小門町三九

印刷所 朝鮮印刷株式會社

產業地圖



例凡	
道鐵	地在所屬中以上四廿
線成末	地在所屬道
線業營車動自	地在所屬府
域區運航	地在所屬島羣
路航	落部ルナ名者
界國	港
界道	港定指
岳山	路道等二一

一之分万十五百二尺縮

